

第五十二回 貴族院議事速記録第三十一號

大正十五年三月二十五日(木曜日)

午前十時二十二分開議

議事日程 第三十一號 大正十五年三月二十五日

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 産業組合法中改正法律案(政府提出)

第三 獸醫師法案(政府提出)

第四 議院法中改正法律案(政府提出)

第五 府縣制中改正法律案(政府提出)

第六 市制中改正法律案(政府提出)

第七 町村制中改正法律案(政府提出)

第八 北海道會法中改正法律案(政府提出)

第九 北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

第十 水利組合法中改正法律案(政府提出)

第十一 徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案(政府提出)

第十二 明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法中改正法律案(政府提出)

第十三 大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法中改正法律案(政府提出)

第十四 衆議院議員ノ選舉權ニ關スル法律案(政府提出)

第十五 北海道會議員及府縣會議員ノ選舉權及被選舉權並市町村會議員ノ公民權ニ關スル法律案(政府提出)

第十六 土地收用法中郡長ノ職務ヲ定ムル規定ノ適用ニ關スル法律案(政府提出)

第十七 大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコック」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案(政府提出)

第十八 勞働爭議調停法案(政府提出)

第十九 治安警察法中改正法律案(政府提出)

第二十 暴力行爲等處罰ニ關スル法律案(政府提出)

第二十一 大正十三年法律第十號中改正法律案(政府提出)

第二十二 大正十二年度歲入歲出總決算、大正十二年度各特別會計歲入歲出決算報告

第二十三 大正十三年度歲入歲出總決算、大正十三年度各特別會計歲入歲出決算報告並決議案(二件)

第二十四 大正十一年度國有財産増減總計算書報告

第二十五 大正十二年度國有財産増減總計算書報告

第二十六 大正十三年度國有財産増減總計算書報告

第二十七 貴族院議事速記録第三十一號

大正十五年三月二十五日

第十四 衆議院議員ノ選舉權ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十五 北海道會議員及府縣會議員ノ選舉權及被選舉權並市町村會議員ノ公民權ニ關スル法律案(政府提出)

權並市町村會議員ノ公民權ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十六 土地收用法中郡長ノ職務ヲ定ムル規定ノ適用ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十七 大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコック」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十八 勞働爭議調停法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十九 治安警察法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十 暴力行爲等處罰ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十一 大正十三年法律第十號中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十二 大正十二年度歲入歲出總決算、大正十二年度各特別會計歲入歲出決算報告

會議(委員長報告)

第二十三 大正十三年度歲入歲出總決算、大正十三年度各特別會計歲入歲出決算報告並決議案(二件)

會議(委員長報告)

第二十四 大正十一年度國有財産増減總計算書報告

會議(委員長報告)

第二十五 大正十二年度國有財産増減總計算書報告

會議(委員長報告)

第二十六 大正十三年度國有財産増減總計算書報告

會議(委員長報告)

第二十七 大日本聯合青年團補助金ニ關スル建議案(公

爵近衛文麿君外七名發議)

會議

第二十八 朝鮮ニ於ケル鐵道ノ普及促進ニ關スル建議案

(淺田德則君外四名發議)

會議

第二十九 郡役所ノ廢止ニ關スル決議案(男爵木越安綱

君外六名發議)

會議

第三十 八木春樹君選舉爭訟ノ件(資格審査委員長報告)

會議

第三十一 尾崎元次郎君及中村圓一郎君選舉爭訟ノ件

(原告見城十作)(資格審査委員長報告)

會議

第三十二 尾崎元次郎君及中村圓一郎君選舉爭訟ノ件(原

告小澤孝三)(資格審査委員長報告)

會議

第三十三 津久居彦七君選舉爭訟ノ件(資格審査委員長

報告)

會議

第三十四 鳴海周次郎君選舉爭訟ノ件(資格審査委員長

報告)

會議

第三十五 平田吉胤君選舉爭訟ノ件(資格審査委員長報

告)

會議

第三十六 濱頓別、興部間竝枝幸、小頓別間鐵道敷設ノ

請願

會議

第三十七 渡良瀬川改修ノ請願

會議

第三十八 船泊村ニ避難港築設ノ請願

會議

第三十九 天鹽漁港修築竝天鹽川河口改修ノ請願

會議

第四十 枝幸漁港修築ノ請願

會議

第四十一 青森縣西津輕郡稻垣村ニ登記所設置ノ請願

會議

第四十二 牛ノ傳染性肋膜炎ニ關スル勅令繼續ノ請願 會議

第四十三 皇大神宮神苑内ニ在ル奉獻戰捷記念品移轉ニ

關スル請願(文書表第百八號)

會議

第四十四 小頓別、枝幸間鐵道敷設ノ請願

會議

第四十五 佐原、松岸間鐵道速成ノ請願

會議

第四十六 廣島、濱田間鐵道敷設ノ請願(文書表第百二

十七號)

第四十七 厚床、標津間鐵道敷設ノ請願

會議

第四十八 根室原野殖民軌道敷設ノ請願

會議

第四十九 石見益田驛ニ公衆電報取扱開始ノ請願

會議

第五十 廣島、濱田間鐵道敷設ノ請願(文書表第百辛號)

會議

第五十一 渡良瀬川水源涵養ニ關スル請願

會議

第五十二 島根縣仁多郡溫泉村ニ郵便局設置ノ請願

會議

第五十三 札幌、増毛間鐵道敷設ノ請願

會議

第五十四 帝國在郷軍人會國庫補助ノ請願

會議

第五十五 明治天皇ノ御偉業ヲ永久ニ紀念スヘキ祝日制

定ノ請願

會議

第五十六 福岡縣玄界島ニ燈臺建設ノ請願

會議

第五十七 恩給法中改正ノ請願

會議

第五十八 名張、松坂間鐵道速成ノ請願

會議

第五十九 羽幌、留萌間鐵道速成ノ請願

會議

第六十 羽幌漁港修築ノ請願

會議

第六十一 廣尾漁港修築ノ請願

會議

第六十二 壽都漁港修築ノ請願

會議

第六十三 北海道積丹郡余別村ニ漁港修築ノ請願 會 議

第六十四 北海道色丹郡斜古丹村ニ衆議院議員竝北海道 會 議

會議員選舉施行ニ關スル請願

第六十五 土功組合救済ニ關スル請願 會 議

第六十六 福島縣安達郡新殿村ニ郵便局設置ノ請願 會 議

第六十七 部落問題ノ國策確立ニ關スル請願 會 議

第六十八 常呂川河口修築ニ關スル請願 會 議

第六十九 瀬棚港修築ノ請願 會 議

第七十 幌泉漁港修築ノ請願 會 議

第七十一 三石漁港修築ノ請願 會 議

第七十二 米穀貯藏倉庫設置ノ請願 會 議

第七十三 皇大神宮神苑内ニ在ル奉獻戰捷記念品移轉ニ 會 議

關スル請願(文書表第三百十八號)

第七十四 女子中等教育ニ關スル請願 會 議

第七十五 女子高等教育ニ關スル請願 會 議

第七十六 旭橋改築ノ請願 會 議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ諸般ノ報告ヲ致サセマセス

〔長書記官朗讀〕

昨二十四日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律案
關稅定率法中改正法律案

大正十五年度歳入歳出總豫算案竝大正十五年度各特別會計歳入歳出豫算

案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案(衆議院回付)ハ即日裁可ヲ奏請シ又衆議院ノ修正ニ同意シタル旨ヲ同院ニ通知セリ

民事訴訟法中改正法律案

民事訴訟法中改正法律施行法案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、請願委員長報告、一條公爵

〔公爵一條實孝君演壇ニ登ル〕

○公爵一條實孝君 第三回請願委員長報告ヲ申上ゲマス、去ル三月十六日第二回報告ヲ致シマシタル以後ニ於テ、委員會ハ一回、分科會ハ各分科トモ何レモ一回ヅツ開會イタシマシタ、請願文書表報告ハ三月十七日ニ第八回ヲ、同ジク二十四日ニ第九回ヲ提出イタシマシタ、請願委員會特別報告ハ、三月十九日ニ一回提出イタシマシタ、三月二十四日午後四時ノ締切ニ於テ請願受領件數三十六件、四十三通、連署人名數五千七百十八名デアリマス、請願文書表掲載件數ハ、第二回委員長報告ノ際ノ未掲載ノモノヲ合セテ二百二十六件、百四十七通デアリマス、之ニ第二回報告ノ際審査未了ニ屬シタル二百九十件、六百五十二通ヲ加ヘマス、四百十六件、七百九十九通ト相成ルデアリマス、以上ニ付キ審査ヲ致シマシタル結果、院議ニ付スベシト議決シタルモノ四十三件、四十三通、院議ニ付スルヲ要セズト議決シタルモノ十一件、三十四通、審査未了ニ屬スルモノ三百六十二件、七百二十二通デアリマス、尙ホ請願文書表未掲載件數二件、六通アリマス、續イテ請願審査總報告ヲ申上ゲマス、請願委員會ハ合計六回開キマシタ、又分科會ハ、第一分科六回、第二分科六回、第三分科七回、第四分科六回、合計二十五回、開會イタシマシタ、請願文書表報告回數ハ九回デアリマス、請願委員會特別報告回數ハ四回デアリマス、請願書受領件數ハ四百七十一件、八百九十二通、同ジク連署人名數十萬八百四十一名デアリマス、請願文書表掲載件數ハ四百六十九件、八百八十六通デアリマス、審査ノ結果、院議ニ付スベシト議決シタルモノ九十件、九十一通、院議ニ付スルヲ要セズト議決シタルモノ十七件、七十三通、審査

未了ニ屬スルモノ三百六十二件、七百二十二通デアリマス、尙ホ請願文書表未掲載件數二件、六通デアリマス、以上ハ大正十五年三月二十四日午後四時ヲ以テ締切リマシタモノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二、産業組合法中改正法律案、政府提出、衆議院回付、會議

産業組合法中改正法律案

右貴院ノ送付ニ係ル政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ及回付候也

大正十五年三月二十四日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院回付案ト本院ヨリ同院ニ送付セシ案ト比照シ衆議院ノ修正ニ係ル部分ノミヲ印刷シ其ノ修正ナキ部分ハ印刷ナク略ス小字ハ衆議院ノ修正文ナリ

第六條中「所得税」ノ下ニ「營業收益税」ヲ加フ
第五十九條中「郡長」ヲ「北海道廳支廳長」ニ改ム
第六條ヲ削ル

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第五十九條及第六條ニ關スル規定ハ郡長及島司廢止ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵徳川家達君) 衆議院ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三、獸醫師法案、政府提出、衆議院回付、會議

獸醫師法案

右貴院ノ送付ニ係ル政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十

五條ニ依リ及回付候也

大正十五年三月二十四日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院回付案ト本院ヨリ同院ニ送付セシ案ト比照シ衆議院ノ修正ニ係ル部分ノミヲ印刷シ其ノ修正ナキ部分ハ印刷ナク略ス小字ハ衆議院ノ修正文ナリハ同院ノ符號ナリ

第四條 獸醫師ニ非サレハ家畜ノ疾病ニ關スル診察又ハ治療ヲ業務ト爲スコトヲ得ス
前項ノ家畜ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第四條ヲ第五條ニ修正シ以下第十一條迄條數ヲ順次繰下ク

第十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 獸醫師ノ規定ニ違反
獸醫師ノ免許ヲ受ケスシテ其ノ業務ヲ爲シタル者

二 業務停止中ノ獸醫師ニシテ其ノ業務ヲ爲シタル者

三 第四條又ハ第七條ノ規定ニ違反シタル者

第十三條 第五條又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

○子爵曾我祐邦君 私ハ……

○議長(公爵徳川家達君) 登壇ヲ望ミマス

〔子爵曾我祐邦君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐邦君 政府ニ質問ヲ致シタイノデゴザイマス、此衆議院カラ回付サレマシタ所ノ修正案ニ付キマシテハ、政府ハ御同意ニナリマシタカ、又御同意ノ言明ガアリマシタカ否ヤヲ承リタイノデアリマス

〔國務大臣早速整爾君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(早速整爾君) 唯今ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、本回付案ニ付キマシテハ、政府ハ、衆議院ニ於キマシテハ何等贊否ノ意ヲ表シテハ居リマセヌ、併ナガラ本院ニ於キマシテ、此回付案ニ御同意下サルコトニ相成リマスレバ、政府ハ無論、本修正案ニ同意イタシタイト思フノデアリマス

○子爵曾我祐邦君 本員ハ此修正案ニ同意ヲ表スル者デゴザイマス、此理由

ト致シマシテ、第一、此修正案ハ……

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵、御登壇ノ方ガ諸君ガ満足セラレルト考ヘマス

〔子爵曾我祐邦君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐邦君 本員ハ此修正案ニ同意ヲ表スルモノデゴザイマス、其理由ト致シマシテハ、第一、此今回ノ衆議院ノ修正ハ、貴族院ガ先ニ修正イタシマシタ所ノ其箇所ニ、何等直接ニ觸レテ居ラヌト云フコトガ、其理由ノ一ツデアリマス、第二ハ、衆議院ノ修正ニ依リマシテ、獸醫師ノ業務ノ定義ガ幾ラカ明カニナッタヤウナ觀ガアリマスル、其理由ノ二デゴザイマス、又勅令ニ依リマシテ家畜ノ名稱ヲ定メルト云フ所ノ修正デゴザイマス、此點ニ付キマシテハ、本院ノ特別委員會ニ於キマシテ、屢、其定義ト云フコトニ付テ明カニ之ヲ示サレムコトヲ、政府ニ委員會ハ請求イタシマシタガ、政府ハ其事ヲ以テ至難ナル事トシテ之ニ應ゼラレナカッタデゴザイマス、併ナガラ、今回ノ衆議院ノ修正ハ、勅令ニ之ヲ移シマシテ、政府ガ適當ニ家畜ノ名稱ヲ定メルト云フコトハ、詰リ本院ニ於テ修正……希望サレマシタ所ノ定義ヲ明カニスルト云フコトニ、非常ニ近ヅイテ來テ居ルト云フヤウナ感ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、而シテ又此修正ナルモノハ、本院ガ致シマシタ所ノ修正ニ何等悖ッテ居ル所ノモノデナイト云フ意味ニ於キマシテ、私ハ此修正ニ賛成スルモノデゴザイマス

○土方寧君 私ハ政府ニ……簡單ナ質問デアリマスカラ、此席デ御許シテ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○土方寧君 先刻、曾我子爵ノ御質問ニ對シテ、政府ハ衆議院ノ修正ニ同意シタノデナイ、反對デモナイ、何ダカ一向分ラヌ曖昧ナ御答辯ニ伺ヒマス、サウスルト貴族院ノ決議ニ依リ、反對セラレテモ、衆議院ノ修正サレタモノデモ、イヤデモソレヲ承認セラレルヤ否ヤ、反對デモ賛成デモナイ、曖昧ナコトヲ言ハレタガ、同意サレルト云フ理由ヲ簡單ニ伺ヒタイ

〔國務大臣早速整爾爾君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(早速整爾爾君) 曾我子爵カラノ御尋ハ、衆議院ニ於テ同意ヲシタカト云フ御尋ガ、第一點ニアッタデアリマシテ、ソレデ私ハ此衆議院ノ修正ニ對シテ、衆議院デハ何等贊否ノ意ヲ表シテ居リマセスト、斯様ニ御答ヲ致

シタノデアリマス、併ナガラ貴族院ニ於テ此修正案ニ御同意下サルコトニ相成リマスレバ、政府ハ無論之ニ同意ヲ致シマス、斯様ニ御答ヲ致シタノデアリマス

○土方寧君 左様致シマスト、贊否共ニ定見ハナイト云フコトニ歸著スルノデアリマスカ

〔國務大臣早速整爾爾君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(早速整爾爾君) 貴族院ニ於テ此修正ニ同意ヲ下サレバ政府モ之ニ同意スルト云フ意味デアリマシテ、要スルニ貴族院ノ此御決定ヲ尊重ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス

〔土方寧君「モウ宜シウゴザイマス」ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君) 衆議院ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第四、議院法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

議院法中改正法律案

右否決スヘキモノト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十四日

右特別委員長

公爵 一條 實孝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔公爵一條實孝君演壇ニ登ル〕

○公爵一條實孝君 議院法中改正法律案特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ報告申上ゲマス、委員會ハ去ル三月十八日以來三回ニ互リ開會イタシマシテ、質疑應答ヲ重ネマシタ、第一回ノ委員會ニ於キマシテ、政府委員ヨリ本改正法律案ノ提出理由トシテ、次ノ如キ御説明ガアリマシタ、議院法第四十條ニ於テ、衆議院ニ對シテ二十一日ノ審査期間ガ定メテアルガ、貴族院ニ於テモ亦同様ノ審査期間ヲ定ムルコトガ、兩院ノ權衡上カラ見テ適當デアリ、而シテ從來ノ貴族院ニ於ケル先例等ヲ見テ、二十一日ト云フ期限ヲ設ケルコトガ、非常

ニ實際ノ運用上ニ支障ヲ生ズルト云フ風ニハ見エヌ、是等ノ點ヨリシテ本案ヲ提出シタト云フコトデアリマス、之ニ對シ第一回第二回委員會ノ兩日ニ互リ、數多ノ議員ヨリ質問ガアリマシタガ、質問ノ多クハ、現行法ニ於テ衆議院ノミニ二十一日ノ審査期間ガ定メテアルノハ、恐ラク衆議院ニ豫算ノ先議權ガアルカラシテ特別ニ定メラレテアルノデハナカラウカ、ト云フ意味ノ質問デアリマシタガ、之ニ對スル政府委員ノ御答辯ハ、何故カ頗ル理解ノ出來ナイ御答デアリ、衆議院ノ審査期間ハ先議權ト關係ガ有ルガ如ク無キガ如ク、便宜上、定メタモノダト云フヤウナ御解釋ヲ取ラレテ居リマシテ、現行規定ノ解釋ハ免モ角トシテ、衆議院ニ於テ其審査期間ガ定メラレテアル以上、同様ニ貴族院ニ於テモ其規定ヲスルノガ適當ナリト云フコトヲ縷々力説セラレタモノデアリマス、其他色々ノ質問ガ出マシタガ、結局政府委員ノ御答辯ハ、到底本案提出ノ理由ヲ明確ニ示スコトガムヅカシキ狀態トナリマシテ、委員會ニ於キマシテハ、若槻總理大臣ノ出席ヲ求メテ説明ヲ聽クコトト相成リマシタ、然ルニ首相ノ御出席ノ御都合ガナカク、出來マセヌノデ、第三日、第四日ニ豫定イタシマシタル委員會モ、首相ノ御出席ガ出來ナイ爲ニ流會ト致シマシテ、漸ク昨二十四日ニ至リ首相ノ御出席ガアリマシタノデアリマス、即チ第三回委員會ヲ開催イタシタノデアリマス、第三回委員會ニ於キマシテ、一委員ヨリ首相ニ對シ、先以テ議院法第四十條ニ對シ、現行制度ノ精神、立法ノ理由ニ付キ質問ヲサレタノデアリマス、首相ノ御答辯ハ次ノ如クデアリマス、現行法ニ於ケル衆議院ニ豫算ノ審査期限ヲ定メテアルノハ、豫算ガ先キニ衆議院ニ出サルルノデアアルカラ、先ニ議スル所ニ幾ラカノ期限ヲ定メテ置カスト、後カラ議セラレル方ガ大變不便ヲ感ゼラルルダラウカラ、ソレヲ慮ッテ左様ニ出來テ居ルノデアラウト云フコトデアリマシタ、次デ同一委員ヨリシテ、從來ノ貴族院ノ豫算審査期間ガ不當ニ長カッタト云フ如キコトヲ認メラレタカ、又ハ將來左様ナル事ガ起ルカモ知レスト云フ爲ニ貴族院ノ審査期間ヲ制限スルノカ、ト云フ問ニ對シマシテ、總理大臣ハ大要左ノ如ク答ヘラレタノデアリマス、最近ニ於テ、率直ニ申上グレバ、豫算ノ審査ヲナサル期間ハ、衆議院ヨリモ貴族院ハ長イト云フコトハ、是ハ事實デアリマス、即チ本會議デ質問ガアッタ後、審査期限ヲ定メテ二十一日トナサレ、衆議院ハ二日カ三日デ質問ヲ打切ッテ豫算總會ニ移ッテ居ルノガ例デアアル、貴族院ノヤウナヤリ方デハ、衆議院ノ二十一日間ノ期限デハ審議ガ間ニ合ハナイ、衆議院デサウ云フ風ニ行クノナラバ、貴

族院ニ於テモ其事ヲ實行サレテ出來スコトハナイダラウ、兩院ノ間ニ貴族院ハ優越ナ地位ヲ有ッテ居ラルル、衆議院ハ非常ニ法規ニ依ッテ拘束セラルル、抑ヘラレタ地位ニ居ルト云フヤウナ感シガ始終殘ッテ居ルヤウデハ、兩院ノ議事ヲ圓滿ニ進メラレルト云フ意味ニ於テ、面白クナイコトデハナカラウカ、衆議院デ出來ルコトハ、貴族院デ其通リナサレテ宜シクハナイカ、ソコハ全ク兩院ノ間ニ於テ同一ニナッテ居タ方ガ、大變感情上宜シクハナイダラウカ、兩院ノ間ニ一院ガ他院ヨリ優位ナル地位ニ居ラルルト云フ如キ感情ヲ、イツ迄モ殘シテ置クト云フコトハ面白クナイ云々、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、其他二三ノ質問ガアリマシタガ、ソレ等ハ省略イタスコトニ致シマシテ、次ニ討論ニ於ケル論旨ノ二三ヲ申上ゲマス、討論ニ移リマシテ、一委員ヨリ次ノヤウニ論ゼラレマシタ、此案ハ昨年ノ第五十議會ニ提案ニナリ、之ニ對シ貴族院ハ但書ヲ附シ同意シタノデアアル、併シ是ハ其當時ノ政情ガ餘程關係ヲ致シテ居ルコトト思フ、其當時ニ於テモ自分ハ審査期限ヲ設ケルコト自體ヲ決シテ適當トハ考ヘナイ、今回此案ガ政府ノ提案トシテ出テ參リマシタ、政府案ノ理由ヲ伺ヒマシテモ、的確ナル理由ノ發見ニ苦シムノデアリマス、兩院ノ權衡論トカ、兩院ノ感情論デアアルトカ云フヤウナコトハ、總理カラ色々御説明ガアリマシタガ、私ハ其感情ハ全ク誤ッタル感情デアリ、其誤ッタル見方ニ基キ、貴族院ニ於ケル豫算ノ重大ナル審議權ヲ制限スルト云フコトハ、憲法ノ趣旨ニ反スルモノデアアル、貴族院ハ憲法ノ與ヘラレタル權限ニ基キ、其期間ノ許ス限リ、慎重ニ審議ヲスルノガ至當ト思フ、殊ニ會期切迫スルニ付キマシテ、豫算案竝ニ之ニ關スル法律案其他重要ナル法律案ガ、一時ニ貴族院ニ參ル、此際ニ若シ豫算案ノ審議ニ期限ヲ附セラルルタメ、十分ナ審議ガ出來ナイトスルナラバ、貴族院トシテ決シテ其職責ヲ盡シタモノトハ認メラレナイ、貴族院ハ其期限内ニ十分慎重ニ審議ヲスルト云フコトガ、貴族院ノ職責ナリト思フ、衆議院ニ審査期限ヲ設ケラルルハ、既ニ總理大臣モ御承認ニナッタ如ク、豫算先議權ノ關係デアアル、從テ貴族院ニ此理由ヲ當テ悞メルコトハ全ク根據ガナイノデアアルカラ、此案ハ全會一致否決セラレ、斯ノ如キ案ヲ衆議院ノ方カラ提案スルトカ、或ハ政府カラ提案スルト云フコトハ、全ク憲法ノ精神ヲ誤解シタモノデ、誤ッタル感情ニ立脚シタモノデアルト云フコトヲ天下ニ發表シ、再ビ斯ノ如キ議案ガ貴族院ノ門ニ這入ルコトヲ防グコトガ適當デナイカト思フ、此意味ニ於テ本案ハ否決アリタイト云フコトデゴザイマ

シタ、其他一二ノ委員ヨリ、先議權ナルモノガ優位ナルコトヲ、大正十五年
度追加豫算ノ例ニ於テ御述ベニナリマシテ、此否決論ニ賛成ヲセラレ、又一
委員ヨリ、貴族院ニ於ケル豫算審議ノ實況ニ照シテ、本改正案ハ實施ハ出來
ナイモノデアルト云フコトヲ附加セラレマシテ、否決ノ意見ヲ述ベラレタノ
デアリマス、即チ採決ニ當リマシテハ、一人ノ反對者モナク、全會一致ヲ以
テ本改正案ハ否決スベキモノト議決セラレタノデアリマス

○小野塚喜平次君 極メテ簡單デアリマスカラシテ、委員長ニ對スル質問ヲ
此處デ發言スルコトヲ御許シテ願ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 委員長ニ御質問デスカ

○小野塚喜平次君 サウデス

○議長(公爵徳川家達君) 大キナ御聲デ願ヒマス

○小野塚喜平次君 ハイ畏マリマシタ、此同一議案、昨年出タ議案、其同ジ
議案ニ對シテ本院ノ態度ガ變ルト云フ理由ハ、唯今委員長ノ御報告ノ中ニハ、
私ハ十分ニ了解イタシマセスデシタガ、昨年ハ修正シ、今年ハ特別委員會ニ
於テ一人ノ反對者ガナク否決サルコト云フ、其理由ト云フモノヲ伺ヒタイノ
デアリマス、時間ガアルナラバ、モット自分ノ意見モ申述ベタイノデアリマス
ガ、會期切迫ノ際デアリマスカラ、ソレハ遠慮イタシタイと思フデアリマ
ス、私ハ政府ノ此案ニ對スル説明及態度ト云フモノニ敢テ感心シテ居ル者デ
ハアリマセス、又否決論者ノ仰シヤルコトヲ皆尤モデナイト思ッテ居ル者デ
モアリマセス、併ナガラ此重要ナル法案ニ對シテ、特別委員會ガ、先程承ッ
タ所ニ依レバ、一人ノ反對者ナク否決サレタト云フ其態度ニ付テハ、私ハ甚
ダ遺憾ニ感ズル者デアリマス、其遺憾ノ念ヲ幾分ナリトモ少クスル爲ニ、又
國民一般ノ貴族院ニ對スル疑惑ト云フモノヲ無イヤウニスル爲ニ、今一應甚
ダ御迷惑デハアリマセウガ、何故昨年ノ態度ト變ッタノデアルカ、昨年ノ態度
ト同ジト云フノデアレバ別ニ御質疑ハ申シマセスガ、變ッタ理由ト云フモノ
ヲ簡單ニ御説明ヲ煩ハシタイノデアリマス

○公爵一條實孝君 唯今御質問ノ、昨年ノ態度ト今年ノ態度ト何故ニ變ッタ
カト云フコトニ付キマシテハ、何等ノ委員會デ御意見モナカッタノデアリマ
スカラ、委員長ト致シマシテハ御答ガ出來マセス

○小野塚喜平次君 ソレハ非常ニ私ハ遺憾ト存ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ發言者ガナイト認メマスカラ採決ヲ致シマ

ス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス

〔唯今ノハ修正ニ賛成スル方デスカ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 唯今ハ第一讀會ノ續デゴザイマスカラ、普通ノ順
序ニシテ二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマシタノデゴザイマス

〔男爵木越安綱君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 木越男爵ハドウ云フコトデスカ

○男爵木越安綱君 唯今起立イタシマシタノハ間違ヒマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 表決ノ取消ハ規則ガ許シマセス……少數ト認メマ
ス、本案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 日程第五ヨリ第十六マデ同一委員ニ付託セラレマ
シタカラ、一括シテ議題ト致シ、委員長ノ報告ヲ煩シマス、阪本鈺之助君ノ
登壇ヲ望ミマス

府縣制中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十三日

右特別委員長

阪本鈺之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

市制中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十三日

右特別委員長

阪本鈺之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

町村制中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十三日

右特別委員長

阪本鈺之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

北海道會法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十三日

右特別委員長

阪本鈺之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

北海道地方費法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十三日

右特別委員長

阪本鈺之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

水利組合法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十三日

右特別委員長

阪本鈺之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

徵發令中郡及郡長ニ關スル規定ノ適用ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十三日

右特別委員長

阪本鈺之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十三日

右特別委員長

阪本鈺之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十三日

右特別委員長

阪本鈺之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議員ノ選舉權ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十三日

右特別委員長

阪本鈺之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

北海道會議員及府縣會議員ノ選舉權及被選舉權並市町村會議員ノ公民權ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十三日

右特別委員長

阪本鈺之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

土地收用法中郡長ノ職務ヲ定ムル規定ノ適用ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十三日

右特別委員長

阪本鈺之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔阪本鈺之助君演壇ニ登ル〕

○阪本鈺之助君 唯今議長ヨリ御宣言ニナリマシタ、日程第五ヨリ十六ニ至リマス十二案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、即チ日程第五ハ府縣制中改正法律案、其次ハ市制ノ改正法律案、其他北海道會法、北海道地方費法等、此地方ノ團體ニ關係イタシマスル案デゴザイマシテ、最初七案ダケ先以テ我々ノ委員會ニ付託ニナリマシタノデアリマス、後ニ又明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法中改正法律案外四件ヲ、尙ホ同一委員ニ付託サレマシテ、此十二案ヲ御引受け申シタ譯デアリマスガ、初メ日程第五、第六、第七ハ……第八ニモ及ンデ居リマスガ、此四案ハ地方團體ノ選舉、被選舉權ノ擴張ニ關スル重大ナル意義ヲ含ンデ居ル案デアリマス、其他ハ郡長島司廢止ト云フコトノ結果ニ依ッテ、條文中ノ文字ノ修正デアルノガ多イノデアリマス、次ノ五案ハ色々内容ガゴザリマスルカラ、一々ハ申上ゲ

マセスガ、多クハ郡長島司廢止ノ結果何條ニハ郡長島司ト云フ字ヲ除クトカ何トカ云フコトノ意味ノ事ガ多イノデアリマスガ、先キノ第五、第六、第七、第八ハ府縣市町村ノ議員ヲ選舉スルニ當ッテノ選舉權被選舉權ニ關係ヲスルノデアリマシテ、政府ヨリモ一應説明ガアリマシテ、四日間ニ互リマシテ質問應答シタノデアリマス、是ハナカ／＼重イコトト考ヘマシテ、委員諸君モ鄭重ニ質問ヲ致サレ、政府カラモ縷々答辯モアリマシタガ、遂ニ……其經過ハ、何レ速記録等モ御覽ニナリマセウシ、ナカ／＼是ハ長イノデアリマスカラ、是ハ述ベル煩ヲ避ケマス、質問應答ヲ終リマシテ、討論ニ這入リマシタノデアリマス、此先キニ申シマシタ通り、選舉權被選舉權ノ擴張ト云フ外ニ、郡長島司ノ廢止ト云フコトノ含ンデ居ル案ガ多イノデアリマシテ、此郡長島司ノ廢止ト云フコトニ付テハ、隨分是ハ議論ノアルコトデアリマシテ、此即チ地方制度ヲ議スルニ當ッテハ、無論論究スベキ事柄デアリ、而モ各案中ニ其事柄ニ觸レテ居ル條文ガアルノデアリマスカラ、各委員モソレニ付テノ質問ガアリマシタ、アリマシタケレドモ、案其モノガ郡長島司ヲ廢スルヤ否ヤト云フ案デハナイノデ、廢シタ結果斯クナルト云フ案デアリマシタ、中ニハ一ツダケ勅令發布ノ日ヨリ施行スルト云フ案ガゴザイマシタケレドモ、是ハ其選舉權被選舉權ニ關係スル事柄デハナイ、衆議院議員ノ選舉法ニ關係スルコトデア、他ハ皆ナ施行期限ヲ勅令ヲ以テ定メルトカ、若クハ郡長島司廢止ノ日ヨリ之ヲ施行ス、皆附則ガ附イテ居リマスカラ、愈々郡長島司ノ廢セラレマシタ後初メテ之ヲ施行サレル法律デアリマシテ、郡長島司ノ廢止ノ當、不當ハ、此委員會ニ議スルベキ限リデナイト云フコトト私共認メテ居リマス、故ニ委員諸君モ質疑應答ハアリ、其際ニ多少ノ意見ヲ漏サレマシタケレドモ、此審查ノ上ニ付テハ、其當、不當ト云フコトニハ觸レテ居ラヌモノト委員長ハ認メテ居ルノデゴザイマス、討論ニ入りマシテモ種々議論モゴザイマシテ、實ハ此今府縣制ヲ初メ、市制、町村制、北海道法ノ選舉權ヲ直ニ擴張イタシ、衆議院ノ普選ノ實行サレタ曉ハ、其通りニセネバナラスト云フ理由ハ、聊カ發見ニ苦シム、國ハ國デア、府縣ト云フ團體、市ト云フ團體、町村ト云フ團體、而モ町村ナドト云フ最下級ノ團體ニ至ッテハ、餘程事情ガ變ッテ居ルノデア、國ノ通りニ極ク單純ナル普選選舉ニスルト云フコトハ、大ニ考ヘ物デア、ト云フ意味ノ御論ガ段々出マシタ、若モ時日ガ許スナラバ、此點ニ付テハ十分審議討論ヲシテ見テ、場合ニ依ッテハ修正ヲモ加ヘタイ考モ無

イデハナイ、如何セン、ドウモ時期切迫、一方ニハ豫算案ノ審議ト云フコトガ控ヘラレテ居ッテ、此豫算案ニハ郡長島司廢止ト云フ事ハアルノデアリマスガ、之ニ別ニ顧慮スル必要ハナイ、元々委員會ハ委員會トシテ、獨立シテ決議シテ宜シイノデアリマスガ、ドウモ之ヲ今、彼此レ致シテ居ッテ……會期モ切迫シテ居ルシ、誠ニ遺憾デハアルケレドモ、先ヅ衆議院ノ廻付ノ案ヲ認メルヨリ仕方ナカラウカト思ヒマスケレドモ、是ハ如何ニモ已ム得ズ通過スルノデアルト云フコトノ言説ガアリマシタノデアリマス、次ニハ又愈々郡長島司ガ廢セラレテ、郡ノ監督ト云フモノガ無クナッテ、町村ガ直ニ府縣知事ニ直面スルト云フコトニナレバ、町村ト云フモノハ、今日ヨリモ以上ニ力ノ強イモノニナリ、一面ニ進歩發達ヲ促進セバナラヌ關係ニナッテ居ルカラ、宜シク政府ハ町村ノ併合ナドト云フ……甚ダ困難ナ問題デハアルケレドモ、町村ノ併合ナドト云フモノハ成ルベク一ツ行フコトニ注意セラレ、又町村ノ財産ノ増殖ト云フヤウナコトニ努メラレテ、此町村ニ力ヲ附ケテ町村ノ自治ガ十分ニ活動シ得ルヤウニ努メラレト云フコトガ必要デアラウ、是マデモ随分町村併合ト云フコトヲ行ナッテ府縣ハ多々アリマスガ、兎角部落有財産ナドト云フ、大字ノ有ッテ居リマス財産ナドハ、此合併町村ニ引渡スコトヲ惜ミマシテ、矢張り部落有財産ト云フモノヲ區長ナドガ管理シテ置キタイト云フノデ殘シテ居ッテ、眞ニ町村有ニ移シテ居ラス所ガ澤山アル、サウ云フコトハ宜クナイカラ、成ルベク大キイ町村ヲ造ッテ、且ツ財産等モ、府縣知事ニ直隸シテ恥シカラヌ町村ヲ作ルト云フコトガ、最も必要デアルト云フコトノ、希望の陳述ガアッタノデアリマス、又一委員カラハ、必シモ今度ノ十二案ノミニ付テ云ハレルノデハナイガ、殊ニ十二案ニ付テ感ズルノハ、斯ノ如ク政府ハ會期末期ニ當ッテ重大ナル法案ヲ出サレト云フコトハ、年々ノ議會ニ於ケル仕來リデアルヤウデアアルガ、モウ少シ早く是ハ衆議院ニ廻スベキモノハ廻シテ、衆議院ガ貴族院ニ廻ス、又或ルモノハ差支ナイ限リハ貴族院ヘモ廻シテ、必シモ衆議院ヘ是非先ニ御廻シニナラナケレバナラヌモノバカリトモ限ラナイ、差支ナイモノハ貴族院ヘモ早く御提出ニナッテ、モウ少シ我々議員ガ慎重ニ審議討論スルト云フ時間ヲ與ヘラレムコトニ、注意セラレムコトヲ大イニ希望スルト云フ言説ガアリマシタノデ、以上申シマシタ三點ニ付キマシテ、各委員皆ナ一致ノ同意デゴザイマシテ、當報告ニ於テ此事ヲ附加ヘテ議場ニ申述ベルヤウニト云フヤウナ、特別委員會一致ノ意見デアリマシタノデアリ

マス、唯今申述ベマシタヤウナ經過デハアリマスルガ、結局十二案ニ付テノ決定ハ、政府提出案ヲ、衆議院ガ多少修正サレタ箇所モゴザイマスガ、即チ衆議院ノ修正ヲ容レマシテ十二案全部原案ヲ可決スルト云フコトニ相成リマシタノデアリマス、此段御報告ヲ申上ゲマス

○小林嘉平治君 唯今委員長カラ御報告ヲ承リマシタガ、重要ナル點ニ觸レテノ御報告ナリ又御意見ヲ伺フコトノ出來ナカッタノヲ甚ダ遺憾ニ思ッテ居リマス、此自治制ノ改正案ニ付キマシテハ、選舉權並ニ被選舉權ノ擴張ト共ニ、今一ツ級別選舉ノ撤廢ト云フコトガ含マレテアルノデアリマス、私ハ此級別選舉ト云フコトハ、自治制ニ付テハ重大ナル意味ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ深ク信ジテ居ルモノデアアル、而モ此點ニ向ッテ委員會ニ如何ニ論議サレタカ、又如何ナル理由ヲ以テ同意サレタト云フコトヲ伺フコトノ出來ナンダノヲ甚ダ遺憾ニ思ッテ居リマス、其理由ヲ御示シ下サルト同時ニ、此級別選舉ハ何ガ故ニ廢止セシメナケレバナラヌカ、如何ナル實害ガアルノデアアルカト云フコトニ付テ、委員長ノ御考ヲ承リタイノデアリマス

○阪本鈺之助君 唯今ノ御尋ノ級別選舉ノコトハ、級別選舉其者ニ付テノ討論ハゴザイマセナンダ、ゴザイマセナンダケレドモ、唯今御報告申上ゲマシタ、町村等ニ於テ純然タル普通選舉ヲスルト云フコトハ尙早シト云フ議論モアリ、餘程是ハ考ヘ物デアルト云フコトヲ、各員ヨリ縷々御述ベニナリマシタ、此言葉ノ中ニハ級別ヲ廢スルナドト云フコトモ考ヘ物デアアル、早くハナイカト云フ意味ヲモ含ンデ居ルモノデナイカト委員長ハ認メテ居リマス、級別ヲ廢スルト云フコトニ付テ政府ハドウ思ッテ居ルカト云フヤウナ御質問ハゴザイマセズ、又級別ト云フ言葉ヲ用非タ言説ハ、委員會デハアリマセナンダ

○小林嘉平治君 私ハ既ニ質問ノ時機ヲ誤ッタ爲ニ、恐ラクハ私ノ意見ハ一ツノ研究ニ止マルト思フノデアリマスガ、ケレドモ是ハ重要ナル點デアルト思フノデ、重ネテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、如何ニモ今度ノ此選舉權ノ擴張ナルモノハ、所謂選舉資格ノ擴張デアリマシテ、是ハ私モ能ク承知イタシテ居リマス、併ナガラ一面ニハ此二段ニ依ッテ選舉サレタ議員ガ、其市會ナリ又特別ノ手續ヲ履メバ町村會ヲ構成スルノデアリマス、此意味カラ云ヒマス、確ニ是ハ一面選舉資格ノ擴張デアルト同時ニ、市町村會ノ組織ニ關スル問題デアアル、組立ニ關スル問題デアルト見テ宜イト思フノデアリマス、私ハ

此普通選舉案ニハ雙手ヲ舉ゲテ賛成ヲシタモノデアリマス、併ナガラ其當時
級別選舉ヲ同時ニ廢スルト云フコトニハ、絶對ニ反對ヲシタモノデアリマス、
普通選舉ト級別選舉トハ全ク別種ノモノデアリマス、前申上ゲマシタヤウニ、
私ハ組織ニ關スル、組立ニ關スル問題トシテ取扱ハナケレバナラヌト考ヘテ
居ル、從來日本ノ建築ハ松デアルトカ檜デアルトカ、杉デアルトカ、日本ノ
用材ヲ以テ建築シテ居ッタガ、近頃米材ヲ入レルコトニナリマシタ、併ナガラ
米材ヲ入レルト云フコトニ依ッテ、其組立ヲ變ヘルト云フコトハ別問題デア
ルデアリマス、斯ク私ハ考ヘテ居ル、ソレデ級別選舉ヲ廢スルト云フコトハ、
是ハ恰モ帝國議會ニ於ケル兩院制度ト同ジヤウナ意味合ヲ以テ考慮セネバ
ナラヌ問題デアル、私共普通選舉ヲ主張スルト同時ニ、兩院制度ノ愈々意味ノ深
イコトヲ痛切ニ感ジマシタノデアリマス、故ニ此市町村ノ自治體ニ於テハ、
其級別選舉ト云フモノガ非常ニ意味ノアルコトデ、見方ニ依リマシテ、此兩
院制度ノ粹ヲ拔イテ之ヲ單純化シタモノト思フコトガ出來ルノデアアル、茲ニ
考ヲ致シ、私ハ判斷スベキモノデアアルト思ヒマス、ニモ拘ラズ委員會ニ於テ
此點ニ觸レズ、何等討論モセラレナカッタト云フコトハ、私ハ非常ニ遺憾ニ存
ズルノデアアル、尙ホ級別選舉ハイケナイト云フコトノ實害ガ何處ニアルノデ
アリマスカ、郡役所廢止ノ問題ニ付テモ色々論議サレマシタ、併シ是ハ既ニ
一ツノ輿論デアッタノデアアル、私ハ必シモ永田サンノ見テ居ラシヤルヤウニ
ハ見テ居ナイ、何時此級別選舉ヲ廢セネバナラヌト云フ聲ガアリマシタカ、
何處ニサウ云フ民間ニ聲ガアッタノデアリマスカ、或ハ東京市ナドデ、一部ニ
於テハサウ云フ聲ガアッタヤウデアアル、ソレハ何デアアルカト云ヘバ、級別選舉
ノ仕方ガイケナイ、其組立ガイケナイト云フヤウナ點カラデアッタノデアアル、
其點ハ先般ノ改正ニ依ッテ、確ニ調和サレ、緩和サレテ居ルノデアリマス、私
ハ實害ノアル所ヲ認メザルノミナラズ、唯、級別選舉ニ依ッテ地方自治體ノ圓
滿ナル運用ヲ認メルノデアリマス、町村ノ實狀ニ鑑ミマスルト云フト、之
アルガ爲ニデス、階級組織ヲ明カニスルノデアアル、之アルガ爲ニ其階級ノ間ノ
緩和ヲ圖ルコトニナッテ居ルノデアリマス、又實際ノ實情ニ照シマスルト、之
アルガ爲ニ其地方ノ人物ノ配置モ工合ヨク出來テ圓滿ナル國政ノ運用ヲナシ
ツツアッタノデアアル、然ルニ近頃此町村ニ於テモ、特別ノ手續ヲ履マナケレバ
選舉ガ出來ナイ、其結果實際ハ單級デ以テ選舉サレタ結果、如何ナル實狀ニ
ナッテ居リマスカ、或ル一部ノ、ドチラカト云フト、市町村ノ負擔ニ餘リ關係

ノ少イ、餘リ多クノ負擔ヲシテ居ラス御方ニ依ッテ町村會ガ占領セラレテ、其
爲ニ自治ノ運用ニ困ッテ居ルト云フヤウナ實狀ヲ屢見ルノデアリマス、此普
選舉ト同ジヤウナ狀態ニナッタナラバ、愈々……殊ニ農村ノ、近頃ノヤウニ、
小作爭議等ガ盛ンニナッテ行ハレル結果、現ニ今申上ゲタヤウナ實狀ガアル
デアリマス、斯ク私ハ重大ナル關係ヲ持ッテ居ルモノト考ヘマスノデ、又私ハ
殊ニ委員長ハ此自治問題ニ付テ深キ造詣ト經驗ヲ有シテ居ラシヤル方デア
ル、ドウカ私ノ蒙リ御啓キ下サルコトヲ切ニ望ンデ置キマス

○阪本鈺之助君 阪本一個トシマシテハ、小林君ノ御高説ト御同感デアリマ
ス、其通りデアリマス、併シ委員會デハ唯今申上ゲタ通りノ經過デアリマ
カラ、今更ソレヲ彼此レ申上ゲル譯ニ參ラヌノハ、甚ダ遺憾ト致シマスルガ、
又町村制ノ改正ガ早イ、餘程考ヘ物デアアルト云フコトハ、無論ソレニ含ンデ
居ルノデアリマシテ、政府モ其積リデ答ヘラレタヤウニ思ヒマスガ、唯一級
ガドウトカ、二級ガドウトカ云フコトニ觸レナカッタノデアリマス、唯今御述
ベノ通り、今日ノ町村制デハ、表面カラ云フト階級ハ無イノデアリマス、必
要ナラバ其筋ノ許可ヲ得テ……認可ヲスルコトガ出來ルト云フ、少シ不自由
ナ制度ニナッテ居リマスガ、法文上ノ必要デサウナッテ居ルノデアアルト、本員
ハ承知イタシテ居リマス、是ハ誠ニ必要ナコトデアリマス、私一個トシテハ
全ク御同感デアリマスガ、ナカ／＼ソコ所デヤナイ、モットヒドク選舉權ヲ擴
張ナサル案デゴザイマスカラ、實ハ程度ガ九デ違ッテ居ルノデ、委員諸君ハ實
ハ多少呆氣ニ取ラレタヤウナ氣味ガアッタト存ジマス、遺憾ナガラ是レ以上御
答スルコトノ材料ガゴザイマセス

○小林嘉平治君 私ハ唯今ノ阪本委員長ノ答辯ヲ以テ満足イタス者デアリマ
ス、苟モ此自治ニ關スルモノナドハ……

○議長(公傳徳川家達君) 小林君ニ御尋ネ致シマスガ、質疑ノ繼續デゴザイ
マスカ、意見ヲ述ベラレルノデゴザイマスカ、ソコヲハッキリ區別ヲシテ戴キ
タイト思ヒマス、決シテ小林君ノ發言ヲ止メルノデモ何デモゴザイマセス、
質疑ナラ質疑、意見ナラ意見、追々御述ベニナッテ其後トデ、「カ」ト云フ字ヲ
御附ケニナレバ質疑ニナリマセウガ、ソレハ餘程巧ミナ爲サレ方ト考ヘマ
ス、ドチラニカ御決メヲ願ヒタイ、御意見デアアルカ質疑デアアルカ

○小林嘉平治君 私ノ今述ベムト欲スル所ハ、質疑ヲ繰返シマシタニ付キマ
シテノ結論ヲ茲デ致ス次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ御意見ノ御發表ト議長ハ認メテ宜シウゴザイマセスカ

○小林嘉平治君 然ルベク御承知ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ登壇ヲ望ミマス

○小林嘉平治君 至ッテ簡單デアリマスガ……

○議長(公爵徳川家達君) 登壇ヲ望ミマス

〔小林嘉平治君演壇ニ登ル〕

○小林嘉平治君 私ハ此壇上カラ自分ノ意見ヲ發表スルコトヲ得ルノヲ最モ光榮トシ、此場合此機會ヲ得タコトヲ非常ニ喜ブ者デアリマス、言葉ハ簡單デアリマスガ、意味ハ重大デアリマス、此自治ニ關スル問題ハ、我々ノ直接日常生活ニ深イ關係ノアル問題デアリマス、決シテ輕々ニ扱フベキモノデハアリマセヌ、殊ニ何等輿論モ聽カズ……輿論ノ聲モナイノニ、刷毛序デニ消シテシマフト云フヤウナコトガアツテハナラヌノデアリマス、私ハ必シモ外國ノ眞似ヲスル必要ヲ認メマセヌケレドモ、英國ノ如キ先進國ニ於テハ、斯ウ云フ問題ハ最モ鄭重ニ扱フノデ、先ヅ議案ヲ出ス其場合ニハ、其前カラ……二三年モ前カラソロ／＼新聞等デ發表シ、輿論ノ聲ヲ聽イテ後ニ法律案ヲ出ス、又委員モ慎重ナル態度デ之ニ臨ンデ居ルト云フコトヲ聞イテ居ル、私ハ此機會ニ斯カル重要ナル問題ハ此態度ヲ以テ臨マレムコトヲ御願ヒ致シテ置クノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 先刻阪本委員長ノ報告セラレマシタ各案一括シテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、各案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直チニ諸案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵五條爲功君 賛成イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 櫛笥子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴ

ザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵五條爲功君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 櫛笥子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十七、大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコック」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、四條侯爵ノ登壇ヲ望ミマス

大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコック」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十三日

右特別委員長

侯爵 四條隆愛

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵四條隆愛君演壇ニ登ル〕

○侯爵四條隆愛君 大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコック」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案ノ特別委員會ノ經過及結果ニ付テ御報告申上ゲマス、本案提案ノ理由ハ、過日政府委員ノ此席ニ於テ御説明ガアリマシタカラ……

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

省略イタシマス、委員會ニ於キマシテ一委員ヨリ此救恤ニ依ッテ如何ナル人ガ救恤セラレルカト云フ御質問ガゴザイマシタ、ソレニ對シテ政府委員ノ答辯ハ次ノヤウデゴザイマシタ、尼港ニ於ケル被害者ノ總數ハ六百八十四名デアリマシテ、其中ニ陸海軍軍人ガ……陸軍軍人ガ三百三十名、海軍軍人ガ四十四名、計三百七十四名デ、是等ノ人ハ軍人戰死者ト同一ノ扱ヲ受ケテ、其遺族ニ對シテハ、戰死者ノ規定ニ依ッテ扶助ヲ致シテアルノデ、大正十一年ノ救恤者ノ中ニハ是ガ含マレテ居ナイノデアリマス、從テ今回モ同様デ、本案ニ依ッテ救恤ヲ受ケル人ハ、外務省ノ官吏五名、陸軍軍屬ガ十三名、其他ノ居住民ガ二百九十二名、合計三百十名ガ實際ニ救助ヲ受ケル人デアリマス、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、尙ホ一委員ヨリ、今度ノ救助ノ百万圓以內ト云フ金高ヲ定メラレタ理由ニ付テハ質疑ガゴザイマシテ、當局ノ説明ニ依リマス、大正十一年ニ行ハレマシタ救助ハ、尼港事變ニ對シテノ救恤ハ、生命ノ損害ヲ受ケタ者ニ對シテハ、總額二十七万五千四百圓デアリマシテ、其金高ハ大人一人ニ付テ千圓、子供一人ニ付テ七百圓ト云フ割合デ計算サレテアリマス、昨年行ハレマシタ、對獨戰爭ノ損害者ニ與ヘタ救恤金ノ金額ハ、大人一人ニ付テ二千圓ト云フ高ニナツテ居リマス、デ、今度ノ此救恤ハ、ソレト均衡ヲ得サセマス爲ニ、此百万圓以內デ、大人一人ニ付テ約千圓ヅツ増シテ救恤ヲスルコトニナルノデアリマス、ト云フ答辯デゴザイマシタ、以上ノヤウナ次第デゴザイマスノデ、委員會ニ於キマシテハ慎重ニ審議ヲ重ネマシテ、適當ナリト認メマシテ、全會一致ヲ以テ之ヲ可決イタシマシタ、右御報告申上ゲマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵五條爲功君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 櫛笥子爵ヨリ直チニ第二讀會ヲ開クコトノ動議ガ出マシタ、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部問題ニ供シマス、原案通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵五條爲功君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 直チニ第三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 日程十八、十九ヲ一括シテ問題ニ供シマス、日程第十八、勞働爭議調停法案、第十九、治安警察法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

勞働爭議調停法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十四日

右特別委員長

公爵 二條 厚基

貴族院議長公爵德川家達殿

治安警察法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十四日

右特別委員長

公爵 二條 厚基

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔公爵二條厚基君演壇ニ登ル〕

○公爵二條厚基君 私ハ是ヨリ勞働爭議調停法案並治安警察法中改正案ノ特別委員ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、先ヅ第一ニ勞働爭議調停法案ノ政府ノ提出サレマシタ理由ヲ伺ヒマス、此勞働爭議ノ爲ニ多大ノ日數ヲ無益ニ消費イタシマシテ、事業主並ニ勞働者ノ非常ナル苦痛ヲ増スノデアル、此苦痛ヲ幾分タリトモ調停ヲ致シテ減少スルヤウニ致シタイト云フヤウナコトガ、其理由ノ一點デアリマス、同時ニ又ソレニ關シマシテ一般公衆ノ非常ナル損害ヲ見ルコトガ屢、アリマシテ、其意味ニ於キマシテ、矢張り其公衆ノ保護ヲスル上ニ於テ、是非調停ヲシナケレバナラヌト云フ所ノ理由ガ第二點ノヤウニ思ハレルノデアリマス、更ニ又此爭議ノ結果、動モ致シマスルト、理窟ヲ通り越シマシテ、非常ナル感情ニ走り、屢、血ヲ見ル如キ慘狀ヲ呈スルト云フヤウナコトガアルノデアッテ、是亦大イニ取締ル必要ガアルト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、是非、行政官廳ノ手ニ於テ調停ノ勞ヲ執リ、成ルベク圓滿ナル解決ヲ見タイト云フノガ、此勞働調停法案ノ主モナル理由デアアルヤウデアリマス、ソレカラ治安警察法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ伺ヒマスルト、公衆ノ日常生活ニ直接影響ヲ及ボサナイ、唯事業主ト勞働者トノ間ニ於キマシテ、私上ノ契約ノ爭デアル以上ハ、國家ガ無理ニソレニ立入ッテ干渉ヲスルト云フコトハ、最早必要ヲ認メナイ時期ニナッタノデアアル、ソレ故ニ此法案ヲ、此十七條並三十條ノ條文ヲ削除スルト云フコトガ當然デアアルト云フノガ、其削除ノ理由ノ一點デアリマス、又同時ニ此暴行脅迫ノ場合ニ於キマシテ、治安ノ上カラ申シマシテ誠ニ不都合千萬デアリマスノデ、是ハ矢張り刑法ノ刑罰法令ニ讓ッタ方ガ適當デアアルト云フヤウナコトカラ致シマシテ、其殘リノ單純ナル誘惑煽動ノ場合ニ於テハ、最早ヤ此十七條並三十條ト云フモノハ、削除ヲ致シテモ差支ナイモノデアアル、寧ロ此二箇條ノ條文ハ、一般ノ公衆カラ見マシテ、誠ニ不評判デアアル、斯ウ云フヤウナ條文ニ對シテ、殊更ニ存在シテ置クト云フコトハ、理由ノナイコトデアアルト云フコトガ、其削除ノ理由ノ二點ノヤウデアアルノデアリマス、斯様ナ風ニ政府ノ御意思ニ依リマシテ、此法案ガ提出セラレタノデアリマスガ、委員會ニ於キマシテ、各

委員カラ質疑應答ガ可ナリ有リマシタ、其大要ヲ是カラ大體御話シタイト思フノデアリマス、先ヅ第一ニ斯ウ云フ質疑ガアッタノデアリマス、此調停法案ハ勞働組合法案ト不可分ノ關係ニ立ツモノデハナイカ、ト云フ意味ノ質疑ガアッタンデアリマスガ、之ニ對シマシテ政府ハ、本案ト勞働組合法案トハ、勞働法案トシテ密接ナル關係ハアルケレドモ、不可分ナルモノデハナイト云フヤウナ御答ガアッタノデアリマス、又其次ニ治安警察法第十七條並ニ第三十條ヲ廢スル……廢シテモ、勞働爭議ノ際ニ於ケル暴行脅迫等ヲ取締ッテ、十分ニ效果ヲ得ルコトガ出來ルカト云フヤウナ御質問ガアッタノデアリマス、政府ハ之ニ對シテハ、暴行脅迫等ハ、治安警察法第十七條ヲ廢シマシテモ、刑法其他ノ刑罰法令ニ依ッテ、之ヲ十分ニ取締ルコトガ出來ル、サウシテ勞働爭議ニ付テノミ特ニ治安警察法第十七條ノ如キ規定ヲ置クト云フコトハ、適當ニアラザルヲ以テ、之ヲ廢止セムトスル旨ノ御答ガアッタノデアリマス、又次ニ小作調停法ニ付テノ御質問ガアッタンデアリマス、此小作調停法ハ主トシテ裁判所ヲ通ジテ執行セラルルモノモ拘ハラズ、勞働爭議調停法ハ行政官廳ニ於テ執行セラルルト云フノデアアルガ、斯カル差別ヲ設ケタ理由如何ト云フヤウナ御質問デアッタノデアリマス、之ニ對スル政府ノ答辯ハ、小作爭議ハ主トシテ既存ノ法律關係ノ解釋適用ニ關スルモノデアリ、結局ハ裁判所ノ手ニ依ッテ解決セラルベキモノデアリマス、勞働爭議ハ主トシテ事實上ノ爭議デアリマシテ、全ク新ナル法律關係ヲ想定スルモノガ多イノデ、又其爭議ハ各種ノ工業ニ互リ、其態様千差萬別デアリマシテ、其上ニ、其解決ハ迅速ナルヲ要スルヲ以テ、寧ロ行政上ノ手段ニ依ルコトヲ便利トスルト云フヤウナ御答ガアッタノデアリマス、其次ニ又斯ウ云フ質疑ガアッタノデアリマス、調停ノ結果ニ強制力ヲ持タシメテ、當事者ヲ拘束スルヲ可トセザト云フ質問デアリマシタ、政府ハ之ニ對シマシテ、調停ノ結果ヲ當事者ニ強制スルト云フコトニ致シマシテモ、若シ之ニ從ハザル者ガアリマシタ時ニハ、實際ニ之ヲ強制スルコトハ餘程ムヅカシイコトデアル故ニ、寧ロ調停ノ結果ヲ公表イタシマシテ、當事者ヲシテ正當ナル輿論ノ力ニ從ッテ行動セシメル方ガ、寧ロ適當ト考ヘルト云フヤウナ御答ガアッタノデアリマス、以上ノ外ニ尙ホ色ト條文ノ文句其他ニ付キマシテノ質問應答モアリマシタガ、是ハ詳細ニ涉リマスルカラ、省略ヲ致シタイト思フノデアリマス、斯様ニ致シマシテ討論ニ移リマシタノデアリマス、先ヅ金杉英五郎君ヨリ動議ガアリマシテ、本案ハ勞働

組合法ト密接ナル關係ヲ持ツテ居ルノデ、是ト共ニ審議スルヲ寧ロ適當ト認メルケレドモ、本案ノ成立ハ、我國現在ノ狀況ニ鑑ミマシテ、誠ニ緊要ナルコトデアアルノデ、衆議院ヨリ送付イタシマシタル所ノ案ノ通りデ茲ニ可決スルノガ已ムヲ得ナイコトデアラウ、ト云フヤウナコトデアッタノデアリマス

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

ソレニ付キマシテ二三ノ賛成ノ意見ヲ述ベラレタ御方モアリマシタガ、又色色希望ヲ述ベラレタ方モアッタノデアリマス、其一二ヲ序デニ申上ゲマスルト、是マデ色々政府ニ於キマシテハ、法ヲ作ルト云フノミデアッテ、誠ニ誠意ヲ以テ此法ヲ實行シテ行カナイヤウナ風ニ見エル、成ルベク是ハ法ガ出來タ以上ハ、實際上ノ運用ニ付テ遺憾ナイヤウニシテ貰ヒタイト云フヤウナ御希望ガアリ、又此本案ガ成立イタシマシタナラバ、成ルベク労働組合法モ、出來ルダケノ努力ヲ政府ニ於テ拂ハレテ、サウシテ速カニ其組合法ヲ實行サレテ、共ニ完壁ヲ期シテ貰ヒタイト云フヤウナ御希望ガアッタノデアリマス、又或ル委員ニ於キマシテハ、此労働爭議ニ於キマシテ、動モスルト暴力脅迫ノ觀念ガソレニ加ハリ易イノデアルカラシテ、十分ニソレヲ取締ッテ貰ヒタイト云フヤウナコト、又小作爭議ノ場合ニ於テモ、多ク初メヨリ無意味ノ折衷案ヲ念頭ニ置イテ處理シテ行カウトスル、是ハ誠ニ面白クナイコトデアッテ、ドコ迄モ正邪ヲ糺シ、公正ナル判斷ヲ以テ總テノ解決ヲシテ貰ヒタイ、ト云フヤウナ希望ヲ述ベラレタ方モアッタノデアリマス、要スルニ此委員會ニ於キマシテハ、最後ニ其採決ヲ採リマシタ結果、労働爭議調停法案並ニ治安警察法中改正法律案ノ二案ハ、何レモ衆議院ヨリ送付イタサレマシタ通り、満場一致ヲ以テ可決イタサレタノデアリマス、ドウゾ十分御審議ヲ得マシテ、御同意アラムコトヲ希望スルノデアリマス、之ヲ以テ報告ト致シマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發議モ無イト存ジマスカラ採決ヲ致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筥隆督君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 兩案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳筥隆督君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二十、暴力行為等處罰ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

暴力行為等處罰ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十四日

右特別委員長

西久保弘道

貴族院議長公爵德川家達殿

〔西久保弘道君演壇ニ登ル〕

○西久保弘道君 會期ガ切迫イタシテ居リマスカラ、極メテ簡單ニ要領ダケヲ申述ベタイト思ヒマス、委員ニ付託ニナリマシタノハ、暴力行為等處罰ニ關スル法律案、目下御承知ノ通り暴力團員等ガナカク、跋扈イタシテ居リマシテ、家ニ住ンデ家賃ヲ拂ハズ、飲食シテ代價ヲ拂ハズ、車馬ニ乗ッテ其代

モ拂ハヌ、實ニ良民ハ其堵ニ安シナイト云フ狀況デアリマス、昔ナラバー刀ノ下ニ切り捨テモ然ルベキ徒輩ト思フノデアリマス、私ナドカラ見マスレバ、此法案モ少シ緩イヤウニモ思フノデアリマスケレドモ、併ナガラ是デモ幾ラカスノ如キ者ヲ懲ラシメルコトガ出來ヤウト思フノデアリマス、此法律案ハ第一ニ、刑法等ニ於テ輕ク罰シテアツタモノヲ、詰リ重ク、普通ノ場合ト違ッテ、是等ノ暴力團若クハ暴力團ヲ背景トスル徒輩ノ演ジタ所ノ暴力脅迫等ハ、極メテ重ク、刑法等ニ比較シテ重ク罰スルト云フノガ第一ナンデ、中ニハ警察犯處罰令デ罰スルニ過ギナカッタモノヲ、一箇年以下ノ刑ニ處スルト云フヤウニ、比較的輕ク罰スルコトニナツタ、第二ニハ、是等ノ徒輩ハ多少法律ヲ知ッテ、法律ヲ旨ク免レルト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ル奴ガ多イノデ、多クハ親告罪ニ係ル、暴行シテモ殺傷、傷害ヲ加ヘナイ程度、ソレカラ器物ヲ壞ス、是モ親告罪、ソレカラ名譽ニ關スル事、兇ニ角被害者ノ親告ヲ要スル者ノミヲ捜シテ犯シテ居ルヤウデアリマス、所ガ被害者ハ後難ヲ恐レテ親告ハ出來ナイ、其爲ニ常ニ法ヲ免レテ居ル、此法デハデス、サウ云フモノハ親告ヲ要セスコトニナツテ居ル、大變是ハ宜イコトダラウト思フデス、第三ニハ、斯ウ云フ者ヲ利用シテ、自分ノ私法上ノ權利ヲ行使スル、又ハ政治上、之ヲ政治上ノ野心ヲ滿タス爲ニ、是等ノ徒輩ヲ利用スルト云フヤウナ者モ、同ジク罰スルコトニナツテ居リマス、餘程此法ガ實行ニナリマシタラバ、餘程良民ハ枕ヲ高ウスルコトガ出來ルコトダト思ヒマス、委員會ハ多少ノ應答質疑ハアリマシタケレドモ、別段申上ゲルコトモアリマセズ、直チニ決議ニ移リマシテ、滿場一致ヲ以テ原案通り可決イタシマシタ、此際附加ヘテ置キマスコトハ、衆議院送付……即チ原案デハ、政府ノ提出ニナツタモノトハ、多少字句ノ上ニ於テ違ッテ居リマスガ、政府當局ニ是デ差支ナイノカト質問イタシマシタ所ガ、別段差支ハ無イノミナラズ、寧ロ衆議院ノ字句ノ修正ノ方ガ、却テ都合ノ好イト云フヤウナコトデアリマシテ、衆議院送付即チ原案ヲ可決シタヤウナ譯デアリマス、此段御報告申シマス

○子爵板倉勝憲君 他ニ通告者ガナケレバ、質問シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○子爵板倉勝憲君 私ハドウカ總理大臣ノ御出席ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 板倉子爵、唯今總理大臣ニ對シテ質疑ノ御要求ガゴザイマシタガ、今總理大臣ノ出席ヲ求メツツ居リマスカラ、出席マデ暫ク

御待チヲ願ヒタイト考ヘマス

○子爵板倉勝憲君 江木司法大臣ガ居ラレマスカラ、開僚ノ一人トシテ、私ハ時間ガ迫ッテ居リマスノデ、無意味ニ待ツト云フコトデハ……

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ御登壇ヲ願ヒマス

〔子爵板倉勝憲君演壇ニ登ル〕

○子爵板倉勝憲君 時間切迫會期甚ダ迫ッテ居ル時ニ當リマシテ、私が無用ノ質問ヲスルト云フコトハ、甚ダ恐縮デゴザイマスガ、私モ此案ノ、唯今西久保弘道君カラ御報告ニナツタ此特別委員ノ一人ト致シマシテ、此議ニ列シタ者デゴザイマスカラ、一應政府ニ御質問ヲシテ置キタイト思フノデゴザイマス、實ハ内閣諸公悉ク御臨席ノ所デ申上ゲタイト實ハ考ヘテ居ッタノデゴザイマスガ、サウ云フコトハ出來マセスカラ、唯、此席ニ於テ、開僚ノ一人トシテ司法大臣ニ御尋ヲシヤウト思ッテ居リマス、私ハ此案ノ内容ニ付テハ、何等異議ノナイモノデアアル、特別委員ノ一人トシテ之ニ賛成シタ者デアアル、何等質問ヲ爲ス點ハナイノデアアル、唯私ガ政府ニ伺ヒタイノハ、果シテ此政府、現内閣ガ斯ノ如キ取締令ヲ御發案ニナル資格ガアルカ、或ハ之ヲ御實行ニナル資格ガアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、過日豫算總會ニ於テ、私ハ速記ヲ廢シテ懇談的ニ、若槻總理大臣ニ對シテ質問ヲシタノデゴザイマスルガ、其質問ノ時ニハ總理大臣モ、大ニ板倉ノ言フコトヲ諒トスルト云フ御話デアッテ、私モソレデハ満足シタノデゴザイマスルガ、其後衆議院ニ於ケル既成政黨醜態、又若槻總理大臣初メ司法大臣、文部大臣ノ如キモ、御行動ガ、私折角速記ヲ廢シテ懇談的ニ申上ゲタコトヲ、悉ク裏切ッテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ私ハ此本議會ニ於テ、モウ一遍此場合ニ質疑ヲ繰返シテ、内閣諸公ノ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 板倉子爵、板倉子爵ノ御質疑ハ、此本案ニ對スル何カ御質疑ト思ヒマシタガ、サウデアリマセス、今ノハ本案ニ何等關係ガ無イデヤゴザイマセスカ

○子爵板倉勝憲君 實行スル資格ガアルカト云フ

○議長(公爵德川家達君) ソレデハ御述ベニナツテ……

○子爵板倉勝憲君 昨日モ和田彦次郎君カラ國民ノ思想惡化ニ關スル激烈ナル御質問ガアツタ、其以前ニモ本會議ニ於テ、或ハ豫算總會ニ於テ、或ハ豫算分科會ニ於テ、危險思想、赤化思想、所謂國民ノ思想惡化ニ付テノ政府ト議

員トノ間ノ質問應答ハ屢、繰返サレタノデアル、併ナガラ是ハ外來ノ思想デア
ル、或ハ共產主義ト云ヒ、或ハ無政府主義ト云ヒ、極端ナル社會主義ト云ヒ
「マルキシズム」ト云フヤウナコトデ、是ハ外來ノ思想ガ這入ッテ來テ、其爲ニ
我ガ國民ノ思想ガ惡化シタト云フノデアル、私ノ政府ニ問ハムトスル所ハサ
ウデハナシ、國內ニ於テ國民ノ思想ヲ惡化セシムル行動ヲシテ居ル人ガ澤山
アル、其責任ハ憲政會總裁ノ若槻禮次郎君デアル、其第二ハ内閣總理大臣若
槻禮次郎君ノ責任デ、故ニ内閣諸公ガ國民ノ思想ヲ惡化セシメツツアルト私
ハ思ッテ居ル者ダ、言甚ダ奇矯ニ似テ居リマスルガ、考ヘテ見レバ、此内閣程
國民ノ思想ヲ惡化シテ居ル内閣ハナイト私ハ考ヘル、私ガ先ヅ第一ノ憲政會
ノ總裁トシテ若槻總理大臣ニ伺ヒタイ、從來ノ衆議院ニ於テ隨分我々モ見ル
ニ見兼ネタ醜態ガ演ジラレタコトハ屢、アルノデアル、併ナガラ此五十一議會
程ヒドイ醜態暴狀ヲ衆議院ニ於テ演ジテ居ル例ハナイト云フコトハ、殆ド私
ガ言フヲ要セナイ、諸君モ、否諸君ノミナラズ天下民衆モ之ヲ知ッテ居ルノ
デアル、會期以來殆ド會期ノ大半ト云フモノヲ、所謂新聞デ云フ泥試合デア
ル、或ハ田中政友會總裁ノ三百万圓事件デアルトカ、或ハ山梨半造大將ノ五
千圓買収事件デアルトカ、延イテハ機密費……陸軍機密費ノ問題デアルトカ、
或ハ松島遊廓ノ移轉ノ問題デアルトカ、或ハ憲政會ノ議員、一議員中野正剛
君ノ、露西亞カラ十万圓金ヲ貰ッタトカ貰ハナイトカ、殆ド人身攻撃デ摺ッタ揉
ンダノ揚句、遂ニ神聖ナル衆議院ヲシテ拳闘劇ノ舞臺ノヤウニシテシマッタ、
斯ノ如キ醜態ヲ演ジタト云フコトニ付テ、私ハ憲政會總裁若槻君ノ責任ヲ問
ハナケレバナラヌト思フ、此醜態ガ唯ダ一議員、或ハ政友會ニ屬スル一議員
デアアル、或ハ憲政會ニ屬スル一議員デアアル、サウ云フ一議員ノ人ガ昂奮の、
發作的の、議場デワット言ッテ、議場ノ群衆心理ニ驅ラレテ、サウシテ或ハ馬
鹿ト言ッタカラ問拔ケト答ヘタトカ、或ハ金ヲ取ッタト言ッタカラ貴様モ取ッ
タラウト言ッタト云フヤウナ、發作的ノ行動トスレバ、是ハ此點ニ於テハ、私ハ
政黨政派ノ首領ヲ答メルト云フコトハ出來ナイト思ヒマスルガ、先頃カラ衆
議院ニ於テ演ジテ居ル醜態ハ、悉ク幹部、有力者ト云フ者ガ集マッテ、計畫的
ニ、畫策的ニ斯ウ云フコトヲシテ、向ウノ敵黨ヲ苦メテヤラウ、斯ウ云フコ
トヲシテ敵黨ヲ陷レテヤラウ、斯ウ云フ風ナコトデアアル、是ハ個人ノ發作的
仕事デナイ、過日私ハ衆議院デチヨット聞キマシタガ、若槻憲政會總裁ガ政友
會ノ誰カノ質問ニ答ヘテ言ハルルニハ、是ハ憲政會ノ……

○議長(公爵徳川家達君) 決シテ板倉子爵ノ質疑ヲ爲サルコトヲ議長ハ御妨
グ申スノデハアリマセヌガ、今ノ板倉子爵ノ述ベラレマスノハ、寧ロ緊急質疑
トカ云フ名ニ於テ特ニ發言ヲ求メラレタ方ガ適當デアリマスマイカ、本案
ニハ餘リ關係ハナイト考ヘマス、此本案ノ第一讀會ニ於テハ、本案ニ最モ關
係ノアル問題ニ付テ質疑セラレルコトヲ望ムノデアリマス、今板倉子爵ノ述
ベラレタヤウナ事柄ハ、決シテ私ハ御質問ヲナスッテ惡イトハ申シマセヌ、
ソレハ他ノ機會ニ於テ緊急質疑ヲ致シタイカラ要求スルト云フコトナラバ、
決シテ差支アリマセヌ、一應ノ考慮ヲ煩ハシタイト考ヘマス

○子爵板倉勝憲君 更ニ他ノ機會ニ申シマス

○議長(公爵徳川家達君) 決シテ御止メハ致シマセヌ……

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ發言モナイト考ヘマスカラ、採決ヲ致シマス、
本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマ
ス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴ
ザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマ
ス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、休憩ヲ致シマス、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス

午後零時二分休憩

午後一時五十五分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

本日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵 松平 賴壽君 副委員長 男爵 坂本 俊篤君

特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵 大河内 輝耕君 副委員長 石塚 英藏君

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

都市計畫法中改正法律案可決報告書

土地賃貸價格調査法案可決報告書

海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案可決報告書

特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案可決報告書

舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案可決報告書

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

製鐵業獎勵法改正法律案可決報告書

製鐵所特別會計法案可決報告書

大正九年法律第五十三號中改正法律案可決報告書

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正十三年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十四年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

臨時軍事費特別會計豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

自大正六年二月二十六日 至大正九年六月二十五日 臨時軍事費特別會計豫備費外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第二十一、大正十三年法律第十號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

大正十三年法律第十號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十四日

右特別委員長

子爵 本多 忠 鋒

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵本多忠鋒君演壇ニ登ル〕

○子爵本多忠鋒君 大正十三年法律第十號中改正法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ハ昨二十四日開會イタシマシテ慎重ニ審議ヲ致シマシタ、先ヅ此案ニ付キマシテ政府當局ヨリノ御説明ヲ伺ヒ、質疑應答ヲ重ネマシタル後ニ、討議ニ移リマシタ所ガ、委員ノ諸君ヨリ原案賛成

ノ御意見ヲ御陳述ニナリマシタ、而シテ採決ノ結果、全會一致ヲ以テ可決ト相成リマシタ、右御報告申上ゲマス
○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際諸君ニ御諮リヲ致シマス、此際議事日程ヲ變更イタシマシテ、書記官ヲシテ報告イタサセマシタ、衆議院ヨリ送付セラレ

マシタ、大正十三年度豫備金支出ノ件外七件承諾ヲ求ムル件ノ會議ヲ開キタク考ヘマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

大正十三年度第一豫備金支出ノ件

大正十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件

大正十四年度第二豫備金支出ノ件

大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件

大正十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

臨時軍事費特別會計豫備費支出ノ件

自大正六年二月二十六日
至大正九年六月二十五日
臨時軍事費特別會計豫備費外ニ於テ豫算超過支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十五年三月二十五日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔政府委員武内作平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武内作平君) 大正十三年度一般會計第一豫備金支出外七件ニ關スル事後承諾案ニ付キ簡單ニ説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、大正十三年度一般會計第一豫備金ノ豫算額ハ六百萬圓デアリマシテ、大正十三年勅令第三百三十八號ニ據リ第一豫備金ヨリ補充イタシマシタル主ナル事項ハ外務省所管在勤俸、衛生試驗所阿片費、諸拂戻及補填金、家畜傳染病豫防費等デアリマシテ、何レモ必要缺クベカラザル豫算ノ不足ニ對シ流用シタモノデアリマス、而シテ其總額ハ五百九十四萬六千五百四十八圓デアリマス、又朝鮮總督府其他ノ特別會計ニ於キマシテモ、ソレゾレ其第一豫備金ヲ以テ豫算超過ノ支出ヲ爲シタルモノガアリマス、次ニ大正十四年度ニ於ケル一般會計第二豫備金ノ豫算額ハ八百萬圓デアリマシテ、支那事件費、山陰地方震災復舊貸付金、

樺太廳臨時經費補充金、米國獨立百五十年記念萬國博覽會參同費、其他各省所轄ニ互ル震災、火災、風水害等ニ依ル復舊及應急諸費等ノ緊急已ムヲ得ザル費途ニ對シ第二豫備金ヲ以テ豫算外ノ支出ヲ爲シタル總額ハ八百万圓デアリマス、一般會計第二豫備金豫算拂切トナリ、追加豫算ノ成立ヲ俟ツ能ハザルガタメ、政府ハ已ムヲ得ズ歲計剩餘金ヲ以テ豫算外ノ支出ヲ爲シタルモノガアリマス、其事項ノ主ナルモノハ支那關稅特別會議參列費、支那事件費、臨時畜牛傳染病豫防費、震災、火災、風水害ニ依ル復舊費等デアリマシテ、其總額ハ五百四十三万八千七百七十三圓デアリマス、尙ホ各特別會計ニ於キマシテモ第二豫備金及豫備金外ニ於テ其歲計剩餘金、或ハ歲入金ヲ以テ豫算外ノ支出ヲ爲シタルモノガアリマスガ、玆ニハ其説明ヲ省略イタシマス、又大正十三年臨時事件ニ關スル臨時軍事費特別會計豫備費ノ當初豫算額ハ二千万圓、第一次追加豫算額ハ三千万圓、第二次追加豫算額ハ一千万圓、合計六千万圓デアリマス、臨時軍事費ノ款項ニ於テ豫算ニ不足ヲ告ゲタルガタメ豫備費ヨリ豫算超過ノ支出ヲ爲シタル總額ハ五千六百八十一万七千九百十六圓デアリマス、臨時軍事費特別會計豫備費豫算成立前及其拂切後ニ於テ同特別會計ノ歲入金ヲ以テ豫算超過ノ支出ヲ爲シタル總額ハ一億三千六百八十万六千十六圓デアリマス、臨時軍事費ハ大正三年以後大正十四年四月一日之ヲ閉鎖廢止スルニ至ルマデ一會計年度デアリマス、而シテ其豫備費支出及豫算超過支出、何レモ現行會計法施行前ニ屬シマスルタメ兩者共ニ其年度經過後、玆ニ合シテ事後承諾案ヲ提出シタル次第デアリマス、御審議ノ上、承諾ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ質疑モ無イト認メマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

大正十三年度第一豫備金支出ノ件外七件(承諾ヲ求ムル件)特別委員

侯爵 佐佐木 行 忠君 伯爵 酒井 忠 克君 子爵 八條 隆 正君

大島 健一君 志 佐 勝君 岡 喜七郎君

男爵 岩倉 道 俱君 土田 萬 助君 五十嵐 甚 藏君

○議長(公爵德川家達君) 會期切迫ノ折柄願ハクハ唯今指名イタシマシタ特別委員ニ於テハ、速ニ正副委員長ノ選舉アラムコトヲ望ミマス

○子爵前田利定君 私ハ此際緊急動議ヲ提出イタシマシテ、議事日程ヲ變更シ、舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案、土地賃貸價格調查法案、竝ニ都市計畫法中改正法律案ノ三案ヲ日程ニ上ボシ、議事ヲ進メラレムコトヲ望ミマス

○子爵西大路吉光君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 前田子爵ノ議事日程變更ノ動議ニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、舊慣ニ依リ永小作權者ガ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案ハ、衆議院案デゴザイマスカラ、一應政府ノ同意ヲ求メマス……政府ノ同意ヲ得マシタ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ都市計畫法中改正法律案外二件ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、前田子爵

都市計畫法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十五日

右特別委員長

子爵 前田 利 定

貴族院議長公爵德川家達殿

土地賃貸價格調查法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十五日

右特別委員長

子爵 前田 利 定

貴族院議長公爵德川家達殿

舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル

法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十五日

右特別委員長

子爵 前田 利定

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵前田利定君演壇ニ登ル〕

○子爵前田利定君 第一ニ都市計畫法中改正法律案ノ委員會ニ於ケル審議ノ模様ヲ御報告申上ゲマス、本委員會ハ昨日本案ニ對シマシテ審議ヲ致シマシタ、本案ノ提出ノ理由ハ皆様モ既ニ御承知ノコトトハ思ヒマスルガ、即チ地租條例中ノ改正ガゴザイマシタ結果、都市計畫法中ニ、第八條ニ於キマシテ改正ヲ必要トシタ所以デアリマス、即チ地租條例ノ改正ニ於キマシテ、自作農者ガ田畑ヲ、地價二百圓以内デアリマシタ場合ニハ、其地租ヲ免除スルト云フコトニ今回ナルノデアリマス故ニ、ソレ等ノ免租地ニ對シマシテハ、特別地稅ヲ課稅ヲシャウト云フノガ、本案提出ノ趣旨ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ特別地稅ノ額ハ、地租割ノ限度ヲ超エナイ範圍ニ於テ課スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、本案審議ニ際シマシテ、一委員ヨリ質問ガ出マシテ、其質問ハ、昨年デアッタカ貴族院ノ本議場ニ於テ、議員ヨリ希望シテ、土地ノ増價稅ヲ課シタラ宜カラウ、何カサウ云フ法律案ヲ出シテ、土地ガ騰貴シテ價格ガ上ツタ場合ニハ、土地増價稅ト云フヤウナモノヲ制定シテハ如何デアアルカト云フヤウナ希望ヲ附シタコトガアッタガ、政府ニ於テハ、其邊ニ付テ考慮シテ居ルカドウカ、斯ウ云フ質問ガゴザイマシテ、ソレニ對シマシテ政府委員ハ、其邊ノコトモ深く考慮イタシタノデアアル、致シタノデアアルガ、今回其法律ヲ制定スル迄ニ順序ガ運ンデ居ラナカッタ、故ニ兎モ角モ此免租地ニ對シテハ、特別地稅ヲ課スルコトニ致シタノデアアル、併シ將來ソレニ代ル、ヨリ好キ財源ヲ篤ト考慮スル考デアルト云フ答ガアリマシタ、其他別ニ質疑モ應答モゴザイマセズデ、表決ニ這入リマシタ所ガ、一委員ハ、自分ハ此案ニハ賛成ヲ致スガ、政府ノ方ニ於テモ是ヨリモヨリ以上ノ財源ヲ能ク考慮サレタイ、其財源ヲ發見サレタナラバ、此財源ハ好イ方ノ財源ニ乗替ヘテ貰ヒタイ、何分大帝都ノマン中ニアルヤウナ、日本橋ト云フヤウナ都市

ノ計畫ノコトニ付テ、遠隔ナル土地ニマデ特別地稅ヲ掛ケルト云フコトハ、甚ダ如何カトモ考ヘル節モアルカラ、好キ財源ヲ發見サレタナラバ、其點ニ付テ深く考慮シテ貰ヒタイト云フヤウナ意味合ヲ以テマシテ、本案ヲ賛成サレタ方ガアッタノデアリマス、其他ニハ何等意見ノ提出モナク、全會一致ヲ以テ本案ハ可決サレタ次第デアリマス、次ニ土地賃賃價格調査法案、此審議ノ經過結果ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、是モ昨日開會イタシマシテ審議ヲ致シタノデアリマス、是モ既ニ皆様ガ御了知ノ通りニ、地租條令中、改正サレマシタ結果ト致シマシテ、將來ノ地租ニ付キマシテ、即チ其土地ノ賃賃價格ヲ本ト致シマシテ課稅ヲスルト云フコトニナリマシタ關係上、全國ニ互リマシテ田畑宅地ノ賃賃價格ヲ一様ニ調査スルノ必要ガ生ジタノデアリマス、其必要ヨリ此法案ヲ要スルト云フ次第デアアルノデアリマス、本案ノ審議ニ際シマシテ委員ノ一人ハ、此法案ヲ見ルト云フト、何分立法事項ト認ムベキモノガ無イヤウデアアル、何ラ拘束ヲスルヤウナ事柄ガ少シモ掲ゲテ居ラナイ、政府ガ賃賃……土地ノ賃賃價格ヲ調査スル方針ヲ茲ニ宣言ヲシタト云フヨリ以上、何等ノモノモ無イヤウニ見エル、是ハ豫算ヲ遂行ガ出來ルデハナイカ、別段ニ斯様ナ法律案ヲ出ス要モナイヤウデアアルト云フ質問ニ對シマシテ、政府委員ハ、決シテ此法案ハ宣言トハ考ヘテ居ラナイ、即チ土地ノ賃賃價格ヲ調査スル爲ニ、此法案ニ依ツテ、第四條ニモ掲ゲテアル通りニ、賃賃價格ノ調査委員會ト云フモノヲ組織シテ、サウシテ稅務署デ以テ調べタ所ノ材料ヲ其議ニ付シテ決定スルト云フ規定モアル位ナ話デアッテ、決シテ政府ガ專横ニ、專斷ニ價格ヲ決メルト云フノデハナイ、即チ第四條ニ明記シテアル如クニ、調査會ノ議ニ付シテ決定スルト云フ事柄デアアルノデ、立法事項ガ少イカラ、左様ナ御疑ガ起ルノデアリマスケレドモ、立法事項ガ決シテ無イ譯チヤナイ、而シテ此法律ノ次ニ、此第四條ニ定メタル所ノ法律ガ後ニ出テ來ルト云フコトニ依ツテ、相俟ツテ共ニ茲ニ完成ヲスル次第デアアルノデ、此法律案ハ後ニ出來ル法律ノ第一階段トモ稱スベキ法律案デアアルノデアリマス、ダカラ、矢張り立法事項ヲ含ンデ居ルモノト認メルト、斯ウ云フヤウナ答辯デアリマシテ、此立法上ノ疑義ニ付テノ押問答ガ再三再四繰返サレタノデアリマス、又或ル一委員ハ、土地ノ賃賃價格ヲ調査スルト云フガ、實際ニ於テハ非常ニ困難ナコトデハナイカト云フヤウナ質問ニ對シマシテ、政府委員ハ勿論ハ困難ノコトデハアル、アルガ土地ニ付テハ既ニ大正七年ヨリ九年ニ互ツテ一應調べタ材料ガ稅務署ニ存シテ

居ル、又宅地ニ付テハ、明治四十三年ニ地價修正ヲヤッタ時ノ材料ガ存シテ居ル、是等ノモノヲ土臺トシテ、其變化シテ居ル所ノモノヲ取變ヘテ行クト云フコトデアレバ、困難ニハ違ヒナイケレドモ、調査ハ可能デアル、斯ウ云フ答デアリマシタ、ソレ等ガ本案ノ審議ニ際シテ現レマシタ重要ナモノデアリマシテ、其他ハ玆ニ申上ゲル程デモナイト考ヘテ居リマス、サテ討議ニ入リマシタ所ガ、一委員ハ、本案ハ通觀ヲシテ見ルト云フト、何分トモ立法事項ガ含シテ居ラヌヤウニ思フ、是ダケノ法律デハ何等ノ働キハシナイノデアルガ、第四條ニ定メテアル所ノ法律ガ出現スルニ依ッテ、初メテ此法律ノ其效力ガ發生スルト云フヤウナ次第デアッテ、ドウモ自分ノ見ル所ニ依ルト云フト、唯調査ノ方針ヲ聲明シタトシカ受取レヌノデアアル、殊ニ第三條ナドニ付テ政府委員ニ質問シテモ、政府委員ノ答辯スル所デハ、尙ホ未ダ十分ニ安心ガ出來スト思フ、何分此法律案ダケデハ、不十分、不完全ノモノデアアル、アルガ此四條ニ決メテアル所ノ、即チ此法律案デ以テ調査ハ進行シテモ、其調査ノ結果ヲ採用スルカ、或ハ取リ捨テルカト云フコトニ付テハ、第四條ニ定メテアル所ノ、此法律ニ依ッテ決定ガ得ラレルト云フコトデアッテ、而モ此法律案ハ、後ニ貴族院ニモ其法律案ガ提出サレル筈デアルカラ、其法律案ノ現出ヲ待ッテ、十分ニソレ等ノ點ニ付テハ考究スルコトガ出來ルカラ、暫ク本案ハ賛成シテ、通過サシタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フヤウナ、已ムヲ得ズ賛成スルト云フヤウナ論旨デ賛成サレタ方ガ有ッタノデアリマス、又一委員ハ此土地ノ價格ヲ決メルノニ當ッテ、大キナ區域デナク、土地ノ狀況ニ依ッテハ、小サナ區域ニ依ッテ賃賃價格ヲバ決定スルト云フコトデアルカラ、自分ハ此政府ノ聲明ヲ信ジテ、此法案ヲ賛成スルノデアアル、斯ウ云フヤウナ賛成ノ御意見モ有ッタノデアリマス、其他何等ノ御意見モゴザイマセヌデ、表決イタシマシタ所ガ、全會一致ヲ以テ本案ヲ可決議シイタシタ次第デアリマス、尙ホ一ツノ、舊慣ニ依リ永小作權者ガ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案、是ハ先頃所得稅法中改正法律案外二十一件ノ審查ヲバ御委託ニナリマシタ後、幾何モナクシテ此案モ本委員會ニ御付託ニナッタモノデアリマス、此案ノ提出ノ趣旨ハ、是ハ衆議院ガ提出イタシマシタノデアリマスガ、此趣旨ハ、是亦地租條例ノ改正ニ關聯ヲ致シテ居リマスノデアリマシテ、地租條例ニ於キマシテハ、今回自作農ガ其有スル所ノ田畑ノ地價二百圓以内ノ場合ニ於キマシテハ、其地租ヲ免除スルト云フコトニナルノデアリマス、即チ免稅點ガ二百圓ニナ

リマシタ結果ト致シマシテ、小作ニ付シテ居ナイ自作スル所ノ農田ニ於キマシテハ、二百圓未滿ノ地價ノモノニ對シテハ、免稅ヲスルト云フコトニナッタノデアリマス、ソレニ關聯イタシマシテ、民法施行以前ヨリ永小作權者トシテ、所有者ニ代リマシテ其土地ノ納稅ノ義務ヲ爲スベク約束ヲ致シマシテ、耕作シテ居リマス所ノ田畑ニ對シテハ、同様ニ、所有者ガ……、二百圓未滿ノ田畑ヲ持ッテ居ッテ所有者ガ免稅セラレル其特典ヲ、矢張り斯様ナル永小作權者ニ均霑サセヤウ、サセテヤリタイ、斯ウ云フ意味ノ法律案デアアルノデアリマス、政府委員ノ質疑ノ際ニ、委員ヨリノ質問ニ對シテ御答ニナッテ居ル所ヲ見マスト云フト、全國ニ於キマシテ此法案ガ適用サレル所ノ田畑ハ、二千四百二十四町步デアリマシテ、其金高ハ五萬六千圓デアアルサウデアリマス、尤モ此五萬六千圓ノ稅額ノ中デ、自作農デ二百圓未滿ノ地價ノ田畑ト云フ此條件ヲ以テ當嵌メテ參リマスレバ、五萬六千圓ヨリモ下リマシテ、大凡二萬圓見當デアラウト云フ政府委員ノ答デアリマシタ、而シテ此法案ニ付キマシテ討議ニ入リマス前ニ、或ル委員ノ質問ハ、此法案ヲ見ルト云フト、永小作權者ガ……、斯様々々ノ約束ヲシテ居ッテ永小作權者ハ所有者ト看做スト云フ規定ハアルケレドモ、單ニソレダケデ以テ此免租ノ均霑ヲ得ラレルノデアラウカドウデアラウカ、ドコマデモ土地臺帳ニハ田畑ノ所有者ガ納稅者トシテ掲ゲテアルノデアアル、唯其稅額ヲノミ永小作權者ガ負擔シテ居ルノデアアルカラシテ、永小作權者ガ此法律ニ依ッテ所有者ト看做サレテモ、直チニソレガ納稅者ト云フコトニハ相成ルマイ、納稅者ハ……、納稅義務者ハドコマデモ所有者デアアルノデ、永小作權者デハナイノデアアル、デアアルカラ所有者ト看做サレタト云フ爲ニ、一足飛ビニ納稅者トナリ、從テ地租條例改正案ニ關聯シテ、ソレガ免稅サレルト云フコトニハナルマイヤウニ法理上思フ、斯ウ云フ質問ニ對シマシテ政府委員ハ、宛ニモ角ニモ土地ノ所有者ニ代ッテ納稅ヲシテ居ッタ所ノ永小作權者ガ、所有者同様ニ看做サレルト云フコトニナルンデアアル、其所有者ト云フノハ、二百圓未滿ノ田畑ノ所有者デ、今回ノ改正ニ依ッテ免稅サレル其所有者ニ看做サレルト云フコトデアルカラ、結局此永小作權者ハ、所有者ニ看做サレルト云フコトヲ以テ、納稅義務ガ免除サレルト云フ效果ガ出テ來ルモノト思フ、斯ウ云フ答辯デアリマシタガ、此法制ノコトニ付キマシテ再三押問答等ガアッタノデアリマス、愈々討議ニ入リマシテ、或ル一委員ハ、此法律ハ誠ニ不備デアアル、又其實質ニ付テモ疑點ハアルケレドモ、宛モ角今回

地租條例ノ改正ニ依ッテ二百圓未満ノ地價ヲ有ッテ居ル所ノ……田畑ヲ有ッテ居ル所ノ者ガ免稅ニナルト云フ次第デアアルカラ、ソレトノ權衡上、斯様ナル永小作權者ニ對シテモ、同一ノ條件ニ依ルヤウナモノデアアルナラバ、免稅ヲシテヤルト云フコトガ、權衡上穩當デアアルト思フカラ、先ヅ此案ヲ通過サセテモ宜カラウト思フ、殊ニ此案ニ付テハ、衆議院方面ニ於テ非常ニ熱心ナル主張モアルト云フコトデアアルカラ、我々ハ其熱心ニ同情ヲシテ、此案ヲ通過サセタ方ガ宜カラウト思フ、斯ウ云フヤウナ賛成ノ意見ガアリマシタ、其他何ラ意見ノ提出ガゴザイマセズデ、採決ニ入ルニ及ビマシテ、全會一致ヲ以テ本案モ可決議了ヲ致シマシタ次第デアリマス、右三案ヲ束ネテ御報告イタシマス

○小林嘉平治君 此機會ニ自作農トノ關係ニ付キマシテ御伺ヒシテ置クト云フコトガ極ク適當デアラウト思ヒマスノデ、會期切迫ノ折ニモ拘リマセズ、政府ノ御意見ヲ伺ッテ置クノデアリマスガ、此自作農ナルモノハ、元來自作農トシテドレダケノ土地ヲ耕スベキカト云フ、其廣サニ依ッテ定メルト云フコトガ原則デナケレバナラスト思フノデアリマス、現ニ簡易保險ノ御金デ以テ貸シテ居ル、アノ低利資金ナドモ、又各府縣ニ於テ行ウテ居ル、自作農創定ニ關スル貸付資金ナドモ、大體町歩ト云フモノガ原則ニナッテ居ルノデアリマス、地價ヲ以テ定メテ居ル所ハ餘リ無イヤウニ承知ヲ致シテ居リマスガ、併シ政府ガ今度二百圓ト云フ地價ヲ以テ御定メニナッタト云フコトハ、色々徵稅技術上ノコトナドカラ出テ居リマシテ、幾ラカ是ハ已ムヲ得スコトデアアルト私共ハ了承イタシテ居ルノデアリマスガ、然ルニ今茲ニ土地賃賃價格ニ依ッテ、愈々此地租ヲ定メルト云フコトニナリマス、直グニ問題ハ唯今申上ゲテ來タ問題ニ觸レテ來ルノデアリマス、又今ノ永小作權ニ關スル問題ニモ直チニ觸レテ參ルノデアリマス、デアリマスカラシテ、私共ハ今二年バカリノ間ノコトデアリマスカラシテ、此度御定メニナリマシタ地價二百圓ト云フコトデ已ムヲ得スコト心得マスガ、愈々此政府ノ提案デアアル所ノ此土地賃賃價格ニ依ッテ地租ヲ定メルト云フコトニナッタ場合ニハ、必ズ今申上ゲマシタ點ニ付テ考慮下サルコトト私ハ深く信ジテ居ルノデアリマスガ、政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ

〔政府委員黒田英雄君演壇ニ登ル〕

○政府委員(黒田英雄君) 地租條例ノ改正ニ於キマシテ、田畑地價二百圓未

滿ノモノデアッテ小作ニ付セナイモノハ、其地租ヲ免除スルト云フコトニ定メマシタノハ、先般御説明申上ゲマシタ通り、大體今日ノ地價ニ依ッテ見マスト云フト、田ガ全國平均ガ三十四圓二十九錢ニ相成ッテ居リマス、又畑ガ全國ノ平均ガ八圓四十一錢ニ相成ッテ居ルノデアリマスガ、是等カラ見マスト云フト大體田畑合セ有シテ居リマス、大凡一町歩位ノモノニ當ルノデアリマス、ソレ等ノ田畑ヲ所有シテ、而モ自ラ……小作ニ付セナイデ耕作ヲシテ居ルト云フ風ナモノニ付キマシテハ、之ヲ免除シテ、其自作ヲ獎勵スルト云フコトガ適當デアラウト云フ見地カラ致シマシテ、地價二百圓未満ト定メマシタ次第デアリマス、從テ此賃賃價格調査法ニ基キマシテ、田畑ノ賃賃價格ヲ調査イタシマシタ曉ニ於キマシテモ、矢張り大體今日ノ地價二百圓未満ノモノガ免租サレテ居リマスルヤウナ程度ニ於キマシテ、即チ今回ノ地租條例ノ改正ニ依リマシテ、免租セラルベキヤウナモノハ、矢張り免租サレマスルヤウニ、適當ナ賃賃價格ニ依リマシテ其限度ヲ定メル積リデアリマス、即チ今回ノ改正ノ趣旨ガ賃賃價格ニ改マリマシテモ、矢張り同ジャウニ貫徹スルヤウニ定メタイ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

○小林嘉平治君 先刻政府委員ノ御答辯ニ依リマス、矢張り賃賃價格ニ依ルト云フコトデアリマスガ、此物價ニ付テ見レバ、私ハ斷言ハ能ウ致シマセヌガ、或ハ都市ニ近イ所トカ、或ハ都市ヲ隔ッタ所トデ、田畑ノ上ニ大變ニ違ヒガ出ハセヌカト心配イタスノデアリマス、先刻ノ政府委員ノ御話ノ中ニモ、矢張り一町ト云フコトヲ標準ニスルト云フコトヲ仰シヤッテ居リマス、現ニ今政府カラ御貸出シニナッテ居ル、アノ簡易保險ノ積立金ニ依ッテ貸出シテ居レル低利資金モ、一町歩ト云フコトヲ唱ヘテ居ラシタルノデアリマス、ドウカ、マダ二年間ガアルコトデアリマスカラシテ、愈々實行ノ場合ニハ切ニ御考慮ヲ望ンデ置キマス

○議長(公卿徳川家達君) 三案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公卿徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○議長(公卿徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 三案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 全部第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際諸君ニ御諮リ致シタイコトガゴザイマス、先刻、書記官ヲシテ報告セシメマシタ如ク、委員長ヨリ委員會ノ經過ヲ報告セラレマシタカラ、此際議事日程ヲ變更イタシマシテ、製鐵業獎勵法改正法律案、製鐵所特別會計法案、大正九年法律第五十三號中改正法律案、海軍軍艦制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案、特別都市計畫法第五條ノ都市區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案、各案ノ第一讀會ノ續ヲ開キタイト考ヘマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 製鐵業獎勵法改正法律案外二件ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、副委員長斯波男爵

製鐵業獎勵法改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十五日

右特別委員副委員長

男爵 斯波忠三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

製鐵所特別會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十五日

右特別委員副委員長

男爵 斯波忠三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正九年法律第五十三號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十五日

右特別委員副委員長

男爵 斯波忠三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵斯波忠三郎君演壇ニ登ル〕

○男爵斯波忠三郎君 唯今議題トナリマシタル製鐵業獎勵法改正法律案、製鐵所特別會計法案、大正九年法律第五十三號中改正法律案、此三案ノ委員會ニ於ケル經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、製鐵業獎勵法改正法律案カラ申述ベマス、本案ニ付キマシテノ御説明ハ、本議場ニ於キマシテ政府當局ヨリ既ニ御説明ニナツテ居リマスルト同趣旨ノ御説明ガ、委員會ニ於テモゴザイマシタクレドモ、是ハ便宜上省略イタシマス、質問ノ要旨並ニ討議ノ狀況ヲ御報告イタシマス、質問ト致シマシテハ澤山ゴザイマシタ、技術上、其他細微ナ點ニ涉リマシテ、委員ト政府當局トノ間ニ質問應答ガ重ネラレタノデアリマ

ス、但シ茲デ御報告申上ゲマスルコトハ、其中ニ於キマシテ最も重要ナモノ
デアリ、又概括的ナモノダケヲ茲ニ申述ベルコトト致シマス、質問ノ中デ或
ル委員カラハ、今後、本案ノ趣旨ニ基イテ、所謂政府當局ノ企圖セラレテ居
ルガ如キ一貫的ノ製鐵事業ニ對シテ、之ヲ助成スルコトニ付テ、聊カ遺憾ナ
點ガ無キニシモアラヌヤウニ思フト云フ御質問ガアッタノデアリマス、尙ホ之
ヲ敷衍シテ申上ゲレバ、政府ノ此案ハ銑鐵ヨリ製鋼ニ至ル迄ノ間、一貫的作
業ヲ營ムモノヲ、主トシテ獎勵スルト云フ趣旨ニ出來テ居ルノデアアルガ、ソ
レト致シテハ少シク矛盾スルヤウナ點ガ無キニシモアラヌヤウデアアル、元來、
本案ノ案出サレタ理由ハ、鋼材ハ……製鋼ノ方ハ、即チ「スティール」ノ方ハ
關稅ニ依ッテ今回保護セラレタノデアアルケレドモ、銑鐵ノ方ハ關稅ガ現行稅据
置トナッタ結果、銑鐵ニ對シテ保護ヲ與ヘルト云フコトガ本獎勵案ノ趣旨デア
ルヤウニモ思フノデアアル、然ルニ本案ノ趣旨トシテハ、一貫的ノ製鐵業ヲ營
ム者ヲ獎勵助長スルト云フノデアアルト云フト、此間ニ大イナル矛盾ガアルヤ
ウニモ思ハレルガ、其點ハ如何デアアルカ、斯ウ云フ御質問ガアッタノデアリマ
ス、極ク概括的ノ御質問トシテハ、サウ云フノガアッタノデアリマス、之ニ對
シマシテ政府當局ノ御説明ハ、此趣旨ニ基イテ、成ルベク一貫的ニ製鐵業ヲ
營ム者ヲ獎勵助長セシムルヤウ、設備等ヲ完成セシムルコトヲ十分努力スル
積リデアアル、而シテ銑鐵ニ對シテハ、尙ホ後トデ申上ゲマスルケレドモ、助
成金ノ額ガ割合ニ低イ嫌ガアルケレドモ、銑鐵ノ鑄物等ニ對スル市價ハ、比
較的製鋼用其モノニ對シテ一般ニ高イノデアアルカラ、此法律ニ從ッテ、將來施
行スル所ノ勅令ニ依ッテ、其率ヲ然ルベク鹽梅ヲスル考デアルト云フヤウナ御
答辯デアリマシタ、聊カ遺憾ナ點ハナキニシモアラヌケレドモ、今日ノ場合
是ヨリ外ニ良イ策ガナイト思フ、本案ヲ作成スルニ付テモ多大ノ苦心ヲシタ
ト云フ御答辯デアリマシタ、ソレカラ本案第八條ニアリマス、命令ノ定ム
ル所ニ依ッテ獎勵金ヲ交付スルト云フコトハ、從來ノ製鐵獎勵法ト大ニ異ナッ
テ居ル點デアアル、此點ニ付キマシテ一委員ヨリ御質問ガアッタノデアリマス、
如何ナル程度ニ於テ獎勵金ヲ交付スルノデアアルカ、又如何ナル方法ニ依ルノ
デアアルカ、ト云フ質問デアッタノデアリマス、其答辯ニハ、一般的ノ製鐵業ヲ
營ム工場ニ於テハ、即チ鑄石ヨリ銑鐵ヲ造ル、一般ニ直チニ熱シタ儘之ヲ製
鋼ニ致ス場合ニ於テハ、銑鐵一噸ニ付キ六圓、尙ホ異ナッタ一ツノ會社ニ於
テ造ッタ銑鐵ヲバ他ノ會社ニ廻シマシテ、他ノ會社ニ於テ直チニ之ガ作業ニ先

ダッテ製鋼ヲスル、鋼ヲ造ル、鋼材ヲ造ルト云フ繼續的作業ノ場合ニ於テハ、
矢張り之ニ準ジマシテ一噸六圓ヲ支給スル積リデアアル、一ツノ會社ニ於テ銑
鐵、製鋼ダケヤッテ、冷銑ヲ他ノ會社等ニ供給シテ、製鋼スル場合ニ於テハ、一
噸ニ付キ五圓、其他ハ即チ鑄物用又ハ「ストック」ト云フモノニ對シテ、銑鐵ハ
三圓ト云フ程度デ、凡ソ此位ノ程度デ交付スルト云フ見込デアアル、斯ウ云フ
御答辯デアッタノデアリマス、尙ホ要用ナル御質問ト認メマシタノハ、本案ニ
依レバ、一般的ノ作業ヲスル者ハ大ニ保護サレルノデアアルガ、銑鐵ノミヲ製
造スル如キ製鐵業ヲ營ム者ニハ何等保護サレヌノハ、甚ダ不公平デアアルト云
フヤウニ思フ、即チ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、茲ニ一會社ガアル、其銑鐵ヲ造ル
能力十萬噸アルト、假定シテ、內五萬噸ハ一般的作業デ製鋼用ノ銑鐵トシ、
アトノ五萬噸ヲ他ノ會社ヘ、或ハ之ヲ冷銑ト致シマシテ供給スル場合ニ於テ
ハ、其會社ハ矢張りアトノ五萬噸モ銑鐵トナッテノミ使ハレル時、之ニモ相應
補助金ヲ與フルノデアアルケレドモ、ソレト同ジク五萬噸ダケノ銑鐵ヲ造ルダ
ケノ製鐵業者ガアッタ場合ニ於テハ、其鐵業者ハ、是ガ他ノ鋼材用トシテ供給
スルコトガ確定シテ居ナイ以上ハ……確定シテ居ナクテ、單ニ銑鐵トシテノ
ミ供給スル場合ニ於テハ、何等保護サレテ居ラヌノデ、大ニ不公平デアアルト
云フヤウニ思ハレルト云フ御質問ガアッタノデアリマス、此點ニ付キマシテ政
府ノ御答辯ハ、現在鋼材ノ生産高ハ、我國ニ於キマシテ、鋼材トシテ、凡ソ
百六十萬噸位鋼材トシテ製造サレルノデアアル、デアアルカラ、銑鐵ノ大部分ハ
之ニ使ハレルノデアアル、銑鐵ノミトシテノ生産ハ四十萬噸位ノモノニ過ギナ
イト思フ、而シテ鑄物用ノ銑鐵ナルモノハ、市價ガ比較的高イカラ、今回勅
令デ以テ定メテ交付セムトスル助成金ノ率デ大シテ不公平ナシニ保護サレル
コトト信ズルト云フヤウナ意味ノ御答辯ガアッタノデアリマス、尙ホ一委員ヨ
リノ御質問ハ、此法案ニ獎勵金ヲ交付スル場合ニ、民間ノ當業者ニ對シテ、
其設備等ニ對シテハ政府ハ容喙スルコトヲスルノデアアルカ、即チ幾ラカ干涉ト云ッテハ
惡イカモ知レマセヌガ、容喙スルコトヲスルノデアアルカ、斯ウ云フ御質問デ
アッタノデアリマス、其御答辯ニハ、認可主義ヲ取リマシテ、十分ニ此點ハ取
締ツタル積リデアアル、又其設備等ニ付テハ、政府ハ十分監督ヲ怠ラナイ積
リデアアル、勅令ヲ作ル場合ニ於テハ、此事ヲ十分考慮シテ、勅令ノ内容ヲ決
メタイ、斯ウ云フ御答辯デアッタノデアリマス、其外尙ホ技術的方面等ニ付キ
マシテ、詳細ナ質問應答ガゴザイマシタ、討論ニ移ルニ先ダチマシテ、一委

員ヨリ尙ホ一ツ要用ナ質問ガアッタノデアリマス、今回ノ案ハ政府ノ説明サレ
ルガ如ク、一貫事業ヲ助成スルト云フコトデアルガ、現在普通ニ行ハレテ居
ル製鐵事業ハ、鑛石ヨリ銑鐵ヲ造リ、銑鐵ヨリ之ヲ鋼材ニ造リ上ゲルノデア
ル、斯ウ云フ方法デナクシテ、鑛石ヨリ直チニ鋼材ヲ造ルト云フ直接方法ガ
考ヘラレテ居ル、併シハマダ大仕掛ニ出來テ居ル譯デハナイケレドモ、斯
カル事モ企テラレテ居ルノデアアル、斯カル製鐵業ニ對シテ、矢張り本法ニ準
據シテ獎勵金ヲ交付スル積リデアアルヤ否ヤト云フ、極メテ要用ナ質問デア
タノデアリマス、此事ニ付キマシテノ御答辯ハ、現行法ニ於テモ、矢張り「ス
ボンデアイアン」ト云フガ如キモノハ、矢張り同様ニ取扱フテ居ルノデア
カラ、唯今ノ質問ノ如キ場合ニ於テハ、矢張り同様ニ之ヲ勅令デ以テ決メル
豫定デアアル、斯ウ云フ御答辯デアッタノデアリマス、ソレカラ尙ホモウ一ツノ
御質問ハ、本法成立ノ上ハ、前ノ獎勵法ハ廢止スル積リデアアルカト云フ御尋
デアッタノデアリマス、然リト云フコトデアリマス、其他尙ホ細カイコトニ付
キマシテハ、二三點御質問ガゴザイマシタケレドモ、是ハ省略イタシマス、
討論ニ入りマシテ、一委員ヨリ御意見ノ陳述ガアッタノデアリマス、其要旨
ハ本法案ハ決シテ好キ結果ヲ來スモノトハ思ハヌ、又良キ法案デアルトモ思
ハナイ、露骨ニ言ヘバ法案トシテハ不徹底デアリ、又矛盾ノ所モ少ナクナイ、
一貫的製鐵法ヲ營ム者ト雖モ、此助成金ヲ受ケル者ハ、其中ニ於テモ不公平
ナルコトガ免レヌヤウニ思フ、又鋼ヲ造ル設備ヲ要シナクとも、銑鐵ノミヲ
造ル事業ヲ起スト云フコトハ、必要デアラウト思フ、然ルニ本法案ガ實行サ
レルト云フト、是等ノ種類ノ製鐵業者ハ、芽ヲ吹カナイコトニナルノデア
ル、例ヘバ或ル製鐵會社ノ如キハ、本法案ガ實行サレテモ、現在有シテ居ル
所ノ製鋼ノ設備ガ、全部活動スルヤウニモ思ハナイ、依テ我々立法府ニ居ル
者ハ、之ヲ協賛スルノニハ甚ダ心苦シイ氣持ガスルノデアアル、併ナガラ關稅
定率法ノ改正ニ依リマシテ、鋼ハ既ニ稅率ヲ高メラレテ、關稅ニ依ッテ保護
サレタコトトナッテ居ルノデアアルカラ、銑鐵ハドウカ云フ方法ニ依ッテ保護シ
ナケレバナラヌノデアアルカラ、此法案ハ餘リ感心ハシナイケレドモ、此際之
ニ協賛ヲ與ヘル外已ムヲ得ナイダラウト云フ御意見ヲ御述ベニナリマシテ、
同時ニ希望トサレマシテ、近キ將來ニ於テ、何カ他ニ本法案ニ代ルベキ適當
ナル方法が見出サレテ、ソレガ實施サレムコトヲ希望スル、就テハ政府當局ニ
於テハ、ドウカ今後モ他ニ適當ナル方法ニ付テ十分御研究アッテ欲シイト云

フ意味ノ希望ヲ述ベラレマシテ、本案ニ賛成サレタノデアリマス、尙ホ他ノ
一員ヨリハ今度交付サレル所ノ助成金ノ歩合ハ四段ニナッテ居ルヤウデア
ル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ三段デ、便宜上三段ト致シマス、即チ六圓、五圓、三圓
ト云フモノデアアルケレドモ、果シテ斯ノ如ク段ヲ付ケルコトガ適當デアリヤ
否ヤヲ疑フ、依ッテ今後本法ヲ實行ナサレタ上ニ於テ、不適當ト認メラレルコ
トガアッタナラバ、成ルベク速ニ其歩合ノ如キハ改正セラレムコトヲ望ムト云
フヤウナ意味ニ於ケル、御希望ノ陳述ガアッタノデアリマス、採決ニ入りマシ
テ、全會一致ヲ以テ本案ハ可決サレタノデアリマス、次ハ製鐵所特別會計法
案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、本法案ハ嘗テ本議場ニ於キ
マシテ、政府當局ヨリ御説明ニナリマシタ如ク、製鐵所ノ會計ヲ特別會計法
ニ改メタイト云フノデアリマス、其御趣意ハ、現在ノ製鐵所ハ民間ニ於ケル
製鐵事業ヲ營ム會社ト同様ナ業務ヲ營ンデ居ルノニ拘ラズ、一般會計ニ從ッ
テ業務ヲ實行シテ行クト云フコトハ、民間諸會社ガ合同ヲスルトカ、或ハ全般
ヲ通ジテ一大合同ヲ爲シテ、半官半民トスルトカ云フヤウナ聲ハ高イケレド
モ、元來政府ノ製鐵所ハ、一般會計ニ依ッテ製鐵業ヲ營ンデ居ル關係上、民間ノ
諸會社ト比較イタシマシテ、其成績等ヲ比較スル場合ニ於テモ甚ダ困難デア
ルシ、又製鐵所ニ從事サレテ居ル所ノ職員職工其他一般ノ従業員ノ如キハ、
自分達ガ幾ラ働イテ實益ヲ擧ゲテモ、其益金ハ一般國庫ニ納メラレルノデア
ルト云フコトヨリモ、自分達ガ努力シテ造リ上ゲタ所ノ其益金ヲ以テ、設備ノ
改良ニ充テ、又新ナ研究ヲ開始スルトカ、其他、進取的ノ方面ニ使ッタスルト
云フト、従業員ノ緊張ノ度合モ大ニ違フ、從テ能率増進ト云フ上ニ於テモ大ナ
ル效能ガアルデアラウト云フ御趣意カラ、製鐵所ノ會計ヲ特別會計ニセムト
スル案デアアルノデアリマス、本案ガ委員會ノ議ニ上リマシタ時ニ於キマシテ、
一委員ヨリ質問ガアッタノデアリマス、其質問ノ要旨ハ、製鐵所ノ會計ヲ特別
會計トスルト云フコトハ、其趣意ヲ徹底スルノニ難イコトハナカラウカト思フ、
鐵道ノ特別會計ト云フ如キモノト、此場合ハ大ニ狀況ヲ異ニシテ居ルヤニ思
ハレル、即チ鐵道ノ如キ收益ガ十分ニ潤澤デナクシテ、或ル時ハ可ナリノ收入
ガアルト思ヘバ、又或ル時ハ何モ收益ガ無イト云フコトモ無キニシモアラズ、
其基礎ガ確立スル上ニ於テ、即チ特別會計ノ基礎ガ確立スル上ニ於テ、甚ダ
憂慮ニ堪ヘヌヤウニ思フ、政府ノ所見如何ト云フヤウナ意味ノ御質問ガアッ
タノデアリマス、之ニ對シマシテ御答辯ハ、古イ時代ニ於テハ、今ヨリ十何年以

前ニ於テハ、隨分缺損モ續イタコトモアル、收益ノ無カッタコトモアル、併シ明治四十三年以後ハ、段々多少ノ利益ヲ生ジテ居ルノデアル、將來現況ヲ續ケテ行キ、尙ホ加フルニ今回ノ此會計法ニ於テ一大改正ヲシタナラバ、其影響ハ必ズ見ルベキモノガアルデアラウ、依テ左程心配スルコトハ無論ナイ積リデアアル、又政府當局モ斯ノ如キ一大改革ヲ爲シテ、製鐵業ヲ營ム上ニ於テハ、十分ナル努力ヲスル積リデアアルカラ、唯今ノ御質問ノ如キ心配ハ無カラウト思フト云フ御答辯デアッタノデアリマス、併シ是ハ益金ガ無カッタト云フ場合ニハ、設備其他等ニ必要ナル費用ハ、公債又ハ借入金ニ依ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、惡クスルト云フト、借金ニ借金ガ重ナルト云フヤウナ結果ヲ生ジテハ相成ラヌガ、其點ハ十分決心アリヤト云フヤウナ強イ御質問ガアッタノデアリマス、ソレニ對シマシテハ、矢張り前ニ答辯サレタト同様ナ意味ヲ以テ、大決心ヲ以テ此經營ニ當ル積リデアアルト云フ御質問ガアッタノデアリマス、其外二三小サナコトニ付テノ御質問ガゴザイマシタケレドモ、ソレハ玆デ省略ヲ致シテ置キマス、討論ニ入りマシテ、一委員ヨリ希望ノ御陳述ガアッタノデアリマス、即チ其要旨ハ、此法案ハ極メテ重要ナル法案デアアル、從テ慎重ナル研究調査ヲ要スルノデアアル、然ルニ政府ガ此案ヲ貴族院ニ御提出ニナツタノハ、僅ニ數日前ニ過ギナイノデ、從テ我々貴族院議員トシテハ十分ナル研究調査ヲスル暇ガ無い、此點ハ甚ダ遺憾ニ思フ、當ニ此法案ノミナラズ昨今重要ナル法案ガ貴族院ニ蠅集シテ來ル、從テ我々ハ十分ナル調査研究モ出來スト云フコトハ甚ダ遺憾デアアル、將來ハ十分此點ニ付テ御注意ヲ願ヒタイト云フコトヲ前提トサレマシテ、次ニ申述ベラレタ所ノ要旨ハ、此法案ハ製鐵所ノ會計組織ノ一大變革デアアル、從テ製鐵所ノ將來ノ繁榮スルノモ、衰微スルノモ、一ニ此法案ニ歸スルト云ツテモ宜イ位重要ナ案件デアアル、即チ益金デ以テ製鐵所ヲ將來經營シテ行クト云フコトニ趣旨ガナツテ居ルノデアアルガ、併シ益金ノ情況ノコトニ付テ、甚ダ懸念スレバ懸念スベキ點モ無いコトモナイノデアアル、サウ懸念シテ見ルト云フト、結果ハ公債ノ募集ト云フヤウナコトニナル、公債ノ募集ト云フコトニ付テ、之ヲ無暗ニヤッタナラバ、財界ニ惡影響ヲ及ボスコトモ明カデアアル、デアアルカラシテ、此法ノ趣旨ニ依リ將來經營サル場合ニ於テハ、十分ナル注意ヲ努力ヲ以テ事ニ當ラレタシト云フ意味ノ御陳述ガアッタノデアリマス、而シテ若シ此法案ヲ益金ノ情況ガ懸念サレ、又重要法案デアアルガ故ニ審議ノ時日ナシトシテ、今回之

ヲ審議未了ト云フヤウナコトニデモ終ラシメタナラバ、大正十六年ヨリ此特別會計法ニ依ツテ運用サレルノデアアルカラ、ソレニ必ズヤ、今カラ多大ノ準備ガ必要デアアルニ違ヒナイ、依テ此法案ハ贊成ヲ致シテ通過スルコトニ異議ハナイケレドモ、前申サレタル如ク、此法案ノ運用如何ハ製鐵所ノ成績ニ一大影響ヲ及ボスコトモデアリ、延イテハ一般製鐵業者ニモ多大ノ影響ヲ及ボスコトデアアルカラ、十分細心ノ注意ヲ以テ立派ナ成績ヲ舉ゲラレムコトヲ希望スルト云フコトデアリマシタ、而シテ一般製鐵業者ノ模範の成績ヲ舉ゲラレルヤウニセラレタイト云フ希望ヲ述ベラレマシテ、本案ニ贊成ヲセラレタノデアリマス、採決ニ入りマシテ、全會一致ヲ以テ本案ハ可決サレタノデアリマス、次ハ大正九年法律第五十三號中改正法律案、本法案ハ御承知ノ如ク朝鮮ニ於キマスル關稅定率法、保税倉庫法及假置場法等ニ關スル朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル法律案デアアルノデアリマス、本案ノ改正ヲ必要ト致シマシタ理由ハ、今回、關稅定率法ガ改正ニナリ、又製鐵保護法案ガ改正ニナルニ連レマシテ、自然ノ結果ト致シマシテ、本法律案ニ改正ヲ加フルノ必要ヲ見タノデアリマス、本問題ニ付キマシテハ、別段ノ質問應答モゴザイマセズ、討論ニ入りマシテ、續イテ採決ニ入りマシテ、全會一致ヲ以テ可決サレタノデアリマス、之ヲ以テ報告ト致シマス

○議長(公爵德川家達君) 三案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵五條爲功君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 櫛笥子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 三案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 三案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵五條爲功君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 櫛笥子爵ノ三案ノ第三讀會ヲ直チニ開クト云フ勅議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 總テ第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告

海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十五日

右特別委員長

伯爵 松平 賴壽

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵松平賴壽君演壇ニ登ル〕

○伯爵松平賴壽君 唯今議題ニ上リマシタ海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ本日午前十時ヨリ開會イタシマシテ、正副委員長ノ選舉ヲ終リマシテ、引續キ委員會ヲ開キマシタ、當局ノ説明及委員ノ質問ノ後ニ討議ニ移リマシテ、全會一致ヲ以テ之ヲ可決イタシマシタ、此法案ニ付キマシテノ説明ハ、昨日本會議ニ於キマシテ、海軍大臣ヨリ説明サレマシタ事ニ少シク細カク敷衍サレテ説明サレタノデアリマスルカラ、私ハ省略イタシマス、唯、質問中ニ色々……御質問ノ主モナルモノヲ二三申上ゲテ置キタイト存ジマス、此法案ニゴザイマス三條中ニ補償審査會ト云フモノノ組織及權限ト云フモノノ、如何ナルモノデアリカト云フコトノ質問ガゴザイマシタ、之ニ付キマシテ、組織即チ海軍當局及大藏省、商工省等ノ官吏ノ方々、及ビ出來得マスレ

バマダ他ノ方面ヨリモ委員ヲ取ツテモ宜イト云フヤウナ意嚮モアルノデ、併シ是ハマダ確定シテ居ルト云フコトデハナイヤウニ伺ヒマシタ、又此二千二百萬圓ノ前ノ政府提出ヲ衆議院デ修正イタシマシタニ付テノ質問ガゴザイマシタガ、當局トサレマシテハ、唯今マデ此總テノ損害ヲ受ケマシタ會社ハ、現ニ大正十二年ニ既ニ餘程困ツテ居ッタノデアアル、今マデニ中々支ヘテ居ルト云フコトガ非常ニ苦シカッタ状態デアッテ、氣ノ毒デアアル、之ヲ衆議院ニ於キマシテ政府トシテ争ツテ居リマシタナラバ、此補償ト云フモノガ出來マセヌノデ、會社ニ對シテモ氣ノ毒デアアリ、又政府ト致シテ私設會社ニ對シテノ約束等モアリマス、其約束ト申シマスルノハ、即チ命令ノ總テノ施設ヲサシタト云フコトモ有ルノデアリマシテ、德義上此場合ハ幾分力少クテモ、總テノコトヲ間ニ合セテ行キタイト云フ意味ニ於キマシテ、衆議院通りニナッタト云フコトデゴザイマス、デ此他詳細ニ質問ハゴザイマシタガ、何ノ異議モナク全會一致デ是ハ可決ヲ致シマシタ、又附加ヘテ申シテ置キマスガ、斯カル重要問題ガ甚ダ遅クナルト云フコトハ、委員ニ取リマシテモ誠ニ不都合ナコトデアリ、總テノ調査ガ出來ナイ、迷惑デアアル、此度ハ已ムヲ得ナイガ、以後ハ注意ヲシテ貫ヒタイト云フ御注意ガアッタノデゴザイマス、委員會ノ報告ハ是デ終リマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵五條爲功君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 櫛笥子爵ノ勅議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵五條爲功君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 櫛笥子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告

特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十五日

右特別委員長

子爵 大河内輝耕

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル〕

○子爵大河内輝耕君 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ特別都市計畫法第五條ニ依リマシテ土地區劃整理ヲ執行スル場合ニ於キマシテ、土地ヲ收容セラレタル者ニ對シマシテハ、換地ヲヤルコトニナツテ居リマス、大概ノ場合ニ於キマシテハ、其換地ヲ貰ヒマスレバ、ソレデ事ガ済ムノデゴザイマスガ、中ニハ其換地ニ過不足ヲ生ズルト云フコトハ、是ハ免レナイ状態デアアルノデゴザイマス、ソレデ利益ヲシタ者カラハ徵收金ヲ取り、又損ヲシタ者ニ付テハ補償金ヲ與ヘルノデゴザイマスガ、是ハ個人間ノ計算デハアリマスガ、政府ガ其間ニ仲介者トナリマシテ致サナケレバ、區劃整理ノ

進行ヲ圓滿ニ期スルコトガ出來ナイ、是ガ先ヅ第一ノ本法提出ノ理由デアルト思ヒマス、サウ致シマシテ同一人ニ付キマシテ徵收金ト補償金ト兩方受ケマス場合ガゴザイマスガ、是ハ本法二條ノ規定ニ依リマシテ相殺サレル結果ニナリマス、併シ徵收金ノミ、詰リ納メル方バカリノ……徵收金バカリ取ラレマス人ニ付キマシテハ、是ハ別ニ法律ガゴザイマセヌケレバ、直チニ徵收ヲ受ケルコトニナリマス、現ニ駿河臺ノ地所ナドモ、區劃整理ハ相當ニ進ンデ居リマスガ、今日マデアノ儘ニナツテ居ルト云フノハ全ク是ノ關係ダサウデゴザイマシテ、アレモット進メテ行クト云フコトニシマス、徵收金ヲ直チニ徵收シナケレバナラナイ、ソレガ困ルカラト云フハ、思フヤウニ進ンデ行カナイ、其爲ニ此法律ヲ出シマシテ、ソレニ對シテハ三年間ノ延納ヲ許スト、斯ウ云フコトヲ決メタノデアリマス、是ガ此法律案ノ大體ノ綱目デゴザイマス、サウ致シマシテ衆議院ハ之ニ對シテ修正ヲ加ヘタ、詰リ其延納ノ三年ハ短キニ過グル、罹災民ノ状態ハ誠ニ同情スベキモノガアル、今日ノ罹災民ノ經濟状態ニ於キマシテ、三年シカ延納ヲ許サナイト云フコトハ、餘リニ酷ニ失スルコトデアルカラ、之ヲ五箇年ニシヤウト云フ修正ガアッタノデゴザイマス、ソレニ對シマシテ政府ノ意嚮トシテ、政府委員ノ説明サレタ所ニ依リマスルト、此案ハ區劃整理ヲ圓滿ニ又迅速ニ執行スル爲ニハ缺クベカラザルモノデアルカラ、是非此案ヲ成立ヲサシタイ、成立ヲサセル以上、之ヲ五箇年ニ延長スルト云フ修正ハ、同意ヲセザルヲ得ナイ、斯ウ云フ御説明デアッタノデゴザイマス、マア以上大體政府委員ノ説明デゴザイマスガ、次ニ質問ニ這入りマシテ、質問ハ今日一日シタダケデゴザイマスガ、重要ナル點ニ付キマシテハ可ナリ質問ガゴザイマシタ、先ヅ此延納ノ三年ヲ五年ニスルニ付テハ、豫算トノ關係バドウナルカ、本年度ノ豫算ニ於キマシテハ、御承知ノ通り、二十二万七千餘圓ノ要求ガシテアル、是ハ唯今御話申シマシタ通りノ徵收金ト補償金トノ差引ガ茲ニ上ツテ居ル譯デアリマスルガ、是ガヤルモノハ普通ニヤツテ、併シ取ルモノハ三年ノモノハ五年ニ延ビルト云フコトニナレバ、從テ是ガ増加セザルヲ得ナイ、其増加スル額ハ五十二万三千餘圓デアリマス、之ヲドウ始末ヲ付ケルカ、豫算ヲ直スノカ、ドウ云フヤウナ方法ヲ取ルノカト云フ御質問デアッタ、之ニ對シマシテ政府委員ノ説明ハ、ソレニハ色色ナ方法ガアル、今ハ分納ヲ許スノハ百圓マデ分納ヲ許シテ居ルガ、之ヲ百五十圓マデ上ボスト、斯ウ云フノモ一ツノ方法デアル、又一ツノ地區ノ換地

處分ヲ來年度ノ四月マデ繰延ヘルト云フコトモ、亦一ツノ方法デアル、ソレカラ此幕ノ議會ニ追加豫算ヲ出シテ求メルト云フコトモ、一ツノ方法デアル、ソレノ何レノ方法ヲ取ルカニ付テハ、是ハ篤ト考慮ヲシヤウガ、何カサウ云フ方法ニ……何レカ其三ツノ方法ノ一ツニ依ッテ、豫算トノ調和ノ途ヲ取ッテ行クト、斯ウ云フ答辯デアッタノデアリマス、ソレカラ次ニ分納金ニ利子ガ附イテ居ル、此利子ハ法定利率デアルカドウカト云フ御尋ガアッタ、是ガ政府委員ノ説明ハ、分納ハ先ヅ恩典ト云ッテモ宜イ譯ニナルノダラウ、餘リ低キ利子デハ却テ一般市民ニ不當ナ損害ヲ與ヘルコトニナル、今東京市債ノ利廻ガ八分位ニナッテ居ルカラ、先ヅ其位ノ見當デ決メルノデアアル、斯ウ云フ御答デアッタノデアリマス、次ニ第四條ノ「統轄スル行政廳又ハ公共團體」斯ウ云フ色々ナコトガ書イテアルガ、此意味ハドウデアルノカ、詰リ整理施行者ハ誰デアルカ、斯ウ云フ御質問デアッタ、是ハ國ト、横濱、東京、兩市長ニ限ルノデ、都市計畫法ノ第五條ト權衡ヲ與ヘル爲ニ、斯ウ云フ字ヲ入レタ、斯ウ云フ御答デアッタノデアアル、次ニ第五條ノ「清算金ニ剩餘ヲ生シタルトキハ」トアルガ、此剩餘トハ何デアアルカト云フ、斯ウ云フ御尋デアッタ、ソレニ對スル政府委員ノ御答トシテハ、剩餘ヲ生ズルト云フノハ、此清算金ニ附シタ利息ノコトヲ云フノデアアル、徵收金ト、補償金トハ、トシ……ニ行クガ、此利息ヲ附ケタダケノモノハ過剩ニナル、ソレナラバ不足ヲ生ズル場合ハナイカ、斯ウ云フ御尋ガアッタ、不足ヲ生ズル場合ハ無イ、此都市計畫……特別都市計畫ハ矢張り耕地整理ヲ進用スルコトニナッテ居リマスルカラ、清算金ノ徵收ハ其土地ニ附イテ行クモノデアルカラシテ、從テ不足ヲ生ジ得ナイコトニナル、斯ウ云フ御答デアリマシタ、ソレカラ尙ホ第三條ニ於キマシテ「三年ヲ超エサル期間ニ於テ分納スルコトヲ認ムルコトヲ得」トアル「認ムルコトヲ得」トアル以上ハ、サッキノ御話ノ豫算ノコトニ付キマシテ、豫算ガ足りナクテモ差支ナイデヤナイカ「認ムルコトヲ得」トアルカラ、分納ヲ認メナケレバ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御尋モアッタノデアアル、ソレニ對シマシテハ、分納ト云フコトハ決シテ權利トシテ認メテナイ、權利トシテ認メテナイガ、是ハ事實百圓以上ノモノニ付テハ分納ヲ許ス、事實上ノ取扱ガサウ云フ譯ニナッテ居ルノダ、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、ソレカラ尙ホ區劃整理ノコトハ一向今マデ進行シナカッタ、併シ漸次近頃進行シテ來タヤウナ様子デアアルガ、尙ホ此以外ニ何カ立法ヲスル必要ガアルカドウカ、其邊ニ對スル政府ノ意見ハドウ

デアアルカ、斯ウ云フ御尋モアッタ、ソレニ付キマシテ政府ノ答トシテハ、別ニ將來此外ニ立法ヲシテ制度ヲ改メルトカ、何トカ云フヤウナ考ハ無イ、尤モ世間デハ色々ナコトヲ言ッテ居ル、裏通りノ區劃整理ハ止メテ貫ヒタイト云フコトヲ言フ者モアル、併シ此裏通りノ區劃整理ヲ止メルト云フヤウナコトニナリマシテハ、到底復興事業ガ圓滿ニ遂行ガ出來ナイコトニナル、サウ云フコトニハ到底應ズルコトガ出來ナイ、尙ホ其一割取上ゲラレルコトニナリマスガ、ソレヲ國庫デ拂ッタラドウデアアルカト云フヤウナコトヲ言ッテ居ル者ガアルガ、之ヲ若シ拂フトスレバ、國庫デ一億六千萬圓カラノ金ガ要ルノデアアル、到底斯ウ云フコトハ財政上認容スルコトガ出來ナイ、尙ホ區劃整理委員會ノコトナドニ付テモ、色々意見モアルケレドモ、是モ政府トシテ不同意デアル、要スルニ今後區劃整理ヲ進捗セシムルニハ、決シテ法律ノ改正ニ依ルベキモノデナク、一ニ當局者ノ親切ト熱心トニ依ッテ、之ヲ進メテ行クベキモノデアアル、斯ウ云フ御答デアッタ、大體以上ノ質問應答ガアリマシテ、引續キ討論ニ入りマシテ、別ニ何ノ異議モナク滿場一致ヲ以テ決定イタシマシタ、以上御報告申上ゲマス

○議長(公傳德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公傳德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵五條爲功君 賛成

○議長(公傳德川家達君) 櫛笥子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公傳德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公傳德川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公傳德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○子爵五條爲功君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 柳筥子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十二、大正十二年度歳入歳出總決算、大正十二年度各特別會計歳入歳出決算報告、第二十三、大正十三年度歳入歳出總決算、大正十三年度各特別會計歳入歳出決算報告並決議案二件、第二十四、大正十一年度國有財産増減總計算書報告、第二十五、大正十二年度國有財産増減總計算書報告、第二十六、大正十三年度國有財産増減總計算書報告、會議、委員長報告、決算委員長樺山伯爵

大正十二年度歳入歳出總決算並大正十二年度各特別會計歳入歳出決算及既往年度検査未確定金額ノ検査確定シタルモノヲ審査シ

第一

大正十二年度歳入歳出總決算歳入經常部第三款官業及官有財産收入第三十三項刑務所及衛戍監獄收入中静岡刑務所ノ徵收ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳入經常部海軍省所管第二款軍事費第五項造船造兵及修理費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳入經常部逓信省所管第二款逓信費第二項逓信事業費中東京逓信局ノ支出ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出臨時部内務省所管第八款營繕費第四項大阪府知事警察部長其他官舍新營費中大阪府ノ支出ニ係ル件、(元大藏省所管)第十八款帝都復興事業費第一項東京復興費中復興局ノ支出ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出臨時部大藏省所管第一款營繕費第十

三項煙草製造專賣創業建設費中水戸外九地方專賣局ノ支出ニ係ルモノ十件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出臨時部文部省所管第二款高等諸學校創設及擴張費第二項新營及設備費中京都帝國大學ノ支出ニ係ル件、第十五款學校創立費第三項第十四高等學校創立費中文部省ノ支出ニ係ル件、第十六款震災應急費第二項文部本省其他震災應急費中東京高等工業學校ノ支出ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出臨時部逓信省所管第二十二款震災應急費第四項物件購買其他應急施設費中東京逓信局ノ支出ニ係ル件

大正十二年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管朝鮮總督府歳入經常部第一款朝鮮歳入第四項官業及官有財産收入中朝鮮總督府逓信局ニ於テ歳入ニ編入スヘキ件

大正十二年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管樺太廳歳入經常部第一款樺太歳入第五項雜收入中樺太廳ノ徵收ニ係ル件

大正十二年度各特別會計歳入歳出決算文部省所管東京帝國大學歳出臨時部第一款營繕費第八項工學部擴張費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件

大正十二年度各特別會計歳入歳出決算文部省所管京都帝國大學歳出臨時部第一款營繕費第二項特別講義室新營費中京都帝國大學ノ支出ニ係ル件、第四項工學部擴張費中京都帝國大學ノ支出ニ係ル件

大正十二年度各特別會計歳入歳出決算鐵道省所管帝國鐵道資本勘定歳出第一款鐵道建設及改良費第二項改良費中鐵道省ノ支出ニ係ル件

官金中國庫金預金部資金ノ運用ニ關スル件

第二

右ハ政府ノ措置穩當ヲ關クモノト認ム

大正十二年度歳入歳出總決算歳入經常部第一款租稅第二項所得稅中東稅務署ノ徵收ニ係ル件、三田尻稅務署、東稅務署、西稅務署、南稅務

署、板橋稅務署、神戸稅務署、品川稅務署、南稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ八件、住道稅務署、上京稅務署、川崎稅務署、福岡稅務署、岸和田稅務署、下關稅務署、岸和田稅務署、福岡稅務署、久留米稅務署、小倉稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ十件、第三項營業稅中住道稅務署ノ徵收ニ係ル件、神戸稅務署ノ徵收不足ニ係ル件、下關稅務署ノ徵收過ニ係ル件、第四項相續稅中南稅務署ノ徵收ニ係ル件、第四款雜收入第二項懲罰及沒收金中山口地方裁判所ニ於テ沒收金ノ收入ニ至ラサリシ件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出經常部陸軍省所管第二款軍事費第五項兵器及馬匹費中陸軍航空部ノ支出ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出經常部海軍省所管第二款軍事費第九項艦營費中橫須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出經常部文部省所管第一款文部本省第三項學藝研究及獎勵費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第七項在外研究員費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出經常部遞信省所管第二款遞信費第二項遞信事業費中東京遞信局ノ支出ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出臨時部內務省所管第七款北海道拓殖費第二項森林費中網走營林區署ノ支出ニ係ル件、第八款營繕費第一項兵庫縣港務部其他廳舍新營費中兵庫縣ノ支出ニ係ル件、第三十九款東京橫濱兩市復興事業費貸付金及補助第二項東京橫濱兩市復興事業費補助中東京府、神奈川縣ノ支出ニ係ルモノ二件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出臨時部大藏省所管第二十七款震災應急費第一項震災救護費中千葉縣ノ支出ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出臨時部陸軍省所管第三款土地建造物整理費第一項土地建造物整理費中近衛師團經理部ノ支出ニ係ル件、第十九師團經理部、軍馬補充部本部ノ支出ニ係ルモノ二件、第十八款震災應急費第一項關東戒嚴費中陸軍東京經理部ノ支出ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出臨時部海軍省所管第二款艦艇製造費第一項補助艦艇製造費中橫須賀海軍經理部ノ支出ニ係ルモノ二件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出臨時部司法省所管第三款營繕費第三項大阪刑務所建築費中司法省及大阪刑務所ノ支出ニ係ルモノ二件、第九款震災復舊費第一項小菅刑務所其他震災復舊費中豐多摩刑務所ノ支出ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出臨時部文部省所管第二款高等諸學校創設及擴張費第一項事務費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第二項新營及設備費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、福島高等商業學校ノ支出ニ係ル件、第三項教官養成費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第七款臨時在外研究員費第一項臨時在外研究員費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第十六款震災應急費第二項文部本省其他震災應急費中東京高等工藝學校ノ支出ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出臨時部農商務省所管第一款產業獎勵費第十七項漁港修築獎勵費中農商務省ノ支出ニ係ル件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出臨時部遞信省所管第五款電話交換擴張費第二項事業費中大阪遞信局、臨時電信電話建設局大阪出張所ノ支出ニ係ルモノ二件、第六款電信擴張及改良費第二項事業費中臨時電信電話建設局大阪出張所ノ支出ニ係ル件、第二十二款震災應急費第三項電信電話應急施設費中遞信省經理局ノ支出ニ係ル件、第四項物件購買其他應急施設費中遞信省經理局ノ支出ニ係ル件

大正十二年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管專賣局歳出第一款專賣局作業費第二項事業費中廣島地方專賣局ノ支出ニ係ル件

大正十二年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管國有財產整理資金歳入第一款國有財產整理資金歳入第一項國有財產賣拂代中札幌稅務監督局ノ徵收ニ係ル件

大正十二年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管朝鮮總督府歳入經常

部第一款朝鮮歲入第一項租稅中京城府、慶尙南道統營郡ニ於テ所得稅ノ徵收不足ニ係ルモノ二件、歲出經常部第二款總督府第五項衛生費中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件、第十八款諸支出金第一項諸支出金中京畿道ノ支出ニ係ル件、歲出臨時部第四款調查及試驗費第四項石炭調查及試驗費中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件、第二十一款災害費第十二項土地改良工事水害復舊費補助中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件

大正十二年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管臺灣總督府歲入經常部第一款臺灣歲入第一項租稅中高雄州ニ於テ徵收不足ニ係ル件、第五項雜收入中臺北州ニ於テ收入ニ至ラサリシ件、歲出經常部第十五款專賣局第三項事業費中新竹州ノ支出ニ係ル件、第四項專賣品補償及購買費中臺灣總督府專賣局ノ支出ニ係ル件、第十六款森林作業費第三項事業費中臺灣總督府殖產局ノ支出ニ係ル件

大正十二年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管關東廳歲入經常部第一款關東廳歲入第一項租稅中大連民政署ニ於テ所得稅ノ徵收不足ニ係ル件、大連民政署ニ於テ所得稅ノ徵收過ニ係ル件

大正十二年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管樺太廳歲入經常部第一款樺太歲入第二項官業及官有財產收入中樺太廳鐵道事務所ノ徵收ニ係ル件、歲入臨時部第一款官有物拂下代第一項官有物拂下代中樺太廳ノ徵收ニ係ル件、樺太廳豐原支廳ノ徵收ニ係ル件、歲出臨時部第三款官行斫伐費第一項官行斫伐費中樺太廳ノ支出ニ係ル件

大正十二年度各特別會計歲入歲出決算陸軍省所管歲出第一款陸軍造兵廠作業費第三項材料素品費中陸軍造兵廠火工廠ノ支出ニ係ル件

大正十二年度各特別會計歲入歲出決算陸軍省所管陸軍營繕費補充資金歲入第一款陸軍營繕費補充資金收入第一項陸軍營繕費補充資金收入中第七師團經理部ノ徵收ニ係ル件

大正十二年度各特別會計歲入歲出決算文部省所管東京帝國大學歲出經常部第一款東京帝國大學第一項入件費中東京帝國大學ノ支出ニ係ルモノ二件、第二項物件費中東京帝國大學及東京帝國大學農學部ノ支出ニ係ルモノ二件、東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第二款航空研究費第一項入件費中東京帝國大學及航空研究所ノ支出ニ係ルモノ二件、第二項物件費中東京帝國大學及航空研究所ノ支出ニ係ルモノ二件、歲出臨時部第一款營繕費第一項事務費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第二項東京天文臺擴張費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件第三項法學部及經濟學部研究室新營費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件第四項醫學部藥學科教室新營費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第六項精神病室新營費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第七項醫院附所新營費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第八項工學部擴張費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第十一項新營費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第二款航空研究所擴張費第一項航空研究所擴張費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第四款臨時支出金第一項史料整備費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第六款災害費第一項工學部應用化學科教室火災復舊費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件、第七款震災應急費第一項法學部其他震災應急費中東京帝國大學及東京帝國大學農學部ノ支出ニ係ルモノ二件、東京帝國大學ノ支出ニ係ルモノ二件

大正十二年度各特別會計歲入歲出決算農商務省所管製鐵所歲出第一款製鐵所作業費第二項事業費中製鐵所ノ支出ニ係ルモノ二件

大正十二年度各特別會計歲入歲出決算鐵道省所管帝國鐵道資本勘定歲出第一款鐵道建設及改良費第一項建設費中鐵道省ノ支出ニ係ル件、第二項改良費中鐵道省ノ支出ニ係ルモノ四件

同上用品勘定歲出第一款鐵道用品及工作費第一項用品及工作費中鐵道省ノ支出ニ係ルモノ二件

同上收益勘定歲入第一款鐵道作業收入第一項運輸收入中鐵道省ニ於テ歲入ニ編入スヘキ件、歲出第一款鐵道作業費第一項事業費中鐵道省ノ支出ニ係ルモノ二件

官金中鐵道收入金ノ保管出納ニ關スル件

大正九年度歳入歳出總決算歳入經常部第一款租稅第二項所得稅中神戸稅務署ノ徵收不足ニ係ル件、第三款官業及官有財產收入第二項森林收入中北海道廳ニ於テ收入ニ至ラサリシ件

大正十年度歳入歳出總決算歳入經常部第一款租稅第二項所得稅中神戸稅務署ノ徵收不足ニ係ル件、第四款雜收入第二項懲戒及沒收金中神戸區裁判所ニ於テ收入ニ至ラサリシ件

大正十一年度歳入歳出總決算歳入經常部第一款租稅第二項所得稅中東稅務署ノ徵收ニ係ル件、神戸稅務署ノ徵收不足ニ係ル件、水道橋稅務署ノ徵收過ニ係ル件、第三項營業稅中那霸稅務署ノ徵收不足ニ係ル件、第四項相續稅中堺稅務署、南稅務署ノ徵收ニ係ルモノ二件、第四款雜收入第二項懲罰及沒收金中神戸區裁判所ニ於テ收入ニ至ラサリシ件

大正十一年度歳入歳出總決算歳入經常部陸軍省所管第二款軍事費第五項兵器及馬匹費中陸軍航空部、第三師團經理部、第十六師團經理部、第十八師團經理部ノ支出ニ係ルモノ四件、第六項演習費中陸軍航空部、近衛師團經理部、第三師團經理部、第十六師團經理部、第十八師團經理部、第二十師團經理部ノ支出ニ係ルモノ六件

右ハ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スヘキモノト認ム

第三

其ノ他異議ナシ

右之通議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十日

貴族院決算委員長

伯爵 樺山愛輔

貴族院議長公爵德川家達殿

大正十三年度歳入歳出總決算並大正十三年度各特別會計歳入歳出決算及既

往年度檢査未確定金額ノ檢査確定シタルモノヲ審查シ

第一

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管樺太廳歳入臨時部第二款官行斫伐收入第一項官行斫伐收入中樺太廳ニ於テ收入ニ至ラサリシモノ二件

官有物中樺太廳ニ於テ國有未開地ノ貸付ニ係ル件

右ハ政府ノ措置不當ナリト認ム

第二

大正十三年度歳入歳出總決算歳入經常部司法省所管第三款刑務所第三項收容費中静岡刑務所ノ支出ニ係ル件

大正十三年度歳入歳出總決算歳入臨時部司法省所管第六款震災復舊諸費第二項刑務所復舊費中小管刑務所ノ支出ニ係ル件、第十款震災復舊費第一項小管刑務所其他震災復舊費中小管刑務所ノ支出ニ係ル件

大正十三年度歳入歳出總決算歳入臨時部文部省所管第二款高等諸學校創設及擴張費第二項新營及設備費中京都帝國大學ノ支出ニ係ル件、浦和高等學校外十校ノ支出ニ係ルモノ十一件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管專賣局歳出第一款專賣局作業費第二項事業費中宇都宮地方專賣局ノ支出ニ係ル件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管國債整理基金歳出第一款國債整理基金支出第一項國債整理基金支出中大藏省ノ支出ニ係ル件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管朝鮮總督府歳入經常部第一款朝鮮歳入第四項官業及官有財產收入中朝鮮總督府遞信局ニ於テ歳入ニ編入スヘキ件、歳出臨時部第八款鐵道建設及改良費第一項建設費中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件、第二項改良費中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管樺太廳歳入臨時部第一款官有物拂下代第一項官有物拂下代中樺太廳ニ於テ徵收ニ至ラサリ

シ件、第二款官行斫伐收入第一項官行斫伐收入中樺太廳ニ於テ收入ニ至ラサリシ件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算文部省所管東京帝國大學歳出臨時部第一款營繕費第八項工學部擴張費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算文部省所管京都帝國大學歳出臨時部第一款營繕費第二項特別講義室新營費中京都帝國大學ノ支出ニ係ル件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算鐵道省所管帝國鐵道資本勘定歳出第一款鐵道建設及改良費第二項改良費中鐵道省ノ支出ニ係ル件

官金中國庫金預金部資金ノ運用ニ關スル件

官有物中朝鮮總督府ニ於テ名ヲ交換ニ藉リ豫算外ニ營繕工事ヲ施行セシ件、朝鮮總督府ニ於テ京城府所在ノ官有地ト同府所在ノ民有地ト交換ヲ爲シタル件

右ハ政府ノ措置穩當ヲ闕クモノト認ム

第三

大正十三年度歳入歳出總決算歳入經常部第一款租稅第二項所得稅中品川稅務署ノ徵收ニ係ル件、明石稅務署、橫須賀稅務署、小樽稅務署、品川稅務署、北稅務署、四谷稅務署、西稅務署、品川稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ八件、川崎稅務署、水道橋稅務署、四谷稅務署、福井稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ四件、第三項營業稅中住道稅務署ノ徵收ニ係ル件、神戸稅務署、土浦稅務署、神戸稅務署、神田橋稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ四件、神戸稅務署ノ徵收過ニ係ル件

大正十三年度歳入歳出總決算歳入經常部大藏省所管第十五款諸支出金第一項諸支出金中大藏省ノ支出ニ係ルモノ三件

大正十三年度歳入歳出總決算歳入經常部陸軍省所管第二款軍事費第四項衣糧費中陸軍糧秣本廠、第二師團經理部ノ支出ニ係ルモノ二件、第

五項兵器及馬匹費中陸軍兵器本廠及第八師團經理部ノ支出ニ係ルモノ二件、陸軍航空部ノ支出ニ係ル件

大正十三年度歳入歳出總決算歳入經常部海軍省所管第二款軍事費第五項造船造兵及修理費中吳海軍經理部、舞鶴要港部ノ支出ニ係ルモノ二件

大正十三年度歳入歳出總決算歳入經常部司法省所管第五款諸支出金第一項諸支出金中長崎地方裁判所ノ支出ニ係ル件

大正十三年度歳入歳出總決算歳入經常部遞信省所管第二款遞信費第一項俸給中遞信省經理局ノ支出ニ係ル件、第二項遞信事業費中東京遞信局ノ支出ニ係ル件

大正十三年度歳入歳出總決算歳入臨時部內務省所管(元大藏省所管)第十八款帝都復興事業費第一項東京復興費中復興局ノ支出ニ係ル件、第二十款復興事業費補助第一項地方復興事業費補助中東京府ノ支出ニ係ル件

大正十三年度歳入歳出總決算歳入臨時部大藏省所管第三十款震災應急費第一項諸官衙廳舍其他臨時營繕費中臨時營繕局ノ支出ニ係ル件

大正十三年度歳入歳出總決算歳入臨時部海軍省所管第十八款軍備制限諸費第三項主力艦解體諸費中佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件

大正十三年度歳入歳出總決算歳入臨時部司法省所管第三款營繕費第二十二項新營費中鹿兒島刑務所ノ支出ニ係ル件、第八款衆議院議員臨時總選舉檢察費第一項衆議院議員臨時總選舉檢察費中司法省ノ支出ニ係ル件、第九款恩赦執行費第一項恩赦執行費中司法省ノ支出ニ係ル件、第十款震災復舊費第一項小菅刑務所其他震災復舊費中小菅刑務所、豐多摩刑務所ノ支出ニ係ルモノ二件

大正十三年度歳入歳出總決算歳入臨時部文部省所管十四款震災復舊諸費第二項東京帝國大學復舊諸費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件

大正十三年度歳入歳出總決算歳入臨時部農商務省所管第一款產業獎勵

費第十七項漁港修築獎勵費中農商務省ノ支出ニ係ル件、第五款家畜傳染病及害蟲豫防費第一項家畜傳染病費中靜岡縣、埼玉縣、栃木縣ノ支出ニ係ルモノ三件

大正十三年度歳入歳出總決算歳出臨時部遞信省所管第十九款震災復舊及新營費第二項郵便局舍其他新營費中遞信省經理局ノ支出ニ係ル件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管專賣局歳出第一款專賣局作業費第二項事業費中廣島地方專賣局ノ支出ニ係ル件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管朝鮮總督府歳出經常部第二款總督府第五項衛生費中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件、歳出臨時部第七款土木費第二項海關工事費中朝鮮總督官房土木部元山出張所ノ支出ニ係ル件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管臺灣總督府歳出經常部第十五款專賣局第四項專賣品補償及購買費中臺灣總督府專賣局ノ支出ニ係ル件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管樺太廳歳入經常部第一款樺太歳入第二項官業及官有財産收入中樺太廳鐵道事務所ノ徵收ニ係ル件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算農商務省所管製鐵所歳出第一款製鐵所作業費第二項事業費中製鐵所ノ支出ニ係ルモノ二件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算鐵道省所管帝國鐵道資本勘定歳出第一款鐵道建設及改良費第二項改良費中鐵道省ノ支出ニ係ルモノ四件

同上收益勘定歳入第一款鐵道作業收入第一項運輸收入中鐵道省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ二件、第三項假收入及立替金受入中鐵道省ニ於テ歳入ニ編入スヘキ件、歳出第一款鐵道作業費第一項事業費中鐵道省ノ支出ニ係ルモノ四件、第三項諸拂戻及立替金中鐵道省ノ支出ニ係ル件

大正十一年度國有財産増減總計算書ヲ審查シ總テ異議ナキモノト議決セリ

依テ及報告候也

大正十五年三月二十日

貴族院議長公爵德川家達殿

大正九年度及大正十年度歳入歳出總決算歳入經常部第三款官業及官有財産收入第二項森林收入中東京大林區署ニ於テ收入ニ至ラサリシ件

大正十二年度歳入歳出總決算歳出經常部海軍省所管第二款軍事費第九項艦營費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件

右ハ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スヘキモノト認ム

其ノ他異議ナシ

右之通議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十日

貴族院議長公爵德川家達殿

伯爵 樺山 愛輔

貴族院ハ大正十三年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管樺太廳歳入臨時部第二款官行斫伐收入第一項官行斫伐收入中樺太廳ニ於テ樺太林業株式會社並株式會社松昌洋行ニ拂下ケタル官行斫伐材賣拂代金ニ對シ無擔保ニテ其ノ延納ヲ許可シ收入困難ニ至ラシメタルハ官行斫伐材ノ賣拂ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリト議決ス

決議案

貴族院ハ官有物中樺太廳ニ於テ收場ニ使用スル目的ヲ以テ無料貸付ヲ爲シタル國有未開地ノ事業成績ノ不良ナルモノ多キハ國有未開地ノ貸付ニ當リ其ノ措置宜シキヲ得サリシモノニシテ不當ナリト議決ス

大正十一年度國有財産増減總計算書ヲ審查シ總テ異議ナキモノト議決セリ

依テ及報告候也

大正十五年三月二十日

貴族院決算委員長

伯爵 樺山 愛輔

貴族院議長公爵德川家達殿

大正十二年度國有財産増減總計算書ヲ審査シ總テ異議ナキモノト議決セリ
依テ及報告候也

大正十五年三月二十日

貴族院決算委員長

伯爵 樺山 愛輔

貴族院議長公爵德川家達殿

大正十三年度國有財産増減總計算書ヲ審査シ總テ異議ナキモノト議決セリ
依テ及報告候也

大正十五年三月二十日

貴族院決算委員長

伯爵 樺山 愛輔

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵樺山愛輔君演壇ニ登ル〕

○伯爵樺山愛輔君 決算ニ關スル報告ヲ申上ゲマス

〔副議長侯爵蜂須賀正詔君議長席ニ著ク〕

本議會ノ決算委員會ノ審議ニ上ボリマシタ決算ハ、大正十二年度、大正十三年度、尙ホ外ニ國有財産ニ關スル審査モ致シタノデアリマス、大正十二年度ノ決算ハ大震災ノ爲ニ前議會ノ決算委員會ニ間ニ合ハナカッタノデ、此決算委員會ニ持テ越シタノデアリマス、ソレカラ過日本院ニ於テ御決議ニナリマシタ國有財産大正十一年度ノ調査モ、其御決議ノ結果ニ依リマシテ、大正十二年度、十三年度ノ分ト併セテ審査スルコトニナッタノデゴザイマス、此三口ヲ合セマシテ是ヨリ漸次御報告申上ゲタイト思ヒマス、正確ヲ缺カナイ範圍ニ於キマシテ、成ルベク省略イタシタイト考ヘテ居リマスノデアリマス、大正十

二年度ノ決算ニ對シマシテハ、從來ノ審査方法ニ依リマシテ審査イタル結果ガ、政府ノ措置穩當ヲ缺クト決シタルモノ二十六件、政府ニ對シ注意ヲ促スベキモノト認メタルモノ百三十五件、其他ハ總テ異議ナシト決議イタルノデアリマス、茲ニ歳出入ノ金額ヲ報告イタシマス、一般會計大正十二年度決算額、數字ハ百万以下ハ朗讀ヲ略スルコトニ致シマス、歳入經常部十三億三百万、歳入臨時部七億四千万、此合計二十億四千五百万、歳出經常部九億六千万、歳出臨時部五億六千万、合計十五億二千一百万、差引剩餘金五億二千四百萬、十二年度ノ特別會計ニ於テハ其計算ガ甚ダ面倒デアリマシテ、口數モ四十七ニナッテ居リマス、又其金額モ幾十億ニ上ボルノデアリマスカラ、サウシテ又一般會計ノ出入ト重複シテ參リマスカラ、其數字ハ決算書ニ讓ルコトニ致シマシテ、次ニ大正十三年度ノ報告ニ移リマス、大正十三年度ノ決算ニ對シテハ、政府ノ措置不當ナリト決議シテ決議案ヲ提出セルモノ三件、政府ノ措置穩當ヲ缺クモノト認メタルモノ二十八件、政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スベキモノト認メタルモノ六十八、其他ハ總テ異議ナシト決議イタルノデアリマス、一般會計十三年度決算額歳入經常部十四億三千八百萬、歳入臨時部六億八千八百萬、合計二十一億二千七百萬、歳出經常部十億五千五百萬、歳出臨時部五億七千四百萬、合計十六億二千五百萬、差引剩餘金五億二百万、十三年度特別會計ハ十二年度ト同様口數モ多ク計算複雑デアリマスカラ、其數字ハ決算書ニ讓リマス、茲ニ大正十三年度ノ、最初、此決議案ヲ朗讀イタシマス

貴族院ハ大正十三年度各特別會計歳入歳出大藏省所管樺太廳歳入臨時部第二款官行斫伐收入、第一項官行斫伐收入中樺太廳ニ於テ樺太林業株式會社並株式會社松昌洋行ニ拂下ケタル官行斫伐材賣拂代金ニ對シ無擔保ニテ其延納ヲ許可シ、收入困難ニ至ラシメタルハ官行斫伐材ノ賣拂ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリト決議ス

此内容ヲ一口ニ申上ゲマスレバ、是ハ樺太廳ガ、信用ノ無イト云フコトノ分かつ人間ガ經營シテ居リマサル會社ニ向ッテ賣拂代金三百五十萬圓餘リ無擔保デ此延期ヲ許シタノデアリマス、詳細ハナカク込入ッテ居リマスカラ省略シテ置キマス、第二ノ決議案ハ

貴族院ハ官有物中樺太廳ニ於テ牧場ニ使用スル目的ヲ以テ無料貸付ヲ爲シタル國有未開地ノ事業成績ノ不良ナルモノ多キハ國有未開地ノ貸付ニ當リ

其ノ措置宜シキヲ得サリシモノニシテ不當ナリト決議ス

是ハ其内容ハ牧場ト云フコトヲ貸付ケタノデアリマスガ、件數ガ三百五件アリマシテ、町步デ三万九千三百町步餘リノモノデアリマス、其内、解約ニナッタモノガ百三十五件アリマシテ、此町步ガ二万九百町步バカリニナッテ居リマスノデスガ、一向此事業ノ見込ノモウ立チマセヌノニ、ソレカラ此立木ナドヲ賣拂ヒマシテ一向辨償ナドヲ得ルコトノ出來ナイト云フヤウナ狀態ノモノガ數知レズアルノデゴザイマス、之ニ對シテハ委員會ニ於キマシテハ、ヒドク詰問、論難セラレタノデアリマスルガ、其結果、結局右決議案ヲ提出スルニ至ッタノデアリマス、次ニ國有財産ニ付キマシテ申上ゲマス、此國有財産ノ審査ト云フコトハ、今回ガ初マリデアリマシテ、總テノ提出セラレテ居ル所ノ書式ヤ何カバ他ノ決算書類見タヤウニ工合好ク決算委員ニ於テ審議スル形ニナッテ居リマセヌノデ、ソレデアリマシテ、大體ニ於テ検査院ノ報告通りト云フコトヲ決定イタシタノデゴザイマスルガ、寧ロ是ハ審査ト云フコトハ、寧ロ審査ニ關スル準備ニ付色々今回ハ研究シタ譯デゴザイマス、ソレデ特ニ一ツノ小委員ヲ設ケマシテ、此小委員ノ仕事トシテ色々研究イタシマシタノデゴザイマスガ、審議スル方法ガ定マッテ居ラナイノデスカラ、此方法ヲ決メルコトニ付テ大分時ヲ費シタノデアリマスガ、マア大體ニ於テ國有財産ニ對スル決算委員ノ仕事ト云フモノハ、此方法ヲ決メルト云フコトガ主モナ仕事デアッタト御覽ヲ願ッタラ宜カラウト考ヘテ居リマス、ソレデ此通りノ方法ヲ結局、小委員會ニ於テ決定ヲ致シタノデアリマスガ、一、該計算書……該計算書ト云フノハ即チ國有財産増減總計算書デアリマスノデ、該計算書ニ掲スル價格ハ時價ニ適合スルヤ否ヤ、一、公用及公共財産中使用承認ノ濫用ヲ爲スモノナキヤ否ヤ、一、營林財産中事實營林ノ目的ニ反スルモノナキヤ否ヤ、一、公園又ハ寺院境内地ニシテ事實上公園又ハ寺院トシテ使用セラレサルモノナキヤ否ヤ、一、雜種財産トシテ處分シ得ヘキ財産ノ狀況ニ關スル事項、一、官舎制度ノ統一ニ關スル事項、一、國有財産調査會ニ於ケル調査ノ經過及右調査ニ基ク整理ノ狀況、斯ノ如キ要項ヲ先ヅ定メマシテ、不十分ナガラモ出來ルダケノコトヲ國有財産増減調ニ付テ致シタ譯デゴザイマス、ソレデ前申上ゲタ通り、大體ニ於テ検査院ノ報告通り、何レモ異議ナキモノト決議イタシマシタノデゴザイマス、ソレニ付テ種々質問ノ結果、二様ノ希望條件ガ決議イタサレマシタカラ

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕
ソレヲ玆デ朗讀イタシマス

希望決議(其ノ一)

國有財産ヲ審査スルニ當リ各省所管中國有財産ノ整理今尙其緒ニ就カサルモノアルヲ見ル政府ハ適當ノ方法ヲ講シ速ニ其ノ進行ヲ圖ラレムコトヲ希望ス

希望決議(其ノ二)

國有財産ヲ公用ノ目的ヲ妨ケサル限度ニ於テ使用許可スル場合ニ往々其ノ許可ノ範圍ヲ超脱シテ使用ナサシムルコトナキニアラス、政府ハ將來其弊ナカラシムル爲ニ相當ノ取締ヲ講セラレムコトヲ望ム

是デ私ノ報告ハ終リマス
○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ通告ニ依リマシテ石川三郎君ニ發言ヲ許シマス

〔石川三郎君演壇ニ登ル〕

○石川三郎君 私ハ目下支給サレテアリマスル賞與ニ付キマシテ、簡單ニ質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、而シテ此事ガ委員會ニ於テ論議サレマシタナラバ、委員長ニ於テ、然ラザレバ内閣總理大臣ニ於テ、御説明アラムコトヲ前以テ御願ヒ致シテ置クノデアリマス、併ナガラ本日ハ内閣總理大臣、大藏大臣、兩大臣トモ缺席ヲサレテ居ルノデアリマスルガ故ニ、大藏次官ニ於キマシテ内閣ヲ代表シテ御説明下サレバ、ソレデ結構デアリマス、官吏ニ對シマシテ相當ノ賞與ヲ支給イタシマスルコトハ、是亦至當ナルコトデ、已ムヲ得ヌコトデアラウト思フノデアリマス、カルガ故ニ、歷代内閣ニ於キマシテ、科目ノ流用ニ依リ、俸給ノ剩餘ヲ以テ年々官吏ニ對シ賞與ヲ支給シテ居ッタノデアリマス、而シテ其賞與タルヤ、實ニ賞與トシテ支給シテアッタノデアリマスルガ故ニ、一年ノ年額金モ別ニ制限制定イタシタ模様デアリマセスケレドモ、自ラ一定ノ範圍ガアッタヤウニ見受ケルノデアリマス、偶、年柄ニ依リマシテ、六百万圓ニ及ンダコトモアリマスルケレドモ、大抵ノ年ハ二百万圓カラ三百万圓ノ範圍内デ支給シテアルノデアリマス、今、大正元年カラ六年マデノ賞與ノ平均額ヲ通ジテ見マスルト、一年ノ平均額ガ二百三十万圓ニ相成ッテ居リマス、斯ノ如ク整然トシテ支給サレマシタル此賞與モ、大正七年ト相成リマスルト、物價暴騰ノ結果デアリマセウカ、賞與ト俸給ハ全

ク主客顛倒ヲ致シマシテ、賞與ハ俸給ノ補助給デアルガ如キ格ヲ以テ取扱ハレルヤウニ相成ッタノデアリマス、從ヒマシテ、是マデ俸給ノ剩餘ヲ以テ支給シテアッタモノガ、此後ニ相成リマスルト、假令臨時費トハ申シナガラ、事業費、旅費、事務費ト云フヤウナモノノ流用ヲドシ行ナツテ、サウシテ賞與ヲ支給シタノデアリマス、ソレガ爲ニ大正七年ニナリマスルト、賞與ハ一躍イタシテ九百三十万圓ノ高ニ相成ッテ居ルノデアリマス、又大正八年ニナリマスルト云フト、七百餘万圓、大正九年ニナリマスルト、是ガ又増加イタシマシテ、賞與ハ實ニ、千四百三十万圓ノ高ニ相成ッテ居ルノデアリマス、デ賞與ニ付キマシテハ、私ガ茲ニ事新シク申上ゲルマデモナク、假令物價ガ暴騰イタシテ、賞與ガ變ナ形ヲ取ルヤウニナツタニ致シマシテモ、ドコ迄モ俸給ハ俸給デアリ、賞與ハ賞與トシテ支給サレナクテハナラヌモノデアラウト私ハ確ク信ズルノデアリマス、故ニ俸給ノ足ラナイ所ハ之ヲ増加イタシ、以テ物價ガ安定イタシマシタナラバ直チニ此賞與ニ向ッテハ整理ヲ加ヘマシテ、元通り賞與トシテ支給スルヤウニ、政府ハセナケレバナラヌモノト私ハ確信イタス、然ルニ俸給ハ其後直チニ相當ニ増俸サレタカノヤウニ思ハレマスルケレドモ、ドウシタ譯カ知ラス、此賞與ハ今日ニ至ルマデ依然トシテ、大正七年其儘デ取扱ハレテ參ッテ居ルノデアリマス、是ハ私ハ憲法デ決シテ禁ジテハアリマセヌケレドモ、憲法ノ精神ニ確カニ反スルモノト私ハ思ウテ居リマス、申スマデモナク憲法デ科目課額ノ流用ヲ禁ジテハ居リマセヌ、禁ジテハ居リマセヌケレドモ、是ハ已ムヲ得ザル場合ニ少額ノ流用ヲ許スモノデ、何千万圓ト云フ金ヲ許ス精神ハ憲法ニ持ッテ居ラナイ、私ガ申スマデモナク、會計法第三十九條ニ依リマシテモ、科目ノ流用ハ大藏大臣ノ許可ガナクテハ出來ナイト云フコトヲ明カニ示シテ居ルノデアリマス、然ルニ唯今申シマスル如ク、今日ニ至ルマデ賞與ハ大正七年ノ其儘デ取扱ハレテ參ッテ居リマスルガ故ニ、大正十年後ニ於キマシテハ、賞與ハ必ズ減ラナクテハナラヌト云フ事情ガ起ッテ來テ居ルノニモ拘ラズ、年々増加イタシテ參ッテ來テ居ルノデアリマス、今大正十年ヨリ十三年ニ至ル賞與ノ額ヲ申上ゲテ見マスルト、大正十年ニ於キマシテハ千六百六十餘万圓、大正十一年ニ於キマシテハ千四百二十五万圓、茲デテヨット申上ゲテ置カナクテハナリマセヌコトハ、大正十年ニ於キマシテハ彼ノ農商務省ガ、大正十一年ニ於キマシテハ内務省ト遞信省ガ、賞與金ヲ全廢イタシマシテ、賞與ヲ是以上増スマイト努メタ跡ガ、歴

然トシテ現ハレテ居ルコトデアリマス、然ルニ大正十二年後ノ内閣ニ於キマシテハ、此考ガ全ク無カッタト見エマシテ、大正十二年ニナリマスルト又々一躍イタシマシテ、賞與ノ額ハ實ニ二千百四十万ノ高ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ大正十三年ニナリマスルト此上又増加イタシマシテ、其額ハ二千三百三十九万圓ニ相成ッテ居リマス、若夫レ此額ニ、特別會計ニ屬シテ居リマスル鐵道省ノ賞與ヲ加ヘマシタナラバ、必ヤ私ハ此賞與ノ額ハ三千万圓ヲ越スモノト思フノデアリマス、斯ノ如キ賞與ノ増加ハ、私ハ國家ニ取リマシテ決シテ良イ現象デナイト思フノデアリマス、殊ニ大正十三年ト云フ年柄ヲ考ヘテ見マスルト、ドウシテモ此賞與ノ額ハ減ッテ居ラナケレバナラヌ年柄デアアルノデアリマス、然ルニ却テ是マデ無イ所ノ龐大ナル額ヲ以テ支給サレタト云フニ至リマシテハ、私ハ實ニ國家ノ爲ニ遺憾千萬ニ存ズルノデアリマス、大正十三年ハ如何ナル年柄デアッタカ、申スマデモナク、我國ハ彼ノ大震災災ニ遭遇イタシマシテ、少クトモ其年ダケノ官吏ハ、精神作興ノ念ニ滿タサレテ居ッタ年デアリマス、又加藤友三郎内閣ハ、官吏ノ恩給ニ一大改革ヲ施シマシテ、軍人官吏ノ手當ヲ非常ニ良ク爲シタ年デアリマス、又陸海軍縮行政整理ヲ行ヒマシテ、陸海軍人並ニ官吏ノ數ガ非常ニ減ッテ居ル年柄デアアル、殊ニ此十三年ト云フ年ハ、綱紀肅正經理財政ノ緊縮ヲ標榜シテ、現内閣ガ立ッタル年デアリマス、而シテ現内閣ハ此二大標榜ノ下ニ彼ノ行政整理ヲ行ナッタノデアリマスルガ故ニ、現内閣ニシテ苟クモ、少シデモ此賞與ヲ整理セナケレバナラヌト云フ精神ガアリマシタナラバ、現内閣ハ大シタル故障苦辛苦ナクシテ、否デモ應デモ此賞與ガ整理ヲサレテ居ラナケレバナラヌ筈デアッタノデアリマス、然ルニ十三年ノ決算ヲ見マスルト、賞與ハ一厘一毛モ削減セラレザルノミナラズ、從來ニナイ龐大ナル額ヲ以テ支給セラレタト云フニ至リマシテハ、現内閣綱紀肅正經理財政ノ緊縮方針モ、大ニ私ハ疑ハザルヲ得ナイト思フノデアリマス、現内閣ハ、賞與ハ科目ノ流用ニ依ッテ支給シテ居ルモノデアアルガ故ニ、其結果ガ如何ニ相成ラウトモ、國民ガ之ニ喙ヲ容レルベキモノデナイトシテ、此儘此賞與ハ如何ニ増加シヤウトモ、放任シテ置カル御方針デアアルカ、或ハ此際、相當ノ考ヲ以テ、賞與ヲ整理セラル御考デアアルカ、政府ノ御方針ヲ承リタイト思フノデアリマス

〔政府委員武内作平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武内作平君) 大藏大臣ガ病氣缺席ヲセラレテ居リマスカラ、私

カラ申上ゲマス、石川君カラ十三年度ノ賞與金ガ非常ニ多額デアルト云フ御指摘ガアッタデアリマスガ、十三年度ハ御承知ノ通り行政整理ヲ致シマシテ、解職ヲ致シマシタ人ガ非常ニ澤山アリマシタカラ、ソレニ對シテ交付ヲ致シタノデアリマシテ、決シテ此從前ノ例ヲ外レテ多額ノ賞與ヲ給シタリト云フヤウナ關係ニナツテ居ラヌデアリマス、其以前ノ賞與金ノ金額ニ付キマシテハ、唯今調査ヲ致シタモノヲ持ッテ居リマセヌガ、石川君ガ御調べニナリマシタデアリマシタラバ、多分其通りニナツテ居ルンダラウト思ヒマス、併シ是ハ御承知ノ通り、此俸給ト云フコトガ項デアリマシテ、俸給、加俸、或ハ賞與ト云フコトハ目ニナツテ居ルデアリマス、之ヲ多少流用シタカラウト云ウテ、總テ豫算決算ニ違反ヲシテ居ルモノト云フ譯ニハ參ラヌデアラウト思フ、殊ニ是ハ度々御院ニ於キマシテモサウ云フ御議論ガアッタラウト思ヒマスルガ、衆議院ニ於キマシテモ度々問題ニナッタデアリマスルガ、歴代ノ内閣ノ習慣ト申シマスルカ、矢張り斯ウ云フコトヲヤツテ居リマシテ、容易ニ改メラナイデアリマス、併ナガラ御議論ニナリマシタ所ハ、純理論トシテハ至極御尤ノコトデアルト思フデアリマス、現内閣ニ於キマシテハ、御承知ノ通り行政調査會ニ於キマシテ、各方面ノ給與ニ關スルコトヲ目下研究ヲ致シテ居ルデアリマス、各省ガ給與ニ對シマシテハ、種々一定ヲシナイ、統一ヲシナイ所ノ方法ヲ執ッテ居リマスルカラシテ、或ル省ニ於テハ賞與ガ非常ニ多ク、或ル省ニ於テハ少イ、又或ル省ニ於テハ嚴重ニ、石川君ノ仰セラレタヤウナコトヲ厲行シテ居ルノニ、或ル所ニ於テハ其通りニ行ナツテ居ナイト思フヤウナ風ノコトモアリマスノデ、高イ所カラ低イ所、又幅ニ於キマシテモ、總テニ互ッテ給與制度ノ改革ヲスルト云フコトデ、目下行政調査會ニ於テ、之ヲ研究ヲ致シテ居リマスルカラ、唯今石川君ノ御話ニナリマシタ點ニ付テ、十分研究ヲ致シマシテ、改正ノ出來ルコトニ付キマシテハ改正スルコトニ致シタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵

○男爵阪谷芳郎君 簡單デゴザイマスカラ……本員ハ唯今上程ニナツテ居リマスル決算書ヲ見マス、尠カラヌ機密費ガ掲ゲラレテアリマス、機密費ノ検査ニ付キマシテハ、會計検査院法第二十三條ニ於テ、會計検査院ガ検査セヌコトニナツテ居リマス、是ハ機密費ハ軍事探偵其他種々ナル國家ノ機敏ナル働キヲ達成スル爲ニ必要ナコトニ使ハレマスノデ、公ケニセヌト云フコトハ

當然ナコトデアルト思フデアリマス、而シテ各省ニ於テハ會計課長ガソレゾレ監督イタシテ、明瞭ナル收支ガ出來テアルデアアル、現在マデハ會計検査院ハ、此機密費ノ決算ニ觸レナカッタト云フコトハ何等苦情ガ無カッタデアリマスガ、不幸ニシテ今年ハ衆議院ニ於キマシテ、機密費ノコトデ非常ナ面倒イ問題ガ起ッテ居ルヤウデアリマス、是ハ時勢ノ變遷、已ムヲ得ザルコトト思ヒマスルガ、唯今ノ検査院法ハ餘リニ窮屈デアアル、幾分力検査院ノ職權ヲ擴メ、無論、機密費ノ收支ヲ公表スルト云フコトハ出來マセヌガ、會計検査院長トシテハ或ル程度マデ知ッテ置クト云フコトハ、一般ノ疑惑ヲ解キ、又國民ノ安心ヲ來ス所以デアラウト思フデアリマス、依テ本員ハ本日、大藏大臣ニ此事ニ付テ質問ヲ致シタイ希望ヲ持ッテ居リマシタノデゴザイマスガ、御缺席デゴザイマスノデ、是ハ已ムヲ得マセヌ、ドウカ次ノ議會ニ於キマシテハ、検査院ノ機密費ニ關スル職權ヲ幾分力擴張セラレルト云フコトヲ御考慮アリタイ、ト云フ希望ヲ述ベテ置キマス

○伯爵樺山愛輔君 此交際費及機密費ノ問題ハ、決算委員會ニ於テ大分議論ノアッタ問題デアリマシテ、其議論ノ御持主ノ副委員長ノ福永君ガ茲デ發言ヲ願ッテ自分ノ意見ヲ申上ゲタイト、斯ウ云フコトゴザイマスカラ、ドウカ……

○議長(公爵徳川家達君) 福永君

○福永吉之助君 先程石川三郎君ヨリ、賞與ノコトニ付キマシテ、決算委員會デ其議ガアッタヤ否ヤト云フ御尋デゴザイマシタガ、ソレニ付テ石川君ニ御答ヲ致サムト考ヘマス、此賞與ノコトハ俸給豫算ニ關係イタシマシテ居リマシテ、俸給豫算ニ付テ略、申述ベマシテ、ソレヨリ賞與ノコトニ及ビタイト考ヘマス、俸給豫算ハ大正十二年度ニ付テ調ベテ見マスルト、經常臨時部ヲ合セ二千三百萬圓ノ賞與金ガアリマス、大正十三年度ニ付キマシテ、十分取調ヲ致シマセヌデゴザイマシタガ、十二年度ニ於テハ正シク二千餘萬圓ノ金ニナツテ居リマス、併シ是モ概算デアアルコトハドウカ御含ミヲ願ヒタイノデアリマス、其俸給豫算ノ殘額ガ大部分、三分ノ二以上賞與ニ皆流用イタサレテ居ルノデアリマス、ソレデ其流用ノ割合ガ各省ノ間、少キハ一割、多キハ六割七割ノ流用ニナツテ居リマス、其流用サレタ金ガ總テ賞與ニ充テラレテ固ヨリ居ルノデアリマス、ソレデ、各省ノ間、賞與ガ非常ニ權衡ヲ失シテ居ル、或ル省ニ於テハ一割以内、或ル省ニ於テハ五割六割ノ賞與ニナツテ居ル、ソレデ此事ニ付テ大藏當局ニ御尋ネ致シマシタ所ガ、從來ノ仕來リニ依ッテ斯ウヤツテ

居ル、併シ是ハ大正十六年度ニ於テハ相當處置ヲ執ルノデアアル、俸給豫算ノ編成ヲ爲シ、改良ヲ加ヘ、賞與ニ付テモ相當ノ處置ヲ執ル積リデアルト云フ御答デアリマスカラ、實ハ此事ニ付キマシテ、希望ヲ附シテ本議場ニ報告イタシタイ考デ居リマシタノデアリマス、ケレドモ大藏政務次官ノ御答ヲ信ジマシテ、必ズ十六年度ニ於テハ俸給豫算ノ編成若クハ賞與ニ付キマシテモ相當改良ヲ加ヘラレルモノト考ヘマシテ、希望條件ヲ附加ヘヌデ置イタノデアリマス、ドウカ石川君モ御含ミ置キヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 是ニテ質問ノ通告者ハ終リマシタ、別段討論モ無イト認メマスカラ採決ヲ致シマス、總テ決算委員長ノ報告ニ對シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 書記官ヲシテ報告セシメル事項ガゴザイマス

〔長書記官朗讀〕

本日豫算委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正十五年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)、大正十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)修正報告書

大正十五年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)、大正十五年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)、大正十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)可決報告書

○伯爵林博太郎君 此際日程ヲ變更シ、大正十五年度總豫算追加第一號、第二號、第三號、同ジク特別會計豫算追加特第一號、特第二號、右五案ヲ直チニ上程審議セラレムコトノ動議ヲ提出イタシマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 林伯爵ノ議事日程變更ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ豫算追加案ノ會議ヲ開キマス、豫算委員長報告林伯爵

一大正十五年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

一大正十五年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一大正十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審查シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十五日

豫算委員長

伯爵 林 博 太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

一大正十五年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

一大正十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審查シ別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正十五年三月二十五日

豫算委員長

伯爵 林 博 太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

(豫算委員ノ修正ニ係ル部分ヲ印刷シ其ノ他ハ之ヲ略ス小字ハ修正文) 一ハ同割除ノ符號ナリ

五頁

第一條

大正十五年度歳入歳出追加額ヲ各七百七拾萬貳千八百四拾圓ト定ム其ノ款項ノ金額ハ別冊甲號歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

七頁

第九款 前年度剩餘金繰入

七、四九七、三一八
七、六〇七、八六〇

第一項 前年度剩餘金繰入

歲入總計

七頁——八頁

第四款 社會局

第一項 俸給

第二項 事務費

第十一款 地方廳

第一項 俸給

第二項 事務費

內務省所管合計

第十一款 國債整理基金繰入

第一項 國債整理基金繰入

九頁

歲出經常部合計

一二頁

歲出總計

三頁

歲入

第一款 國債整理基金收入

第一項 一般會計ヨリ受入

七、四九七、三一八
七、六〇七、八六〇
七、五九二、二九八
七、七〇二、八四〇

二八、八三〇
三三、二二二
九、五三三
一、二〇一

一九、二九六
二二、〇三一
一七、八六一
二〇、九七一

四一、四三四
五〇、四三四
一三七、一七六
一五九、二七六

二〇七、四四二
二四二、九四二
七、七六、七〇〇
八五一、七四〇

七、七六、七〇〇
八五一、七四〇
八五一、七四〇
八五一、七四〇

一、二二四、五六六
一、二三五、一〇八
七、五九二、二九八
七、七〇二、八四〇

七、五九二、二九八
七、七〇二、八四〇

豫算委員ノ修正ニ係ル部分ヲ印
刷シ其ノ他ハ之ヲ略ス小字ハ修
正文、ハ同削除ノ符號ナリ

七、七六、七〇〇
八五一、七四〇
七、七六、七〇〇
八五一、七四〇

歲出

第一款 國債整理基金支出

第一項 國債整理基金支出

〔伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

七、七六、七〇〇
八五一、七四〇
七、七六、七〇〇
八五一、七四〇

○伯爵林博太郎君 唯今、日程ニ上ボリマシタ大正十三年度歲入歲出總豫算追加、全部デ五案ゴザイマスルガ、之ヲ一括シテ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ簡單ニ御報告イタシマス、是等ノ豫算ハ第一號ニ於キマシテハ、歲入歲出各千七百六十三万五千四百九十八圓、第二號ニ於キマシテハ千五百八十六万二千五百十圓、第三號ニ於キマシテハ、七百七十万二千八百四十圓、是等ヲ總計シマスト約四千百万圓餘リニ相成ルノデゴザイマス、又之ニ大正十五年度ノ特別會計歲入歲出豫算追加第一號ト第二號トガゴザイマス、而シテ其内容ニ付キマシテハ既ニ政府ヨリ説明ガアリマシタシ、時日切迫ノ際デアリマスカラ、總テ省略ヲ致シマス、併ナガラ以上五案共ニ大體、法律案ノ施行ニ伴フモノデアリ、且ツ主トシテ風水害火災ノ復舊新營費等デアリマシテ、萬已ムヲ得ナイ經費デアアルノデアリマス、三月二十四日午前午後ニ互リマシテ總會ヲ開イテ、分科會ニ移サナイデ審議スルコトニ致シマシタ、今質問ノ要領ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、而シテ其質問ハ二十五日午前モ致シマシタ次第デゴザイマス、日露漁業協約、通行税、關稅竝ニ金融制度ニ關スル調査會、中央官衙ノ建築、思想問題、犯罪ト宗教トノ關係、支那ノ關稅特別會議等、相當ニ精密ナル質問應答ガアッタノデゴザイマス、併ナガラ是等ノ内容ニ付テハ、此際總テ省キマス、後討論ニ移シマシテ、先ヅ一般會計總豫算第一號、第二號、特別會計特第一號ニ付キマシテ、採決ヲ致シマシタ所、異議ナク可決シタノデゴザイマス、續キマシテ海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案ニ關スル豫算、總豫算追加第三號、大藏省所管經常部第十一款第一項、國債整理基金繰入、八十五万七千七百四十圓、竝ニ特第二號國債整理基金特別會計、大藏省所管第一款第一項、是ハ矢張り八十五万一千七百四十圓ト相成ッテ居リマス、此分ト勞働組合法施行ニ關スル經費、總豫算追加第三號、經常部內務省第四款社會局、第十一款地方廳、合セテ三万五千五百二圓、此二ツノモノヲ除キマシテ採決ヲ致シタノデゴザイマス、即チ其餘分ノモノニ付キマシテ採決ヲ致シタノデゴザイマスルガ、是モ異議ナ

ク可決ニナリマシタ次第デアリマス、次ニ唯今述ベマシタ國際整理基金繰入
ト、竝ニ此勞働組合法施行ニ關スル經費ノ豫算ヲ問題ニ供シタノデゴザイマ
ス、先ヅ此國際整理基金ノ方カラ申上ゲマスガ、是ハ二千三百萬圓ノ中、尼
港竝ニ「オコーツク」ノ災害ノ方面ヲ除キマシテ二千二百萬圓、ソレヲ衆議院

ニ於テ二百萬圓削除イタシマシタコトハ、昨日御承知ノ通りデゴザイマス、
此二百萬圓ノ削除ガアリマシタ以上ハ、此二百萬圓ニ對スル利子額、即チ五
分ト見積リマシテ減額スベキ部分七萬五千飛ンデ四十圓トナル次第デアリマ
ス、是ハ二百萬圓減額シマシタ以上ハ、當然其利子額ヲ其儘可決スルト云フ
コトハ、豫算委員會トシテ爲スベカラザルコトデアルト云フ見地ノ下ヨリ、
之ヲ削ルコトニ相成リマシタ、結局、八十五萬一千七百四十圓ヨリ七萬五千
四十圓ヲ引キマス、差引七十七萬六千七百圓ヲ削除スルト云フコトニ相成リ
マス次第デアリマス、是ハ此削除ト云フコトガ通過イタシマシタ次第デアリ
マス、即チ之ヲ削除スベシト云フコトニ決定イタシタノデアリマス、又此勞
働組合法施行ニ關スル經費三萬五千五百二圓、是ハ勞働組合法ガ目下衆議院
ニアリマシテ、決定スルヤ否ヤト云フコトヲ豫測スルコトガ出來ナイ、是ガ
コチラニ來ナイダラウ、貴族院ニ廻付サレナイダラウト云フコトヲ知リナガ
ラ、之ヲ豫算ニ於テ認メルト云フコトハ、委員會トシテ不可能デアルト云フ
見地カラ、此三萬五千五百二圓ヲ削除イタシタ次第デゴザイマス、此削除ニ
付キマシテ、即チ此二ツノモノノ削除ト云フコトハ、矢張り可決ニ相成リマ
シタ、ソレハ即チ削除ト云フコトニ決定相成リマシタ次第デアリマス、此兩
者ヲ除キマシテハ、衆議院ヨリ送付イタシマシタ通りニ、豫算追加案全部ハ
可決ニ相成リマシタ次第デゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ發言者モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマ
ス、全部ヲ問題ニ供シマス、豫算委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○花井卓藏君 緊急動議ヲ提出イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○花井卓藏君 日程ヲ變更セラレマシテ第三十ヨリ三十五ニ至ル選舉爭訟ニ
關スル資格審査委員長ノ報告ヲ議題ニ供セラレムコトヲ望ミマス

○子爵柳筈隆督君 花井君ノ動議ニ賛成致シマス
○議長(公爵德川家達君) 花井卓藏君ノ議事日程變更ノ動議ニ同意ノ諸君ノ
起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス、議事日程ハ變更セラレマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ノ第三十ヨリ第三十五マデ資格審査委員
長ノ報告デゴザイマスガ、先ヅ以テ問題ニ供シマスノハ、日程第三十ノミト御
承知ヲ請ヒマス、資格審査委員長報告、會議、寺島伯爵ノ登壇ヲ望ミマス
貴族院議員八木春樹ニ係ル當選不法ノ訴ニ關シ本委員會ニ於テ資格審査ヲ
終リ別冊ノ通判決スヘキモノト議決候條此段及報告候也

大正十五年三月二十二日

資格審査委員長

伯爵 寺島誠一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

本訴ハ原告貴族院多額納稅者議員互選人愛媛縣温泉郡雄群村大字竹原德本
良一、同縣同郡川上村大字南方坂本公德、同縣西宇和郡伊方村佐々木長治
ヨリ被告愛媛縣選出貴族院多額納稅者議員八木春樹ニ對シ其ノ當選ノ無效
ヲ請求シタルモノトス但シ原告坂本公德及佐々木長治ハ大正十五年二月二
十三日附ヲ以テ各其ノ訴ヲ取下タリ

原告請求ノ要旨

大正十四年愛媛縣多額納稅者議員互選人名簿中ニ登錄セラレタル近藤貞次
郎外五名ハ所得稅額決定ノ結果缺格者ト爲リ豐嶋直順外四名ハ所得稅額決
定ノ結果有資格者タルニ拘ハラス名簿ニ登錄セラレサリシカ爲互選人タル
ヲ得サルニ至レリ此ノ如ク無資格者ヲ登錄シ有資格者ヲ登錄セスシテ確定
シタル名簿ニ依リテ行ハレタル選舉ハ貴族院令第六條「多額ノ直接國稅ヲ
納ムル者百人ノ中ヨリ一人又ハ二百人ノ中ヨリ二人ヲ互選シ」云々ノ規定

ニ違反セルモノナリ

抑モ互選人名簿ノ本旨ハ何人カ互選人タルヤヲ明示スルコトニ存シ之ニ依リテ互選ノ權利ヲ與フルモノニアラス從テ確定名簿ニハ絶對避ケ難キ事由ニ原因スルニアラサレハ有資格者ノ脱漏アルヘカヲサルハ當然ナリ故ニ名簿確定前ニ脱漏誤載アルコトヲ發見シタルトキハ互選人ノ申立ニ依ル修正ノ外尙ホ地方長官ニ於テ自ラ之ヲ修正スヘキモノトス若シ之ヲ修正スルヲ得ストセハ確定名簿ニ登錄セラレタル者ノ全部又ハ大部分カ無資格者タルノ不都合ヲ生スルコトアルヘシ

第三種所得稅ハ八月三十日ヲ最終ノ決定期ト爲スカ故ニ六月一日現在ニ依リ調製セラレタル互選人名簿ニハ單ニ稅額ヲ推想シテ之ヲ記載スルニ過キス從テ七月二十日ヨリ十五日間即チ八月四日迄ノ名簿縱覽期間内ニ所得稅額ノ決定アラハ互選人ハ之ニ依リテ理由アル修正申立ヲ爲スヲ得ルモ八月四日以後ニ至リテ其ノ決定ヲ見ルニ於テハ最早修正申立ヲ爲スニ由ナシ此ノ場合ニ於テ名簿調製ノ責任者タル地方長官カ之ヲ修正スルニアラサレハ貴族院令及貴族院多額納稅者議員互選規則ノ本旨ヲ全ウスルヲ得ス而シテ愛媛縣ニ於ケル第三種所得稅額ノ決定ハ八月三十一日ニシテ名簿修正申立期限後ナルニ拘ハラス愛媛縣知事ハ所得稅額決定ノ結果名簿ニ誤載脱漏アルヲ知リナカラ之ヲ修正セス誤脱ノ儘名簿ハ確定シ其ノ結果貴族院令第六條ニ違反セル選舉行ハルルニ至レリ

或ハ互選規則ニハ地方長官ノ自發的名簿修正ニ關スル何等ノ規定ナキヲ以テ互選人ノ申立ニ依ルノ外修正スヘカラスト解スルモノアリト雖互選人名簿ニ關スル規定ハ選舉ノ手續ヲ定メタルニ過キス既ニ實體法ノ規定ニ於テ互選資格ヲ明定シ且事實上何人ノ有資格者タルヤヲ名簿確定前ニ確知シ得タル以上ハ手續規定ノ不備ヲ補充シテ實體法ノ適用ヲ全クセサルヘカラス

又或ハ名簿調製者ノ自發的修正ヲ認メサルハ互選人ノ修正申立權ヲ保護スル必要上已ムヲ得サル法制ニシテ衆議院議員選舉人名簿ニ關スル規定モ亦

同シト主張スルモノアルモ多額納稅者議員選舉ハ衆議院議員選舉ト其ノ實體ヲ異ニスルヲ以テ名簿ニ關シ亦同一ニ論スヘカラス多額納稅者議員選舉ハ選舉人員ヲ限定セル點ニ於テ特殊ノ性質ヲ帶フ從テ其ノ互選人名簿ニ付テモ衆議院議員選舉人ノ如ク一定數ヲ限ラサル場合ノ名簿ト規定ヲ同クセサルヘカヲサル理由ナク又規定ノ解釋ヲ同一ナラシメサルヘカヲサル理由ナシ既ニ兩者別異ハモノタル以上ハ地方長官カ自發的ニ名簿ヲ修正スルモ毫モ互選人ノ修正申立權ヲ害スルモノニアラス

前陳ノ如ク愛媛縣多額納稅者議員選舉ハ違法ノ名簿ニ依リテ行ハレタルモノナレハ該選舉ニ依ル被告ノ當選ハ無効ナリ

被告答辯ノ要旨

原告主張ノ事實ハ之ヲ爭ハス而シテ原告ハ互選人名簿ニ登錄セラレタル互選人中ニ缺格者ヲ生シ又互選資格ヲ有スルニ至リタルモノノ名簿ニ登錄セラレサリシ事實ヲ舉ケテ選舉ノ違法ヲ主張スト雖選舉ノ公正ヲ期スル爲ニ名簿調製ノ主義ヲ採用スル限リハ事實上選舉權ヲ有スル者ニシテ名簿ニ登錄セラレサル爲投票ヲ爲ス能ハサル者ヲ生スルハ已ムヲ得サル所ナリ貴族院令第六條ハ有資格者百人中ヨリ一人又ハ二百人中ヨリ二人ヲ互選セシムルヲ理想トスルモ選舉ノ期日ニ於テ必ス百人又ハ二百人ニ充タサレハ直ニ貴族院令ニ違反スト謂フヲ得サルハ明ナリ若シ否ラストセハ互選資格ニ關シ缺格規定ヲ設ケ或ハ自書主義名簿制度ヲ採用スル等各國各種ノ選舉ニ於テ必要ナル規定トシテ採用スル所ノモノモ亦互選人ヲ制限スルコトナリ互選規則ニ之ヲ規定スルハ違法ナリト謂ハサルヘカラス加之同條ニ規定スル直接國稅ハ其ノ稅額一齊ニ決定確定スルモノニアラスシテ選舉ノ前後ニ涉リテ異動ヲ生スルコトアルヲ免レス而モ選舉ノ期日ニ於テ其ノ最多額ヲ納ムル者ヨリ百人又ハ二百人ヲ確定的ニ決定スルカ如キハ實行上到底不可能ナリト謂ハサルヘカラス又原告ハ地方長官ハ互選人ノ修正申立ニ基クモノノ外自ラ名簿ノ誤載脱漏ヲ修正スヘキモノナリト主張スルモ互選規則ニ明文ナキヲ以テ地方長官ニ此ノ如キ權能ナク假ニ之アリトスルモ其ノ職權

ヲ行使スルヤ否ヤハ地方長官ノ自由裁量ニ存ス
前陳ノ如クナルヲ以テ愛媛縣多額納稅者議員選舉ハ有效ニシテ被告ノ當選
ハ無効ニアラス

議決ノ理由

按スルニ互選人名簿ハ貴族院多額納稅者議員互選規則第六條、第七條ニ依
リ互選人ノ申立ニ基キ修正ヲ爲ス得ルノ外地方長官自ラ修正ヲ爲シ得ヘ
キ規定ナキノミナラス既ニ縱覽期間ヲ設ケ互選人ノ修正申立ヲ許スノ制度
ヲ採リタル以上ハ縱覽開始後ニ於テ地方長官ヲシテ自ラ修正ヲ爲サシムル
ハ法ノ精神ニ副ハサルモノト謂ハサルヘカラス依リテ原告ノ主張ハ理由ナ
キモノトス

右ノ理由ニ依リ本件ハ左ノ如ク判決スヘキモノナリト議決ス

判 決

被告愛媛縣選出貴族院多額納稅者議員八木春樹ノ當選ハ無効ニアラス

〔伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵寺島誠一郎君 唯今日程ヲ變更遊バシマシテ、玆ニ御報告ヲ申上グル
ノデアリマスルガ、順序ト致シマシテ玆ニ先ツ經過ノ概要ヲ述ベテ置キタイ
ト存ジマス、委員會ニ御付託ニナリマシタ訴狀ノ數ハ先日モ申上ゲマシタト
存ジマスルガ、全部デ十二通ニナツテ居リマスノデ、本日御報告ヲ申上ゲマス
ルノガ其六通ニ對シテノ議決ヲ御報告申上グルノデアリマスル、而シテ他ノ
六通ニ付キマシテハ、申上グル迄モナク、千葉縣選出ノ多額納稅議員デアラレ
マシタル被告ニ對シマシテ訴狀ガ提出サレテ居ッタノデアリマスガ、其ノ結末
ハ皆様ノ御承知ノ通りデアッタノデアリマス、次ニ茨城縣原告青木才次郎、被
告高柳淳之助氏ニ對シマスル訴狀ノ結果ニ付テモ、御承知ノ通り去ル十三日
ヲ以テ、本議場ニ於テ同訴狀ノ效力ハ消滅シタルモノナリト院議御確定ニナ
ッタ次第デアリマスルカラ、資格審査委員會ニ於テハ自然此訴狀ノ審査ハ其儘
打切リマシテ、消滅シタモノデアリマス、次ニ熊本縣選出多額納稅者議員坂
田貞君ヲ被告トシ、原告中島照寬ノ訴狀、竝ニ矢張り熊本縣選出多額納稅者
議員澤田喜彦君ヲ被告トスル中島照寬ノ原告トスル訴狀、此二通ハ去スル二
十日ヲ以テ取下願ト云フモノガ議長ノ御手許ニ提出サレテ居ルノデアリマ

ス、此取下ノ規定ト云フモノハ、多額納稅者互選規則其他ノ訴狀取扱ノ規定
ニ於キマシテ何等其規定ヲ掲ゲテ居リマセヌノデアリマスルケレドモ、資格
審査會ニ於テハ、熟議ノ結果取下書ニ對シテ、當然是等ノ訴狀ハ消滅シタモ
ノデアルト云フ判斷ヲ致シタ次第デゴザイマス、ソレデアト殘ッテ居リマスル
二通デゴザイマスルガ、ソレハ新潟縣選出多額納稅者議員齋藤喜十郎君ヲ被
告トシ内藤慎二ナル人ヲ原告トスルモノト、同ジク新潟縣選出多額納稅者議
員齋藤喜十郎君ヲ被告トシ、笠原謙治郎ナル人ヲ原告トスル、此兩訴狀ノ審
理ニ付キマシテハ、現ニ政府ニ、審査ノ上ニ於キマシテ必要ト認メマスル資
料、必要ト認メマス證憑文書等ノ提出ヲ要求イタシタノデアリマス、而シテ
未ダソレ等ノ書類ハ到達ヲ致シテ居リマセヌ、從テ今日マダ審議中デアリマ
シテ、是等ノ訴狀二通、齋藤喜十郎君ニ對シマスル訴狀ニ付キマシテハ、御
報告ヲ申上グル時期ニ達シテ居ラヌノデアリマス、次ニ資格審査會ニ於キマ
シテハ訴狀ヲ受領イタシマスルト、委員會ニ於キマシテハ嚴格ナル點檢ヲ致
シテ居リマスノデアリマス、即チ其形式ニ於テ缺點ナキヤ否ヤヲ……豫メ完
全ニ形式ヲ具備シテ居ルカト云フ點ヲ第一ニ調べマシテゴザイマス、次ニソ
レ等ノ訴狀ニハ適當ニ形式ヲ備ヘテ居ル所ノ副本ガ添付シテアルヤ否ヤ、副
本ガ添付シテアル場合ニソレ等ノ副本ハ形式ヲ完全ニ具備シテ居ルヤ否ヤ、
或ル場合ニハ其正副本ノ日附ナドノ違ッテ居ッタ場合ナドモアルノデゴザイマ
ス、又訴狀竝ニ副本ニ付キマシテモ署名ハ自署デアッタラウカ、其眞偽ヲ十分
檢査イタシマシテ、或ル場合ニハ關係知事ノ證明ヲ求メタ時モアルノデアリ
マス、勿論此副本ニ對シマシテハ、自署デナケレバ副本ガ有效デナイト云フ
コトノ考ハ、審査委員會ニハ持ッテ居リマセヌデアリマシタケレドモ、成ルベ
ク自署ヲ委員會ニ於テハ望ンダ次第デアルノデゴザイマス、次ニ其自署モ毛
筆デ書キマシタノモゴザイマスルシ、或ハ萬年筆ノ場合モアル、或ハ又鐵筆
ノ場合モゴザイマシタノデ、鐵筆ノ自署ニ關シマシテモ、其署名ヲシタ人ノ
自署デアアルコトガ明白ナ場合ニハ、毛筆竝ニ萬年筆ノ場合ト同様ニ之ヲ認メ
ルト云フコトニ致シテ、其書類ヲ取扱ッタノデアリマス、是ハ餘事デアリマス
ルケレドモ、或ル原告ノ阪本ト云フ人ノ場合デアリマシタカ、同ジ訴狀ノ初
メニハ、阪ト云フ字ガ土扁デ書イテアリマシタ、其署名ニ至ッテ扁ガ用井
ラレテアッタト云フヤウナコトモアッタト云フコトヲ、唯、御耳ニ入レテ置キマ
ス、ソレヨリ正式ニ其訴狀ノ形式ガ完備シテ居ルト云フコトヲ認メマシタ場

合ニハ、之ヲ被告ニ送達イタシマシテ、或ル期限ヲ附シテ答辯書ヲ提出セシメタモノデアリマス、其答辯書モ出來得ル限り自署セシムルコトニシタノデ、必シモ自署デナケレバナラスト云フコトハ規定ニ於テ求メテ居リマセヌノデアリマスガ、併シ成ルベク自署セシメルヤウニ致シマシタ、次ニ答辯書ニ對シマシテ、辯駁書ヲ提出サレタモノモアルノデアリマス、勿論必要ヲ認メタ場合ニハ、辯駁書ヲ出スト云フコトヲ……提出セシメルト云フコトヲ求メルコトニ致シテ居リマシタガ、辯駁書ノ提出サレタモノモアルノデアリマス、又其最初ノ訴狀、初メ出シマシタ訴狀ニ對シマシテ、訴ヘノ擴張デアルトカ、或ハ又補充書デアル……證據補充書デアルトカ、色々ノ名稱ノ下ニ、數多クノ書類ガ、資格審査會ニハ參ッタノデアリマス、唯今申上ゲマシタノハ原被兩告側ヨリノ書類ニ關シテ申シタノデアリマスルガ、他方ニ於キマシテ、有ラユル此懸案ニナッテ居リマス事件ニ付キマシテハ、議長ヲ煩ハシテ、政府ヨリ其關係縣々ニ於ケル互選人名簿、選舉錄、投票錄ノ原本、又或ル場合ニハ納稅額ニ關スル原本等ヲ取寄セタノデアリマス、是等ノ、御承知ニモナリマセウガ、澤山ノ書類ハ、到著イタシマシタ順序ニ依リマシテ、ソコニ分類シテ置キマシテ、必要ニ應ジテ、其内容ニ付テ綿密ニ、或ハ審査ヲ致シマスシ、或ハ資料トシテ考究サレタノデアリマス、デ斯ノ如キ龐大ナル書類ヲ通覽熟讀スル必要ガ、此資格審査會ニ於テハアッタノデ、實ハ昨年十二月二十七日常任委員トシテ御選舉ニ預リマシテ以來、懇談會ヲ其當日カラ開キマシテ、今日マデ、先日申上ゲテカラ以來、數回會合シテ居ルコトデゴザリマスルカラ、殆ド二十八九日、三十日ニ垂ントスル所ノ日數ヲ費シテ、毎回嚴密ニ慎重審議ヲ致シタ次第デゴザイマス、前申上ゲタ事柄ノ外ニ、委員會ニ於キマシテハ、或ル場合ニ審理猶豫願ト云フヤウナモノガ届イタノデアリマス、デ其意味ノモノモ二三ゴザイマシタガ、ソレ等ハ唯、單ニ委員會ニ於テ、委員會ニ届イタ、受取ッテ置クト云フ位ノコトニシテ置イタノデアリマス、而シテ此委員會ニ於テ、最モ有效ニ嚴肅ニ、此重大ナル同僚議員ニ對スル人事事項ニ關係シタ審査判斷ヲ致ス爲ニハ、隨分色々話モ御互ニ致シマシタ、ト云フノハ、委員間ニ付テ熟議ヲ致シマシタ……熟慮ヲ致シマシタ結果、是ハドウアツモ、秘密會トシテ審査ヲ行クノガ、一番其ノ目的トスル所ノモノヲ、是モ能ク達シ得ルノデアラウト云フ結論ニ到著イタシタノデゴザイマス、即チ議員方ノ御傍聽ニナルノモ御差控ヲ願ッタヤウナ次第デアアルノデアリマス、有

要ナ時ニハ事務局員ノ入場ヲ許シマシテ、要領筆記ヲ頼ンダノデアリマス、又政府ヨリ、參考事項ニ於テノ説明、或ハ陳辯セシムル場合ニハ、是ハ秘密ヲ其程度ニ開放イタシマシタ、又速記ヲ附シテ置イテ、熟議ノ様子、法理ノ研究等ニ付テハ、殊ニ其御論旨ノ要旨ヲ、將來記録ニ止メテ置ク必要ガアリマスカラ、是ハ速記ヲ附スルト云フ程度ニ於テ開放シタノデアリマス、過日來、私ガ委員長ニ就キマシテ以來、今日問題ニナッテ居リマス、此六通ノ訴狀ニ對シマシテノ議決ヲ終ッタノデアリマスルカラ、ソレカラ以前ノ、其他ノ六通ニ付テハ、先程申述べタ通りノ次第デアリマスルカラ、差支ナイ程度ノ秘密モ、從テ今日ハ解放サレルコトニ致シマシテ、速記録等ハ既ニ數日前ニ文書函ノ方デ御見出シガ出來タコトト存ジマス、即チ御配付申上ゲタノデアリマス、此各事件ニ關聯イタシテ居リマス訴狀並ニ答辯書、其他ノ書類ニ付キマシテ、審議ヲ致シテ居リマス間ニ、問題トナリマシタ幾多ノ論點ノ中デ、最モ重モナルモノダケヲ、茲ニ單ニ其題目ダケデモ申上ゲテ置キタイト存ジマス、一、直接國稅ニ關スル事、一、互選人百人並ニ二百人ニ關スル問題、一、院令ト互選規則トノ關係、即チ委任命令問題、一、訴狀取下問題、一、自署問題、一、住居問題、一、互選人名簿問題、一、爭訟被告ガ貴族院議員ヲ辭シタル場合ニ訴狀ノ效力有無ノ問題、此問題ハ、御承知ノ通り、先刻モ此ノ議場デ申上ゲマシタ通り、委員會ニ於テハ最モ重大ナル問題デアリマシテ、最後ノ議員辭職ニ伴フ訴狀效力ノ問題ハ、院議ヲ以テ御決定願ヒマシタ次第ハ、申上ゲルマデモナク御承知ノ次第デアリマス、其他ニ付キマシテハ、既ニ速記録モ配付サレテ居リマス今日デゴザイマス、殊ニ會期モ時間僅ニナッテ居リマス場合デアリマスカラ、別ニ申上ゲルコトハナイト存ジテ居リマスガ、唯、一ツ名簿調製問題ノコトニ付キマシテハ、一言申添ヘサシテ戴キタウゴザイマス、多額納稅者議員選舉規則第四條、五條、六條、七條、八條等ニ依リマシテ、此多額納稅者議員ノ選舉ハ、名簿ニ依リマスコトニナッテ居リマスノデアリマス、而シテ此名簿ノ調製ハ、各縣……道府縣長官知事ニ於テ之ヲ作製セラレルノデアリマス、六月ノ初メニ手ヲ著ケラレ、而シテ七月ノ二十日カラ十五日間、此名簿ナルモノヲ互選人ノ縦覽ニ供スルコトハ、皆様御承知ノ通りデアアルノデアリマス、互選人ニ於テ此名簿ニ記載シテ居リマスル人名其他ノ點ニ付テ、脱漏誤載ヲ見出シマシタ場合ハ、其見出シマシタ脱漏誤載ノ點ヲ指摘シテ、之ヲ知事ニ申立テ、地方長官ハ八月二十四日頃迄ニ

此修正……申立ニ依ッテ其名簿ノ誤漏……脱漏、誤載ノ點ヲ修正シテ置クノデアリマス、後八月三十一日ニ至ッテ此名簿ナルモノハ確定シテ、初メテ選舉ノ準備ガ完全ニ出來タト云フモノデアアルノデアリマス、是ガ先ヅ、ドコデモサウナッテ居ル次第デアリマス、然ルニ茲ニ論者アリ、地方長官ニ於テ此各互選人ノ脱漏誤載ノ指摘申立ニ伴ウテ、地方長官ガ修正シタ後ニ、而シテ八月三十一日ノ確定前ニ、納税ノ……納税額ノ變化等ヨリ起ル所ノ相違ニ基キマシテ、地方長官自ラ之ヲ尙ホ修正シテ完成ヲ期セナケレバナラヌモノデアアル、地方長官ハサウ云フ權能ヲ持ッテ居ルノデアアル、即チ地方長官ノ自發的修正權ハ之ヲ認メナケレバナラヌモノデアアルト云フ、斯ウ云フ御議論ガアルノデアリマス、而シテ此幾多ノ、今日御報告申上ゲル中ノ訴狀ニモ、其點ヲ強ク唱ヘテ居ルモノモアルノデアリマス、即チ其地方長官ノ自發的修正權ノ據ッテ居ル所ノ法理ハ、院令ニ於テ、百人二百人ト云フモノヲ定メテ、其百人二百人カラ一人或ハ二人ノ多額納税者議員ヲ選出セナケレバナラヌ、此院令ハ左様デアアルノデアリカラ、其院令ノ精神ヲ尊重シテ、最後マデモ、最後ノ選舉ノ場合ニ、百人ニ足ラザル者ヨリ一人、或ハ二百人ニ足ラザル者ヨリ二人、然ル場合ニハ僅カニ五十人ヨリ一人トカ、或ハ六十人ヨリ二人、マダソレナラバ宜イケレドモ、或ハ百人以内ノ人ヨリシテ二人選バナケレバナラヌト云フコトモ起リ得ル話デアアル、サウ云フコトニナッテハ、此院令ノ精神ヲ尊重スルトハ云ヘヌカラ、其精神の要求ヲ充タサシムル爲ニハ、サウ云フ地方長官ニハ自發的修正權アリト解釋シテ、有ルモノト認メルノガ、即チ此互選規則ノ惡イ不備ノ點モ補ヒ、且ツ院令ノ精神ヲドモ徹底スルノデアアル、斯ウ論ゼラレルノデアリマス、唯、其地方長官ガ自發的修正權ヲ行ハルル場合ニ於テハ、其必要ヲ誰モ申立テル譯ハナイ、而シテ申立ノ出來ナイモノヲ、地方長官ガ自ラ自發的ニ修正ヲシテ、確定シテシマフコトニナレバ、是ハ互選人一同ノ權利ニ關スルコトデアアルカラ、此點ハ甚ダ好マシクナイト云フコトノ、反駁ノ論ガアルノデアリマス、又法律ニ明文ノナイ以上ハ、成程院令ノ精神ヲ尊重シ、其要求ヲ充タサシムル爲ニハ、自發的修正權ガ或ハ宜イカモ知レヌガ、法律ニ明文ナキ以上ハ、斯ノ如キ重大ナル權利ヲ地方長官ニ與ヘルコトハ、ドウモ適セヌモノデアアル、悉ク或ル權能ヲ動カス場合ニハ、ソレダケノ明文ガ之ヲ保證シナケレバナラヌモノデアアルト云フ、反駁ノ御議論ガアルノデアリマス、尙ホ八月二十四日頃ニ此地方長官ガ一應決定サレテ、其

確定ニ至ルマデノ時期ノ間ハ、既ニ一種ノ拘束力ヲ、互選人ニ對シ、名簿トノ關係上一種ノ拘束力ガソコニ生ズルノデアアルカラシテ、調製者自ラ、即チ知事自ラノ手ハ、既ニ離レタモノデアアル、唯、置据ニ數日間ヲ置クト云フヤウニ止マルノデアアルカラ、其間ニ地方長官ハ自發的修正ヲナスコトヲ得ナイモノデアアル、斯ウ云フ反駁ノ御議論ガアッタノデアリマス、委細ノコトハ、此自發的修正權ニ付テハ、兩論者議論サレタ點ハ、速記録ニ詳シク掲ゲデアリマスカラ、是以上ノコトハ、ドウゾ速記録ニ於テ御覽ヲ願ヒタイノデアリマス、是ヨリ議決ノ御報告ヲ致シマス、「第三十、八木春樹君選舉爭訟ノ件、本訴ハ原告貴族院多額納税者議員互選人愛媛縣温泉郡雄雄村大字竹原、徳本良一、同縣同郡川上村大字南方、坂本公德、同縣西宇和郡伊方村、佐々木長治ヨリ被告愛媛縣選出貴族院多額納税者議員八木春樹ニ對シ其當選ノ無效ヲ請求シタルモノトス、但シ原告坂本公德及佐々木長治ハ大正十五年二月二十三日附ヲ以テ各其訴ヲ取下ゲタリ」原告請求ノ要旨ハ「一、ペーデ」ヨリ四「ペーデ」第四行目マデニ互ッテ詳シク掲ゲテゴザイマス、ソレニ付テ御一覽ヲ願ヒマス、被告答辯ノ要旨ハ、其原告ノ請求ノ要旨ノ終リマシタ所カラ、第五「ペーデ」九行目マデニ掲ゲテゴザイマス、私ハ單ニ議決ノ理由ヲ讀ムダケニ止メテ置キマス、「按スルニ互選人名簿ハ貴族院多額納税者議員互選規則第六條、第七條ニ依リ互選人ノ申立ニ基キ修正ヲ爲スヲ得ルノ外地方長官自ラ修正ヲ爲シ得ヘキ規定ナキノミナラス既ニ縦覽期間ヲ設ケ互選人ノ修正申立ヲ許スノ制度ヲ採リタル以上ハ縦覽開始後ニ於テ地方長官ヲシテ自ラ修正ヲ爲サシムルハ法ノ精神ニ副ハサルモノト謂ハサルヘカラス依リテ原告ノ主張ハ理由ナキモノトス、右ノ理由ニ依リ本件ハ左ノ如ク判決スヘキモノナリト議決ス、判決、被告愛媛縣選出貴族院多額納税者議員八木春樹ノ當選ハ無効ニアラス」斯ノ如キ次第ゴザイマス

○議長(公傳徳川家達君) 石渡君ハ質疑ノアルヤウニ議長ハ心得テ居リマスカ、此際願ヒタイト存ジマス
○石渡敏一君 委員長ニ伺ヒタイノデスガ、一番最初御述ベニナリマシタ齋藤喜十郎君ノ事件ニ付テハ、審査未了ニ終ッタヤウニ伺ヒマシタガ、其未了ニ終リマシタ理由ハ、私ニハ不明デアッタノデアリマス、ドウ云フ譯デ未了ニナリマシタデゴザイマセウカ、又承ハル所ニ依ルト……風ノ便リニ承ハル所ニ依ルト、書類ヲ政府ガ求メニ應ジナカッタト云フヤウナ理由デアッタヤウニ伺

ヒマスガ、如何ナモノデゴザイマセウカ、此點ヲ伺ヒマス

○伯爵寺島誠一郎君 石渡君ニ御答イタシマス、少々石渡君ハ御誤解ヲ致サレテ居ルヤウニ、御尋カラ私ハ考ヘルノデアリマス、私ノ申上ゲマシタコトハ、先刻申上ゲマシタ通りノコトガ、玆ニ「ノート」ニ書イテゴザイマスカラ、モウ一遍之ニ依ッテ申述ベマスカラ、能ク御聽取リヲ願ヒタイノデアリマス、此新潟縣關係ノ二ツノ訴狀ノ審理ニ付キマシテハ、現ニ政府ニ必要ノ資料、必要ノ文書ノ提出ヲ要求中デアリマシテ、マダ到達イタシテ居リマセヌ、從テ未ダ御報告申上グル時期ニ達シテ居ラナイノデアリマス、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデ、審議未了ニ、自然ト、ナリマスルカハ、是ハ別ノ問題デアリマシテ、唯今審議中デアルト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○石渡敏一君 其點ガ私ニ少シ不明ナンデスガ、ドウ云フ譯デ書類ハ到達シナイノデアラウカ、郵便ノ故障ニ依ルトカ、或ハ政府ガ出サナイトカ、何カ其間ニ故障ガアルデハナイカト思フノデスガ、其點ニ付テ委員長ノ、今少シ詳シイ御報告ヲ願ヒタイノデアリマス

○伯爵寺島誠一郎君 委員會ニ於キマシテハ、適法ノ仕方ヲ以テ議長ニ書面ヲ提出シテアリマス、議長ヨリ内閣總理大臣宛ニ其要求ハ御照會ニナッテ居ルコトト存ジマス、マダ委員會ニ於テハ何等書類ガ到達シテ居ラヌト云フコトガ事實デアルノデアリマス、如何ニシテ到達シテ居ラヌカト云フコトハ、不敏私カラ申上グルコトハ出來ナイノデアリマス

○石渡敏一君 諄イヤウデゴザイマスガ、何時頃書類ヲ發セラレタノデゴザイマセウカ、又其書類ガ議長ノ手許ニ行ッテ居リマシテ、ドウ云フコトニナッテ居リマセウカ、若シ其點ニ付テドナタデモ宜シウゴザイマスガ、御説明ガ出來マスナラバ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 石渡君ノ唯今ノ御申述ハ、資格審査委員長カラ議長ヘ申出デラレマシタコトニ付テ、其手續ガドウナッテ居ルカト云フ御質問デゴザイマスカ

○石渡敏一君 私ハ、何時頃出マシテ、サウシテドウ云フ手續デ以テ相當官廳ノ方ニソレガ渡ッタカラ伺ヒタイノデアリマス……日附デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 議長ハ資格審査委員長ヨリノ要求ガアリマシタノデ、去ル二十二日、其趣ヲ内閣總理大臣ヘ申述ベテ置キマシタ

○石渡敏一君 サウシマスレバ總理大臣ガ御出デニナレバ總理大臣ニ伺ヒタ

イ、若シ外ノ大臣ガ御承知ナラバ、此席ニ於テドウ云フ始末ニナッテ居ルノカ伺ヒタイト存ジマス

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 私ハ前後ノ關係ヲ一切承知イタシマセヌデ、私ハ御尋ニナッテ居リマスル新潟縣ノ事件ニ的確ニ關聯ヲシテ居ルモノデアリマスカドウカ、ソコイラノ點ハ私ノ承知イタサナイ所デアリマスガ、新潟ノ地方裁判所ニ繫屬イタシテ居リマスル所ノ或ル民事訴訟事件、其當事者ハ如何ナル人デアリマシタカ、チヨット記憶イタシテ居リマセヌガ、多分齋藤喜十郎君ガ一方ノ當事者デハナイカト思ヒマス、ソレニ關スル地方裁判所ノ民事ノ書類ヲ廻付スルヤウニト云フ照會ガ、内閣ヨリ司法省ニ宛テテ參ッタヤウデアリマス、ソレニ對シマシテハ、民事ノ訴訟記録デアリ、刑事ノ訴訟記録デアルト、總テ何レタルト問ハズ、少クトモ其事件ノ繫屬中ハ、行政上若クハ其他ノ事由ニ依リマシテモ、他ヘ出サナイ、特ニ裁判長ノ許可ヲ得テ之ヲ閱覽ヲスルトカ、謄寫トカ云フコトハ無論出來ルコトデ、實際行ハレテ居ルコトト思ヒマスガ、行政監督ノ作用ヲ以チマシテ、其書類ヲ取寄セルト云フガ如キコトハ、今日マデ出來ナイコトトセラレテ、ソレハハシナイ、其現今マデノ慣例ヲ、其儘御答ヲシタコトト信ジテ居ルノデゴザイマス、ソレガ此事件ニ如何ナル關係ヲ持ッテ居リマスルカト云フコトハ、私ハ承知イタサヌ所デアリマシテ、或ハ左様ニ御答スルコトハ、何等ノ石渡君ノ判斷ヲナサルノ材料ニナラヌカモ知レマセヌガ、若シ新潟地方裁判所ニ關係スル事實デアリマスレバ、左様ナ事ガアッタト云フコトダケヲ、一應申上ゲテ置キマス

○松本丞治君 唯今ノ石渡君ノ御質問ニ關聯イタシマスコトニ付キマシテ、私ノ存ジテ居ル所ヲ申上ゲタイト思ヒマス、此齋藤喜十郎君ヲ被告トスル事件ニ付キマシテハ、政府ニ種々ノ書類ヲ請求シタノデアリマス、其日附ニ付キマシテハ、私今的確ニ覺エテ居リマセヌガ、餘程前ニ此請求ヲ致シタノデアリマス、而シテ其書類中、稅務署關係ノ書類ハ、早く到達シタノデアリマス、我々ハ之ニ付テ審査スルコトヲ得タノデアリマス、然ルニ何等ノ理由デアルカハ存ジマセヌガ、内閣總理大臣ヨリ議長ニ宛テテ御書面ニ依リマシテ、裁判所ニ關スル書類ハ、之ヲ議院ニ送付スルコトガ出來スト云フヤウナ御斷リノコトガ來タノデアリマス、之ニ對シマシテ、我々審査委員ハ十分ニ審議イタシタノデアリマス、即チ我々ノ考デハ、此書類ガ萬一祕密ニ涉ルモ

ノデアルト云フコトナラ、或ハ政府カラ送付スルコトガ出来ヌカモ知レマセヌガ、議院法ノ第七十四條ニ依リマスレバ、「各議院ヨリ審査ノ爲ニ政府ニ向テ必要ナル報告又ハ文書ヲ求ムルトキハ政府ハ祕密ニ渉ルモノヲ除外其ノ求ニ應スヘシ」トアルノデアリマス、此條項ニ依リマシテ、更ニ政府ニ書類ノ送付ヲ求ムルト云フコトヲ致シマシテ、議長ヲ經由シテ、其再度ノ請求ヲ致シマシタノガ、先程議長ノ仰セラレタ、多分此二十二日ノコトカト思ヒマス、之ニ對シマシテ、マダ書類ノ送付ガナイノデアリマス、之ヲ待ッテ居リマスガ、マダ參リマセヌカラ、從テ唯今ハ御報告ノ出来ルヤウナ審査ガ出来テ居ラスト云フコトデアリマスガ、其詳細ノ事情ニ付キマシテ、此議院法關係等ニ付キマシテノ審査員ノ考ニ付キマシテハ、資格審査委員會議事速記録第十二號ニ出テ居リマス、是ハ抽象的ニ議論トシテ出テ居リマスルガ、此件ニ關スル議事デアット云フコトニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○花井卓藏君 唯今松本君ヨリ御述ベニナリマシタ點ニ關シマシテ、矢張り委員長ノ御報告ノ補充ノ意味ニ於テ申述ベテ置キマス、而シテ石渡君ノ御疑ハ自然解ケルコトデアラウト存ジマス、併セテ石渡君ガ問ハムトセラレル所ノ問題ハ、依然トシテ殘ッテ居ラウト存ジマス、議院法七十四條竝ニ選舉爭訟判決規則第六條、此兩規定ニ依レバ、審査時中審査上必要ナル文書ハ當然政府ニ要求シ得ルノデアリマス、而シテ政府ハ之ヲ拒ムコトヲ得ザルモノデアル、唯今江木君ノ申サレマシタル如キ理由ヲ以テ、此貴族院ノ有スル審査ノ權能ニ必要ナル文書ノ提出ヲ拒ムノ權能ハ、行政官廳ハ有ッテ居ナイ、恐ラクハ、此點ニ御疑ガアルコトダラウト思フ、ソレナレバ、私共ヨリモ機會ヲ捉ヘテ、政府ニ問ウテ見タイト存ジテ居タ位ナ次第デアル、重要ナル議院構成ノ大問題、連日、力ヲ盡シテ判決ヲ爲サムト欲スルニ當リテ、重要ナル文書ノ提出ヲ得ザルノ故ヲ以テ審議未了ノ結果ニ相成ッタト云フノハ、審査委員ノ怠リニハ非ズシテ、提出スベキモノヲ提出セザリシ所ノ政府ガ、或ハ責任ヲ擔ハナケレバナラヌカト私ハ感ジテ居ルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスルカラ、資格審査委員會ニ、其會期ニ於テ是非必ズ出サネバナラヌモノデアルト云フコトヲ明白ニ決議イタシマシテ、石渡君ヨリ風ノ便リニ云云ト申サレマシタガ、風ノ便リデハナイ、今日議場ノ「ドア」ヲ這入ルノニ御配付ニナッタ此文書ニ、歷然ト掲ゲラレテアッテ、貴族院ノ資格審査委員會ノ決議トシテ、政府ハ拒ムコトハ出来ナイノデアルト云フヤウニ明カニ相成ッテ

居ルノデアリマス、此決議ニ對シテ、政府ハ如何ナル見解ヲ御執リニナルカト云フコトハ、此機會ニ於テ、私ヨリモ御尋ヲシテ置イテモ宜シイト存ジマス

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 新潟地方裁判所ニ現ニ繫屬中ニ關シマスル事件ノ書類ノコトニ付キマシテハ、一旦政府ニ於テ之ヲ提出スルベキ限リノモノデナイト云フ御答ヲシタト記憶イタシテ居リマス、而シテ私ハ其問題ヲ承知スルニ當リマシテ、議院法ノ規定ノコトニ付キマシテハ、何等事務ノ方面ヨリ聞キマセヌデゴザイマシテ、唯今、松本君ガ議院法第七十四條ヲ御指摘ニナリマシテ初メテ承知イタシタノデゴザリマスルガ、從ヒマシテ、七十四條ノ解釋ニ付キマシテ、私ガ唯今即座ニ考ヘマシタ所ヲ申上ゲルノデアリマスルカラ、或ハ是ガ直チニ政府ノ解釋デアルト御取リニナリマスルト云フト、多少後ニ至ッテ變更ガ來ル憂ガアルカモ知レナイト思ヒマスルガ、一應ノ解釋ダケヲ申上ゲテ置キタイ、第七十四條ニ、議院ヨリ審査ノタメ政府ニ向ッテ必要ナル書類、必要ナル報告……政府、此政府ニ向ッテ書イテアリマスル場合ハ、憲法ナリ、議院法ナリ、其他ノ附屬法規ヲ通ジマシテ、大體ニ於テ行政部ヲ意味スルト云フコトヲ、私ハ思ッテ居ルノデアリマス、憲法ノ各條項ニ、政府ナル文字ハ澤山アルノデアリマス、是ハ總テ行政部ヲ意味スルノデアリマス、而シテ裁判所、獨立ノ權能ヲ有ッテ居リマスル裁判所、此司法裁判所ニ對シマスル事柄ニ付キマシテハ、行政部ガ行政上ノ必要ノ爲、司法行政ノ爲、必要ノ場合要求スル時ハ、特ニ或ハ書類ヲ提出ヲ命ジ、監督上必要ナル書類ノ處分行爲ヲ爲スコトガ出来マスケレドモ、現ニ繫屬シテ居リマス事件ノ書類ヲ要求スルト云フコトハ、今日マデ無イノデアリマス、之ヲ爲スト云フコトハ、或ハ司法權ノ獨立ニ立入ル結果ニナルノデアリマス、而シテ斯ノ如キ事項ニハ、固ヨリ祕密ハアリマセヌ、司法、殊ニ公判ニ付セラレテ居ル所ノ民事ノ訴訟ニ付キマシテハ、全然祕密ハナイト思ヒマスルガ、左様ナル問題ニ付キマシテハ、必要ト思フ書類ヲ、當事者ノ間、若クハ其他ニ於キマシテ、裁判長ニ向ッテ幾ラデモ要求スルコトガ出来ルノデアリマス、何等ノ祕密ノナイモノニ向ッテ、裁判長ニ要求サルコトハ差支ナイト思ヒマスガ、政府ガ此權能ニ立入ッテ、裁判長ニ書類ノ提示ヲ命ズルト云フコトハ、頗ル穩カデナイトコトデアラウト思フノデアリマス、又御指摘ニナリマシタ議院法七十四條ニ

依リマシテ、政府ニ命ジテ居ル所ノ事項ト云フモノハ、所謂行政部ニ關スル事項、行政部ニ關スル報告、書類ノ提示ヲ義務トシテ命ジテ居ルト云フコトニ解スル外ナカラウト思フデアリマス

○石渡敏一君 私ノ質問ハ今一ツ殘ツテ居ッタデアリマス、ソレヲ此際、御許シテ願ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 成ルベク大キナ御聲デ願ヒタイ、議長ガ誠ニ伺ヒニクウゴザイマスカラ……

○石渡敏一君 司法大臣ノ御話ニ依リマスルト、文書ハ議院カラ請求ガアツテ、ソレヲ取寄セヤウトシタ、併ナガラ是ハ一ツノ理由ガアツタ爲ニ求メニ應ジナカッタ云フ御話ナノデ、是ハ司法大臣ノ御考デアルノカ、或ハ司法大臣ハ其書面ヲ新潟地方裁判所ニ送ッタガ、新潟地方裁判所ハ之ヲ拒ンダノカ、ドチラデアルノカ、之ヲ御答ヲ願ヒタイ

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 司法行政部ニ於テ、斯様ナル純然タル司法裁判所ノ所謂司法權ノ獨立ニ關スル事項ニ立入ルベキモノデナイト認メテ、決シテ司法裁判所ニ移牒シテ、而シテ後ニ回答シタ次第デハナイデアリマス

○松本丞治君 唯今ノ江木君ノ御答辯ニ對シマシテ尙ホ伺ヒタイ、尤モ江木君ハ、此答辯ハ或ハ變更スルカモ知レスト云フ御話デアリマシタガ、御變更ニナルノガ當然ダラウト思フ、唯今ノ御答辯デハ、我々議員ガ何カ裁判所ニ對シテ書類ノ取寄セテ請求シタカノ如キ御答辯デアリマシタガ、左様ナコトハ毫モ致シマセス、我々ハ政府ニ對シテ書類ノ提出ヲ求メタデアリマス、即チ議長ヨリ内閣總理大臣ニ宛テ、公式ニ之ヲ求メタデアリマス、然ルニ政府ハ之ヲ御提出ニナラナカッタ譯デアリマス、裁判所ニ對シテ其提出ヲ求メタ次第デハナイデアリマス、又江木君ハ、裁判所ニ關係スル當事者ハ、其書類ヲ自由ニ得ルコトガ出來ルカラ、ソレヲ得タナラバ宜カラウト云フ御話デアリマシタガ、此資格審査委員ハ當事者デハナイデアリマス、裁判所ニ對シテ直接ニ書類ヲ求ムルコトハ出來ナイデアリマス、又當事者ト雖モ、其書類ノ正本ヲ求ムルガ如キハ、ソレガ出來スコトハ、司法大臣、勿論御承知ノコトダラウト思ヒマス、我々ハ此重要ナル選舉當選ノ爭訟ヲ審査スルモノデアリマス、此書類ノ正本ヲ見テ而シテ當否ヲ決シタイト云フ考デ、政府ニ對シテ此請求ヲ致シタデアリマス、政府ハ行政上ノ御都合ニ依リマシテ

ハ、裁判所カラ書類ヲ取寄セルト云フコトガアルト云フ御話デアリマシタ、慥カ私ノ記憶ニ依リマスレバ、御回答ニモサウ書イテアッタデアリマス、必要ナル場合ニハ司法省ニ於テ書類ヲ取寄セルコトモアルガ、ト云フヤウナコトガ書イテアッタヤウニ記憶シテ居ルデアリマス、斯ノ如キコトニ依ツテ、政府トシテ之ヲ御取寄セニナッタ上デ、貴族院ニ之ヲ廻付セラレタイト云フコトヲ請求シタ、裁判所ニ對シテ請求スルコトノ出來スト云フコトハ當然、斯ノ如キコトヲ伺フノデハ決シテナイデアリマス、唯今ノ御答辯ハ甚ダ見當違ノヤウニ思ヒマス、ドウゾ速ニ御變更ニナラムコトヲ希望イタシマス

○花井卓藏君 唯今、江木君ヨリ御答ヘニナリマシタ點ニ關シマシテ、松本君ノ御問ガ起リマシタ、其間ニ答ヘラレル參考ノ料トシテ、一言江木君ニ申述ベテ置キタイト思ヒマス、唯今、公法觀念ノ上ニ於テ、主トシテ憲法觀念、憲法觀念ノ上ニ於ケル政府ト云フコトノ御説明ガゴザイマシタガ、是ハ私、意見ノ交換ヲ致シマセス、御熟考ヲ願ヘバ、行政部ノミニ限ルト云フ狹イ御解釋ヲ御採リニナリマスルト云フト、政府ト内閣ト云フモノガ重サナルヤウナ結論ヲ生ゼヌケレバナラヌデアリマスカラ、左様ナコトハ敢テ答メ立テヲ私ハ致サナイ、唯、松本君ニ御答ヘニナッタヤウナ場合ヲ慮リマシテ、資格審査委員會ハ、行政部バカリデハナイ、司法部即チ裁判所モ併セ包含ヲスル意味ニ於テ、苟モ審査上必要ヲ感ジテ要求ヲナシタル場合ニハ、政府、行政部モ、司法部モ、固ヨリ此求メニ應ゼナケレバナラヌモノデアルト云フコトノ決議ヲ下シテ居リマス、ソレモ今日ノ十二號ノ速記録ニ明確ニ掲ゲラレテアル、而シテ往年、貴族院ニ於テ選舉爭訟事件ノアリシ際、司法部ハ、民事記録ニ比シマシテハ、寧ロ或ル意味ニ於テ祕密性ヲ帶ビテ居ル刑事記録中ノ一節ヲ、貴族院ノ求メニ應ジテ交付セラレタ事實ガアル、ソレハ松村脩平ト申ス貴族院議員ノ當選訴訟ニ關スル場合ニ於テ、貴族院議長ト桂内閣總理大臣トノ間ニ、文書ノ往復ガゴザイマシテ、時ノ政府ハ其照會ヲ議院法上當然ナリトシテ、全體ナラバ祕密性ヲ帶ビテ居ル不起訴、刑事不起訴ノ事件、其記録中ノ一節ヲ抜イテ當院ニ交付セラレタ事實ガアル、之ヲ御參考ニ供シテ置キマス、而シテ尙且、松本君ノ問ニ對セラルル如キ御答ガアリト致シマシタナラバ、如何ナル法理上ノ根據ヲ御執リニナルデアルカ、我ガ貴族院ハ法理上ノ根據ヲ執ッテ要求イタシテ居ルデアリマス、政府ハ法理上ノ根據ヲ執ラレズシテ之ヲ拒ム、此處ガ我々ノ確定的ノ答ヲ得ムト欲スル所デアリマ

ス、委員長ノ報告ニモアリ、松本君ノ報告中ニモアリシ如キ、實ニ齋藤事件ニ付テ重要ナル文書ノ要求ヲ致シタノハ餘程前ノコトデアアル、之ヲ拒マレマシタガ故ニ、更ニ要求ヲ致シテ居ル次第デアリマス、ソレガ今日マデ到著シナイ、斯ウ云フ事實デアアルデアリマス、貴族院ノ有スル權能ノ中デ、資格審査ニ關スル事項ハ、是ハ議案ノ審査デハナイデアアル、貴族院ガ獨自一個ノ訴訟法ヲ以テ判決ヲ爲スデアアル、貴族院ノ有スル判決權ヲ行使スルデアアルデアリマスカラ、極メテ重要ナル關係ヲ持ツデアリマス、而シテ貴族院ガ自身ニ當事者ニ接スルコトヲ得ズ、他ヨリ自身ニ文書書類ノ提出ヲ求め得ズ、之ヲ政府ニ要求シ、政府其途ヲ歩ムベキ事柄ニナツテ居ルデアリマス、是等モ御參考ノ料ニ併セテ供シテ置キマス

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 段々御質問ガ出シタノデ、初メテ大分前ニ、三月ノ中旬頃ニ、内閣ニ向ッテ司法省カラ回答ヲ致シテ居リマス、其事柄デアアルト云フコトガ初メテ明瞭ニナツテ來タノデアリマス、其回答ニハ民事訴訟記録ハ、特別ニ監督上必要ガアル場合ノ外ニハ、其取寄セヲ爲スコトヲシナイ筋合ニナツテ居ルガ故ニ、内閣ノ要求ニ應ズルコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトヲ内閣ニ向ッテ回答ヲ致シテ居ルデアリマス、内閣ハ定メシ議院ノ要求ニ依ッテ司法省ニ移牒サレタモノト思フデアリマス、而シテ七十四條ノ解釋デゴザリマスルガ、是ハ政府ニ向ッテ必要ナル要求……報告又ハ文書ノ要求ヲセラレ、其場合ニ政府ハ、此求メニ應ジナケレバナラス、政府、此政府ト云フモノガ、議院ト裁判所ニ對立シテ居ル所ノ政府デアルト云フコトハ、花井君モ、松本君モ必ズ御認めニナルコトと思フ、此政府ト云フ中ニ、裁判所ガ含ンデ居ラスモノデアアル、是ハ私ハ明白ナ解釋デアラウト思フデアリマス、而シテ政府ナルモノハ、自分ノ意思ノマニ、自由ニ裁判所ニ向ッテ命令ヲスルコトガ出來ルカト申シマス、ソレハ出來ナイコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、監督上、既ニ事件ガ經過シテシマッタモノニ對シマシテハ、其書類ノ提出ヲ命ズルコトモ出來マセウ、又司法大臣ガ檢事ヲ指揮スル上ニ於テデス、必要アル場合ニ於キマシテ、現ニ繫屬中ノ事件ノ書類ト云フモノノ提示ヲ命ズルコトモ、ソレハアリマセウ、併ナガラ全ク獨立ノ位置ニアリマスル所ノ裁判所、而モ其事件ガ繫屬中デアアル、之ニ向ヒマシテ、而モ監督ノ爲メ必要デアルト云フ理由モナシニ、書類ノ提示ヲ命ズルト云フコトハ、

是ハ私ハ頗ル穩カナラヌコトと思フデアリマス、固ヨリ審査委員會ハ當事者ニ非ズ、又審査ヲ請求シタ者モ、或ハ其當事者デナイカモ知ラス、ソレハ其書類ヲ出スコトヲ裁判所ニ向ッテ要求スルコトガ出來ナイカモ知レマセヌ、ドウモ已ムヲ得ナイ次第デアルト思フデアリマス、此事件ニ付キマシテ、裁判所ノ獨立性ヲ害スルガ如キ行政行為ヲナスコトハ、私ハ政府トシテハ穩カナラヌコトと思フデアリマス

○上山滿之進君 斯カル問題ノ爲ニ、會期モ僅ニ六時間ヲ餘ス時ニ至ッテ長イ時間ヲ費スト云フコトハ、私ハ非常ニ遺憾ニ考ヘマス、私モ審査委員ノ一人デアリマシテ、ソコノ經過ヲ精シク存ジテ居リマス、委員長副委員長及花井君カラ御述ベニナラナカッタ、サウシテ私ノ記憶ニ存シテ居ル所ヲ附加ヘマシテ、司法大臣ニ御再考ヲ願ヒタイト思ヒマス、唯、記憶デゴザイマスルカラ、多少誤リガナイトモ限リマセヌカラ、アリマシタラ、外ノ委員カラ補正ヲ願ヒタイ、初メ新潟地方裁判所ニアル記録ガ、審査上、事實ヲ知ルニ非常ニ必要ナリトシテ、議長ヲ經テ、内閣ヘ其書類ノ取寄セヲ要求シタノデアリマス、審査委員會ヲ受ッテ居リマスル書記デアリマシタカ、或ハ委員課長デアリマシタカ、司法省ノ誰カニ聽イテ相談ヲ致シマシタラ、其時ノ話デハ、裁判所ト裁判所ノ間ニ記録ヲ往復スルコトハアル、ケレドモ、ソレ以外ハムヅカシイダラウト云フ話デアッタ、其ノ時要求ノ基礎タル法ノ規定ヲ示シテ相談ヲシタ答デアリマス、是ト同時ニ、一方ニ於テハ議長カラ書面ヲ以テ、正式ニ總理大臣ニ書類ノ提出ヲ要求セラレタ、ソレニ對シテ先刻司法大臣モ御覽ニナツタ書類、其同ジャウナ書類ガ回答トナツテ、總理大臣カラ議長ニ宛テテ參ッテ、ソレニハ監督者ガ取寄セル場合ノ外ハイカヌト云フヤウナコトデアリマシタ、所ガ初メ、貴族院カラ内閣ニ廻シタ要求書ニハ、議院法ガ慥カ引用シテナカッタ、貴族院議員資格及選舉爭訟判決規則第六條、ソレニ依ッテ要求スルトナツテ居タラシイ、此爭訟規則ハ、御承知ノ通り議院ノ議決、サウシテ上奏裁可ヲ經タモノデアリマスガ、法律デモナク、勅令デモナイ、ソコデ私ノ察スル所ニ依レバ、司法省デハ此時議院法ノ七十何條ト云フ箇條ヲ、ヒョットスルト主任ノ人ガ知ラズ、單ニ貴族院ノ爭訟判決規則ニ依ッテ要求シタト思ヒ、輕ク考ヘテ刻ネタノデハナイカト思フ、是ハ私ノ想像デアリマス、私共ノ委員ノ中ニモ、司法事務ノ經歷ヲ深ク持ッテ居レル諸君ガアル、デ、裁判所ノ記録ト云フモノハ、内閣カラ拒絕シテ來タガ、取寄セルコトハ出來ヌ

モノデアラウカト聽イテ見タ、ドウモサウ云フコトハ無イヤウダト云フヤウナ答デアッタ、私ハ何モカモ打明ケテ申シマス、ソコデ我ハ慎重ニ審議ヲ致シタノデアリマス、裁判所ノ記録ナリト雖モ、資格審査委員會ニ對シテハ、議院法ノ規定ニ依ッテ、政府ハ提出スベキモノデアルト云フコトヲ、十分審議ノ上デ決議ヲ致シタノデアリマス、ソコデ第二回ノ照會ニハ、議院法七十四條ト云フ箇條ヲ引用シテ照會シタノデアリマス、司法省ノ主任ノ人ガソレヲ見タ時ハ、多分翻然トシテ悟ル所ガアリハシナカッタカト思ヒマス、唯今ノ現狀ハ今日限リデ會期ガ盡キテ、モウ記録モ參リサウモナイ、此場合ニ於テ、強ヒテ江木君ガ……司法大臣ガ、先刻ノ御説ヲ御主張ニナリマスコトハ、餘程重大ナ結果ヲ起シハセヌカト思フ、我ハ資格審査委員ハ明瞭ニ決議ヲシテ、而シテ其決議ノ結果ハ既ニ官報デ諸君ニ配付シテアル、此我ハノ意見ヲ貴族院ノ本議場デ容レラレマシテ、而シテ一方ニ政府ノ方ハ、全然之ニ違ッタ意見ヲ主張スルコトニナリマス、憲法上重大ノ疑義トシテ、曖昧ニ濟マシ得ヌコトニナリハシナイカ、若シサウ云フコトニナリマスナラバ、六時間シカアリマセヌケレドモ、己ムヲ得マセヌカラ、我ハ會期ノ盡キルマデ此議論ヲセニヤテラス、是ハ一體ドウ云フモノデアリマセウカ、初メニ司法大臣ハ能ク事件ノ經過ヲ知ラス、亦其意見モ假定ノモノデ改メルカモ知レヌト言ハレマシタ、ソナコトデアルナラバ、此上假定説ナドヲ御主張ナサナイデ、是カラ考究セラルルト云フコトデ、此問題ヲ御止メニナル方ガ宜イデハナイカト思ヒマス、以上此問題ニ關スル委員會ノ經過ヲスッカリ明カニシテ、茲ニ微言ヲ呈シマス

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 唯今、上山君ノ御説モアリマス、又多クノ諸君ガ、多分議席カラ御覽ニナッテ居ラレルダラウト思ヒマスガ、書類ヲ今取寄セテ見タト云フヤウナ譯デアリマス、上山君ガ記憶ニ依ッテ御話ノアッタコトガ、大體極メテ正確ナヤウデアリマス、即チ書類ニ依リマスルト、三月六日ニ貴族院議員資格及選舉爭訟判決規則第六條ニ依ッテ別記ノ書類ヲ要求スルト、齋藤株式會社ト其土地所有……所有土地ノ小作人間ニ於ケル、新潟地方裁判所ノ訴訟事件ノ記録、斯ウ云フ照會ガ議長ヨリ總理大臣宛テ出テ居リマス、此書類ヲ三月八日ニ内閣ヨリ司法省ニ移牒ニナッテ居リマシテ、而シテ之ニ對シマシテ相當事務ノ方デ考究シタモノト見エマス、一旦、案ヲ拵ヘテ見タモノガ廢案ニナッテ居リマシテ、サウシテ第二回ノ案ガ私ノ所ヘ初メテ廻ッテ來テ居

ルノデアリマス、是ハ先程、松本君ノ御問ガアリマシタニ付テ御答ヘシタヤウナ次第デアリマス、而シテ其答ガ三月十七日デアリマス、出テ居リマス所ヘ更ニ三月二十二日ニ、左記文書提出相成度ク議院法第七十四條及貴族院議員資格及選舉爭訟判決規則第六條ニ依リ要求ニ及ビ候也云々、斯ウ云フコトノ照會ガ二十二日ニ參ッテ居リマス、ソレヲ同日更ニ司法省ヨリ内閣ニ……内閣ヨリ司法省ヘ移サレ、司法省ニハ之ヲ二十三日ニ受ケテ、之ニ對スル回答ノ案ヲ拵ヘテ、マダ次官ニモ出サズニ考究シテ居ッタ、斯ウ云フ狀態デアリマス、此回答案ハ從テマダ議ヲ經ナイモノデアリマスカラ、申上ゲル必要ハ無イト思フノデアリマスガ、唯今迄ノ私ガ御答ヘシタコトハ、先程、突然ノ御問ニ對シテ即座ニ考ヘマシタコトヲ御答ヘシタノデアリマス、併ナガラ或ハ考究イタシマシタ結果、別途ノ決定ニ至ルカモ知レマセヌ、上山君ガ私ニ再考スルヤウニト仰シヤルコトハ、誠ニ御親切ナ御言葉ト存ジマス、唯今申上ゲマシタ如ク、マダ私モ次官モ書類ヲ見ナイト云フ程度デアルノデゴザイマスカラ、折角、資格審査委員會ニ於テモ既ニ致シテ居ラレルト云フ趣デアリマスカラ、能ク彼是レ參酌シテ考究ヲ致ス、斯ウ云フコトニ致シタイト思フノデアリマス

〔富谷銈太郎君「發言ノ許可ヲ求メタウゴザイマス、宜ウゴザイマスカ」ト述フ〕

○議長(公傳德川家達君) 宜シウゴザイマス

○富谷銈太郎君 私モ資格審査委員ノ一人デゴザイマス、唯今茲デ問題ニナッテ居リマスル書類ハ、此事件ヲ判斷スルニ必要ナル書類デアルト云フコトハ、既ニ御三君カラ御述ベニナリマシタコトト私モ考ヘマシテ、而シテ先程カラ御述ベニナッテ居ル通りニ、議長ヲ經テ當該官廳ニ此手續ヲシテ貰フヤウニナッタコトハ、申スマデモアリマセヌ、唯是ハ御參考ニ……私ハ議論スルノデモ何デモナイノデアリマスガ、此民事訴訟法ニ於テモ、訴訟ノ事ヲ取扱フ、書證ガ官廳ノ許ニアル場合ノ規定ガ、民事訴訟法ノ三百四十六條ノ規定ガゴザイマシテ、此三百四十六條ノ規定ニ依ッテ、官廳ニ書類ヲ存スル場合ニ、當事者ガ必要トスルモノヲ請求シ得ルヤウニシテゴザイマス、唯今ノ場合ハ當事者ハ選出セラレタ議員デアッテ、而シテ此相手方トナル者ハ互選資格ヲ有スル人ガ成ルノデアリマス、此當事者ガ互ニ爭訟ヲ致ス場合ニ於テ、我我ハ、即チ議員、議員ハ裁判官トシテ之ヲ扱フノデアリマス、偕テ此爭訟ヲ

取扱ハシムル爲ニ出來テ居ル爭訟判決規則ハ、御承知ノ如ク、書面審理ト云フコトヲ原則トシテ居ルノデアリマス、當事者ヲ我々ガ審問スルコトモ出來ズ、又其言葉ニ依ッテ如何ナルコトヲスルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、書面ニ依ッテノミ裁判ヲシナケレバナラヌト云フモノデゴザイマシテ、ソレ故ニ同規則ノ第六條ニ於テ、議長ノ手ヲ經テ相當ナル通知ヲシテ、此裁判ニ必要ナル取調ヲ爲スコトヲ許シテ居ルノデゴザイマス、斯様ナ次第デゴザイマスカラ、我々ハ議院法ノ第七十四條ニ、除外例デアル祕密ヲ要スルモノニアラザル限りハ、ドウモ官廳デ拒ムコトモ出來ナイ、又裁判所、之ヲ拒ムベキ理由モ無イヤウニ思ハレルノデアリマスガ、ドウゾ此點ヲ能ク御參考ニ御徴シ下サイマシテ、取調ノ上、ドウゾ我々ガ審査ヲ十分ニ進捗ヲ經テ爲シ得ルヤウニ爲サレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮リシタイト思ヒマスガ、此問題ハ、今上山君モ、政府ニ於テ十分考慮シテ貰ヒタイト云フ御希望モゴザイマスシ、此唯今日程ノ三十ニアル、八木君ノ選舉爭訟ノ件ニハ、直接關係ハ無イト思ヒマスカラ、唯今ノ問題ハ一時留保イタシマシテ、日程第三十爭訟ノ件ニ付テ、別ニ討論ガ無ケレバ採決イタシタイト考ヘマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

〔土方寧君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今議長ノ申述ベマシタコトニ付テ諸君ガ御意見ガアレバ格別、御異議ナケレバ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 土方君ノ質疑ヲ他日……、外ノ場合ニ御譲リニナルコトヲ御辛抱ヲ願ヒタイノデアリマス、今、土方君ニ御許シ申セバ、矢張り元ヘ戻ルノデゴザイマスカラ、議場諸君ノ多數ノ御意見ニ議長ハ從ヒタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト仰セラレマスノハ、議長ノ申述ベマシタコトニ御異議ナイト議長ハ認メマシテ宜シウゴザイマスカ

〔其通リ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ唯今議長ノ申述ベマシタコトニ付テ御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三十八別段無名投票ノ必要ハ無イト考ヘマスカラ、起立デ採決イタシマス、資格審査委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス……唯今起立ト申シマシタノハ誤リマシタ、無名投票ヲ用井ナイト云フ意味デゴザイマス

〔土方寧君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 土方君ハドウ云フコトデスカ

○土方寧君 質問イタシタイノデス、此八木ノ事件、此次ノ日程デモドラデモ宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今土方君ノ起立セラレマシタ御目的ヲ、議長ハ能ク了解イタシマセナンド故ニ、失禮ヲ致シマシタ、而シテ日程三十一ヲ唯今議長ハ宣告イタシマスカラ、其上デ資格審査委員長ノ説明報告ガアラウト存ジマスカラ、ソレガ濟ミマシテ、土方君ニ發言ヲ許シマセウ

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三十一、尾崎元次郎君及中村圓一郎君選舉爭訟ノ件、資格審査委員長報告、會議、寺島資格審査委員長ノ登壇ヲ求メマス貴族院議員尾崎元次郎同中村圓一郎ニ係ル當選不法ノ訴ニ關シ本委員會ニ於テ資格審査ヲ終リ別冊ノ通判決スヘキモノト議決候條此段及報告候也

大正十五年三月二十二日

資格審査委員長

伯爵 寺島誠一郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

本訴ハ原告静岡縣安倍郡大河内村貴族院多額納稅者議員互選人見城十作ヨリ被告静岡縣選出貴族院多額納稅者議員尾崎元次郎及中村圓一郎ニ對シ其ノ當選ノ無效ヲ請求シタルモノトス

原告請求ノ要旨

静岡縣知事ノ調製シタル貴族院多額納稅者互選人名簿ニハ貴族院多額納稅

者議員互選規則ニ依リ其資格ヲ有セサルモノ二名ヲ記載セリ即チ小笠原倉真村岡田良平ハ東京市小石川區原町二十五番地ニ住居シ邸宅ヲ設ケ家族ト共ニ永久的生活ヲ營ミ子女ヲ教育シ各般ノ私的交際ヲ爲シ加之現ニ文部大臣トシテ公生活ノ中心ヲ爲シ内外面ノ具體的生活事象ハ凡テ同所ヲ以テ中樞ト爲シ倉真村ニハ單ニ本籍ヲ置キ年一二回赴クコトアルニ過キス而シテ東京市ハ市民ト認メ東京市會議員及衆議院議員選舉權者トシテ選舉人名簿ニ登載セリ又濱名郡天王村竹山純平ハ東京市牛込區南町五番地ニ住居シ東京第一銀行、東京製鋼株式會社、東洋生命保險株式會社等ノ各重役トシテ公私生活ノ中心ヲ同所ニ置キ天王村ニハ唯本籍ヲ有スルノミ

互選規則第一條ノ所謂住居ハ住所ナル法語カ抽象的ニ生活ノ本據ヲ指スニ對シ俗ニ「スマ井」又ハ「現ニ生活ヲ營ム場所」ナル具體的概念ヲ以テ決スヘキモノナリ而シテ岡田良平竹山純平ハ東京市ニ住居ヲ有スルモ靜岡縣ニ住居ヲ有セサルヲ以テ互選人タル資格ヲ有スルモノニ非ス

互選團體ハ全員ヲ以テ統一的一體ヲ爲スモノナレハ一部ノ缺陷ハ結局全體トシテノ瑕疵タルヲ免レス而シテ本件互選人名簿ニハ無資格者二名ヲ誤載シ有資格者二名ヲ逸シ統一的一體タルノ存在ヲ缺キ全部ノ存在ヲ不法タラシムルモノナリ

右ノ理由ナルニ依リ被告兩名ノ當選ハ無效ナリ

被告答辯ノ要旨

原告ハ岡田良平竹山純平ノ兩名ハ靜岡縣ニ住居セスト主張スルモ岡田良平ハ小笠原倉真村四百九十五番地ニ本籍ヲ定メ住宅ヲ有シ同所ニ於テ所得稅、縣稅、戶數割及村稅戶數割附加稅等ノ納稅ヲ爲シ使用人六、七名ヲ使役シテ農業ヲ營ミ祖先ノ祭祀隣保ノ社交其ノ他諸般ノ家政ヲ處理シ事實上同所ニ住居シ又竹山純平ハ濱名郡天王村二百六十二番地ニ本籍ヲ定メ住宅ヲ有シ同所ニ於テ所得稅、縣稅、戶數割及村稅戶數割附加稅等ノ納稅ヲ爲シ養母ハ常ニ同所ニ於テ生活シ本人亦毎月數回同所ニ起臥シ祖先ノ祭祀隣保ノ社交其他諸般ノ家政ヲ處理シ事實上同所ニ住居スルモノナリ

原告ハ互選人全員ハ一箇ノ統一的一團體ヲ構成スルモノナレハ無資格者二名ヲ互選人名簿ニ誤載シ有資格者二名ヲ遺脱シタルニ因リ該名簿ニ依ル本件選舉ハ無效ナリト主張スレトモ選舉ニ關スル諸法令ヲ通覽比較スルニ選舉人全體ヲ以テ一箇ノ統一的一團體ト認メ之ニ對シテ選舉上ノ權利ヲ賦與スルノ制度ナシ

又本件ニ於テ假ニ互選人名簿ニ登錄セラレタル岡田良平竹山純平ニシテ其ノ資格ヲ有セサルモノトスルモ單ニ其ノ投票ノ無效タルニ止マリ選舉自體ヲ無効トスヘキ理由ナシ

議決ノ理由

按スルニ貴族院多額納稅者議員互選規則第一條第一項ニ所謂住居トハ各人生活ノ根據ヲ指稱シ永住ノ意思ヲ以テ一定ノ場所ニ居住スル事實ヲ云フ而シテ岡田良平竹山純平ノ靜岡縣ニ於ケル住居ハ倉真村長杉村良七ノ證明書及天王村長松浦郁次ノ證明書ニ依リ同條ノ本旨ニ適合スルモノト認ム依リテ原告ノ主張ハ理由ナキモノトス

右ノ理由ニ依リ本件ハ左ノ如ク判決スヘキモノナリト議決ス

制 決

被告靜岡縣選出貴族院多額納稅者議員尾崎元次郎及中村圓一郎ノ當選ハ無效ニアラス

〔伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵寺島誠一郎君 「本訴ハ原告靜岡縣安倍郡大河内村貴族院多額納稅者議員互選人見城十作ヨリ被告靜岡縣選出貴族院多額納稅者議員尾崎元次郎及中村圓一郎ニ對シ其ノ當選ノ無效ヲ請求シタルモノトス」原告請求ノ要旨ハ一頁カラ二頁ノ七行迄ニ互テ記シテゴザイマス、被告答辯ノ要旨ハ、其次ノ行ヨリ三頁ノ終リノ一行ヲ除ケタ所迄ノ中ニ記シテゴザイマスカラ、ソレヲ書面ニ就テ御熟讀ヲ願ヒマス、議決ノ理由ハ「按スルニ貴族院多額納稅者議員互選規則第一條第一項ニ所謂住居トハ各人生活ノ根據ヲ指稱シ永住ノ意思ヲ以テ一定ノ場所ニ居住スル事實ヲ云フ而シテ岡田良平竹山純平ノ靜岡縣ニ

於ケル住居ハ倉真村長杉村良七ノ證明及天王村長松浦郁次ノ證明書ニ依リ同條ノ本旨ニ適合スルモノト認ム依リテ原告ノ主張ハ理由ナキモノトス、右ノ理由ニ依リ本件ハ左ノ如ク判決スヘキモノナリト議決ス、判決被告静岡縣選出貴族院多額納稅者議員尾崎元次郎及中村圓一郎ノ當選ハ無効ニアラス」

○土方寧君 私ハ思ヒ違ヘマシタ、今ノ問題ニ對シテハ私ノ聞キタイ點ガ論點ニナツテ居リマセスカラ、後デ申シマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第三十一ノ選舉爭訟ノ件、資格審査委員長ノ報告通りテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第三十二、尾崎元次郎君及中村圓一郎君選舉爭訟ノ件、資格審査委員長報告、寺島伯爵……

貴族院議員尾崎元次郎同中村圓一郎ニ係ル當選不法ノ訴ニ關シ本委員會ニ於テ資格審査ヲ終リ別冊ノ通判決スヘキモノト議決候條此段及報告候也

大正十五年三月二十二日

資格審査委員長

伯爵 寺島誠一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

本訴ハ原告静岡縣富士郡原田村貴族院多額納稅者議員互選人小澤孝三ヨリ被告静岡縣選出貴族院多額納稅者議員尾崎元次郎及中村圓一郎ニ對シ其ノ當選ノ無効ヲ請求シタルモノトス

原告請求ノ要旨

大正十四年静岡縣多額納稅者議員互選人名簿ニ登錄セラレタル湯山一外五名ハ所得稅額決定ノ結果缺格者ト爲リ森下蒔四郎外五名ハ所得稅額決定ノ結果有資格者タルニ拘ハラス名簿ニ登錄セラレサリシカ爲互選人タルヲ得サルニ至レリ此ノ如ク無資格者ヲ登錄シ有資格者ヲ登錄セスシテ確定シタ

ル名簿ニ依リテ行ハレタル選舉ハ貴族院令第六條「多額ノ直接國稅ヲ納ムル者百人ノ中ヨリ一人又ハ二百人ノ中ヨリ二人ヲ互選シ」云々ノ規定ニ違反セルモノナリ

抑モ互選人名簿ノ本旨ハ何人カ互選人タルヤヲ明示スルコトニ存シ之ニ依リテ互選ノ權利ヲ與フルモノニアラス從テ確定名簿ニハ絕對避ケ難キ事由ニ原因スルニアラサレハ有資格者ノ脱漏アルヘカラサルハ當然ナリ故ニ名簿確定前ニ脱漏誤載アルコトヲ發見シタルトキハ互選人ノ申立ニ依リ修正ノ外尙ホ地方長官ニ於テ自ラ之ヲ修正スヘキモノトス若シ之ヲ修正スルヲ得ストセハ確定名簿ニ登錄セラレタル者ノ全部又ハ大部分カ無資格者タルノ不都合ヲ生スルコトアルヘシ

第三種所得稅ハ八月三十日ヲ最終ノ決定期ト爲スカ故ニ六月一日現在ニ依リ調製セラレタル互選人名簿ニハ單ニ稅額ヲ推想シテ之ヲ記載スルニ過キス從テ七月二十日ヨリ十五日間即チ八月四日迄ノ名簿縱覽期間内ニ所得稅額ノ決定アラハ互選人ハ之ニ依リテ理由アル修正申立ヲ爲スヲ得ルモ八月四日以後ニ至リテ其ノ決定ヲ見ルニ於テハ最早修正申立ヲ爲スニ由ナシ此ノ場合ニ於テ名簿調製ノ責任者タル地方長官力之ヲ修正スルニ非レハ貴族院令及貴族院多額納稅者議員互選規則ノ本旨ヲ全ウスルヲ得ス而シテ静岡縣ニ於ケル第三種所得稅額ノ決定ハ八月三十日ニシテ名簿修正申立期限後ナルニ拘ハラス静岡縣知事ハ所得稅額決定ノ結果名簿ニ誤載脱漏アルヲ知リナカラ之ヲ修正セス誤脱ノ儘名簿ハ確定シ其ノ結果貴族院令第六條ニ違反セル選舉行ハルルニ至レリ

或ハ互選規則ニハ地方長官ノ自發的名簿修正ニ關スル何等ノ規定ナキヲ以テ互選人ノ申立ニ依ルノ外修正スヘカラスト解スルモノアリト雖互選人名簿ニ關スル規定ハ選舉ノ手續ヲ定メタルニ過キス既ニ實體法的规定ニ於テ互選資格ヲ明定シ且事實上何人ノ有資格者タルヤヲ名簿確定前ニ確知シ得タル以上ハ手續規定ノ不備ヲ補充シテ實體法ノ適用ヲ全ウセサルヘカラス又或ハ名簿調製者ノ自發的修正ヲ認メサルハ互選人ノ修正申立權ヲ保護ス

ル必要上已ムヲ得サル法制ニシテ衆議院議員選舉人名簿ニ關スル規定モ亦同シト主張スルモノアルモ多額納稅者議員選舉ハ衆議院議員選舉ト其ノ實體ヲ異ニスルヲ以テ名簿ニ關シ亦同一ニ論スヘカラス多額納稅者議員選舉ハ選舉人員ヲ限定セル點ニ於テ特殊ノ性質ヲ帶フ從テ其ノ互選人名簿ニ付テモ衆議院議員選舉人ノ如ク一定數ヲ限ラサル場合ノ名簿ト規定ヲ同ウセサルヘカサル理由ナク又規定ノ解釋ヲ同一ナラシメサルヘカサル理由ナシ既ニ兩者別異ノモノタル以上ハ地方長官カ自發的ニ名簿ヲ修正スルモ毫モ互選人ノ修正申立權ヲ害スルモノニアラス

前陳ノ如ク靜岡縣多額納稅者議員選舉ハ違法ノ名簿ニ依リテ行ハレタルモノナレハ該選舉ニ依ル被告ノ當選ハ無効ナリ

被告答辯ノ要旨

原告主張ノ事實ハ之ヲ認ム然レトモ互選人名簿ハ單ニ選舉ヲ行フ便宜ノ爲選舉人ヲ公示スルノ方法タルニ止マラス選舉手續ノ明確簡捷ヲ圖ルカ爲特殊ノ法律上ノ效果ヲ具有シ選舉手續ノ一階梯トシテ作成セラルル公簿ニシテ選舉權ヲ享有スヘキ者ノ中名簿調製ノ期日ニ於テ特定ノ要件ヲ具備スル者ヲ登錄スルモノニ係リ偶々選舉期日ニ於テ實體上選舉權ヲ享有スル者ト雖名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉權ヲ行使スルコトヲ得サルト共ニ名簿ニ登錄セラレタル者ト雖名簿調製ノ期日ニ於テ名簿ニ登錄スルコトヲ得サル者又ハ選舉期日ニ於テ實體上選舉權ヲ享有セサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得サル消極的效果ヲ確定スルノ制度ニ外ナラス故ニ選舉法令ニ於テハ名簿ノ縱覽期間内ニ限リ修正申立ヲ許シ縱覽期限ヲ經過シタルトキハ絕對ニ之ヲ許サス而シテ縱覽期間内ニ適法ニ爲サレタル修正ノ申立ニ基ク決定、確定裁決又ハ確定判決ニ因リテノ名簿ノ修正ヲ爲スコトヲ許スモノニシテ殊ニ名簿確定前ト否トヲ問ハス互選人ノ適法ナル修正申立ヲ俟ツコトナク原告主張ノ如ク當該行政廳カ自發的ニ名簿ノ脫漏誤載ヲ修正スルノ途ナキモノナルコト當ニ貴族院多額納稅者議員互選規則ノ規定ニ照シテ明瞭ナルノミナラス各種ノ選舉法令ニ於ケル選舉人名簿ニ關スル共通不變ノ制度

ナリ

貴族院多額納稅者議員互選規則ハ他ノ選舉法令ト同シク一定ノ期日ノ現在ニ依リ法定ノ要件ヲ具備スル者ノ選舉資格ヲ調査シ之ヲ名簿ニ登錄スヘキコトヲ規定シ其ノ中納稅ハ名簿調製ノ期日迄一年以上引續キ直接國稅ヲ納ムルコトヲ要件トスルモノニシテ此ノ場合ニ於テ其ノ年分稅額未タ決定セサルトキハ名簿調製期日ニ最モ近接スル前年分及其ノ以前ノ年分ノ確定稅額ニ依リテ納稅要件ヲ決スヘキモノナルコト勿論ナリ而シテ互選人名簿ノ修正ハ前陳ノ如ク名簿縱覽期間内ニ適法ニ互選人ヨリ爲シタル修正申立ニ基ク場合ノ外絕對ニ之ヲ爲スヲ得サルモノニシテ又此ノ修正ヲ爲ス場合ト雖名簿調製ノ標準期日ニ於ケル現在事實ニ付脫漏誤載アル場合ニ限リ之ヲ許スモノナリ從テ名簿確定前ト否トヲ問ハス名簿調製期日以後ニ於ケル事實ノ脫漏誤載ニ付修正ヲ許スモノニアラス多額納稅者議員互選人名簿ハ他ノ選舉法令ト同シク選舉手續ノ明確簡捷ヲ圖ルカ爲選舉手續ノ一階梯トシテ作成セラルル公簿ニシテ貴族院令第六條及互選規則第一條第四條第一項ニ依リ六月一日ニ於テ互選資格ヲ有スヘキ者ヲ登錄スルモノニ外ナラス而シテ其ノ記載ノ修正ハ六月一日ノ現在事實ニ脫漏誤載アル場合ニ限リ適法ナル修正申立ニ因リテノミ爲スヲ得ルモノニシテ偶々本件選舉ニ在リテ互選人ノ人數ヲ限定セルカ爲ニ他ノ選舉法令ト毫モ法律上ノ性質ヲ異ニスル理由ナク名簿調製期日以後ニ選舉資格ヲ取得スルニ至リタル者ヲ登錄スルノ途ナキコト疑フ容レス

原告主張ノ要旨ハ選舉權ノ享有ト選舉權ノ行使トヲ混同スルモノナリ抑モ貴族院令、多額納稅者議員互選規則其他苟モ選舉人名簿ノ制度ヲ有スル我國一切ノ選舉法令ニ在リテハ實體上選舉當日選舉權ヲ享有スルニ至リタル者ト雖名簿調製期日ノ現在事實ニ依リ名簿ニ登錄セラレヘキ要件ヲ缺ク者ニ在リテハ選舉人ノ修正申立ニ因ルト當該行政廳ノ職權ニ因ルトヲ問ハス絕對ニ後日之レヲ登錄スルノ途ナク而シテ名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉當日選舉權ヲ有スルト否トヲ問ハス絕對ニ選舉ニ參與スルヲ得サルモノナ

ルコト共通不變ノ選舉法序ニ屬シ貴族院令第六條ニ於テ多額納稅者議員ノ選舉ニ關スル規定ヲ勅令ニ委任シ右委任ニ因ル互選規則第四條以下ニ於テ他ノ選舉法令ト均シク選舉手續ノ明確簡捷ヲ圖ルカ爲選舉手續ノ一階梯トシテ互選人名簿ノ制度ヲ設ケ其ノ調製期日ニ於テ右第四條ニ規定スル要件ヲ具備スル者ノミヲ登錄シ他ノ選舉法令ト均シク互選規則第十七條第一項ニ依リ適法ニ選舉手續上名簿ノ消極的效力ヲ確定シタル以上靜岡縣知事カ名簿調製期日以後ノ變動ニ因リ名簿ヲ變更スルコトナク之ニ依リテ選舉ヲ行ヒタルハ適法ノ處置ニシテ却テ原告主張ノ如ク名簿調製期日以後ノ事實ニ因リ名簿ノ登錄ヲ變更シ違法ノ名簿ニ依リ選舉ヲ行ヒタリトセハ其ノ選舉ハ到底無効タルヲ免レス仍テ原告ノ主張ハ毫モ理由ナシ

議決ノ理由

按スルニ互選人名簿ハ貴族院多額納稅者議員互選規則第六條、第七條ニ依リ互選人ノ申立ニ基キ修正ヲ爲スヲ得ルノ外地方長官自ラ修正ヲ爲シ得ヘキ規定ナキノミナラス既ニ縱覽期間ヲ設ケ互選人ノ修正申立ヲ許ス制度ヲ採リタル以上ハ縱覽開始後ニ於テ地方長官ヲシテ自ラ修正ヲ爲サシムルハ法ノ精神ニ副ハサルモノト謂ハサル可カラズ依リテ原告ノ主張ハ理由ナキノトス

判決

右ノ理由ニ依リ本件ハ左ノ如ク判決スヘキモノナリト議決ス
被告靜岡縣選出貴族院多額納稅者議員尾崎元次郎及中村圓一郎ノ當選ハ無効ニアラス

〔伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵寺島誠一郎君「本訴ハ原告靜岡縣富士郡原田村貴族院多額納稅者議員互選人小澤孝三ヨリ被告靜岡縣選出貴族院多額納稅者議員尾崎元次郎及中村圓一郎ニ對シ其當選ノ無効ヲ請求シタルモノトス」原告請求ノ要旨ハソレヨリ四頁ノ一行迄ニ掲ゲテゴザイマス、被告答辯ノ要旨ハ其次ノ行ヨリ七頁ノ仕舞ノ一行ヲ除キマシタ所マデニ掲ゲテゴザイマスカラ、報告書ニ就テ御熟讀ヲ願ヒマス、議決ノ理由トシテ「按スルニ互選人名簿ハ貴族院多額納稅

者議員互選規則第六條、第七條ニ依リ互選人ノ申立ニ基キ修正ヲ爲スヲ得ルノ外地方長官自ラ修正ヲ爲シ得ヘキ規定ナキノミナラス、既ニ縱覽期間ヲ設ケ互選人ノ修正申立ヲ許スノ制度ヲ採リタル以上ハ縱覽開始後ニ於テ地方長官ヲシテ自ラ修正ヲ爲サシムルハ法ノ精神ニ副ハサルモノト謂ハサル可カラズ依リテ原告ノ主張ハ理由ナキノトス、右ノ理由ニ依リ本件ハ左ノ如ク判決スヘキモノナリト議決ス、判決、被告靜岡縣選出貴族院多額納稅者議員尾崎元次郎及中村圓一郎ノ當選ハ無効ニアラス」

○議長(公傳德川家達君) 日程第三十二……

〔土方寧君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公傳德川家達君) 土方寧君ハ今質問ヲ……

○土方寧君 エイ

○議長(公傳德川家達君) 宜シウゴザイマス

〔土方寧君演壇ニ登ル〕

○土方寧君 此會期切迫ノ時ニ長イコトハ申シマセス、唯、質問ノ趣意ヲ明瞭ニスル必要ノ程度ニ於テ、簡單ニ意見ヲ述ベテ、政府ノ見解ヲ伺ヒタイト思ヒマス、一番最初ニ採決ニナリマシタ八木君ノ問題モ、今ノ問題モ、結局、原告ノ當選無効ノ理由トシテ、百人ヨリ一人、二百人ヨリ二人ト云フコトニナツテ居ル、ソレヲ百人以下若クハ二百人以下カラ一人若クハ二人ヲ出シタノデ、規則ニ背クカラ、無効ダト云フ主張ガアッタノデアリマスガ、ソレヲ資格審査委員會デハ、無効ノ理由ガ立タヌト云フ判決ニナツテ居リマス、是ハ前ニ總理大臣モ略、同様ナ意味ヲ述ベラレタト思ヒマス、百ト書イテアツテモ、二百ト書イテアツテモ、必シモ數字通りデハナイ、ソナコトハ行ハレナイ、互選人ノ名簿式ヲ採ツタ以上ハ、名簿ヲ確定シタ後ニ缺格者ガ出來テ、百人以下ニナリ若クハ二百人以下ニナルト云フコトハ、己ムヲ得ナイト云フコトデアリマシタ、是ハ己ムヲ得ルト思ヒマス、妙ナ例デ恐入ルノデアリマスガ、毎年御講書ノ初メニハ和漢洋ノ三人、一人ヅツ、三人ノ人ガ進講ヲ申上ゲル所ガ、其當日ニナツテ病氣其他ノ事故ガアツテ、出ラレスコトガアルカモ知レマセヌカラ、其控ヘ手ガ定メテアリマス、又懲戒裁判官ヲ命ジマス時ニ、其裁判官ノ一人ガ病氣其ノ他ノ事故デ裁判ニ參與スルコトガ出來ナイト云フコトガアルト云フノデ、豫備判事ヲ置クコトニナツテ居リマス、斯ウ云フ譯デ、少シ意ヲ用弁レバ出來ルコトデアリマス、六月一日ノ現在ヲ以テ名簿ヲ調製ス

ル、尙ホ七月二十日カラ十五日間異議申出ノ爲ニ餘裕ヲ與ヘテ、而シテ八月三十一日ニ確定スル、六月一日ノ名簿ト云フモノハ假ニ拵ヘルノデアリマスカラ、八月三十一日迄ニ變動ガ生ズルト云フコトハ、豫想シ得ルコトデアアル、八月三十一日ニナリマシテ確定シタ上ハ、九月十日ニ選舉デアリマスカラ、數日間ノ違ヒデアリマスカラ、其間ニ缺格者ガ出來ルト云フコトハ、稀ナラムモ、有ルカモ知レマセヌ、互選者ノ中ニ隨分老年者モ居リ、若イ者デモ何時死ヌカ分ラヌ、併ナガラ是ガ六月一日ニ百十人トカ、二百人トカ、二百二十人トカ、納税額ノ順序デ書イテ居ル譯デアリマスカラ、書イテ置イタラ宜イ譯デ、サウシタラ、百人目ノ人ガ或ハ名簿確定期日迄ニ死ヌカモ知レヌ、其時ニハ其年度ノ納税ガ確定シテ、百人目ノ人ガソレニ這入ッテ百人ニナル、八月三十一日ニ確定シタト云フコトモ同様デアリマシテ、百五人ニナルカ、二百十人ニナルカト云フモノヲ決メテ置キマシテ、百人目ノ中、一人デモ缺ケテ九十九人ニナッタ時ニハ、其ノ百十人中カラ百一人目ニ當ル人ガ代レバ出來ルコトデアリマス、貴族院令ノ第六條ニ、百人ヨリ一人、二百人ヨリ二人ト書イテアリマスガ、百人ト云ッテモ、二百人ト云ッテモ、必シモ其通りデハナイ、前ニ總理大臣ガ説明サレタ時ハ、百人ト云ッテモ略百ト云フ意味ダ、二百人ト云ッテモ略二百人ノ意味ダト云フ説明ノアッタヤウニ記憶シテ居リマスガ、ソレハ記憶違ヒカモ知レマセヌガ、ソナコトデハ小學兒童ノ教育上ニモ……數字ト雖モ必シモ一定ノ意味ガナイ、場合ニ依ッテ百人ト云ッテモ略百人ト云フ意味デアルカラ、一向數字ガ當テニナラヌモノデアルト云フコトヲ教ヘテ置カスト、子供カラシテ欺スコトニナル、是ハドウシテモ私ハ改正ニナラナケレバナラヌト思ヒマス、前ニ貴族院令ト多額納税議員互選規則トノ關係ニ付テ、隨分幾多此處デ質問カラ出發シテ、政府ノ意見ヲ質ス所ガ、二三度意見ヲ變ヘラレタ、最後ニ是ハ貴族院令ノ委任ニ依ルモノデアルト云フコトデ、最後ニ答ヘラレタノハ、前ニ何度モ伺ッタノト變ッタカラ、是モ變ルカモ知レナイケレドモ、今ノ所デハ最後ノ答ダカラ、ソレガ確定シタモノト見マスト云フト、貴族院令ノ第六條ニ、百人ヨリ一人、二百人ヨリ二人ト云フコトガ書イテアッテ、互選規則ノ方デハ其規則通り出來ナイヤウナモノガ出來テ居ル、ソレハ貴族院令ニ違反シテ居ルカ、若クハ其規則ノ趣意ニ適合シナイモノガ出來テ居リマスカラ、根本ノ勅令ニ適合シナイ所ノ互選人規則ハ、其點ニ於テハ無效デアルト云フコトガ正論デアルト私ハ思フ、唯此場

合ニ於キマシテ、無效論ヲ實際ニ致シタクナイ、ナゼナラバ初メテノ事デモアリ、先頃、昨年ノ秋ノ選舉ノ時ニモ、隨分多額ノ費用ヲ要シタト云フコトデアリマス、ソレヲモウ一遍度キヤリ直スト、又澤山ナ金ヲ要スルコトデアアル、大騒ギヲシテ澤山金ヲ使ッテモ、前ニハ十何人デ選出シタ、今度百人カラ出シタカラト云ッテ、選出サレル多額納税議員ト云フモノガ、ズット優良ノ人ガ出ルト云フコトハ、決シテ想像出來ハシナイ、同ジヤウナ人デアラウト思ヒマス、ソレデアルカラ無駄ニナリマスカラ、此場合強ヒテ主張シマセヌケレドモ、事柄ハドウシテモ貴族院ニ於テ、數字ハ數字通りニ實行シ得ルヤウナ方法ガアリマスカラ、ソレヲシテ下サラヌト困リマス、ソレカラモウ一ツハ、是ハ高柳ノ事件デ問題ニナリマシタガ、選舉爭訟ガ資格審査委員ニ付託セラレタ後ニ當人ガ辭表ヲ出シタ、此場合ニハ議長ガ進達セラレテ御聽許ニナッタ、サウスルト爭訟ノ目的ガ無クナッタカラシテ、審査ヲ中絶スベキヤ否ヤト云フコトノ問題ニ付テ、兩論者ガ隨分時ヲ費シタコトデアリマス、併ナガラ似寄ッタ場合デ、少シ時間ノ差ハアリマスケレドモ、鶴澤君ノ時ニハ、此審査委員會ノ報告ガアッテ日程ニ上ッタ日ノ、同ジ日デアリマス、マダ決議ニナル前ニ、ソレガ出タ日ニ辭表ヲ出シタノデアアル、僅カノ時間ノ差デアルケレドモ、議長ノ所ニ來タガ進達ニナラナカッタ爲ニ、無效ト云フ決議ニナッタ、遂ニ其辭表ハ何モ用ヲ爲サヌモノニナッテシマッタ、所ガ斯ウ云フコトデアリマスト……爭訟ノ起キル時ニ、自分ガ主張ノ認メラレルト云フコトノムヅカシイ場合ニハ、必ズ辭表ヲ出ス、斯ウ云フコトハ、サウスルト自分ガ問題トナッタ場合ニハ、問題ヲ打消スコトガ出來ルヤウニナリマスト、是ハ誠ニ不都合ナ話、高柳ノ如キ場合ニハ、アア云フ形式ニナリマスト、御沙汰ガ出タ日迄ハ議員デアッタト云フコトニナル、鶴澤君ノヤウナ場合デアリマスト、例ヘバ今朝見マシタガ、貴族院議員ヲ免ズルト云フ辭令デアリマスケレドモ、免ズト云フノハ、無效ノ決議ガアッタコトヲ上奏シテ後ノコトデアリマスカラ、外ノ場合ノ免ズトハ違ヒマシテ、無效ハ選舉ノ當時ニアッタト云フ事由ニ基クモノデアリマスカラ、無效ノ結果ハ選舉ノ當時ニ遡リ、其無效ト云フ意味ヲ、唯、御認メニナッタト云フ意味ニ解スベキト思ヒマス、ソレガ當リ前ト思フ、衆議院ノ方デハ、爭訟ガ起ッテ後ニハ辭職ガ出來ナイト云フコトニナッテ居ル、私ハ書イテナクテモ、是ハ問題ニナッタ人ガ辭表ヲ願ッテモ受付ケヌガ宜イト思ヒマス、現ニサウナラナカッタカラ面倒ガ起リマシタカラ、此點モ私ノ

考デハ、衆議院選舉法ニ於ケルト同様ニ、選舉爭訟が起ツタ後ハ、辭表ヲ出シテモ受付ケストカ、受付ケテモ進達セヌ……

○議長(公爵徳川家達君) 問題外ニ外レタヤウデアリマス、御注意ヲ申シマス

○土方寧君 承知シマシタ、モウ濟ミマス、今ノ者ハ百人ノ點ト、其他前ニ言ツタ點ト、互選規則ニ隨分不備缺點ガ多イヤウデアリマスカラ、ドウカ政府ノ方デハ、改正ヲ、此次ニ問題ガ起ルカモ知レマセヌカラ、……セラレムコトヲ希望シマス、政府ガ此儘デ完全ノモノト認メラレテ、改正セラレル意思ハナイカト云フコトヲ尋ネルノデアリマス、私ハサウ云フ點ナドハドウモ改正シテ戴キタイノデアリマスガ、其意思ガ有ルカ無イカト云フコトヲ確メタイ

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三十二、選舉爭訟ノ件、資格審査委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三十三、津久居彦七君選舉爭訟ノ件、資格審査委員長報告、會議……寺島伯爵

貴族院議員津久居彦七ニ係ル當選不法ノ訴ニ關シ本委員會ニ於テ資格審査ヲ終リ別冊ノ通判決スヘキモノト議決候條此段及報告候也

大正十五年三月二十二日

資格審査委員長

伯爵 寺島誠一郎

貴族院議長公爵徳川家達君

本訴ハ原告栃木縣宇都宮市貴族院多額納稅者議員互選人坂本仲ヨリ被告栃木縣選出貴族院多額納稅者議員津久居彦七ニ對シ其ノ當選ノ無效ヲ請求シタルモノトス

原告請求ノ要旨

大正十四年栃木縣多額納稅者議員互選人名簿中ニ登録セラレタル吉澤忠三

郎外二名ハ所得稅額決定ノ結果缺格者ト爲リ世取山靜三郎外二名ハ所得稅額決定ノ結果有資格者タルニ拘ハラス名簿ニ登録セラレサリシカ爲互選人タルヲ得サルニ至レリ此ノ如ク無資格者ヲ登録シ有資格者ヲ登録セスシテ確定セラレタル名簿ニ依リテ行ハレタル選舉ハ貴族院令第六條「多額ノ直接國稅ヲ納ムル者百人ノ中ヨリ一人又ハ二百人ノ中ヨリ二人ヲ互選シ」云云ノ規定ニ違反セルモノナリ

抑モ互選人名簿ノ本旨ハ何人カ互選人タルヤヲ明示スルコトニ存シ之ニ依リテ互選ノ權利ヲ與フルモノニ非ス從テ確定名簿ニハ絕對避ケ難キ事由ニ原因スルニアラサレハ有資格者ノ脱漏アルヘカラサルハ當然ナリ故ニ名簿確定前ニ脱漏誤載アルコトヲ發見シタルトキハ互選人ノ申立ニ依ル修正ノ外尙ホ地方長官ニ於テ自ラ之ヲ修正スヘキモノトス若シ之ヲ修正スルヲ得ストセハ確定名簿ニ登録セラレタル者ノ全部又ハ大部分カ無資格者タルノ不都合ヲ生スルコトアルヘシ

第三種所得稅ハ八月三十日ヲ最終ノ決定期ト爲スカ故ニ六月一日現在ニ依リ調製セラレタル互選人名簿ニハ單ニ稅額ヲ推想シテ之ヲ記載スルニ過キス從テ七月二十日ヨリ十五日間即チ八月四日迄ノ名簿縦覽期間内ニ所得稅額ノ決定アラハ互選人ハ之ニ依リテ理由アル修正申立ヲ爲スヲ得ルモ八月四日以後ニ至リテ其ノ決定ヲ見ルニ於テハ最早修正申立ヲ爲スニ由ナシ此ノ場合ニ於テ名簿調製ノ責任者タル地方長官カ之ヲ修正スルニ非レハ貴族院令及貴族院多額納稅者議員互選規則ノ本旨ヲ全ウスルヲ得ス而シテ栃木縣ニ於ケル第三種所得稅額ノ決定ハ栃木稅務署八月十三日足利稅務署八月十九日ニシテ孰レモ名簿修正申立期限後ニ屬スルニモ拘ハラス栃木縣知事ハ所得稅額決定ノ結果名簿ニ誤載脱漏アルヲ知リナガラ之ヲ修正セス誤脱ノ儘名簿ハ確定シ其ノ結果貴族院令第六條ニ違反セル選舉行ハルルニ至レリ

或ハ互選規則ニハ地方長官ノ自發的名簿修正ニ關スル何等ノ規定ナキヲ以テ互選人ノ申立ニ依ルノ外修正スヘカラスト解スルモノアリト雖互選人名

簿ニ關スル規定ハ選舉ノ手續ヲ定メタルニ過キス既ニ實體法の規定ニ於テ互選資格ヲ明定シ且事實上何人ノ有資格者タルヤヲ名簿確定前ニ確知シ得タル以上ハ手續規定ノ不備ヲ補充シテ實體法ノ適用ヲ全ウセサルヘカラス

又或ハ名簿調製者ノ自發的修正ヲ認メサルハ互選人ノ修正申立權ヲ保護スル必要上己ムヲ得サル法制ニシテ衆議院議員選舉人名簿ニ關スル規定モ亦同シト主張スルモノアルモ多額納稅者議員選舉ハ衆議院議員選舉ト其ノ實體ヲ異ニスルヲ以テ名簿ニ關シ亦同一ニ論スヘカラス多額納稅者議員選舉ハ選舉人員ヲ限定セル點ニ於テ特殊ノ性質ヲ帶フ從テ其ノ互選人名簿ニ付テモ衆議院議員選舉人ノ如ク一定數ヲ限ラサル場合ノ名簿ト規定ヲ同ウセサルヘカラス理由ナク又規定ノ解釋ヲ同一ナラシメサルヘカラス理由ナシ既ニ兩者別異ノモノタル以上ハ地方長官カ自發的ニ名簿ヲ修正スルモ毫モ互選人ノ修正申立權ヲ害スルモノニアラス

前陳ノ如ク栃木縣多額納稅者議員選舉ハ違法ノ名簿ニ依リテ行ハレタルモノナレハ該選舉ニ依ル被告ノ當選ハ無効ナリ

被告答辯ノ要旨

原告主張ノ事實ハ地方長官カ名簿ニ誤載脫漏アルコトヲ知リタリトノ點ヲ除クノ外之ヲ認ム然レトモ互選規則ニ明文ナキヲ以テ地方長官ニ自發的修正ノ權能ナク假ニ之レアリトスルモ其ノ職權ヲ行使スルヤ否ヤハ地方長官ノ自由裁量ニ存ス

抑モ選舉ノ公正ヲ期スル爲ニ名簿調製ノ主義ヲ採用スル限リハ事實上選舉權ヲ有スル者ニシテ名簿ニ登錄セラレサル爲投票ヲ爲ス能ハサル者ヲ生スルハ己ムヲ得サル所ナリ貴族院令第六條ハ有資格者百人中ヨリ一人又ハ二百人中ヨリ二人ヲ互選セシムルヲ理想トスルモノナリト雖選舉ノ期日ニ於テ必ス互選人百人又ハ二百人ニ充タサレハ直ニ貴族院令ニ違反スト謂フヲ得サルハ明ナリ若シ否ラストセハ互選資格ニ關シ缺格規定ヲ設ケ或ハ自書主義名簿制度ヲ採用スル等各國各種ノ選舉ニ於テ必要ナル規定トシテ採用

スル所ノモノモ亦互選人ヲ制限スルコトナリ互選規則ニ之ヲ規定スルハ違法ナリト謂ハサルヘカラス加之同條ニ規定スル直接國稅ハ其ノ稅額一齊ニ決定確定スルモノニ非スシテ選舉ノ前後ニ涉リテ異動ヲ生スルコトアルヲ免レス而モ選舉ノ期日ニ於テ其ノ最多額ヲ納ムル者ヨリ百人又ハ二百人ヲ確定的ニ決定スルカ如キハ實行上到底不可能ナリト謂ハサルヘカラス假ニ原告主張ノ如ク名簿上吉澤忠三郎外二名世取山靜三郎外二名カ或ハ缺格者ト爲リ或ハ有資格者ト爲ルトスルモ被告ハ次點者ニ比シ二十票ノ多數ヲ獲得シタルモノナルカ故ニ選舉ノ結果ニ影響ヲ及ホスモノニアラス前陳ノ如クナルヲ以テ栃木縣多額納稅者議員選舉ハ有效ニシテ被告ノ當選ハ無効ニアラス

議決ノ理由

按スルニ互選人名簿ハ貴族院多額納稅者議員互選規則第六條、第七條ニ依リ互選人ノ申立ニ基キ修正ヲ爲スヲ得ルノ外地方長官自ラ修正ヲ爲シ得ヘキ規定ナキノミナラス既ニ縱覽期間ヲ設ケ互選人ノ修正申立ヲ許スノ制度ヲ採リタル以上ハ縱覽開始後ニ於テ地方長官ヲシテ自ラ修正ヲ爲サシムルハ法ノ精神ニ副ハサルモノト謂ハサルヘカラス依リテ原告ノ主張ハ理由ナキモノトス

右ノ理由ニ依リ本件ハ左ノ如ク判決スヘキモノナリト議決ス

判決

被告栃木縣選出貴族院多額納稅者議員津久居彦七ノ當選ハ無効ニアラス

〔伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵寺島誠一郎君「本訴ハ原告栃木縣宇都宮市貴族院多額納稅者議員互選人坂本伸ヨリ被告栃木縣選出貴族院多額納稅者議員津久居彦七ニ對シ其ノ當選ノ無効ヲ請求シタルモノトス」原告請求ノ要旨、並被告答辯ノ要旨ハ、此報告書ニ就イテ御覽ヲ願ヒマス、議決ノ理由ハ日程第三十二ノ場合ニ申上ゲタモノト同一デアリマス、而シテ判決トシテ「被告栃木縣選出貴族院多額納稅者議員津久居彦七ノ當選ハ無効ニアラス」トゴザイマス

○議長（公爵德川家達君）資格審査委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三十四、鳴海周次郎君選舉爭訟ノ件、資格

審査委員長報告、會議……寺島伯爵

貴族院議員鳴海周次郎ニ係ル當選不法ノ訴ニ關シ本委員會ニ於テ資格審査ヲ終リ別冊ノ通判決スヘキモノト議決候條此段及報告候也

大正十五年三月二十二日

資格審査委員長

伯爵 寺島誠一郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

本訴ハ原告青森縣弘前市大字土手町四十七番地貴族院多額納稅者議員互選人宮川忠助ヨリ被告青森縣選出貴族院多額納稅者議員鳴海周次郎ニ對シ其ノ當選ノ無效ヲ請求シタルモノトス

原告請求ノ要旨

一、青森縣ニ於ケル貴族院多額納稅者議員互選人ノ員數ハ百人ノ定ナルニ拘ハラス百人ニ滿タサル互選人ヲ以テ行ハレタル本件選舉ハ貴族院令第六條ノ規定ニ違反シタルモノナリ

一、青森縣知事ハ大正十四年八月三十一日ヲ以テ確定シタル互選人名簿ニ登錄セラレタル田中吉兵衛、高杉金作、平山爲之助ノ三名ヲ登錄スヘカラサルモノトシテ名簿ヨリ削除シ因テ名簿確定ノ效力ヲ害シタルヲ以テ本件選舉ハ貴族院多額納稅者議員互選規則第八條ニ違反シタルモノナリ

一、青森縣知事ハ前記ノ名簿修正後田中吉兵衛高杉金作ノ納稅追加申請ニ基キ九月九日ニ至リ再ヒ名簿ヲ修正シ右二名ヲ登錄シ之ニ投票セシメタ

ルヲ以テ本件選舉ハ更ニ互選規則第八條ニ違反シタルモノナリ

一、選舉長ハ前記ノ名簿ニ依リ田中吉兵衛高杉金作ヲシテ投票セシメムトシタルニ際シ選舉立會人上田幸兵衛ハ之ヲ不法トシテ立會ヲ拒ミ退場シタル然ルニ選舉長ハ直ニ内務部長ヲ臨時立會人ニ選任シテ選舉ヲ遂行シタルヲ以テ本件選舉ハ互選規則第十五條ニ違反シタルモノナリ

一、選舉立會人自ラ投票ヲ爲ス際ニハ當然立會人タルノ資格ヲ有セサルノ理ナレハ之ニ代ハルヘキ立會人ノ補充セラルヘキ筈ナルニ當時青森縣ニ於ケル多額納稅者議員選舉會及分會ニ於テ立會人タリシ上田幸兵衛、關清六、橋本八右衛門、三浦善藏、檜館彌三郎、平山又三郎、井沼覺五郎、佐々木嘉太郎ノ八名ハ右立會人ノ補充ナク從テ定數ノ立會人ナキ時ニ於テ投票ヲ爲シタル又互選人高杉金作吹田銓三郎ノ投票ハ選舉立會人上田幸兵衛立會ヲ拒ミテ退場シ互選人松木純一郎未タ立會人ト爲ラサリシ間ニ於テ行ハレタルモノナレハ此ノ時ハ内務部長カ臨時立會人タリシカ又ハ正當ノ立會人一名ヲ缺キ居リシモノナリ仍テ本件選舉ハ互選規則第十五條ニ違反シタルモノトス假ニ右ノ理由カ選舉ヲ無效トスヘキニアラストスルモ以上十人ノ投票ハ立會人缺員ノ儘行ハレタルモノナレハ無効ナリ而シテ若シ其ノ十票カ被告ノ得票中ニアリタリトセハ被告ノ得票ハ四十票ニ減シ次點者藤田謙一ノ得票ヨリモ三票少キコトナルノ事由ニ依リテ其ノ選舉ハ無効タラサルヘカラス

一、被告ハ高杉金作吹田銓三郎ノ投票ハ立會人上田幸兵衛辭任前ニ行ハレタルモノニテ上田幸兵衛辭任後立會人缺員中ニハ投票シタル互選人ナシト主張スレトモ上田幸兵衛ハ會場參著ノ順位ニ依リ右兩名ニ先チテ投票シ高杉金作ノ投票前ニ立會人ヲ辭シテ退場シタルモノナレハ被告ノ此ノ事實ニ對スル否認ハ理由ナキモノナリ

一、被告ハ本件訴狀カ原告自ラ署名シタルモノニアラサルヲ以テ本訴ヲ無効ナリト主張スレトモ本件訴狀ハ原告ノ自署シタルモノナリ

被告答辨ノ要旨

一、青森縣ニ於ケル貴族院多額納稅者議員互選人員ハ百人ノ定ナリト雖互選規則中ニハ互選人ノ缺格者ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ補充スヘキ旨ノ規定存セサルヲ以テ互選人員カ選舉ニ際シ定員百人ニ滿タサルニ至ルコトアルハ法ノ豫期スル所ナレハ其ノ定員ヲ缺キタルノ故ヲ以テ選舉カ貴族院令ニ違反セリト謂フヘカラス

一、青森縣知事カ互選人名簿確定後ニ於テ之ヲ修正シタル事實ナキコトハ現ニ該名簿ニ徴シテ明白ナリ唯互選人田中吉兵衛、高杉金作、平山爲之助ノ三名ノ各納稅總額カ名簿調製當時ヨリモ減少シタレハ知事カ其ノ旨ノ符箋ヲ名簿ニ貼付シタル事實ハアレトモ是レ選舉當日ニ於ケル右三名ノ互選資格ノ有無ヲ審査スル便宜ニ供セントシタルニ過キスシテ是ヲ以テ名簿ヲ修正シタルモノト稱スルヲ得ス而シテ其ノ三名ノ中田中吉兵衛、高杉金作ハ其後所得金額ノ追加申請ヲ爲シタル結果互選資格ヲ失ハサルコトナレリ

一、選舉長ハ選舉立會人上田幸兵衛ノ退場後一時内務部長ヲ以テ立會人ト爲シタルモ直ニ之ヲ取消シ互選人松木純一郎ヲ立會人ニ選任シタルモノニシテ其ノ間ニ投票ヲ爲シタル互選人ナシ

一、選舉立會人ハ自ラ投票ヲ爲ス際ニ於テモ立會人タルノ資格ヲ喪失スルモノニアラサルヲ以テ其ノ爲シタル投票ハ有效ナリ

一、選舉立會人上田幸兵衛ハ高杉金作、吹田銓三郎ノ投票後高杉金作ヲシテ投票ヲ爲サシメタルヲ不當ナリトシ自己ノ投票ヲ終リテ退場シタルモノナレハ高杉金作、吹田銓三郎ハ定數ノ立會人アリタル時投票シタルモノナリ

一、本件訴狀ハ原告自ラ署名シタルモノニアラサルヲ以テ本訴ハ貴族院資格及選舉爭訟判決規則ニ依リ無効タルヘキモノナリ

議決ノ理由

按スルニ原被兩造各證據ヲ具シテ本件訴狀ノ署名ノ原告自筆ナリヤ否ヤヲ爭フ所アリ資格審査委員ハ議長ヲ經由シテ政府ニ原告ノ自署ヲ徵セムコト

ヲ要求シ政府ハ青森縣知事ノ面前ニ於テ認メタル原告ノ自署ヲ提出セリ依リテ對照審査スルニ訴狀ノ署名カ原告ノ自署ニ非ラスト確認スルニ難シ原告ハ選舉ノ當時互選人員百人ヲ缺キタルノ故ヲ以テ選舉ヲ無効ナリト主張スルモ互選人名簿縦覽ノ制度ヲ設ケタル選舉ニ於テ選舉ノ際豫期ノ互選人ノ充實ヲ必スヘカラサルハ已ムヲ得サル所ナレハ其ノ主張ハ採用スルヲ得ス

原告ハ互選人名簿確定後青森縣知事再應之ヲ修正セリト主張シ被告ハ其ノ事實ヲ否認ス仍テ互選人名簿ノ原本ヲ取寄セ之ヲ審査スルニ原告主張ノ如キ修正ノ跡ヲ見ス

選舉立會人上田幸兵衛辭任退場後選舉長カ青森縣内務部長石川芳太郎ヲシテ臨時立會人タラシメタルノ事實ハ原被兩造ノ共ニ認ムル所ニシテ選舉長ノ行爲ハ違法タルヲ免レスト雖其ノ事實カ選舉ノ公正ヲ害セサル以上本訴ノ關係ニ於テハ復タ問フノ要ナシ

原告ハ選舉立會人自ラ投票ヲ爲ス際ニハ當然立會人タルノ資格ヲ有セサルモノナレハ之ニ代ルヘキ立會人ヲ補充セサルヘカラスト主張スルモ互選規則中ニ何等之ニ關スル規定ナキハ却テ立會人ノ儘ニテ投票セシムルノ法意ナリト解スルヲ至當トス依テ互選人上田幸兵衛、關清六、橋本八右衛門、三浦善藏、檜館彌三郎、平山又三郎、井沼覺五郎、佐々木嘉太郎八名ノ投票ハ有效ナリ

原告ハ立會人上田幸兵衛辭任退場後内務部長ノ臨時立會人タリシカ又ハ立會人一人ヲ缺キタル時ニ於テ互選人高杉金作、吹田銓三郎投票シタリト謂ヒ此ノ事實ニ基キテ選舉ヲ無効ナリト主張シ被告ハ右兩名ノ互選人ハ上田幸兵衛辭任前ニ投票シタルモノナリト主張ス仍テ選舉錄原本ヲ調査スルニ其ノ第九項ニ左ノ記載アリ

九、選舉立會人中上田幸兵衛ハ大正十四年九月十日午後三時五分事故ノ爲退場シ其定數ヲ缺キタルニ依リ選舉長ハ互選人中ヨリ午後三時二十七分左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

中津輕郡千年村 松木純一郎

但シ此間選舉會場ニ入場シタル互選人ナシ

是ニ由リテ之ヲ觀レハ此ノ點ニ關スル原告ノ事實上ノ主張ハ認容スルヲ得
ス假ニ原告主張ノ如キ事實アリタリトシ其ノ投票ヲ無効トスルモ其ノ票數
ハ二個ニ過キサレハ被告得票五十次點者得票四十三ナル青森縣多額納稅者
議員ノ選舉ニ於テハ其ノ結果ニ異動ヲ來スコトナキヲ以テ選舉ヲ無効トス
ヘキニアラス又被告ノ當選ヲ無効トスルノ理由ナシ

右ノ理由ニ依リ本件ハ左ノ如ク判決スヘキモノナリト議決ス

判 決

被告青森縣選出多額納稅者議員鳴海周次郎ノ當選ハ無効ニアラス

〔伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵寺島誠一郎君 「本訴ハ原告青森縣弘前市大字土手町四十七番地貴族
院多額納稅者議員互選人宮川忠助ヨリ被告青森縣選出貴族院多額納稅者議員
鳴海周次郎ニ對シ其當選ノ無効ヲ請求シタルモノトス」原告請求ノ要旨並被
告答辯ノ要旨ハ、例ニ依リ報告書ニ就イテ御熟讀ヲ願ヒマス、議決ノ理由ハ、
按スルニ原被告兩造各證據ヲ具シテ本件訴狀ノ署名ノ原告自筆ナリヤ否ヤヲ爭
フ所アリ資格審査委員ハ議長ヲ經由シテ政府ニ原告ノ自署ヲ徵セムコトヲ要
求シ政府ハ青森縣知事ノ面前ニ於テ認メタル原告ノ自署ヲ提出セリ依リテ對
照審査スルニ訴狀ノ署名カ原告ノ自署ニ非ラスト確認スルニ難シ、原告ハ選
舉ノ當時互選人員百人ヲ缺キタルノ故ヲ以テ選舉ヲ無効ナリト主張スルモ互
選人名簿縱覽ノ制度ヲ設ケタル選舉ニ於テ選舉ノ際豫期ノ互選人員ノ充實ヲ
必スヘカラサルハ已ムヲ得サル所ナレハ其ノ主張ハ採用スルヲ得ス、原告ハ
互選人名簿確定後青森縣知事再應之ヲ修正セリト主張シ被告ハ其ノ事實ヲ否
認ス仍テ互選人名簿ノ原本ヲ取寄セ之ヲ審査スルニ原告主張ノ如キ修正ノ跡
ヲ見ス、選舉立會人上田幸兵衛辭任退場後選舉長カ青森縣內務部長石川芳太
郎ヲシテ臨時立會人タラシメタルノ事實ハ原被告兩造ノ共ニ認ムル所ニシテ選
舉長ノ行為ハ違法タルヲ免レスト雖其ノ事實力選舉ノ公正ヲ害セサル以上本
訴ノ關係ニ於テハ復タ問フノ要ナシ、原告ハ選舉立會人自ラ投票ヲ爲ス際ニ
ハ當然立會人タルノ資格ヲ有セサルモノナレハ之ニ代ルヘキ立會人ヲ補充セ
サルヘカラスト主張スルモ互選規則中ニ何等之ニ關スル規定ナキハ却テ立會

人ノ儘ニテ投票セシムルノ法意ナリト解スルヲ至當トス依テ互選人上田幸兵
衛、關清六、橋本八右衛門、三浦善藏、檜館彌三郎、平山又三郎、井沼覺五
郎、佐々木嘉太郎八名ノ投票ハ有效ナリ、原告ハ立會人上田幸兵衛辭任退場
後內務部長ノ臨時立會人タリシカ又ハ立會人一人ヲ缺キタル時ニ於テ互選人
高杉金作、吹田銓三郎投票シタリト謂ヒ此ノ事實ニ基キテ選舉ヲ無効ナリト
主張シ被告ハ右兩名ノ互選人ハ上田幸兵衛辭任前ニ投票シタルモノナリト主
張ス仍テ選舉錄原本ヲ調査スルニ其ノ第九項ニ左ノ記載アリ

九、選舉立會人中上田幸兵衛ハ大正十四年九月十日午後三時五分事故ノ爲退
場シ其定數ヲ缺キタルニ依リ選舉長ハ互選人中ヨリ午後三時二十七分左ノ者
ヲ選舉立會人ニ選任シタリ、中津輕郡千年村松木純一郎、但シ此間選舉會場
ニ入場シタル互選人ナシ、是ニ由リテ之ヲ觀レハ此ノ點ニ關スル原告ノ事實
上ノ主張ハ認容スルヲ得ス假ニ原告主張ノ如キ事實アリタリトシ其ノ投票ヲ
無効トスルモ其ノ票數ハ二個ニ過キサレハ被告得票五十次點者得票四十三ナ
ル青森縣多額納稅者議員ノ選舉ニ於テハ其ノ結果ニ異動ヲ來スコトナキヲ以
テ選舉ヲ無効トスヘキニアラス又被告ノ當選ヲ無効トスルノ理由ナシ、右ノ理
由ニ依リ本件ハ左ノ如ク判決スヘキモノナリト議決ス、此判決ト書キマシタ
次ノ行ノ當選無効ニアラズトシテアリマス中ノ、「被告青森縣選出」ノ下ニ「貴
族院」ト云フ字ガ落チテ居リマスガ、正誤ノ手續キヲ取ツテ居リマス際デゴザ
イマシテ、拔ケテ居リマスカラ、ソレダケ御加ヘテ願ヒマス」判決、被告青
森縣選出貴族院多額納稅者議員鳴海周次郎ノ當選ハ無効ニアラス」

○議長(公傳德川家達君) 資格審査委員長ノ報告ニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公傳德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○土方寧君 政府ヘノ質問ニ御答ガアリマセスガ、御伺イタシマス

〔國務大臣岡田良平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田良平君) 先刻ノ土方君ノ御尋ニ對シマシテハ政府ハ篤ト考
慮イタシマス

○議長(公傳德川家達君) 日程第三十五、平田吉胤君選舉爭訟ノ件、資格審
査委員長報告、會議

貴族院議員平田吉胤ニ係ル當選不法ノ訴ニ關シ本委員會ニ於テ資格審査ヲ

終リ別冊ノ通判決スヘキモノト議決候條此段及報告候也

大正十五年三月二十二日

資格審査委員長

伯爵 寺島誠一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

本訴ハ原告貴族院多額納稅者議員互選人大分縣直入郡宮砥村工藤一藏及同縣速見郡日出町成清信愛ヨリ被告大分縣選出貴族院多額納稅者議員平田吉胤ニ對シ其ノ當選ノ無效ヲ請求シタルモノトス

原君請求ノ要旨

大正十四年大分縣多額納稅者議員互選人名簿ニ登錄セラレタル足立橋二外三名ハ所得稅額決定ノ結果缺格者ト爲リ重松龜太郎外三名ハ所得稅額決定ノ結果有資格者タルニ拘ハラス名簿ニ登錄セラレサリシ爲互選人タルヲ得サルニ至レリ此ノ如ク無資格者ヲ登錄シ有資格者ヲ登錄セスシテ確定セル名簿ニ依リテ行ハレタル選舉ハ貴族院令第六條「多額ノ直接國稅ヲ納ムル者百人ノ中ヨリ一人又ハ二百人ノ中ヨリ二人ヲ互選シ」云々ノ規定ニ違反セルモノナリ

貴族院令第六條ニ依レハ多額納稅者議員ノ互選人ハ道府縣ノ人口ニ依リ土地及商業ニ付キ直接國稅最多額納稅者百人又ハ二百人トシ百人中ヨリ一名二百人中ヨリ二名ヲ互選セシムルヲ以テ本旨トス而シテ互選規則ニ依レハ其ノ名簿ハ六月一日ノ現在ニ依リ調製シ七月二十日ヨリ十五日間縦覽ニ供シ脱漏誤謬アル場合ニ於テ互選人ニ異議申立ノ權ヲ與ヘ地方長官ハ其ノ當否ヲ決定シ名簿ハ八月三十一日ヲ以テ確定ス然レトモ所得稅額ノ決定ハ八月三十日迄ナレハ八月五日迄ニ異議ノ申立ヲ提出セントスルコトハ實際不能ニシテ地方長官亦其ノ當否ヲ決定セントスルモ不可能ノ事ニ屬ス或ハ互選人名簿ハ何人カ互選人タルヤヲ明示スルニ止マリ選舉ヲ行フ便宜ノ爲ニスル公示方法ナリト解センカ然レトモ確定名簿ニハ絕對避ケ難キ事由ニ原因スル脱漏誤載又ハ名簿確定後ニ生シタル事由ニ依ルモノヲ除クノ

外互選資格アル者ノ脱漏アルヘカラスアルハ當然ナリ而シテ互選規則ニ於テ一定ノ期間中互選人ニ修正申立ノ權ヲ與ヘ地方長官ハ之ニ基キ修正ヲ爲スヲ得ルモ名簿確定前ニ脱漏誤謬アルコトヲ發見シタル時ハ地方長官モ亦自ラ之ヲ修正セサルヘカラス然ラサレハ名簿ニ登錄セラレタル者ノ全部又ハ大部分カ無資格者タルノ不都合ヲ生スルコトアルヘシ如此事態ハ法ノ期待ニ反スルモノナリ

前陳ノ如ク大分縣多額納稅者議員選舉ハ違法ノ名簿ニ依リ行ハレタルモノナレハ該選舉ニ依ル被告ノ當選ハ無效ナリ

被告答辯ノ要旨

原告主張ノ事實中足立橋二外三名カ缺格者ト爲リタル點及名簿調製ノ點ハ之ヲ爭ハサルモ重松龜太郎外三名カ有資格者トナリタリトノ點ハ之ヲ知ラス而シテ同人等カ大正十四年六月一日ニ於テ百人中ニ算入セラルヘキ資格無キモノナリシコトハ事實ナリ

原告ハ互選人名簿ニ登錄セラレタル互選人中ニ缺格者ヲ生シ又互選資格ヲ有スルニ至リタルモノノ名簿ニ登錄セラレサリシ事實ヲ舉ケテ選舉ノ違法ヲ主張スト雖選舉ノ公正ヲ期スル爲名簿調製ノ主義ヲ採用スル限リハ事實上選舉權ヲ有スル者ニシテ名簿ニ登錄セラレサル爲投票ヲ爲ス能ハサル者ヲ生スルハ已ムヲ得サル所ナリ貴族院令第六條ハ有資格者百人中ヨリ一人又ハ二百人中ヨリ二人ヲ互選セシムルヲ理想トスルモ選舉ノ期日ニ於テ必ス互選人百人又ハ二百人ニ充タサレハ直ニ貴族院令ニ違反スト謂フヲ得サルハ明ナリ若シ否ラストセハ互選資格ニ關シ缺格規定ヲ設ケ或ハ自書主義名簿制度ヲ採用スル等各國各種ノ選舉ニ於テ必要ナル規定トシテ採用スル所ノモノモ亦互選人ヲ制限スルコトナリ互選規則ニ之ヲ規定スルハ違法ナリト謂ハサルヘカラス如之同條ニ規定スル直接國稅ハ其ノ稅額一齊ニ決定確定スルモノニアラスシテ選舉ノ前後ニ涉リテ異動ヲ生スルコトアルヲ免レス而モ選舉ノ期日ニ於テ其ノ最多額ヲ納ムル者ヨリ百人又ハ二百人ヲ確定スルカ如キハ實行上到底不可能ナリト謂ハサルヘカラ

ス

又原告ハ地方長官ハ互選人ノ修正申立ニ基クモノノ外自ラ名簿ノ誤載脱漏ヲ修正スヘキモノナリト主張スルモ互選規則ニ明文ナキヲ以テ地方長官ニ此ノ如キ權能ナク假ニ之アリトスルモ其ノ職權ヲ行使スルヤ否ヤハ地方長官ノ自由裁量ニ存ス原告主張ノ如ク足立橋二外三名カ缺格者ト爲リ重松龜太郎外三名カ有資格者ト爲リタリトスルモ被告ノ得票ハ六十七ニシテ欠點者ニ比シ實ニ四十八票ノ多數ヲ得タルモノナルカ故ニ選舉ノ結果ニハ何等影響ヲ及スコトナシ前陳ノ如クナルヲ以テ大分縣貴族院多額納稅者議員選舉ハ有效ニシテ被告ノ當選ハ無効ニアラス

議決ノ理由

按スルニ互選人名簿ハ貴族院多額納稅者議員互選規則第六條、第七條ニ依リ互選人ノ申立ニ基キ修正ヲ爲スヲ得ルノ外地方長官自ラ修正ヲ爲シ得ヘキ規定ナキノミナラス既ニ縱覽期間ヲ設ケ互選人ノ修正申立ヲ許スノ制度ヲ採リタル以上ハ縱覽開始後ニ於テ地方長官ヲシテ自ラ修正ヲ爲サシムルハ法ノ精神ニ副ハサルモノト謂ハサルヘカラス依リテ原告ノ主張ハ理由ナキモノトス

右ノ理由ニ依リ本件ハ左ノ如ク判決スヘキモノナリト議決ス

判決

被告大分縣選出貴族院多額納稅者議員平田吉胤ノ當選ハ無効ニアラス

〔伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵寺島誠一郎君「本訴ハ原告貴族院多額納稅者議員互選人大分縣直入郡宮砥村工藤一藏及同縣速見郡日出町成清信愛ヨリ被告大分縣選出貴族院多額納稅者議員平田吉胤ニ對シ其ノ當選ノ無効ヲ請求シタルモノトス」原告請求ノ要旨竝ニ被告答辯ノ要旨ハ先刻來ト同ジク報告書ニ就テ御一讀ヲ願ヒマス、此理由ハ日程二十三ニ付テ述ベマシタ際ニ申上ゲタト同ジ理由デゴザイマス、判決ハ斯ウ致シテゴザイマス「被告大分縣選出貴族院多額納稅者議員平田吉胤ノ當選ハ無効ニアラス」

○議長(公爵徳川家達君) 資格審査委員長ノ報告ニ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 大日本聯合青年團補助金ニ關スル建議案、公爵近衛文麿君外七名發議、會議、建議案ヲ朗讀ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

大日本聯合青年團補助金ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十九條ニ依リ提出候也

大正十五年三月二十三日

發議者

公爵近衛 文麿 公爵二條 厚基 侯爵佐佐木 行忠

子爵實吉 安純 淺田 德則 男爵阪谷 芳郎

男爵藤村 義朗 鎌田 榮吉

贊成者

侯爵中御門 經恭 伯爵松木 宗隆 伯爵松浦 厚

伯爵柳澤 保惠 伯爵柳原 義光 伯爵川村 鐵太郎

伯爵奥平 昌恭 伯爵林 博太郎 伯爵松平 賴壽

伯爵溝口 直亮 伯爵樺山 愛輔 伯爵二荒 芳德

伯爵酒井 忠克 伯爵酒井 忠正 男爵加藤 定吉

男爵大井 成元 男爵立花 小一郎 子爵京極 高德

子爵高倉 永則 子爵藤谷 爲寛 子爵樋口 誠康

子爵稻垣 太祥 子爵松平 直平 子爵青木 信光

子爵冷泉 爲勇 子爵酒井 忠亮 子爵小倉 英季

子爵伊集院 兼知 子爵五辻 治仲 子爵西大路 吉光

子爵五條 爲功 子爵柳生 俊久 子爵今城 定政

子爵吉田 清風 子爵本多 忠鋒 子爵藪 篤麿

子爵秋月 種英 子爵伊東 祐弘 子爵片桐 貞央

子爵大河内輝耕	子爵白川資長	子爵野村益三
子爵池田政時	子爵米津政賢	子爵清岡長言
子爵八條隆正	子爵立花種忠	子爵保科正昭
子爵花房太郎	子爵新庄直知	子爵石川成秀
子爵曾我祐邦	子爵森俊成	子爵秋田重季
子爵東園基光	子爵戸澤正己	子爵渡邊七郎
子爵秋元春朝	子爵西尾忠方	子爵裏松友光
子爵岩城隆德	子爵大浦兼一	子爵鍋島直繩
子爵稅所篤秀	子爵三室戶敬光	子爵米倉昌達
子爵舟橋清賢	子爵松平康春	大澤謙二
大久保利武	大島健一	北條時敬
富谷銚太郎	男爵宇佐川一正	木場貞長
志佐勝	男爵坂本俊篤	男爵西紳六郎
黑岡帶刀	和田彦次郎	内田嘉吉
男爵鍋島直明	男爵紀俊秀	男爵小原駭吉
志水小一郎	男爵斯波忠三郎	若林資藏
男爵伊藤安吉	男爵千田嘉平	男爵船越光之丞
男爵千秋季隆	男爵北河原公平	男爵北大路實信
男爵安場末喜	男男坪井九八郎	男爵中島久萬吉
男爵黑川幹太郎	男爵島津長九	男爵神山郡昭
男爵上田兵吉	男爵福原俊九	男爵今枝直規
男爵黑田長和	男爵岩倉道俱	男爵二條正麿
男爵有地藤三郎	男爵上村從義	男爵赤松範一
男爵金子有道	男爵郷誠之助	男爵小畑大太郎
男爵野田龜喜	男爵東郷安	男爵伊藤文吉
男爵池田長康	男爵辻太郎	男爵足立豐
男爵松岡均平	男爵長基連	男爵沖貞男

貴族院議長公爵徳川家達殿

大日本聯合青年團補助金ニ關スル建議

全國青年團ノ健全ナル發達ヲ助成シ青年ノ修養ト其ノ品性向上トヲ圖ルハ現時我國ニ於ケル緊急事ナリト認ム、政府ハ宜シク相當額ノ補助金ヲ全國青年團ノ中心機關タル大日本聯合青年團ニ支出セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔公爵二條厚基君演壇ニ登ル〕

○公爵二條厚基君 私ハ唯今朗讀サレマシタル建議案ノ提出者ノ一人ト致シマシテ、極ク簡單ニ其理由ヲ説明致サウト存ジマス、大日本聯合青年團ノ生レマシタノハ誠ニ最近ノコトデアリマシテ、マダ社會一般ノ人々ガ十分ニ之ヲ知り、且ツ了解シテ居ラレル人ガ誠ニ少イコトデアリマシテ、併ナガラ是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマセウケレドモ、此聯合青年團ノ必要ヲ感じ、其目的、其使命ヲ十分ニ了解サレタ方ニ於キマシテハ、其生レタ時期ノ餘リニ

男爵周布兼道	男爵寺島敏三	男爵高崎弓彦
男爵井上清純	男爵北島貴孝	男爵藤田平太郎
男爵高木喜寛	男爵伊江朝助	男爵關義壽
男爵稻田昌植	男爵近藤滋彌	男爵大寺純藏
男爵佐藤達次郎	男爵渡邊修二	石井省一郎
原保太郎	藤田四郎	仁尾惟茂
澤柳政太郎	倉知鐵吉	中村純九郎
南弘	西久保弘道	岡田文次
赤池濃	湯地幸平	西野元
宮田光雄	馬越恭平	内藤久寛
永田仁助	澤山精八郎	岡崎藤吉
奥田榮之進	金杉英五郎	西本健次郎
高橋源次郎	花井卓藏	森廣三郎
松本勝太郎	三木與吉郎	田中一馬
絲原武太郎	本間千代吉	瀬川彌右衛門

遅キコトヲ感ズルノデアリマス、ソレデ此聯合青年團ハ一昨年ノ秋ニ漸ク其議ガ纏マリマシテ、超エテ昨年ノ春四月ニ名古屋市ニ於キマシテ、發團式竝ニ第一回ノ總會ヲ開イタ譯デアリマス、ソレニ依リマシテ初メテ此世ノ中生レタ譯デアリマスルケレドモ、併ナガラ今日ニ至ルマデ僅カ一年間ノ間ニ於キマシテ、十分ナル施設其他ノ目的ヲ果スコトガ出來ナイノデアリマシテ、今後青年團ガ所謂百年ノ計ヲ圖ッテ、サウシテ堅實ナル團體ヲ築キ上ゲル上ニ於キマシテハ、ドウシテモソレニ伴フ所ノ資金ノ充實ト云フコトガ必要デア

ルノデアリマス、其意味ニ於キマシテ本回建議案ヲ出シマシテ、政府ノ國庫補助ヲ仰ギタイト考ヘテ居ルノデアリマス、大體サウ云フ理由デゴザイマスルケレドモ、尙ホ更ニモウ少シ附加ヘテ申上ゲタイコトハ、此聯合青年團ノ仕事ハ、單ニ各府縣ノ聯合青年團ヲ纏メテ其中心機關ニナルバカリデナク、更ニ又直接ニ全國ニ互リマシテノ三百万人ノ青年ニ對シテ、絶エズ善導シ又之ヲ誘導シテ行クト云フ所ニ大ナル使命ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、其結果ガ十分ニ參リマスレバ、總テ立派ナル青年ヲ此國家社會ニ送り出スコトガ出來ル、若シ其方法ガ十分ニ至ラナカッタラバ、其將來ノ國民ヲ健全ニ且ツ立派ナルモノニ造リ上ゲルト云フコトハ、豫想スルコトガ誠ニ困難デアラウト思フノデアリマス、詰リ將來ノ國民ハ、此一万數千箇ノ青年團ヲ通過シテ、多數ノ者ガ皆其青年團ニ一時ハ籍ヲ置イテ、サウシテ社會ニ出ル所ノ、最モ極要ナル關門デアアルノデアリマスルカラ、是非此際國家ニ於テモ、國庫ノ力ヲ以テ直接ニ此青年團ニ對シマシテ、十分ナル物質的ノ援助ヲ與ヘラレムコトヲ切望シテ居ルノデアリマス、殊ニ又總テ普通選舉ノ實現ガ參リマシテ、國民ハ尙ホ其普通選舉ノ制度ニ伴ウテ有ユル方面ニ向上發展ヲシナケレバナラヌ其場合ニ於キマシテ、國家ハ單ニ其制度ヲ設ケテ、サウシテソレニ伴フ所ノ人間ヲ造ラナイト云フコトニナッタラバ、誠ニ是ハ終始一貫シテ居ラナイ所ノ御考デハナイカト思フノデアリマス、丁度一ツノ人形ヲ造ル上ニ於キマシテ、頭ト胴中ヲ造ッテ足ヲ造ラナイ所ノ人形ヲ造リ、サウシテソレニ更ニ美シイ著物ヲ著セテ、是ガ完全ナル人形デアルトシテ、恰モ人ノ前ニ示シタ如クニ、誠ニ其人形ガ、若シソコニ人ノ前ニ出サレタ時ニ、其人形ガ完全ニ立ツコトガ出來ナイト云フヤウナ感ジガスルノト同ジヤウニ、ドコ迄モ此青年團ガ其立派ナル足ヲ造リ、サウシテ獨リ歩キスルヤウナ意味ニ於テ、健全ナル思想、健全ナル知識ヲ持タシメルト云フコトガ、目下ノ急務デアラウト私

ハ思フノデアリマス、左様ナ意味ニ於キマシテ、是非此際聯合青年團ヲシテ、國家ガ十分ナル保護ヲ與ヘラレ、サウシテ三百万人ノ青年ニ對シテ、ドコ迄モ將來ノ發達ヲ期セラレルヤウニ、唯今カラ是非此聯合青年團ニ對シテ國庫補助ヲ支出サレ、サウシテ將來百年ノ計ヲ全クシテ戴キタイト思フ次第デアリマス、誠ニ簡單デハゴザイマスルガ、之ヲ以テ其理由ト致シタ譯デアリマス

「伯爵ニ荒芳德君演壇ニ登ル」

○伯爵ニ荒芳德君 私ハ極ク簡單ニ、大日本聯合青年團ニ補助ヲ與フルノ件ニ付テ、賛成ノ意ヲ表シタイト存ズルノデアリマス、昨日竝ニ今日ニ互リマシテ、或ハ思想問題ニ付キマシテ十分ノ指導ヲ要スルト云フ御議論ヲナサレマシタ方、又教育ノ根本ヲ改メナケレバナラヌト云フ御話ヲナサレマシタ御方、及郡制廢止ノ結果トシテ色々不便ヲ感ズルト云フ御話ヲナサイマシタ方方ノ御論ニ依リマシテ、此青年團ナルモノハ、思想ヲ今日ニ於テ十分ニ固メテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、最モ卑近ナ例ヲ取ッテ申シマヌナラバ、青年團ハ丁度箱入娘ノヤウナモノデアリマシテ、十分ノ指導ヲ致シマセスト、直グニ附ケ文ヲサレル譯デアリマス、即チ過激ナ思想トカ或ハ巧言令色ヲ以テ之ヲ誘ヒマス時ニハ、其思想ニ於テ動搖ヲ來ス時期デアリマス爲ニ、知ラズ識ラズニ家ヲ離レ或ハ親ニ背クヤウナコトモアルノデアリマス、之ヲ管ニ思想險惡ニナッタトカ、或ハ取締ラナケレバナラヌトノミ申シマスコトハ、聊カ私ハ足ラヌモノト思フノデアリマス、此故ニ今日ニ於テ青年團ニ對シテ十分ノ援ケヲシテ、サウシテ郡制廢止ノ案ノ通りマシタ後ニ於テモ、思想的ニハ立派ナ國民軍ト致シマシテ、日本ノ堅キヲ成スヤウニ致スコトガ必要デアルト思フノデアリマス、此意味ニ於キマシテ滿場ノ御同意ヲ得ムコトヲ私自身カラモ御願ヒイタス次第デアリマス

總員起立

○議長(公爵德川家達君) 本案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス 全會一致ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二十八、朝鮮ニ於ケル鐵道ノ普及促進ニ關スル建議案、淺田德則君外四名發議、會議、建議案ノ朗讀ヲ致サセマス

「成瀬書記官朗讀」

朝鮮ニ於ケル鐵道ノ普及促進ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十九條ニ依リ提出候也

大正十五年三月二十三日

發議者

淺田 德則 男爵 福原 俊丸

山之内 一次

西久保 弘道 佐竹 三吾

贊成者

公爵 近衛 文麿 侯爵 中御門 經恭 侯爵 佐佐木 行忠

伯爵 松浦 厚 伯爵 柳澤 保惠 子爵 青木 信光

子爵 牧野 忠篤 子爵 大河内 正敏 子爵 前田 利定

子爵 八條 隆正 子爵 保科 正昭 子爵 渡邊 千冬

子爵 裏松 友光 犬塚 勝太郎 荒川 義太郎

和田 彦次郎 石塚 英藏 小松 謙次郎

内田 嘉吉 男爵 船越 光之丞 男爵 藤村 義朗

男爵 池田 長康 男爵 松岡 均平 原 保太郎

藤田 四郎 橋本 圭三郎 倉知 鐵吉

南 弘 井上 準之助 岡田 文次

永田 秀次郎 馬場 鏌一 西野 元

藤山 雷太 末延 道成 永田 仁助

金杉 英五郎 横山 章

貴族院議長公爵徳川家達殿

朝鮮ニ於ケル鐵道ノ普及促進ニ關スル建議

朝鮮ニ於ケル産業ノ振興文化ノ開發並國防及警備ノ爲更ニ一層鐵道ノ普及促進ヲ圖ルハ頗ル緊要ノ事タリ依テ政府ハ速ニ鐵道網ノ調査ヲ完了シ之カ敷設ノ計畫ヲ樹立スルト共ニ私設鐵道ノ助長發達ニ付適切有效ナル方策ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○佐竹三吾君 唯今議題ト相成リマシタ朝鮮鐵道ノ普及促進ニ關スル建議案ニ付キマシテ、私カラ簡單ニ其要旨ヲ御説明申上ゲタイト思フノデアリマス、明治四十三年韓國併合ノ際ニ煥發セラレマシタ詔勅ヲ拜シマスルト、朝鮮ニ於ケル産業ノ發達、文化ノ促進並ニ朝鮮民衆ノ幸福ヲ増進シ生活ヲ改善スルコトニ付キマシテ、極メテ遠大ナル御聖旨ノアル所ヲ拜スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、爾來政府ハ此皇謨ニ基キマシテ、色々ノ施設經營ヲセラレテ參ッタノデアリマスルガ、其施設經營ノ中ニ於キマシテ、産業ノ發達、文化ノ促進ニ極メテ關係ノ多イ鐵道ノ普及促進ニ付キマシテ、今日マデ未ダ十分ナル發達ヲ見ルコトノ出來ナイノハ、誠ニ遺憾ニ感ズル次第デアリマス、朝鮮ニ於ケル過去ノ鐵道ノ發達ノ狀況ヲ見マスルト、明治三十三年ニ京城ト仁川ノ間ニ京仁線ガ開通セラレマシテ以來、二十六箇年ノ歲月ヲ經過イタシテ居ルノデアリマスルガ、其間ニ國有鐵道ノ延長イタシマシタモノガ、僅ニ千三百哩デアリマス、私設鐵道ガ延長イタシマシタノハ、僅ニ四百五十哩デアリマシテ、之ヲ合計イタシマシテ千七百五十哩ニ止マルノデアリマス、此鐵道ノ狀況ヲ内地ノ鐵道ニ比較イタシマスルト、極メテ其發達ガ少イノデアリマシテ、之ヲ一日瞭然ト數字ノ上ニ現ハシテ見マスルト、面積百方里ニ付キマシテ、本州ニ於ケル鐵道ノ延長ハ五十九哩デアリマス、臺灣ニ於キマシテハ三十五哩、北海道ニ於キマシテハ二十八哩デアリマスルガ、朝鮮ニ於キマシテハ僅ニ十二哩デアリマス、從ッテ北海道ニ於ケル鐵道ノ普及ニ比較イタシマスルト、其二分ノ一ニモ及バザル狀況デアリマス、尙ホ人口十万人ニ付キマシテ比較ヲ取ッテ見マスルト、本州ニ於キマシテハ人口十万人ニ付キマシテ十五哩ニ當ルノデアリマシテ、臺灣ニ於キマシテハ二十哩、北海道ニ於キマシテハ六十四哩ノ多キニ及ンデ居ルノデアリマスルガ、朝鮮ニ於キマシテハ僅ニ九哩ニシカナラスノデアリマス、人口ノ割合カラ考ヘマスルト、北海道ニ比較イタシマシテ七分ノ一ノ程度ノ鐵道ガ施設サレテ居ル勘定ニナルノデアリマス、朝鮮ニ於キマシテ國有鐵道ノ爲ニ今マデ投下セラレマシタ資本ハ總額二億六千万圓ニ達シテ居ルノデアリマシテ、一哩ノ平均ハ二十万圓ニ及ンデ居ルノデアリマスルガ、其營業上ノ成績ヲ見マスルト、經濟關係ガ幼稚デアリマスル爲ニ、最近六箇年即チ大正八年ヨリ大正十三年ニ至リマスル六箇年ノ平均ノ利益ヲ見マスルト、投下シタ資本ニ對シマシテ、其純益ハ僅ニ二分七厘ニ止マッテ居ルノデアリマス、從テ投下資本ガ公債ニ依ッテ支辨サレ

マシテ、其公債ノ利息ヲ六朱拂フト致シマスルト、一年ニ八百五十万圓ハ其純益ニ於テ不足ヲ見ルコトニナルノデアリマス、斯ノ如クニ鐵道ノ利益ハ甚ダ少イノデアリマスルケレドモ、是ハ植民地ニ於ケル鐵道ト致シマシテハ、誠ニ已ムヲ得ザル所デアリマシテ、此鐵道ノ普及ニ依ッテ、鐵道自體ノ利益ハ少イノデアリマスルガ、産業ノ發達、文化ノ開進ノ爲ニハ、其貢獻スル所ハ決シテ少ナクナイト思フノデアリマス、試ニ朝鮮ニ於キマシテ過去併合以來産業ノ發達シマシタ狀況ヲ極ク簡單ニ申上ゲマスルト、併合當時ニ於キマシテ、生産額ノ總計ガ二億九千万圓ニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ大正十三年ニ於キマシテハ、十七億圓ニ上ボッテ居ルノデアリマスルカラ、十五箇年間ニ六倍ノ増加ヲ致シテ居ルノデアリマス、又輸出入ノ貿易ヲ見マスルト、併合當時ニ於キマシテハ、僅ニ輸出入總計三千九百万圓ニ止マッテ居タノデアリマスルガ、大正十三年ニ於キマシテハ、六億三千万圓ニ上ボッテ居ルノデアリマス、即チ十五箇年間ニ於キマシテ、十六倍ノ増加トナッテ居ルノデアリマス、斯ノ如クニ朝鮮ニ於ケル産業ガ發達イタシマシタノハ、色々ノ原因ガアリマスルケレドモ、鐵道ノ普及發達ト云フコトガ與ッテ力ガアルト云フコトハ、疑ヲ容レヌト思フノデアリマス、私共ハ朝鮮ノ事情ニ通ジテ居ル者、或ハ鐵道ニ關スル知識經驗ヲ持ッテ居ル者、或ハ一般ニ經濟財政ニ付キマシテ、研究或ハ經驗ヲ有シマスル者ガ相集マッテ、過去一箇年間ニ朝鮮ノ鐵道ニ關スル調査ヲ致シタノデアリマス、其調査ノ結果ヲ申上ゲマスルト、朝鮮ニ於ケル産業、國防、警備、文化、各方面カラシテ鐵道ノ必要ナル部分ヲ取リマシテモ、今後二十箇年ニ約二千五百哩ノ鐵道ヲ敷設スル必要ヲ認メルノデアリマス、二千五百哩ニ對シマシテ、建設費ヲ二十万圓ト致シマスレバ、五億萬圓デアリマス、二十四万圓程度ト致シマスレバ、六億萬圓ト建設費ヲ要スル次第デアリマス、此六億或ハ五億ノ建設費ヲ二十箇年ニ使フト云フコトニナリマスルト、一年ノ建設費ハ二千五百萬圓乃至三千万圓トナルコトニナルノデアリマスルガ、今日朝鮮鐵道ノ繼續費トシテ、既ニ議會ノ協賛ヲ得テ居リマスルモノガ、大正十九年マデニ年々一千五百萬圓ニ上ボッテ居ルノデアリマスルカラ、若シ此計畫ヲ實行イタスト致シマスレバ、今後一箇年ニ千万圓乃至千五百萬圓ノ増額ヲ要スルコトニナルノデアリマス、此多額ノ建設費ヲ支辨スルト云フコトハ、國ノ一般ノ財政ナリ或ハ公債政策ニ關係ガアルノデアリマスカラ、單ニ朝鮮ノ事情ダケニ依ッテ此計畫ノ可否ヲ斷ズルコトハ出

來ナイト思ヒマスルケレドモ、朝鮮ノ如キ文化ノ未ダ發達セザル地方ニ於キマシテハ、此程度ノ計畫ヲ立ツルト云フコトハ、決シテ適當ナルモノトハ考ヘナイノデアリマス、從テ政府ニ於キマシテハ、速ニ今後朝鮮ノ鐵道網トシテ必要ナル調査ヲ完了セラレマシテ、其結果敷設ノ計畫ヲ定メ、尙ホ此鐵道ヲ敷設スルニ付キマシテ、内地ニ於テ實行イタシテ居リマスルト同ジク、敷設法ヲ制定シマシテ、容易ニ其計畫ノ變更ナキコトヲ期シテ、一定ノ計畫ヲ樹立セラレムコトヲ切ニ望ム次第デアリマス、サウシテ若シ此計畫ガ實行サレマシタ曉ニ於キマシテハ、朝鮮殊ニ北鮮ニ於キマスル所ノ天然物資ノ豊富ナル地方ノ開發ノ爲ニ、大イナル效果ヲ持來スト思フノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、木材デアルトカ、或ハ石炭デアルトカ、或ハ鐵礦デアルトカ、其他種々ナル鑛山ノ開發ハ之ニ依ッテ出來ルノデアリマス、又内地ニ於ケル人口問題ノ調節ハ、朝野ノ問題ニナッテ居ルノデアリマスルガ、此計畫ニシテ實行サル場合ニハ、人口問題ノ解決ニモ大イナル便宜ヲ持來スト思フノデアリマス、又現ニ朝鮮人ガ十万人以上内地ニ於テ職ヲ取ッテ居ルノデアリマスルガ、其朝鮮人ノ職業問題ニ付キマシテモ、解決ノ一端トナルト思フノデアリマス、ソレガ延キマシテハ我國ノ勞働者ノ失業問題ノ解決ノ一方法トモナルノデアリマス、デアリマスカラ、茲ニ六億ノ資本ヲ投ズルト云フコトハ、國家ニ莫大ナル負擔ヲ持來スヤウニ見エルノデアリマスルケレドモ、其經濟ノ結果ニ於キマシテハ、極メテ大ナル效果ガアルノデアリマシテ、單ニ朝鮮ニ於ケル産業ノ發達カラ考ヘマシテモ、蓋シ今日ノ生産額十七億萬圓ガ、是ガ倍ニナリ、或ハ三倍ニナルト云フコトモ、決シテ夢想デハナイト思フノデアリマス、尙ホ終リニ、私設鐵道ノ助長發展ニ付テ一言ヲ致シタイト思フノデアリマス、私設鐵道ノ補助ニ付キマシテハ、大正三年ニ豫算ヲ以テ年六朱ノ補助ヲ決定イタシテ居ルノデアリマス、爾來漸次増加イタシマシテ、大正七年ニハ七朱、大正八年ニハ八朱ノ補助トナリマシテ、今日ニ於キマシテハ八朱ノ補助ノ方法ニ依ッテ、助長發達ヲ促シテ居ルノデアリマスルガ、此八朱ノ利率ト云フモノハ、利率トシテハ決シテ低クハナイト思フノデアリマス、然ルニモ拘ラズ朝鮮ニ於ケル私設鐵道ノ發達ガ極メテ遅々デアアル、其事實ハ此補助法ガ出來マシタ大正三年以來今日ニ至リマスルマデ、ドレダケ私設鐵道ガ延ビタカト申シマスルト、總體ニ於テ四百三十哩、即チ一年ニ僅カ三十五哩シカ延長ヲ致シテ居ラスノデアリマス、從テ朝鮮鐵道ノ所謂未成線ハ千二

百哩餘ヲ剩シテ居ルノデアリマシテ、即チ折角免許ヲ得テ敷設ノ計畫ガ立ッテ居リマスル其私設鐵道ガ、僅カ三分ノ一敷設サレタダケデアリマス、此事實ハ、現在ノ補助法ハ十分ナル目的ヲ達スルコトノ出來ナイト云フコトヲ、最モ有效ニ證明イタシテ居ルト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテ、第五十議會ニ於キマシテ問題トナリシテ、豫算總會ニ於テハ將來私設鐵道ノ補助改善ニ付テ更ニ適當ナル方法ヲ考慮スルト云フ希望決議ガアリマシタ、當時ノ總督府ノ政府委員ハ之ヲ承認ヲ致シテ居ッタノデアリマスルガ、大正十五年度豫算ヲ見マシテモ、何等此希望ガ實現サレテ居ラヌト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ感ズルノデアリマス、デ要スルニ私設鐵道ノ補助、或ハ發達普及ヲ圖ルニ付キマシテハ、唯今申上ゲマシタ如クニ、八朱ノ利子デハ十分デアル、何故不十分デアルカト申セバ、朝鮮ニ於ケル金利ハ一割乃至一割二分デアルノデアリマスカラ、折角鐵道ノ工事ヲヤラウト思ヒマシテモ、株券ノ拂込金ヲ徵收スルコトガ出來ナイ、又社債ノ發行モ困難デアル、或ハ借入金モ困難デアル、要スルニ私設鐵道會社ハ資金ノ調達ニ困ッテ居リマスルガ爲ニ、工事ガ思ハシク拂ラヌノデアリマス、デアリマスカラ、之ヲ改善スル方法ト致シマシテハ、或ハ八朱ノ利率ヲ九朱乃至一割ニ増額スルコトモ、一ツノ方法ト思フノデアリマス、併ナガラ是ハ總督府ノ豫算ニ直接ニ關係ガアリマシテ、或ハ豫算ノ上カラシテ許スコトガ出來ナイト云フコトガ起ルカモ知レヌノデアリマス、サウ致シマスレバ、其他ノ方法トシテハ、社債ノ發行ニ付テ總督府ガ相當ノ便宜ヲ講ズルトカ、或ハ鐵道會社ノ株券ト社債券ト云フモノノ取扱ニ付キマシテ、朝鮮銀行ノ見返擔保品トスルトカ、或ハ契約保證金ノ代納トシテ社債券株券ヲ以テスルコトヲ認メルトカ、其他朝鮮ニ於ケル開墾事業或ハ森林事業、若クハ鑛山事業等ニ付キマシテ、鐵道會社ノ副業トシテ之ヲ經營スル場合ニハ、特ニ總督府ニ於テ相當ノ便宜ヲ考慮スルト云フコトモ、確カニ私設鐵道ノ助長發達ニ效果ガアルト思フノデアリマス、要スルニ是等幾多ノ方法ノ中デ、色々ナ有效ナル方法ガアルノデアリマスカラ、是等ノ點ヲ政府ニ於キマシテハ十分調査講究ヲ遂ゲマシテ、出來得ル限り速カニ適當ナル方策ヲ立テラレムコトヲ希望スル次第デアリマス、デ以上申上ゲマシタ理由ニ依リマシテ、本建議案ハ朝鮮ノ開發ノ爲ニ、又日韓併合ノ御聖旨ニ對シマシテモ、極メテ緊要ナルコトト考ヘルノデアリマスカラ、何卒滿場一致ノ御賛成ヲ以テ御可決アラムコトヲ希望イタシマス

○添田壽一君 賛成ノ意ヲ表シタイノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 御述ベニナッタ宜シウゴザイマス

○添田壽一君 其處へ……

○議長(公爵徳川家達君) 其處デ御述ベニナッタ宜シウゴザイマス

○添田壽一君 御承知ノ通り産業ノ發達ト云フコトハ、朝鮮ノ開發ノ爲ニ最モ必要ナコトデアリマス、其産業ノ發達ニ、鐵道ノ普及發達ト云フコトハ最モ必要デアアルコトハ、是亦申スマデモナイコトデアリマス、而シテ朝鮮ハ御承知ノ通り道路ガ未ダ十分發達シテ居ラヌ所デアリマス、道路ノ十分發達シテ居リマセヌ所ニハ、鐵道ノ普及ガ最モ必要デアリマス、ソレデハ又幾分國防ノ上ニモ關係ガアルト思ヒマスノデ、是等ノ理由ヲ以チマシテ、本建議案ニ賛成ヲ致シマス、何卒皆様ノ御賛成ヲ得タイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 本建議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

議員起立

○議長(公爵徳川家達君) 全會一致ト認メマス……午後八時マデ休憩イタシマス

午後六時三十七分休憩

午後八時十二分開議

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第二十九郡役所廢止ニ關スル決議案、男爵木越安綱君外六名發議、會議、書記官ヲシテ決議案ヲ朗讀イタサセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

郡役所ノ廢止ニ關スル決議案

右提出候也

大正十五年三月二十三日

發議者

男爵木越 安綱 男爵阪谷 芳郎 男爵斯波 忠三郎
男爵藤村 義朗 男爵周布 兼道 男爵藤田 平太郎
男爵高木 喜寛

賛成者

男爵加藤 定吉 男爵大井 成元 男爵立花 小一郎
男爵宇佐川 一正 男爵坂本 俊篤 男爵鍋島 直明
男爵紀 俊秀 男爵伊藤 安吉 男爵千田 嘉平
男爵船越 光之丞 男爵千秋 季隆 男爵北河原 公平
男爵北大路 實信 男爵安場 末喜 男爵中島 久萬吉
男爵黒川 幹太郎 男爵島津 長丸 男爵神山 郡昭
男爵上田 兵吉 男爵福原 俊九 男爵今枝 直規
男爵黒田 長和 男爵岩倉 道俱 男爵今園 國貞
男爵有地 藤三郎 男爵上村 從義 男爵金子 有道
男爵郷 誠之助 男爵小畑 大太郎 男爵池田 長康
男爵足立 豊 男爵松岡 均平 男爵沖 貞男
男爵寺島 敏三 男爵高崎 弓彦 男爵井上 清純
男爵北島 貴孝 男爵關 義壽 男爵稻田 昌植
男爵大寺 純藏 男爵佐藤 達次郎 男爵渡邊 修二
田中 一馬

貴族院議長公爵徳川家達殿

郡役所ノ廢止ニ關スル決議

郡役所ノ廢止ハ之ヲ地方ノ現狀ニ鑑ミ其ノ行政及自治ノ運用ヲ凝滯セシムルノ虞アリ政府ハ其ノ善後措置ニ關シテ深甚ノ注意ヲ拂ヒ適當ナル方策ヲ講スヘキモノト認ム

右決議ス

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 諸君本員ハ本員等ノ提出ニ係ル郡役所廢止ニ關シマシテノ決議案ノ提出ノ趣旨ヲ説明イタシタイト存ジマス、申スマデモナク郡役所廢止ト云フコトニ付キマシテハ、本期議會ニ於ケル最も重要ナル案件ノ一ツデアリマス、其事タルヤ全國民一人モ其利害ノ影響ヲ蒙ムルコトヲ免レヌ非

常ナル大事ノ問題デアリマス、從ヒマシテ此問題ガ現レマスルヤ、最も此郡役所ノ問題ニ精通セラレル諸君ヲ初メ、幾多ノ諸君ノ中ヨリ、頗ル憂慮ノ念ヲ以テ此問題ガ迎ヘラレタノデアリマス、大凡本議會ニ現レマシタル問題ノ中デ、斯ノ如クニ議員諸君ガ極メテ綿密ニ考究セラレ、又其廢止スベカラズ即チ廢止後ノ結果ヲ憂慮セラレル意味ノ意見書ヲ我々同僚ノ間ニ配布セラレ、ソレニ對シテ又政府ノ辯駁書ガ現レ、辯駁書ニ對シテ又反駁書ガ現レ、又其辯駁書ガ現レルト云フヤウニ、政府ニ於テモ、又同僚ノ議員諸君ノ間ニ於テモ、斯ノ如クニ綿密ニ周密ニ論究セラレタ議案ト云フモノハ、私ノ記憶ノ存スル限りニ於テハ、甚ダ稀ナノデアリマス、從テ如何ニ此問題ガ重要デアリ、又我々ノ貴族院議員ノ間ニ於テ、此問題ニ付テ非常ナル注意ヲ拂ッタカト云フコトガ分ルノデアリマス、而シテ其研究ノ進ムニ從ッテ、憂慮スベキ事實ハ益々現レテ來テ、之ヲ憂慮ヲ無用トスルノ事實ト云フモノハ段々少ナクナル結果ヲ示シタノデアリマス、然ルニ段々議會ハ切迫致シテ參リ、豫算ヲ不成立セシムルト云フコトハ餘程困ル問題デアル、衆議院ト十分ニ議ヲ盡スノ餘地ハナイト云フ、所謂昨日ニマデ推詰ッタノデアリマシテ、會期僅カニ一日ヲ剩ス昨日ニマデ追ッタノデ、深ク之ヲ憂フル諸君モ、其憂トスル所ヲ枉ゲテ賛成ノ意ヲ表シタト云フ、又奇態ノ現象ヲ現ハシタ、即チ賛成論者トシテ昨日此演壇ニ起タレタ永田君ノ賛成演説ハ、徹頭徹尾郡役所ヲ廢止スルノ不可ナルコトヲ明瞭ニ述べラレタ、議會アッテ以來斯ノ如キ奇妙ナル賛成演説ト云フモノハ、初メテ承ッタト稱シテ宜シイノデアリマス、然ルニ斯クマデニ我々貴族院議員ノ間ニ研究セラレタト云フ事實ハ、之ヲ未ダ國民ニ明カニ示ス機會ト云フモノガ無いノデアリマス、僅カニ豫算ノ上ニ付キマシテハ、希望條件トシテ僅カニ其意思ノ一面ガ現レテ居リマスルケレドモ、此希望條件タルヤ甚ダ範圍ノ狭イ、詰リ政府ノ説明ヲ少々繼ギ足シタト云フ位ナ程度ノ、何等此斯クマデニ心配シタ議案ヲ通ス上ニ付テ、其心配ノ理由ヲ國民ニ明カニシ、而シテ其心配ノナイヤウニ善後策ヲ立ツルト云フ意味ニ於テハ、補フ所ガ甚少ナイ、詰リ政府ガ説明シテ居ル所ヲ唯希望トシテ述べタ、固ヨリ希望條件トシテ御述ベニナラヌデモ既ニ政府ガ口頭ヲ以テ其趣旨ヲ言ハレテ居ルト云フ位ナコトデアリマス、而モ希望條件ト云フモノハ、毫モ價値ノナイモノデアアル、唯兩院議員ノ一部分ノ人ガ希望ヲ述べテ居ルダケノコトデアリマスカラ、其希望ヲ述べタ所デ、又其希望ニ對シテ政府ガ成ルベク之ニ副フヤウニス

ルト、此演壇ヲ述ベラレタニシテモ、希望ハ希望デアリマス、希望條件ト云フモノハ表決ニハ付セラレヌノデアリマスカラ、何人ノ人ガ此希望ニ賛成シテ居ルノヤラ、毫モ拘束力ノナイ極メテ薄弱ノモノデアアル、多少德義上ノ責任ト云フモノハ、其希望ヲ述ベル時ニ成立ッテ居ル所ノ内閣ノ諸公ニハ、有ルニハ相違アリマセヌ、有ルニハ相違アリマセヌケレドモ、其拘束力ト云フモノハ極メテ薄弱ナモノデアリ、貴族院トシテノ意思ヲ無論國民ニ發表シタモノデハナイ、唯一部ノ者ガ其希望ヲ述ベタ、而モ其希望ハ毫モ表決ニ付セラレタモノデハナイ、我々ガ此演壇……今日現レマスル色々ノ議案ニ付テ、質問ヲシタリ若クハ希望ヲ述ベル、ソレヨリハ多少力ガアルト云フニ過ギヌノデアリマシテ、矢張り若シ此希望條件ヲ以テ有力ナルモノトスルナラバ、一人ノ者ガ席ニ立ッテ希望ヲ述ベ質問シテモ、多少ノ效力ガアルト言ハレルノデアアル、併ナガラ郡役所廢止問題ト申ス如キ重大ナル、國民ニ對シテ責任アル問題、此責任タルヤ内閣ガ第一ノ責任者デアリマスケレド、之ヲ賛成スル所ノ上下兩院共ニ、賛成スルカラニハ責任ヲ分タナケレバナラヌノデアアル、賛成ヲスルカラニハ責任ヲ分タナケレバナラヌ、政府ノ責任デ、我々ハ希望ヲ附ケテ置イタカラ、ソレデ我々ハ責任ハ免レヤウト云フヤウナ輕イモノデハナイ、政府ノ責任モアルナラバ、之ヲ賛成スル我々モ責任ガアル、即チ斯ノ如クニ同僚諸君ガ心配ヲシテ、而モ此心配ヲセラレタ諸君ハ、私共ノ仲間ニハ其事ニ精通シタモノハ少イ、御名前ヲ申シテハ憚リマスルケレドモ、研究會トカ若クハ交友俱樂部、茶話會、同成會トカ、他派ノ諸君ノ中ニハ極メテ此郡役所問題ニ精通ノ方ガアルト見エマシテ、是等ノ方々カラ澤山ニ意見ヲ聽イタノデアリマス、我々ハソレ等ノ諸君ノ經驗アリ老熟シタル意見ニ深ク傾聴ヲシ、又自ラ事實ニ徴シ、中ニハ地方ヲ態々旅ヲシテ、各市町村ニ就イテ意見ヲ聽カレタ人モアリマスノデ、是等ヲ綜合シテ見ルト、ドウモ永田君ノ言ハレル所ニ歸著スルノデアアル、甚ダ此郡役所ヲ今日唯今廢スルト云フコトハ如何ニモ早ク、早キニ失スルノミナラズ、豫算委員會其他ニ於テ、總理大臣其他ノ意見ヲ敲イテ見ルト、詰リ分合宜イト云フコトニ歸著スルノデ、分合宜イト思フケレドモ、ドウモ事實行ハレナイ、斯ウ云フコトニナル、今日ノヤウニ政黨ノ争ヒモアリ、所謂政黨ノ地盤ト云フヤウナモノモアリ、ドウモ分合ト云フコトニナルト、地方地方ノ競争ニナツテ、到底目的ヲ達シナイト云フノガ、明ラサマニ、ハッキリト内務大臣ガ明言サレタトハ申シマセヌ

ケレドモ、段々問詰メテ行クト、分合デヤツテ見ヤウトモ考ヘテ見タト云フヤウナ御言葉ガ出テ來ルノデ、又色々内務省ノ政府委員ナドノ言ハレル所ノ材料ヲ採ツテ見マシテモ、ドウモ其市町村ガ確カニヤレルト云フコトノ事實ガ證明セラレヌ、又經費モ増スト云フコトモ全ク増サストハ云ヘナイ、又郡役所ヲ廢シテ縣廳ニ數十人ノ役人ヲ新ニ置クニ付テ、第一其役所カラ建テナケレバナラヌデヤナイカ、ソレハ大抵縣廳ノ在ル所ニハ郡役所ノ一箇所位アルカラ、ソレヲ利用スル積リダト云フヤウナ、甚ダドウモ強ヒテ設ケタ辯護ノ説ガ多イノデアツテ、ドウモ此心ノ底ヨリ郡役所ノ不必要ナリト云フコトヲ論證スルト云フ答辯ハ、私ニハ見出し得ナイ、無論政府ノ案デアアルカラ、反對シタル意味ノ答辯デハゴザイマセヌケレドモ、我々ガ之ヲ推シテ行ッテ見ルト、サウハ見エナイ、サウナツテ來ルト、之ヲ賛成スル以上ハ、餘程善後策ニ付テ我々ハ責任ヲ考ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フ問題ニ自然ハ到著シテ參ルノデアリマス、何等心配ノナイ、政府ノ言フコトモ尤モデアアル、我々モサウ信ズルト云フヤウナ問題ニ付テハ、何等希望ヲ附ケル必要モナシ、善後策ヲ考ヘル必要モアリマセヌガ、斯ノ如キ重大ナル事柄デアツテ、斯ノ如ク心配ノ多イモノデアレバ、其善後策ト云フモノヲ如何ニスルカト云フコトニ付テ、茲ニ我々ガ明瞭ナル意思ヲ表シテ置ク所ノ必要ガアラウト思フ、是ガ即チ此案ヲ茲ニ提出イタシテ、貴族院ノ意思スノ如シト云フコトヲ、明カニ決メテ置カナケレバナラヌ、此決議ノ趣旨タルヤ、其郡役所廢止ニ付テ生ズベキ、種々ナル差支故障等ヲ慮ツテ、ドウカサウ云フ場合ニ於テ、政府ハ餘リニ一旦自分ノ主張シタコトデアアルカラト云フヤウニ、執拗ニ拘泥スルコトナク、國民福ニ先ヅ重キヲ置イテ、其不便ヲ除クコトニ於テ遠慮ナシニヤツテ貫ヒタイト云フ、澹白ニ申セバサウ云フ意味デ、茲デ決議スルノデアリマス、單ニ希望條件トシテ今ノ我々ガ通過シタ、内務省所管ノ豫算ノ範圍内デ望ムヤウナコトデアツテハ、到底ヨシンバ支應ヲ置クニシタ所ガ、僅カノ數シカ置ケナイ、極メテ不便利ナ、或ハ離レタ島ノヤウナ不便利ナ所ヘ、僅カニ支應位ヲ置クコトシカ出來ヌノデアアルカラ、サウ云フコトデハ、非常ナル此故障ヲ惹起ス虞レガアル、故ニ左様ナ場合ニ於テハ、善後ノ措置ヲ執ルコトニ付テ、政府ハ遠慮ナシニ國民福ヲ害セナイヤウニヤツテ貫ヒタイト云フコトヲ、茲ニ我々ハ決議スルノデアアル、非常ニ此問題ハ心配ナ問題デアアル、心配ナ問題デアルケレドモ、今日ノ狀態ハ豫算ニ傷ヲ付ケテ、是ガ不成立ニナルト云フコトハ心配デ

アルカラ、是ハ綺麗ニ政府ニ賛成スル、政府ニ賛成スル以上、我々モ責任ヲ分ツ、分ツガ、ドウカ故障ノ起リ、差支ノ起ルヤウナ場合ニ於テハ、少シモ遠慮スルコトナシニ、國利民福ヲ先ニ置イテ、自説ヲ固執スルガ爲ニ結果ガ國家國民ニ害ノアルヤウナコトノ無イヤウニシテ貫ヒタイ、斯ウ云フ趣旨ナンドゴザイマス、回顧イタシマスルト、此郡役所ト申シマスルモノハ、其歴史ハ非常ニ古イモノデアリマスガ、古キ歴史ハ假ニ之ヲ除キマシテ、王政維新ノ後ヲ考ヘテ見マスルト、廢藩置縣ノ際、即チ明治四年藩ヲ廢シ縣ヲ置ク、所謂郡縣ノ制ヲ茲ニ布カレマシテ、王政復古ガ茲ニ成ッタデアリマス、其場合ニ於テハ三府七十二縣、三府七十二縣ヲ置カレタデアリマスルガ、後ニ是ガ大凡半分ニ、故ノ有力ナル内務卿デアッタ大久保利通公ノ英斷ニ依ッテ、此縣ノ數ヲ半減セラレタ、此時ニ於テハ、未ダ議會ノ開會前デゴザイマシタケレドモ、我々ハ深ク其英斷ニ驚イタデアリマス、今マデ藩々トシテ個々別々ニ風土、民族、歴史ヲ、殆ド同ジ日本國民デハアルケレドモ、互ニ異ニシテ居ッタモノヲ、三府七十二縣ニ纏メルスラ非常ナ大膽ナル政策ト思ッタノニ、大久保利通公ノ英斷ニ依ッテ之ヲ半減セラレタト云フニ至ッテハ、其大膽ニ我々ハ深ク驚イタ、是デハ所々ニ又謀反人デモ起ッテ、全國ノ騒ギニナリハセスカト云フコトヲ、皆當時ノ有力者ハ考ヘタノデゴザイマス、併ナガラ當時ノ大久保内務卿ト云フ御方ハ極メテ剛毅英斷ナ人デアッテ、其氣力ニ殆ド壓セラレタト申シテモ差支ナイデアリマスガ、ドウシテ之ヲ纏メタカト云フト、大久保公ハ郡ト云フモノニ力ヲ入レラレタデアリマス、郡ト云フモノニ力ヲ入レテ、郡デ以テ其當時ノ町村ト云フモノヲ纏メテ行カレタデアリマス、ソレ故ニ明治二十三年ニ憲法政治ヲ布カレル、其憲法政治ヲ布クナラバ、地方ノ自治制ガ先ヅ整ッテ居ナケレバナラヌト云フノデ、矢張り有力ナル内務大臣、故ノ山縣元帥ガ内務大臣デアッタ時分ニ、此市町村自治制ヲ布カレ、同時ニ此郡ト云フモノヲ一歩進メテ、郡制ト云フモノヲ布カレタ譯デアリマス、即チ王政復古ノ後ニ郡デ以テ諸藩ノ統一ヲ圖ッテ行ッタ政策ト云フモノヲ尙ホ押し擴メテ、之ヲ法人ニマデ仕組マレタデアリマスルガ、是ハ甚ダ制度ノ上ニ複雑ヲ來スモノデアルト云フ議論ガ、其後、段々市町村自治ノ進ムト共ニ起リマシテ、前年、原内務大臣ノ時代ニ於テ、此郡制ト云フモノハ廢セラレタデアリマス、此郡制ノ廢セラレマスルノガ、郡ニ依ッテ日本帝國ノ鞏固ナル統一、即チ藩ヲ廢シテ、日本全國ガ藩ニ依ッテ幾十二分レテ居ッタモノ

ヲ、段々王政ノ下ニ統一シテ參ル、其手段方法トシテノ此郡ノ働キト云フモノハ、斯ノ如クニ歴史アルモノデアッタデアアル、而モソレヲ押し擴メテ一旦ハ郡制マデ布カレタデアリマスルガ、市町村自治ノ發達ト共ニ、此郡制ト云フモノヲ原内務大臣ガ廢メラレタノハ、一轉機ヲ畫クデアリマス、ソレニ依ッテ今ノ内務大臣ガ更ニ進ンデ郡役所ヲ廢シヤウト云フ考ヲ執ラレタノハ、山縣内務大臣ガ之ヲ郡制マデ造ラレタト云フ時代カラ見ルト、ズット又一段、郡ト云フモノノ力ト云フモノヲ段々ト減少シテ行ク方ノ勢力ニ副ハレタノデアリマスルカラ、或ハ何レノ時カニハ、ソレガ相當ナ事柄ニ統一スルデアラウ、其誰ガ見テモ分合ト云フコトガ、ドウシテモ歷史上自然ノ順序デアラネバナラヌト云フコトハ論ヲ俟タヌ、然ルニ政治上ノ色々問題ノ場合ニ於ケル主張ノ結果トシテ、即チ憲政會トカ政友會トカ云フヤウナモノノ政治的議論ノ結果トシテ、騎虎ノ勢、此郡役所ヲ廢止スルト云フコトヲセネバナラヌト云フコトハ、ソコニ無理ガアル、是ハ内務大臣ノ立場トシテハ……現内務大臣ノ立場トシテハ已ムヲ得マスマイケレドモ、ソコニ無理ノアルト云フコトハ何人モ承知シナケリヤナラス、其無理ヲ旨ク押し通セルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、非常ニ疑ガ起ルデアリマスカラ、茲ニ一ツノ決議ヲシテ、成ルベク其過チヲナカラシメルト云フコトヲ、我々ハ講ジタイデアリマス、故ニ此決議案ニハ寸毫モ現内閣ヲ不信任スルト云フ意味ハゴザイマセヌ、内閣不信任ノ意味ニ於テ少シモ此建議案ト云フモノハ出タモノデハナイ、否、内閣ノ上ニモット信任ヲ負ハセル、斯ノ如キ困難ナル問題、經驗アリ識見アル有力ナル方々ガ非常ニ心配シテ居ラレル、斯ノ如キ困難ナル問題ノ上ニ付テ、我々モ賛成ヲスル、賛成ヲスルカラニハ、ドウゾ過チノナイヤウニ、アノ事柄ハ失敗デアッタト云フナラバ、獨リ若槻内閣ノ失敗ニ止マラズ、即チ我々モ共ニ責任ヲ分タネバナラヌモノデアアルニ依ッテ、其過チナカラシムル爲ニ、十分ニ注意ヲシテ、自説ニ拘泥スルコトナク、過チヲ改ムルニ憚ルコトナク、圓滿ニ此事ヲ遂行スルヤウニシテ貫ヒタイ、斯ウ申スノデアリマス、デ今申シマシタ通りニ、郡役所ハ五十年ノ歴史ヲ以テ王政復古以來、帝國ノ今日ヲ成スニ至ッテハ、此郡役所、郡制、郡ト云フモノガ非常ニ功勞ノアッタモノト云ハナケレバナラヌ、昨日ノ本院ノ決議ニ依ッテ、此五十年ノ歴史アル郡ト云フモノ、行政上ニ價值アル郡ト云フモノニハ、豫算ノ上ニ於テ我々ハ引導ヲ渡シタンデアリマス、マダ郡役所ハモウ三箇月ハ生キテ居ルデアリマス

ガ、併ナガラ此五十年ノ歴史アル、今日ノ日本帝國ノ統一ヲ來シ、地方ノ自治ヲ鞏固ナラシメタ郡ト云フモノニハ、行政上ノ價值アルモノトシテノ郡ニハ、我々ガ昨日ヲ以テ引導ヲ渡シタデアル、既往ヲ顧ミマスルト、甚ダ懷舊ノ情ニ堪ヘヌ、又此間ニ於テ、内務大臣トシテノミ考ヘテ見テモ、大久保利通公ト云ヒ、山縣元帥ト云ヒ、此有力ナル歴史アル大人物、此日本帝國ノ今日ヲ成サシメタ歴史の大人物ノ計畫ト云フモノノ遺跡ヲ回顧セザルヲ得ヌノデアリマスガ、我々ハ斯ノ如キ郡ト云フモノガ、今ヤ其行政上ニ價值ヲ有スル郡トシテハ、引導ヲ渡シタケレドモ、ドウカ將來ニ於テ其引導ヲ渡シタ結果、其引導ヲ渡シタ郡ニ嗤ハレルヤウナコトガアッテハナラス、又一旦葬ッタ郡ヲ掘出スヤウナコトガアッテハナラスト思ヒマスルノデアリマスケレドモ、名前ハドウ變リマセウトモ、事實ニ於テ差支ノナイコトデアレバ、ドウカ我々ハ政府ヲドコモデモ信任シテ、此郡役所ノ廢止ヲ遂行セシメマスケレドモ、此豫算ニモ拘泥ナサラス、ドウゾ萬事ニ差支ノナイヤウニ……例ヘバ支廳ヲ澤山ニ置イタトカ何トカ云フコトデ、ソレ見タコトカ、若槻君ガヤリ損ナッタト云フヤウナ、其嗤ハレルコトハ、何デモナイコトデアッテ、之ヲ置カザルガ爲ニ國民ノ損害ヲ大ナラシメザルヤウニ、切ニ希望スルノデアリマス、是ガ即チ貴族院ノ郡役所廢止ニ付テノ趣旨デアルト云フコトヲ、茲ニ全會一致ヲ以テ決議シテ國民ニ明カニシ、内閣ヲシテ其郡役所廢止ノ功績ヲ收メシムル上ニ於テ遺憾ナキヲ望ミマス、ドウゾ滿場ノ御賛成ヲ得タウゴザイマス

○湯地幸平君 チョット決議案ノ趣旨ヲ簡單ニ質問イタシタウゴザイマス……此席カラデ宜シウゴザイマスカ

○副議長(侯爵須賀正韶君) 成ルベク大キナ聲デ願ヒタウゴザイマス

○湯地幸平君 唯今、郡役所廢止ニ付テ決議案ガ出タノデアリマス、豫算ニ對スル附帶決議ト、今出マシタ決議案ト比較シテ見マスルト、ドウモチョット分ラナイ所ガゴザイマス、此豫算ニ對スル附帶決議ハドウ云フ趣旨デアアルカト申シマスルト、是ハ町村民ニ不便ヲ與フル地方ニ於テ支廳又ハ出張所ヲ設ケラレル等、町村ノ指導監督上萬遺憾ナキヲ期セラルベシ、斯ウ云フコトデアリマス、今御提出ノ決議案ハ、適當ナル方法ヲ講ゼラルベシ、斯ウアリマス、即チ前ノ附帶決議ノ方ハ手段ガ限定シテアリマス、ソレカラ前段デ見マスト云フト、唯今ノ決議案ハ町村ノ現狀ニ鑑ミトアリマス、前ノ附帶決議ハ地方ノ狀況ニ依リトアル、此點ハ町村ノ現狀ニ鑑ミト云フト、意味ガ廣ク

ナルガ、前ノ附帶決議ハ地方ノ狀況ニ依リトアル、而シテ地方ノ狀況ハドンナモノヲ云フカト云フト、町村民ニ不便ヲ與フル狀況ガ即チ地方ノ狀況ニナルノデアリマス、併シ兩方トモ地方ノ狀況ニナルノデアリマス、町村ノ行政及自治ノ運用ヲ凝滯セシムルト云フ憂ノアルコトハ一致シテ居リマス、附帶決議ノ方ハ憂ナシトセズ、今度提案ニナッタノハ町村行政及自治ノ運用ヲ凝滯セシムル虞アレアリト云フ、一方ハ虞レアリ、一方ハ虞レナシトセズ、是ハ似タモノデアリマス、併ナガラ何レモ此町村ノ行政及其自治ノ運用ノ凝滯ヲ除クト云フ事柄ガ、兩方トモ目的ノヤウニ思ヒマス、附帶ノ決議ノ方モ、唯今ノ決議案モ、兩方トモ其事務ノ凝滯ト云フコトガ目的ニナッテ居リマス、而シテ手段トシテハ、附帶決議ハ支廳ヲ造レトカ、出張所ヲ造レトカ云フコトガ限定シテアリマス、唯今ノ決議案ハ適當ナル方策ヲ講ゼラルベシト云ッテ、是ハ政府ヘ一任シテアル、政府ハ郡役所ヲ廢止シテ、サウシテ是デ町村民ニ便宜ヲ與ヘルト云フコトハ適當ナル方策トシテ信ジテ居ラレルノデアリマスカラ、其意味カラ云フト、今度ノ決議案ノ方ハ至ッテ寛大ナル決議案デ、唯今阪谷君カラ理由トシテ非常ニ嚴重ナコトヲ述ベラレマシタガ、適當ナル方法ハ政府一任ト云フコトデアリマス、政府ハ適當ナル政府ノ信ジタ方法ヲ御ヤリニナルト云フナラバ、至ッテ是ハ寛大ナル政府ノ自由裁量ガ自由ニ利クト云フヤウナ決議ニナッテ居リマスガ、適當ノ方法ヲ講ゼラルベシト云フノハ、政府御一任ノ考デアラウト思ヒマス、其點ヲチョット伺ヒタイ

○男爵阪谷芳郎君 是ハ、希望條件ハ極メテ狭イ、是ハ今御尋ノ如クニ廣イ意味ニ於テ政府ニ委ネル、斯ウ云フ意味デアリマス

〔子爵板倉勝憲君演壇ニ登ル〕

○子爵板倉勝憲君 我ハ遺憾ナガラ阪谷男爵ノ御提議……其外賛成者ノゴザイマスル御提議ノ所謂獨立決議案ニ反對ヲスルコトヲ甚ダ遺憾ト思ヒマス、唯今、阪谷男爵ノ所謂獨立決議案ノ御提議ノ趣旨ヲ伺ヒマシタガ、殆ド其御趣意ガ何處ニ在ルノダカ少シモ分ラヌト私ハ思フ、實體法ニ於キマスル郡役所廢止、都役所廢止ニ賛成ヲスルト云フ議論モアリ、又之ニ反對ヲスルト云フ議論モアル、双方、私達ガ常識デ伺ヒマス、双方ニ相當ノ意見ガアリ、相當議論ガアリ相當ノ根據ガアルヤウニ思フノデゴザリマス、私モ或ル點ニ於テハ郡役所廢止尙早論者ノ一人デアアルカモ知レマセヌ、併ナガラ制度ノ改廢、制度ノ更新、制度ノ改新ト云フコトニ付テハ、必シモ總テガ何等ノ不都合ナ

ク、何等ノ不便ナク、何等ノ故障ナクシテ行ハレルノデアルト云フコトハ、是ハ殆ド想像ガ出来ヌノデアル、五十年前、或ハ六十年前デゴザイマスカ、此明治維新ノ時ニ行ハレタ廢藩置縣、所謂三百年來行ハレテ居ッタ藩制ヲ廢シテ、縣ニ縣制ヲ布イタ、如何ニ縣ヲ置イタト云フコトニ付テハ、非常ナ不便ガアリ、非常ナ都合ガアリ、非常ニ其時ニ實施ニ付テ困難ガアッタト云フコトハ、是ハ殆ド想像スルニ餘リアルモノダラウト思フ、併ナガラ斷ジテ之ヲ行ヘバ廢藩置縣モ行ハレタノデアル、今ヤ五十年來ノ郡役所、其郡役所ヲ廢スルト云フコトニ付テ、ソレハ相當ニ不便ガアリ、相當ナ理由ガアッテ之ニ反對スル方ハアリマセウケレドモ、併シ斷ジテ之ヲ行ヘバ、恐ラク其不便不都合ト云フヤウナモノハ、二三年ノ中ニ消滅シテシマフモノダラウト私ハ考ヘルノデアリマス、若シ從來ノ習慣ニ從ヒ、從來ノ慣例ニ從ヒ、從來ノ情實ニ從ッテ、斯ウ云フコトデハ困ル、斯ウ云フコトデハ困ルト云フヤウナ理窟ヲ聽イテ居ッタナラバ法律ノ改正モ出来マセヌ、況ヤ制度ノ改正ハ出来ナイ、何等サウ云フ改正ト云フモノハ殆ド出来ナイモノト思ハレル、併シ之ヲ斷ジテ行ヘバ改正ガ出来ルノデアル、唯、其間ノ不便不都合ト云フモノハ之ヲ恐バナクチャナラスト思ヒマス

〔議長公爵德川家達君議長席ニ著ク〕

唯今此問題ニナッテ居リマスモノハ、決シテ其根本ノ郡役所廢止ノ可否ト云フ問題デハナイノデアル、郡役所ヲ廢止シテ、其時暫クノ間、不都合ガ起ルダラウ、暫クノ間不便ガ起ルダラウ、ソレヲ如何ニ調和シテ、如何ニ之ヲ圓滿ニ行フカト云フ過渡ノ時代ノ問題デアルノデアル、ソレ故ニ我々ハ郡役所ヲ廢スルノハ賛成デアル、併シ玆一年ナリ、二年ナリ、三年ナリ、從來ノ慣習ニ從ヒ、從來ノ仕來リニ從ッテ行クニ不便ダカラ、暫ク此間ニ或ハ支廳ヲ設ケルトカ、或ハ出張所ヲ設ケルトカ云フコトニ付テハ、此過渡ノ間ノコトヲ不便ナク、不都合ナク、成ルベク圓滑ニ行フト云フコトニ依ッテ、所謂附帶決議ヲ附ケタノデゴザイマス、此附帶決議ヲ、多數ニ依テ可決シ、而モ政府ガ其意ヲ諒シタト云フコトニ付テハ、ソレ以上ニ我々ガ論議ヲスル餘地ハ無イト思フ、是ハ單ニ希望トシテ述ベテ置クト云フヤウナ生温イコトデハ、或ハ皆様ノ御希望ニ副ハヌカモ知レヌケレドモ、之ヲ希望決議トスルカ、附帶決議トスルカ、宛ニ角決議トシテ貴族院ニ於テ言明シ、而シテ政府ガ又之ニ對シテ其附帶決議ノ趣意ニ副ウト云フコトヲ言明シタ以上ハ、ソレ以上何

ノ必要ガアッテ獨立決議トカ云フヤウナモノヲ附加ヘルノカ、其御趣意ガ私ニハ分ラスト思フ、或ハ此中ノ賛成演說ノ御方ガ言ハレルカ知ラヌケレドモ、ソレハ唯、單ニ豫算ノ範圍内ニ於テサウシタラ宜カラウト云フコトデアル、即チ具體的ニ申セバ、八十萬圓ニ足ラナイ此郡役所廢止ニ伴フ豫算ガアル、唯、八十萬圓以内ト云フヤウナ豫算ノ範圍内ニ於テヤルト云フコトデハ甚ダ不都合デアル、ソレ故ニ獨立ノ決議ヲ以テ八十萬圓ガ百萬圓ニナラウガ、二百萬圓ニナラウガ、十分ニ支應ナリ出張所ナリヲ設ケテ、或ハソレニ對スル設備ヲシテヤラナケレバイカヌ、其附帶決議ノ意味ハ、唯、單ニ八十萬圓以内ノ、現ニ出サレタ豫算以内ニ於テヤレト云フコトデハ甚ダ満足ガ出来ヌト云フヤウナ、御議論ガ出ルカモ知レマセヌガ、私ハソレニ承服セヌ、私達ノ言フコトハ、政府ガ認メテ必要ナリト思フ範圍ニ於テ、而モソレハ非常ニ嚴密ナル、非常ニ縮小シテ、其極ク僅ナ支應ナリ、出張所ナリヲ設ケテ貫ヒタイト云フコトヲ、私ハ思フノデアル、政府ノ提案ニ於テハ唯、島嶼、所謂、島サウ云フ所ダケニ出張所、支廳ヲ設ケテ、此過渡時代ノ郡役所廢止ノ提案、ソレヲ實行スル間ノ、唯過渡時代ノ便宜、或ハ不便ヲ避ケルト云フコトデアッタノデゴザイマスルケレドモ、ソレヲ段々増シテ例ヘバ島嶼ニアラズト雖モ、非常ニ交通ノ不便デアル、或ハ交通不便デナクトモ、色々ノ事情ニ依ッテ、此處ニ支廳ヲ設ケルガ宜イ、此處ニ出張所ヲ設ケルガ宜イト云フヤウナ御考ノ下ニ、是非此過渡時代ノコトノ緩和ノ方法ヲ、所謂調和ノ方法ヲ設ケタイト云フ、設ケテ貫ヒタイト云フ希望ヲ述ベタノデアル、ソレハ縱令、段々ニアレニ依ッテ十三箇所ニナラウガ、是ガ十五箇所ニナラウガ、二十箇所ニナラウガ、ソレハ我々ハ政府ニ信賴スルヨリ外仕方ガナイト思フ、之ヲ十五箇所ニシロ、之ヲ二十箇所ニシロ、二十五箇所ニシロ、何縣ノ何郡ノ何處ニ置ケト云フヤウナコトヲ、政府ニ我々求メル必要ハ無イト思フ、政府ト雖モ、苟モ責任ヲ負ッテ此案ノ趣旨ヲ、我々ノ貴族院ノ提案ノ趣旨ヲ、附帶決議ノ趣旨ヲ政府ガ吞込シテ居ラレル以上ハ、左程マデニ無責任ナコトヲ爲サレマイト思フ、左程マデニ黨勢擴張ノ爲ニソシナコトヲ勝手ニ爲サルコトハ私ハナカラウト思フ、是ハ、私ハ若槻内閣ニ對シテ、所謂透明ナル政治ヲ爲サル、主義主張、政策問題ニ立脚シテ、決シテ不公平ノ政治ヲ爲サヌト仰シヤッタ若槻内閣ヲ信賴シテ、之ニ委セルガ宜カラウト思フ、然ル以上ハ政府ノ見込ニ依ッテ、出張所ガ二十箇所デハイカヌ、二十五箇所モ設ケタイト云フ時ニハ、是ハ豫

算ノ範圍ニ於テ流用シテ……流用スルコトモ出來ル、或ハ萬已ムヲ得ナケレバ責任支出デヤラレテモ宜カラウ、或ハ來年ノ追加豫算デヤラレテモ宜カラウ、何モ此今ノ場合ニ於テ左様ナル窮屈ナル決議案ヲ提出スル必要ハ、私ハナイト思フ、苟モ一國ノ國政ヲ變理シ、國民ニ臨ンデ公明ナル、透明ナル主義政策ニ從フコトヲ言明シタ若槻内閣ニ對シテ、ソレ位ノ信頼ヲ拂フト云フコトハ、當然ナコトデアラウト思フ、ソレヲ附帶決議デハイケナイ、希望決議デハイケナイ、獨立ノ決議デナケレバナラスト云フコトハ、殆ド屋上屋ヲ重ネルト云フ次第デアッテ、我々ハソナコトニマデ内閣ヲ疑フト云フコトハ、甚ダ不賛成デアルノデアル、私ハ此意味ニ於テ遺憾ナガラ、阪谷男爵ノ……阪谷男爵以下多數ノ御賛成アル決議案ニ反對ノ意思ヲ申述ベマス

〔男爵紀俊秀君演壇ニ登ル〕

○男爵紀俊秀君 本員ハ唯今日程ニ上ボツテ居リマスル決議案ニ對シマシテハ、賛成ノ意ヲ表スル一人デアリマス、甚ダ遺憾ナガラ板倉子爵ノ御説ニ對シテハ反對ヲ致シマスルモノデアリマス、前段、阪谷男爵ハ提出ノ理由トセラレマシテ、極メテ詳細ニ、極メテ適切ニ、極メテ要領ヲ得マシタル所ノ演説ガアリマシタカラ、私ハ此時間切迫ノ折柄、餘リ多言ヲ要シナイト思ヒマスケレドモ、聊カ時間ヲ拜借イタシマシテ清聴ヲ汚シタイト存ジマス、先ヅ最初、此決議案ニ對シマシテ賛成ノ理由ヲ陳述イタシマシテ、後段、板倉子爵ノ御説ニ反對ヲ致シタイト存ジマス、抑、此内閣若クハ之ヲ繼承セラレマシタル現内閣ニ於カレマシテハ、前議會若クハ此議會ニ於カレマシテハ、幾多重大ナル法案ヲ提出セラレタノデアリマス、即チ前議會ニ於キマシテハ、衆議院議員選舉法中ノ改正案、即チ普通選舉ノ問題ヲ解決セラレマスルシ、今期議會ニ於キマシテハ、或ハ税制整理案、或ハ地方制度ノ改正案、若クハ關稅定率法ノ改正案ノ如キ、誠ニ幾多ノ重大ナル法案ヲ提出セラレタノデアリマスル、其内容ニ於キマシテハ、本員ハ甚ダ不満足ト致シマスル點ハ多々アリマスルケレドモ、宛ニ角、斯カル重大ナル法案ヲ前議會ニ於テ、若クハ本議會ニ於テ提出セラレタト云フコトニ付テハ、其努力ノ點ニ於テ、其熱心ナル點ニ於テハ、大イニ敬服ヲ致シテ居ッタノデアリマス、併ナガラ郡役所ノ廢止ノ如キ愚案ヲ前提ト致シマシテ、豫算ヲ計上セラレマシタト云フコトニ付キマシテハ、甚ダ怪訝ノ念ヲ懷クノデゴザイマス、申ス迄モナイコトデアリマスルガ、制度ノ改廢ト云フコトハ、容易ニスベカラザル事柄デアリマスル、

殊ニ地方制度ノ改廢ト云フコトハ、慎重ノ上ニモ慎重ニ調査研究ヲ致シマシテ、之ヲ實行シナケレバナラストコトデアリマシテ、是ハ午前ノ會議ニ於キマシデ、小林君カラ縷々御述ベニナリマシタガ、私モ大ニ御同感ヲ表シテ居ル一人デゴザイマスル、地方制度ノ問題ニ付キマシテハ、板倉子爵ノ如キ、徒ラニ机上ノ空論ニ依ッテ、抽象的ニ之ヲ論ジ去ルベキモノデアリマセス、地方ノ問題ニ於キマシテハ、實際其地方ノ狀況ニ鑑ミ、其地方ノ制度ヲ知り、地方ノ實地ニ就テ普ク之ヲ調査研究シテ、サウシテ或ハ之ヲ原理ノ上ヨリ、或ハ習慣ノ上ヨリ、總テノ方面カラ之ヲ研究イタシマシテ、是ナラ大丈夫デアルト云フ斷案ヲ……確乎タル斷案ヲ得マシテ、サウシテ後ニ之ヲ論議スベキモノデアラウト存ジマス、然ルニ現政府ノヤリ方ハドウデアアルカト申シマスレバ、大法案ヲ提出イタシマスルニ、餘リ焦慮セラレマスル結果、或ハ試驗的ニ、或ハ人氣取リニ出サレルカノ如キ疑ヲ私共ニ懷カセルノデアリマス、既ニ本日ノ午前デアリマシタカニ決定ニ相成リマシタル、地方制度改正案ノ中ニ就テ見マシテモ、縣參事會ノ任期ガ、今度ノ改正案ニ依リマス、二年ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ最初、此任期ガ四年デアッタノデアリマシテ、ソレガ改マリマシテ一年ト云フコトニ變ッタノデアリマス、ソレガ更ニ又今度ノ改正案ニ依ッテ、二年ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、デ、地方制度ノ改正案ノ委員會ニ於キマシテ、或ル委員ノ質問ニ答ヘテ政府委員ガ言ハレルノニハ、此改正ト云フコトハ別ニ根據ガアルノデハナイ、先ヅ最初、四年ト云フコトデアッタガ、ドウモ四年デハ弊害ガアル、ソレ故ニ一年デヤラシテ見タ、所ガ、一年ト云フコトデモ、ドウモ弊害ガアルカラ、今度ハ二年ニスルト云フヤウナ御説ヲ承ッタノデアリマス、事甚ダ小ナルガ如クニシテ、是ハ甚ダ大ナル問題デアラウト思ヒマス、何トナレバ地方ノ問題ハ、斯カル參事會ノ任期ノヤウナ事柄デアリマシテモ、是ガ其自治團體ニ及ボス利害ト云フモノハ、非常ニ大キイノデアリマス、是ガ中央ニ於テ抽象論ヲ爲サレル方ニハ分ラヌカモ知レマセヌガ、私共ノヤウニ地方ニ居ッテ實地ヲ見テ居リマスル人間ニハ、適切ニ考ヘテ居リマスノデアリマス、デ、斯カル如ク先ヅ四年デアッタノガ、ドウモイケナイ、ソレデ一ツ一年デヤッテ見ヤウ、一年デドウモ旨ク行カナイカラ、二年デヤッテ見ヤウト云フヤウニ、何等ノ確信モ無ク、何等ノ信念モ無クシテ、試驗的ニ之ヲ弄バレルト云フコトニナリマスルト、地方人民ノ損益ト云フモノハ非常ニ大ナルコトニ相成ルノデ

アリマスル、デスカル如ク餘リニ焦慮セラレ、餘リニ人氣ヲ取ラウトナサレタ結果、斯ノ如キ舉ニ出デラレルト云フコトハ、大ニ慎マナケレバナラヌコトト思フノデアリマス、故ニ法ノ改廢ト云フコトハ、輕シク致シテハイケナイト思ヒマス、唯机上ノ抽象論ニ依リマシテ……能ク出ル話デアリマスルガ廢刀令ノ時ニハ隨分議論モアツタケレドモ、一旦斷行シテ見ルト、ソレ程ノコトモナイ、廢藩置縣ノ時モ斯ウ云フ工合デアツタガ、其後、反對モアツタケレドモ、斷行スレバ、ソレ程ノコトモナイト云フヤウナ、抽象的ニ、地方ノ問題ト云フモノハ、論ジ去ルベキモノデハナカラウト思フノデアリマス、私モ一昨年マデ東京ニ居リマシテ、中央ニ居リマシタカラ、時々サウ云フ議論モ致シテ見タノデアリマス、併ナガラ實際地方へ參リマシテ、地方ノ狀況ヲ見マスト云フト、地方制度ノ改廢ト云フコトハ、ドウシテモハ實地カラ研究シテ行カナケレバナラヌコトデアラウト存ジマス、倍テ私ハ郡役所ニ對シマシテハ、ドウ云フ意見ヲ持ッテ居リマスルカト申シマスレバ、私ハ郡役所ノ廢止ニ反對ヲ致シマスノデアリマス、此反對ハ理由ト致シマシテハ、昨日先輩ノ永田君カラ縷々此席上デ御述ベニナリマシテ、遺憾ナク郡役所廢止スベカラズト云フ御説ガ出マシタカラ、最早、私ハ蛇足ヲ加ヘルノ必要ガナイカト存ジマスルケレドモ、尙ホ一層、郡役所ノ廢止スベカラズト云フ理由ヲ確メマスルガ爲ニ、茲ニ實際、私ガ實見イタシマシタル一例ヲ舉ゲテ諸君ノ清聴ヲ汚シタイト存ジマス、唯今私ガ申上ゲマシタル如ク、私ハ和歌山市ト云フ所ニ住ンデ居リマスノデアリマス、其和歌山市ノ隣接郡ニ海草郡ト云フ郡ガアルノデゴザイマス、海草郡ト云フノハ海ト云フ字ト草ト云フ字ヲ書クノデアリマスガ、其海草郡ト云フ郡ノ狀況ニ付テ調ベテ見マスルト云フト、中等學校ヲ卒業イタシマシタル人間ガ全部デ二十四人デアアルノデアリマス、デ、茲ハ四十ニ箇町村アリマシテ、サウシテ町村長、助役、收入役、其他ノ吏員ヲ合シマシテ、總計其數ガ二百五十八人アルノデゴザイマス、其二百五十八人ノ中デ中等學校ヲ卒業シタル人間ハ僅ニ二十四人デアリマシテ、其二十四人ノ中デ町村長ガ十人アルノデゴザイマス、ソレカラ助役ガ四人、ソレカラ、アト十人ト云フモノハ、二百十何人ト云フ吏員ノ中ニ居ルノデアリマスル、デ、斯カル如キ狀態デアリマスルカラ、郡役所ノ指導ニ依リマシテ、或ハ郡長ノ手引キニ依リマシテ、大抵ノコトヲ町村長ガソレニ依ッテ運ンデ行クト云フヤウナ狀態ニナッテ居ルノデアリマス、甚シキニ至リマシテハ、町村會ノ豫算スラモ

郡役所ナリ郡長ノ手ヲ借ラナケレバ出來ナイト云フコトハ、是ハ實際ノ狀況デアアルノデゴザイマスル、而シテ此唯今申上ゲマシタル所ノ四十二箇町村ノ仕事ハ唯今ノヤウナ狀況ニ相成ッテ居リマスルカラ、今後、郡役所ト云フモノガ廢セラレマシタ以上ハ、ドウ致シマシテモ茲ニ、昨日モ永田サンノ御話ニナリマシタ通りニ、一人若クハ二人ノ吏員ヲドウシテモ増サナケレバナラヌデアリマス、デ、假ニ一人増シマシタ所デ、四十二箇町村アリマスカラ、四十二人ト云フモノヲ殖ヤサナケレバナラヌデアリマシテ、サウシテ郡役所吏員ノ數ハ僅ニ二十一人デアリマシテ、丁度、半分位ノ數デアリマス、ソコデ二十一人ノ郡役所ノ人間ヲ廢シマシテ、其代リニ四十二人ノ人ヲ殖ヤサナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ實際ノ狀況デアアルノデゴザイマスル、ソレ故ニ政府ノ金城鐵壁トシテ居ラルル所ノ三大理由ノ中デ、經費ノ節約ト云フコトハ之ニ依ッテ打破セラレルデアラウト思ヒマスル、又事務ノ簡捷ト云フコトニナルト云フコトモ、是亦政府ノ言ハレル一ノ理由デアリマスルケレドモ、是亦唯今申上ゲマシタル如ク、又昨日、永田サンカラモ御話ニナリマシタル如ク、大抵ノ事柄ト云フモノハ郡役所デ運ンデ貫ヒ、郡役所ノ指圖ニ依ッテ處置シテ行クノデアリマスルカラ、事務ノ簡捷ト云フコトニナラズニ、郡役所ガ廢止セラレマスレバ、必ズ事務ノ複雑ト云フコトハ、是ハ免レナイコトデゴザイマセウト思ヒマスル、ソレカラ一番私共ノ恐レテ居リマスノハ、政府ハ自治ノ發達ニナルカラ郡役所ヲ廢メルノデアルト云フ御説デアリマス、郡役所ノ廢止問題……

〔子爵板倉勝憲君「唯今ノ紀男爵ノ御話ハ本問題ニ少シモ觸レテ居ラヌチヤアリマセスカ」ト述フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 其ヤウナコトハ議長ニ御任セテ願ヒマス、不都合ト認メマスレバ議長ガ差止メマス

○男爵紀俊秀君 ソレデアリマスルカラ……

〔子爵板倉勝憲君「問題外ノコトヲ」ト呼フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 板倉子爵ニハ發言ヲ許シマセス……御靜肅ニ願ヒマス

○男爵紀俊秀君 ソレデ仕舞ニナリマシタラ能ク分ルノデアリマスル、今暫ク私ニ言ハシテ戴ケバ能ク分ルノデアアル、ドウカ暫クドウカ聽イテ戴キタイノデアリマス、一番私ノ恐レテ居リマスルコトハ、政府ハ郡役所ヲ廢止スレバ

自治ノ發達ト云フコトニナルト云フコトヲ言ハレマスルケレドモ、私ハ郡役所ヲ廢止シマスレバ……此際郡役所ヲ廢止シマスレバ、是ハ自治ノ混亂ニナルダラウト思ヒマスノデアリマス、其理由ハ地方行政、地方制度ノ改正ガ既ニ可決ニ相成リマシテ、町村會議員ノ權限ト云フモノハ非常ニ擴大セラレタノデアリマス、先刻小林サンガ御話ニナリマシタガ、級別ト云フコトモ是亦廢止セラレタノデゴザイマスカラ、決シテ議員ノ素質ト云フモノガ低下スルトハ申シマセスケレドモ、議員ノ素質ニ於テハ必ズ大ナル變化ヲ來スト云フコトハ、火ヲ略ルヨリモ明カナコトデアラウト思ヒマスル、而シテ町村長ノ權限ト云フモノハ、此度ノ町村制ノ改正法律ニ依リマシテ、町村長ノ權限ト云フモノハ是亦大ニ擴大セラレマシテ、サウシテ町村長ト云フモノガ、是マデハ縣知事ノ認可ヲ得ナケレバイケナカッタノガ、今度ハ縣知事ノ認可ヲ得ナイデモ宜イト云フコトニナツテ居ルノデアリマスル、ソレデ町村會議員ハ、政府ノ御調べニ依リマスルト、選舉權ノ擴張ノ爲ニ其數ガ六割増スト云フコトデアリマスルカラ、之ガ爲ニ餘程町村會議員ノ素質ト云フモノガ變テ參リマシテ、一面申シテ見マスルト、隨分不慣レナル所ノ町村會議員ガ出テ來ルノデアリマシテ、サウシテ一面ニハ町村長ノ權限ト云フモノガ非常ニ擴大セラレ、其町村長ガ町村會議員カラ選舉セラレ推薦セラレバ、直チニ就任スルト云フコトニナツテ居テ、其際ニ是亦種々ノ世話ヲシ來リマシタ所ノ、即チ色々ノ事ニ付テ手引ヲシテ居リマシタル所ノ郡長ガ廢メラレルト云フコトニナリマスルト云フト、是ハ餘程由々シキ問題デアツテ、或ハ恐ル自治ノ混亂ト云フコトニナリハシマイカト思フノデアリマス、是等ノ理由ヲ以チマシテ、私ハ郡役所ト云フモノハ廢止ヲシテハイケナイト云フ說ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ若槻首相ノ言ヲ借リテ申シマスルト云フト、事實豫算ニ關係ヲシテ居ルノデ、時局ニ重大ナル關係ヲ及ボスカモ知レナイト云フヤウナ御說ガアリマスノデ、私モ甚ダ遺憾デハアリマスルガ、若ヤ豫算ノ不成立ニナルト云フコトニナリマスルト、甚ダ残念ナコトデアリマスルカラ、已ムヲ得ズ私ハ郡役所ノ廢止反對ノ意見ヲ持チナガラ、先ヅ已ムヲ得ズ、昨日ノ豫算會議ニ於キマシテモ、之ニ賛成ヲ致シタノデゴザイマスル、倍テソレナラバドウスルカト云フコトニナリマスルト、茲ニ私ハ一ツノ決議案ト云フモノヲ、ドウシテモ作ツテ置カケレバナラスト思フノデアリマス、先刻板倉子爵ノ御說ニ依リマスルト云フト、我々モ既ニ決議ヲシタノデアル、即チ豫算

ノ附帶決議トシテ決議ヲシテ居ルノデアル、ソレニ何ヲ苦シンデカ更ニ本會議デ仰々シクモ決議案ヲ出ス必要ガナイデヤナイカト云フヤウナ御說ノヤウニ承ハリマシタケレドモ、私ノ見ル所ヲ申上ゲマスルト云フト、ドウシテモ是ハ本會議デ以テ決議ヲ致シテ置ク必要ガアルト思フノデアリマス、何トナレバ、豫算會議ノ附帶決議ト云フコトハ、是ハ委員長報告ニ止マツテ居ルガ如キ感ガアルノデアリマシテ、ソレヲ院議デ以テ決議シテ居ルト云フコトハ、明カニ認メ得ラレナイノデアリマスル、デアリマスルカラ、ドウ致シマシテモ、是ハ矢張り決議案トシテ、ドウシテモ茲デ貴族院ノ決議案トシテ、決議ヲ致シテ置ク必要ガアルダラウト思ヒマスル、又板倉子爵ノ御說ヲ伺ッテ見ルト、政府ガ言明シタデハナイカ、政府ガヤルト言ッテデヤナイカ、此輩固ナル政府ノヤルコトニ信賴シテ宜イチャナイカト云フヤウナ御說ヲ承ハリマシタケレドモ、是ハ甚ダ私ハ不審ニ思ヒマスルノデアリマスルガ、板倉子爵ノ今朝勞働問題ニ對シマシテ仰シヤッタ時ニ、非常ニ何ダカ政府ノ信任ノ意味ノヤウニ語ラレマシテ、勞働爭議ノ……勞働爭議デナイ、暴力取締問題、暴力處理ノ問題ニ對シマシテハ、政府ハ之ヲ出ス丈ノ資格ガ無イデヤナイカト云フコト迄極論セラレタ、是ガ僅カ數時間ヲ經テカラ、直チニ御說ガ何ダカ斯ウ變ッタクヤウニ思ハレルノデアリマス、或ハ緊急動議トシテ御出シニナルノカト思ウテ居リマシタガ、其緊急動議モ出ナイ、唯御說ガ有耶無耶ノ中ニ葬ラレタカト思ハレルノデアリマス、唯今ノ御說ヲ承ハリマスルト云フト、大變政府ヲ信賴セラレ、政府ガ言明シテ居ルカラ宜イデヤナイカト云フ御說ニ對シテハ、甚ダ私ハ怪訝ノ念ヲ挾ムモノデアリマスル、板倉子爵ニハ、以前私ガ學習院ノ在學ノ當時、先輩トシテ大ニ尊敬ヲシタ方デアリマスルケレドモ、今日ノ御言動ニ對シテハ、甚ダ私ハ残念ニ思フノデアリマス、段々簡單ト云フ御聲モアリマスカラ、モウ簡單ニ致シマスル、唯一言茲デ申上ゲマスル

〔簡單「又ハ」議長ノ御注意ヲ請ヒマス」ト呼フ者アリ〕

○議長(公卿徳川家達君) 御靜肅ニ願ヒマス

○男爵紀俊秀君 茲デ私ガ申上ゲテ置キマスルノハ、ドウシテモ是ハ決議案トシテ決議ヲ願ハナケレバナラストデアツテ、唯、單ニ豫算會議ノ附帶決議ト云フヤウナ、手温イコトデハイケナイト思ヒマスル、成程政府ハ言明セラレマシタケレドモ、此決議案ト云フモノハ、唯政府ニ對シテ意思ヲ表示スルノ

ミニ止マラスノデアリマスル、板倉子爵ハ、午前ノ御演説ニ於キマシテハ、非常ニ國家ヲ思ヒ國民ヲ思ウタ餘リ御演説ニナッタデアリマシテ、其點ハ非常ニ感心シテ居ッタデアリマスルケレドモ、先刻ノ……唯今ノ御演説ニ於キマシテハ、政府ト云フモノバカリヲ見テ、後ロニ國民ノアルコトハ餘リニドウモ忘却セラレテ居ルノデナカラウカト存ジマスルノデアリマスルガ、我々ノ院議ニ依ッテ決議シテ置キタイト云フコトハ、一面ニ政府ニ責任ヲ負ハセ、又政府ニ對シ實行ヲ迫リ、政府ニ對シテ言明ヲ致スノデアリマスルケレドモ、又一面ハ、貴族院ト云フ所ハ斯ウ云フヤウニ見テ居ルト云フコトヲ國民ニ表示スベキ爲ニ、茲デドウシテモ決議イタシタイト思ヒマス、ソレ等ノ理由ヲ以テマシテ、ドウカ、皆サンニ於テハ最早御申合セニナリマシテ、此決議案ハ反對シヤウト云フコトニナッテ居ルラシウゴザイマスルケレドモ、私共ノ此決議案ト云フモノハ、附帶決議トシテ御主張ニナリマスル御説ニ較ベマスルト、ヨリ一層鮮明ニ、ヨリ一層適切ニ、而モヨリ一層效果アル所ノ決議案デアリマスノデアリマスカラ、ドウカ國家ヲ思フノ誠意ガアリマスレバ、奮ッテドウカ此決議案ニ御賛成ヲ、改メテ、シテ戴キタイト思ヒマス、デ殊ニ又郡役所ノ廢止ニ賛成ヲ遊バス方モ、又郡役所ニ反對ヲ遊バス方モ、ドウカ舉ッテ此決議ニ御賛成ヲ下サイマシテ、全會一致ヲ以テ此案ノ通過イタシマスルヤウニ、一ツ御再考ヲ煩ハシタイト思ヒマスル、マダ申上ゲタイコトガ多々アルノデアリマスルケレドモ、餘リニドウモ簡單々々ト云フ御聲ガアリマスカラ、御遠慮ヲ致シマシテ、是ダケニ止メテ置キマス

〔西久保弘道君演壇ニ登ル〕

○西久保弘道君 私ハ本案ニ反對デアリマス、昨日豫算案ハ可決ニナリナガラ附帶決議ト云フモノガ出マシタ……同時ニ附帶決議ガ出テ、今日ハマダソレデハイカヌデ單獨決議、斯ノ如ク豫算案ハ決議シナガラ附帶デゴザル、單獨デゴザルト云フヤウニ決議案ガ續發スルト云フノハ、要スルニ郡役所廢止ニ不満ヲ抱ク御方ガ多數アルカラ、斯ノ如キコトニナルダウト思フノデアリマス、先刻阪谷男爵カラ、地方ニ經驗アル議員ノ者カラ色々意見ヲ聽イタ其中ニ同成會ト云フコトモ言ハレマシタガ、私ハ同成會ニ籍ヲ有ッテ居リマスルガ、未ダ會テ何等之ニ付テ言ウタコトハナイノデアリマス、私ハ委員會カ本會議ニ於テ言フ以外ニハ、何等自分ノ意見ヲ發表スルコトハ致シマセヌ、又敬意ヲ表スル同僚諸君ニ對シテ、自分ノ意見ヲ印刷シテ配布スルヤウナ度胸

ノ、私ハ無イ人間デアアルノデス、言葉ハ拙、筆ハ拙、私ナドハサウ云フコトハ出來ナイノデアリマス、デ、ドウカスルト云フト、反對意見ガ地方官出身ノ議員ノ意見デアアルヤウニ誤解サレテ居リマスガ、我々同志ハデス、數ニ於テハ或ハ反對意見……廢止意見ガ多イカモ知レナイ、併シ我々同志ハ、前ニ申ス通り、斯ノ如キ印刷ヲシ、或ハ諸君ヲ説クト云フヤウナ態度ニハ出ナイノデアアル、デ此機會ヲ利用シテ、少シク申上ゲタイト思フノデアリマス、決シテ長イコト私ハ申シマセヌ、一體、郡役所ヲ廢止スレバ世ノ中ハ暗闇ニナルヤウニ思ッテ居ル人ガアルノデ、是ハ以テノ外ノ話ダト思フノデス、素人ハ知ラスコト、地方官ヲ長クシテ居ッテ居ル者ナラバデス、ソナコトハ能ク分ルコトデアアル、郡長ノ監督ガ果シテ行届イテ居ルモノデアリマセウカ、徹底シテ居ルモノデアリマセウカ、郡役所反對……地方官ニ經驗アル同僚諸君デ郡役所廢止ニ反對ノ御方ガ言フニハ、郡長ノ監督ハ温情アル監督デアルト、サウカモ知レマセヌ、温情アル監督、殊ニ私ニ言ハセルト、温情過ギルカモ知レヌ、情實ニ馴レテ居ル、是ハ事實デアリマス、私ニ言ハセルト不完全極マル、有名無實、啻ニ形式的ノ監督ニ過ギナイノデアリマス、是ハ地方官ヲ長クシテ居ッテ人ナラバデス、必ズサウデアルト云フコトヲ領クコトノ出來ルコトデアアルノデス、ドウ云フ譯デサウ云フ風ニナルカト云フコトヲ、少シ研究シテ見タラ宜カラウト思フ、是ハ接近シテ居リマスカラデス、昨日永田君ハ巧妙ナル言葉ヲ以テ、縣廳ハ離レテ居ルカライカヌ、四斗儀デアルトカ何石儀デアルトカ云フ、巧ナル言葉ヲ以テ言ハレマシタ、併シ私ニ言ハセルト、接近シ過ギテ居ル、ソレ故ニ情實ニ流レル、是ハ否ミ難イコトデス、接近シテ居ルト情實ニ流レル、時間ガ切迫シテ居ルカラ、説明ハ要シマセヌ、賢明ナル諸君ハ必ズ首肯サレルコトダト思フ、次ニハデス、廢止ニ反對ノ論者ノ述ベラレタ通り各種ノ事業ニ關係シテ居ル、其通り、一々之ヲ言ハナクテモ宜シイ、十以上數ヘルコトノ出來ル、是ガデス、斯ノ如キ事ニ關係シテ居ルカラ、情實ガ纏綿シテ居ルノデス、昨日永田君ハ、郡長ガ澤山ノ事業ニ關係スルコトヲ希望サレテ、警察署長ガ或ル一ツノ仕事ヲスルト、警察ノ仕事ガ鈍ルト云フコトヲ言ハレタ、論ヨリ證據、昨日永田君ノ言ハレタ、警察署長ガソナナ仕事ヲ持ッテハイカヌト言ハレタ、ソレデヤ郡長ニハ何故澤山ノ仕事ヲ持ッテ行ッテ宜イノカ、澤山ノ仕事ガアルカラ……職務以外ニ、イヤ赤十字社、愛國婦人會、青年會、尙武會、何ダ彼ダトアル、是ガ情實ノ纏綿スル原

因ナノデアリマス、其中ニ私ハ一言特ニ諸君ノ感ゼラレルコトヲ申上ゲタイ
ト思フ、寄附金ヲ募ラセル一事デアリマス、郡長……成程一度ハ、若シ名譽
町村長ナラ名譽町村長モ、土地ノ金持デアリマセウ、サウデヤナクトモ町村
長ヲ通ジナケレバ寄附金ハ募レナイ、最初ナラデス、命令的ニ行クデアリマ
セウ、併シ佛ノ顔モ三度デアル、イヤ三度下コロデナイ、十度三十度ニモ及
ブノデアリマス、初メハ命令的ダケレドモ、三度以上ニナルト、郡長ハデス
臺所カラ町村長ノ細君ノ御機嫌ヲ取ツテ、手土産ヲ持ッテ行クンデス、是ハ事實
デス、若シサウ云フ事ガ無イト仰シヤレバ、随分御目出度イ知事サンダッタ
ト私ハ思フノデス、斯ノ如キ有様デ、一體、町村ノ監督ガ出來ルデアリマセ
ウカ、郡役所ヲ無クスレバ自治ハ亡ビテシマフ、日本ガ暗闇ニナルト云フコ
トガ、一體思ハレルデセウカ、モウ一ツ私ハ諸君ノ尤ダト感ゼラレルコトヲ
申上ゲタイ、或ル老練ナ知事ガ、屬官ヲ郡長ニスル時分ニ、御前ハ今度郡長
ニ出スガ、郡長ニナルニハ祕訣ガアル、少シ言葉ハ露骨ニナリマスガ、ドウ
モ話ガ徹底シマセヌカラ、御容赦ヲ願ヒマス、郡長ニナルニハ罌丸ガアッテハ
イケナイ……此知事ハ二十年程前ニモウ亡クナリマシタ、是ハ老練ナ知事ト
シテ有名ナ人デス、非常ニ是ガ評判ニナリマシテ、流石ハ老練ナ知事ダ、之
ヲ善イコトニシテ居ルデス、私ハ此反對デ、始終警部ヤ屬官ヲ郡長ニ出ス時
分ニ、世間ニ斯ウ云フ話ガアル、サウシテ之ヲ老練ナ知事ダト云ヒ、郡長タ
ルノ祕訣ト云フケレドモ、ソレハ大間違デアル、私ニ言ハセルト、罌丸ノ無
イ郡長ガ居ルカラ、町村ノ自治ハ滅茶苦茶ニナッテシマッテ居ルノデアル、嘗ニ
自分ノ所有スル二ツノモノノミナラズ、若シ出來ルナラバ、外ニ借リル所ガ
アルナラバ、モウ少シ附加ヘテ行ッテ貰ヒタイト云フコトヲバ、私ハ部下ニ
言ッタデス、全クサウナノデス、ソレ位、私ハ地方官ヲシテ居ル時分ニ、苦心
シテ居ッタデス、是デ以テ町村ノ監督ヲ完全無缺ニヤルナント云フコトハ、殆
ド木ニ縁ッテ魚ヲ求ムルト云フヨリ以上ノコトダラウト思フノデス、斯ウ云フ
コトヲ地方官出身ノ方ハ知ラヌコトハナイデスケレドモ、知ッテ而シテ郡役
所廢止ニ反對意見ヲ唱ヘラレルコトハ、私ハ如何ニモ不可思議ダト思フ、私
ハ在職中カラ、ドウシテモ郡役所ヲ廢止シナケレバナラヌト云フ意見ヲ持ッ
テ居ッタ一人デアアルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ……是ハ皆廢止反對ノ方ガ
言ハレマスガ、此地方ニ色々發生スル事件ヲ圓滿ニ解決スル者ハ郡長ノ手ヲ
借ラネバナラヌ、是ガ全ク違フノデス、之ニ小作爭議ナドヲ引ヅ張り出サレ

マスケレドモ、小作爭議ナドモ十分ノ一ハ……漸ク十分ノ一ニ足ラス位ガ、
郡長ノ一人ノ手デ以テ小作爭議ヲ解決シタト云フ統計ニナッテ居リマス、多
クハ縣廳カラ、大キナモノニナルト知事ヲ勞スル、或ハ内務部長、地方課長、
屬官ト云フヤウナコトデ、郡長ノ手デ以テヤルト云フヤウナコトハ、極ク少
イノデス、何カ事ガアルト、直グ課長ニ來テ呉レ、内務部長、知事ハサウ始
終引ヅ張り出シマセヌガ、内務部長ガ來ラレナケレバ、課長ニ來テ呉レ、サウ
デナケレバ屬官デモ宜シイト云フコトハ、始終郡長ノ所カラ言ッテ來ル、郡長
獨力デ以テ、斯ウ云フコトヲ圓滿ニ解決スルト云フコトハ、出來ハシナイデ
ス、サウスルト或ハ斯ウ云フコトヲ言フカモ知レヌ、併シ準備ダケハ郡長ガ
スル、所ガイケマセヌ、ドウニモ郡長ハ地方民ガ馬鹿ニシテ居ル、其準備ガ
既ニヘマナ準備ニナッテシマフ、私ナドハ在職中、始終サウ思ッテ居ッタ、全ク
ソレガ事實ナノデス、丁度茲ニ於テ、私ハ此父ト母トノ比較ヲ持ッテ來ルガ
一番宜カラウト思フ、母ハ能ク小言ヲ言ヒマス、朝カラ晩ニ、子供ノ箸ノ上
ゲ下ロシニ小言ヲ言ヒマス、サウシテ始終家ニ居ル、父ハ役人デアルトモ、
會社員デアルトモ、或ハ自分ガ獨立營業ヲシテ居ッテモ、朝早く出テ夜ハ遅
ク歸ル、或ハ外ニ出張スル、母親ハ始終家ニ居ルケレドモ、ドウデセウカ、
母親ノ小言ハ子供ハ馬鹿ニシテ聴キマセヌ、家ニ殆ド居ナイ、子供ハ父親ノ
顔モ満足ニ見ナイ、朝早く出テ夜遅ク歸ル、外ニ出張スルト云フ、其父親ノ
小言ハ一言デビリッテシテ聴クノデアリマス、ダカラ目近ニ居ル郡長ハ之ヲ母
ニ譬ヘル、私ハ……遠方ニ居ル知事以下ノ縣廳ノ人々、是ハ丁度、家ニ餘リ居
ナイ父親ニ譬ヘテ言フ、何モ傍ニ居ッテ朝カラ晩マデ箸ノ上ゲ下ロシニ小言
ヲ言フノガ能デナイ、聴キサヘスレバ宜イノデアル、ダカラ郡役所ハ母親、
縣廳ハ父親ト譬ヘレバ一番分リ易イ、別ニ説明ヲ要セヌコトダラウト思ヒマ
ス、ダカラ私ハ實ハ、郡役所ハ、在職中カラ無用ノ長物、言葉ヲ酷ク言ヘバ、
有害無益ノモノダト思ッテ居ッタンデス、之ヲ今日廢止スルニ尙ホ早シナド言
フノハ、以テノ外ノ話、モウ長クハ言ヒマセヌガ、マア二言申シタイコトハ
獨リ立……町村……今日町村ヲシテ獨立サセルコトハ無理ダト言フ、ドウデ
セウカ、今日町村ヲ獨リ立テルコトガ無理ダト言ヘバ、町村制ガ布ケテ、ア
レハ明治二十二年デアリマス、足掛ケ三十八年ニナル、三十八トハドウデセ
ウ、孔子モ言ッタ、三十三ニシテ立ツ、四十二ニシテ惑ハズト言フ、是ハ何モ古人
バカリデナイ、モウ四十二近イ者ガ獨リ立チガ出來ナイト言ヘバ、日本デ自

治制ヲ廢スレバ宜イ、若モ諸君ガ自治制ヲ廢スルト言ヘバ、我輩雙手ヲ舉ゲテ賛成スルノデアル、自治制ヲ置キナガラ、イツマデ、ソレチャ手ヲ取り足ヲ取ツテ之ヲ教ヘテ行カナケレバナラヌカ、ソレデハ百年經ツテモ、萬年經ツテモ、到底獨立ハ出來ナイト云フコトニナリハシナイカ、一體我ガ國民ハ、依頼心ト云フモノガ有リ過ギル、ダカラ甘イ郡長ガ居ッテ、手ヲ取り足ヲ取ッテヤッテ居ルカラ、イツ迄モ依頼心ガ除カヌノデアル、責任ノ地位ヲ與ヘマスト、ドウシテモ自分デ職務ニ忠實ニナルノデアル、丁度役人ヲシタ人ハ、御經驗ガアツテ能ク御承知デアリマセウガ、人ノ上ニ立ッテ無暗ト此文字ガ惡イトカ、イヤ、何ダカンダト朱筆ヲ取ッテ直サレト、屬官ハコリヤドウモ何時デモ直サレト、ソレデヤ宜イ加減ニシテ置ケト言ッテ、抛ッテ置ク、思ヒ切ッテ官判ヲ捺サレト、部下ノ者ハ恐レル、コリヤドウモ間違ッテハ大變ダト言フ、官判ヲ捺サレト云フコトハ、正宗ノ刀ヲ突キ付ケラレルト同ジコトナノデ、朱筆ヲ以テ一々此文字ハイカストカ、此文字ガ違ッテ居ルトカ言ッタラ、又始マツタ、ドウセ直サレルカラ宜イ加減ニト言ッテ、部下ハ無責任ニナルノデス、町村長ニ對シテモ其通り、始終小言ヲ言ッテヤカマシク言ウテ居レバ、イツ迄モ矢張り子供ノヤウナ積リデ居ル、責任ヲ負ハセテ御前ヤレト言ヘバ、ヤレヌコトハナイノデアル、何モ町村長ガ別ナ人間デナイ、日本國民ナンダ、抑、此町村長ダケヲ特別ナ人間ト認メルコトガオカシイ、此處ニ町村長ヲシテ居ル御方モアル、是ハ餘リ町村長ヲ蔑辱シタコトダラウト思フ、ソレカラ子供ノ話ヲスレバ能ク分リマセウ、外國人ハ、子供ガ倒レルノニ、母親デモ子供ノ獨立ヲ害シテハイカスト云ウテ抛ッテ置ク、自分デ起キルノヲ待ツ、日本ハサウデヤナイ、倒レリヤモウ、アツ大變ダト言ッテ父親……母親ハ勿論、父親マデモ行ッテ抱イテ起ス、若シ人ガ起シテモ、有難ウゴザイマス、歐米ノ人ハ、他人ガ來テ子供ヲ起シタラ怒ル、何故私ノ子供ノ獨立心ヲ害シタ、怪シカラヌ話ダ、ソコハ昔ノ武士ニ能ク今日ノ歐米ハ似テ居ル、今ノ日本ハ逆モイカナイ、昔ノ武士ハ子供ガ……昔ノ武士ハ、子供ガ喧嘩ニ負ケテ來タナラバ、短刀ヲ持ッテ是デ相手ヲ殺シテ來イト言ウタデヤナイカ、今日ノ親ハドウダ、子供ガ喧嘩ヲシタラ親ガ一緒ニ行ッテ、喧嘩ノ相手ニナッテ居ル、ソレ程馬鹿ナ……ソレデハ逆モ子供ヲ育テル譯ニハ行カナイ、佛蘭西ニ「アロンディスマン」ト云フモノガアリマス、私ハ此議會デ……帝國ノ議會デ外國ノ言葉ヲ使フコトハ極ク嫌ヒデアリマス、併ナガラ適當ノ言葉ヲ持チマセヌカラ、「アロンディ

スマン」日本ノ郡デアリマセウ、是ハ永イ間ノ問題ニナッテ、矢張り此郡ニ郡長ガ居ルノデス、ソレデ私ハ人ノ名ハ申シマセヌガ、有名ナ、我國ノ有名ナ御方デ、佛蘭西ニ永ク行ッテ居ル御方デ、今度ノ郡役所廢止問題ヲ聽カレテ、ハハア、ソシナコトヲ問題ニシテ居ルノカ、佛蘭西モ早クアノ「アロンディスマン」ニ於ケル役所ヲ廢シタラ、「スープレフェ」ヲ早ク廢シタラ、佛蘭西ノ自治ハモット早ク發達シタラウガ、今頃、日本ガソシナコトヲ騒イデルノカ、矢張り佛蘭西ト同ジヤウナモノダナ、此一言以テ……一體、サウ云フ中間ニ餘計ナモノガ居レバ、一面カラ言ヘバ依頼心ヲ起サセ、自治ヲ阻碍スルト云フコトデ、是ハ一ツノ例ヲ御話イタシマスレバ、サウ云フコトヲ言ウタ御方モアルヤウデス、ソレカラ終リニ、此郡役所廢止ノ動機ガ不純デアル、町村長ノ決議、町村長ノ決議ト云フノハドレダケノモノカ、唯、僅カノ者ガ集マツタ、……ケレドモ私ノ調べタ所ニ依リマスト、東京ニ集マツタモノハ僅カデスケレドモ、是ハ併シ皆各府縣ノ代表者、殊ニ今年集マツタ者ハデス、各府縣カラ皆集マリマシテ、唯來ナイノハ沖繩縣ダケ、併シ沖繩縣ハ大城君モ昨日色色質問セラレマシタガ、大城君ノ御話ニ依ルト、若シ郡役所ノ廢止ト云フ問題ガ通ラナクテモ、沖繩ダケハドウシテモ郡役所ヲ廢シテ吳レロ、其參加シナイ大城君ガ、頻リニ言ウテ居ラレル、是ヲ以テ見マスレバ、日本全國郡役所廢止ニ付テハ、總テ一致ダト云ウテ宜カラウト思フ、ソレカラ衆議院ニ於ケル殆ド全會一致ヲ、イヤ、ドウトカ、是ハ町村長ガ選舉ノ關係デ迎合スルトカ、サウ云フコトヲ言ヒ出シタラ前ト同ジデ、ソレデヤ今日ノ議院政治ヲ止メロト言ヘバ宜イ、「クレーダー」ヲヤレバ宜イ、私ハ其場合ニハ急先鋒ヲヤルカ知レナイ、併シ今日ノ場合ニ於テ、ヤア貴族院ノ多數決議ガ、或ハ茲デ言ヘバ、多數黨ガドウシタトカ、斯ウシタトカ、ソシナ女々シイコトヲ言フナラバ、インソ叩キ壞ハシテシマフガ宜イ、置ク以上ハ多數ニ從フト云フコトハ、當リ前デアラウト思フ、私ハドウシテモサウ思フノデス、ソレカラ此何ヲ……町村長ヲ獨立サセルコトニ付テ、非常ニ心配ノヤウデアリマス、ケレドモ、併シ一度維新ノ時ノコトヲ考ヘラレタラドウデアリマセウ、幕府ノ方カラ、徳川議長ハ議長席ニ居ラレマスケレドモ、若シ幕府方カラ見タラドウデセウ、浪士、足輕、陪臣、又ハ陪々臣、コンナ者ニ日本ノ政治ヲ託シテドウダト、幕府ノ將軍ヤ大老、中老アタリハ思ッダセウガ、併シヤッテ見レバ、其浪士、足輕、陪々臣、家老ノ……藩ノ各藩ノ家老ノ家來デアアル陪々臣デモ、立派

ニ矢張りヤッテ行ケル、ソレカラ今度政黨内閣ト云フ場合ニ、軍閥ヤ官僚ハ何ト言ッテ、アンナ野武士ニ日本國ノ政治ヲ預ケテドウカト云ッテ、ヤッテ見ルト立派ナモノデス、昨日丁度永田君ガ言ハレタ、野田卯太郎君デモ、安達謙藏君デモ、立派ニ臺閣ニ列シテ居ラレル、案ズルヨリ産ムガ安イ、心配スルコトハナイノデアル、獨リ我が國ノ町村長ダケ不具ト見ルノハ、一體ドウ云フ譯デセウ、モウ是位デ止メマスガ、要スルニデス、斯ウ云フ決議案ガ澤山出ルノハ、郡役所廢止ト云フコトヲ不滿ニ思ハレタ結果デアリセウガ、私ハ郡役所廢止ト云フ事ヲ當然ノ事ダト云フコトヲ前申シタノデ、ソレデドウ云フ譯デ、ソレデハ昨日ハ賛成シテ、是ニハ反對スルカ、昨日ハモウ既ニ定マッタノデアル、多數デ定マッタノデアル、ソレデ私ハデス、是ガ廣カラウガ、狹カラウガ、強カラウガ、スルカラウガ、附帶デアラウガ、獨立デアラウガ、ソナコトハドウデモ宜シイガ、一旦昨日定マッテ、多數デ定マッタコトヲ、此會期短イ所ニ、玆ニ持ッテ來テ又同ジャウナコトヲ言フノハ、一體何ノ事ダカ分ラナイノデアル、是ガ私ガ本案ニ反對スル理由デアリマス

〔子爵板倉勝憲君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 笠井信一君

〔笠井信一君演壇ニ登ル〕

○笠井信一君 私ハ決議案ニ賛成スル者デアリマス、デ、私ハ主義トシテ郡役所ヲ存続スルト云フコトヲ主張スル一人デアリマス、之ヲ十分ニ述ベヤウト思ヘバ、少クトモ二三時間ヲ要シマスノデ、私ハ差支ハアリマセスガ、會期ガソレガ爲ニ無クナッテシマヒマスカラ、ソレデ頗ル簡單ニ御話ヲ致サウト思ヒマス、唯今西久保君ノ御話ヲ承ハルト、私ノ最モ畏敬シ親愛シテ居ル所ノ西久保君ハ、誠ニ御氣ノ毒ニ、臺所カラ這入ルヤウナ郡長ヲ御使ヒニナッテ、餘程御迷惑ニナッタコトデアラウト思フ、私ハ幸ニシテ、其ヤウナオカシゲナ郡長ト云フモノヲ使ウタコトハナク、非常ニ能ク地方ノ爲ニ働イテ、且ツ國家ノ爲ニ活動ヲシテ與レタノデアリマス、郡長ガ尤モ善クテモ惡クテモ、別ニソレハ論ズベキモノデ、制度其物ニハ何等ノ差支ハナク、制度ニハ罪ガ無イノデアル、デスカラサウ云フ不都合、又面白クナイ郡長ト云フモノハ罷メテ、相當ノ人間ヲ置ケバ、詰リ制度ト云フモノハ善イノデアリマスカラ、國家ノ爲ニハ非常ナ働キヲナシ得タコトデアラウト思フノデアリマス、郡役所ノ、私ガ其仕組ノ善イト云フコトハ、先ヅ地方ニ散在シテ居ル……町村或ハ

人々ニ對シテ便宜ヲ與ヘル爲ニ、散在制ヲ布イテアル、相當ノ距離ヲ以テ郡役所ガ置カレテアル、即チ散在制ト云フノガ、先ヅ第一ニ、適當ナ制度デアルト思フノデス、第二ニハ、民風ヲ同ジクシテ居ル所ノ、古來カラノ一區劃、丁度適當ニ取扱ノ都合ノ宜イ管轄區域デアリマス、ソレガ第二デアリマス、第三ニハ、郡長ト云フ、瘦セテモ枯レテモ郡長ト云フ、郡内ニ責任ヲ持ッテ居ル者ガアルト云フコトデアリマス、第四ニハ、郡役所員ガ郡内ノ各方面、各階級ノ者ト直接スルト云フコトデアリマス、第五ニハ、郡長ハ實質上半官半民デアリマシテ、サウシテ一面官吏服務規律ニ從ヒ、一面ニハ民間ノ便益ヲ圖ッテ居ルト云フコト、第六ニハ、町村民ニ親ミノアル役所デゴザイマス、親ミガアリマスカラシテ、招カザルニ千客萬來ト云ッタヤウナ譯デ、行政ノ妙機ト云フモノガ此間ニ動イテ居リマス、是等ノ仕組ト云フモノノ爲ニ、自然ニ此地方發展ノ狀況ガ出テ參リマス、是等ノ事ニ付キマシテ、一々項目ヲ舉ゲテ私ハ御話ヲスル積リデアッタノデスガ、先程申上ゲル通りニ、時間モ切迫イタシマス、又我々ノ同志ノ方ガ、既ニ郡役所ノ效能ハ述ベラレテ居リマスノデスカラ、私ハ此邊ニ止メテ置カウト思ウテ居ル、唯、西久保君ノ御話ニ外國ノ例ガ出マシタカラ、其點ヲ一應辯解シテ置キタイト思フノデス、成程伊太利、白耳義、或ハ佛蘭西等ニ於キマシテ、郡役所廢止ノ案ガ出タコトガアル、ケレドモソレハ特別委員ニ於テ十分研究ヲシテ見ルト云フト、郡役所ヲ廢スレバ却テ自治體ハ發達シナイ、デアルカラシテ郡役所ハ容易ニ廢スベキモノデナイト云フコトガ決セラレテ、爾後遂ニ郡役所廢止案ト云フモノハ、ソレ等ノ國々ニ於テハ出ナイノデアリマス、今頃日本ニ於テ郡役所廢止案ガ出テ居ルノカト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、左様ナコトハ何カノ間違デアアルマイカト思ヒマスノデス、此點ニ付テ一言ヲシテ置キマス、郡役所ノ必要ト云フヤウナコトハ、最早書面ニ於テ、其他ニ於テ、繰返サレテ居リマスカラシテ、時間節約ノ爲ニ、私ハ是ダケニシテ置キマシテ、唯本決議案ニ賛成ノ意ヲ表シマス

○子爵西大路吉光君 討論終局ノ動議ヲ提出イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

〔子爵板倉勝憲君「議事ノ進行ニ付テ一言イタシタイ」ト述フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 討論終局ノ動議ニハ二十人ノ賛成者ヲ要シマス

〔賛成「ト呼フ者多シ」〕

○議長(公爵徳川家達君) 討論終局ノ動議ニハ成規ノ賛成者ガアッタト認メマス、討論終局ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決イタシマス、決議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、決議案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ請願ノ會議ニ移リマスガ、諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、日程第三十六ヨリ第四十二、而シテ第四十四ヨリ第七十二、又第七十四ヨリ第七十六マデ、一括シテ問題ト致シマス、詰リ日程第四十三竝ニ第七十三ノ請願ニハ、質疑セラルル御方ガアッタヤウニ、議長ハ承知シテ居リマス、要スルニ第三十六ヨリ第七十六マデノ請願ノ中デ第四十三及第七十三ヲ後トデ採決イタサウト考ヘマス

意見書案

濱頓別、興部間竝枝幸、小頓別間鐵道敷設ノ件

北海道枝幸郡枝幸村長瀧本瑞龍外百五十八名呈出

右ノ請願ハ宗谷線鐵道濱頓別驛ヨリ名寄線鐵道興部驛ニ至ル鐵道及枝幸郡枝幸村ヨリ宗谷線鐵道小頓別驛ニ至ル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル豊富ナル農産、水産、鑛産及林産等ノ利源ヲ開發スルノミナラス本道拓殖ノ進展ニ資スルコト多大ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

渡良瀬川改修ノ件

群馬縣桐生市大字桐生平民商増山作次郎外七十五名呈出

右ノ請願ハ群馬縣山田郡地方ハ渡良瀬川ノ氾濫ニ依リ連年多大ノ慘害ヲ被リ住民ノ疲弊極度ニ達セムトスルニ拘ラス施行中ノ同川改修工事ハ栃木縣足利郡附近ニ止ルヤニ聞ク斯クテハ地方發展上甚遺憾ナルニ依リ該工事ヲ山田郡川内村大字高津戸地内高津戸橋及支流桐生川小松橋迄延長セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

船泊村ニ避難港築設ノ件

北海道禮文郡船泊村長岡崎政吉呈出

右ノ請願ハ北海道禮文郡船泊港ノ沿海ハ由來無比ノ大漁場ナルニ拘ラス沖合漁業ニ最必要ナル漁船避難ノ設備ナキ爲斯業振ハス徒ラニ拱手福利ヲ逸スルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ天與ノ良港ニシテ且工事容易ナル同港ニ漁港ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

天鹽漁港修築竝天鹽川河口改修ノ件

北海道天鹽郡天鹽町長石村芳太郎外百八十二名呈出

右ノ請願ハ北海道天鹽港ハ夙ニ木材集散地トシテ著ハレ且其ノ沖合一帯ハ絶好ノ大漁場ナルニ拘ラス漁船避難ノ設備ニ缺クルヲ以テ沖合漁業爲ニ振ハス加之本港ニ在ル天鹽川河口ハ近來砂土堆積シテ船舶ノ出入困難ヲ極メ木材業ハ爲ニ大打撃ヲ受クルニ至リシハ同道發展上甚遺憾ナルヲ以テ速ニ同港ニ漁港ヲ修築スルト共ニ同河口ヲ改修セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德 川 家 達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

枝幸漁港修築ノ件

北海道枝幸郡枝幸村長瀧本瑞龍外百五十九名呈出

右ノ請願ハ北海道枝幸郡枝幸港ノ沖合ハ「オコック」海ノ一部ニ屬スル大漁場ナルニ拘ラス該港ニ漁船避難ノ設備ナキハ漁業ノ發展上甚遺憾ナルニ依リ速ニ同港ヲ漁港トシテ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德 川 家 達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

青森縣西津輕郡稻垣村ニ登記所設置ノ件

青森縣西津輕郡稻垣村長内長五郎呈出

右ノ請願ハ青森縣西津輕郡稻垣村ハ地域廣大ニシテ戸口亦多ク登記事務繁

多ナルニ拘ラス管轄登記所ヲ距ルコト遠ク且通路不便ノ爲村民ノ困難尠カラサルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ同村及鄰村ノ一部ヲ管轄スル登記所ヲ同村ニ設置セラレタク所要ノ敷地ハ寄附スヘシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德 川 家 達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

牛ノ傳染性肋膜炎ニ關スル勅令繼續ノ件

東京市京橋區新富町平民大日本畜牛改良同盟會主幹木村專太郎外一名呈出

右ノ請願ハ牛ノ傳染性肋膜炎ハ昨年八月大阪ニ於テ初メテ發生シタル獸疫ニシテ之ニ擬スヘキ賠償規定ナク當業者ノ鬼胎容易ナラサルモノアリシヲ以テ家畜傳染病豫防法中牛疫ニ關スル法規ニ準シ其ノ賠償最高價格一頭金六百圓迄ニ進ムル勅令ノ發布アリタルハ畜產獎勵上重要ノモノナルニ依リ之カ繼續ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德 川 家 達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

皇太神宮神苑内ニ在ル奉獻戰捷記念品移轉ニ關スル件

三重縣志摩郡鳥羽町平民眞珠養殖業御木本幸吉呈出

右ノ請願ハ神聖ナル皇太神宮ノ神苑ハ永久清淨ノ靈地タルヘキニ拘ラス日

清日露ノ戰捷記念品ヲ此ニ備ヘラルルハ惠澤深厚ナル神慮ニ副ヒ奉ラサルノミナラス世界人類ノ平和ヲ提唱スル我國是ニ對シ内外ノ誤解ヲ招クノ嫌アルハ甚遺憾ナルニ依リ該記念品ヲ他ノ適當ナル地ニ移サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

小頓別、枝幸間鐵道敷設ノ件

北海道枝幸郡中頓別村平民商谷口雅雄外百三十七名呈出

右ノ請願ハ宗谷線鐵道小頓別驛ヨリ枝幸郡枝幸村ニ至ル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル農産、林産並鑛産等ノ豐富ナル資源ヲ開發スルノミナラス海陸交通ノ連絡ニ資スルコト多大ニシテ且其ノ工事亦容易ナルニ依リ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

佐原、松岸間鐵道速成ノ件

千葉縣香取郡小見川町平民公吏石毛己之助外千百三十六名呈出

右ノ請願ハ成田線鐵道佐原驛ヨリ總武本線鐵道松岸驛ニ達スル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル産業開發上並運輸交通上貢獻スルトコロ至大ナルノミナラス銚子築港ノ竣工ト相竣テ國防上亦緊要ナルニ依リ之ヲ速成ヲ圖ラレタシト

ノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

廣島、濱田間鐵道敷設ノ件

廣島縣山縣郡加計町長加計三千二外六名呈出

右ノ請願ハ豫定線廣島濱田間鐵道ハ其ノ沿線地タル大田川沿岸國道ノ貨客自動車ニ因リ損壞セラレ交通上支障不安尠カラサルヲ緩和スルト共ニ産業開發ニ資スル重要ノ線路ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

厚床、標津間鐵道敷設ノ件

北海道根室郡根室町長本橋貞七呈出

右ノ請願ハ根室本線鐵道厚床驛附近ヨリ北海道根室國標津ニ達スル鐵道ハ運輸交通上ニ資スルコト多大ナルノミナラス其ノ沿線地方ニ於ケル農産、畜産、林産及鑛産等ノ大寶庫ヲ開發シ本道拓殖上必須ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達
内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

根室原野殖民軌道敷設ノ件

北海道根室郡根室町長本橋貞七呈出

右ノ請願ハ北海道根室原野ハ農産、畜産及林産等ノ豊富ナル資源ヲ有スル有數ノ大寶庫ナルニ拘ラス交通機關不備ノ爲其ノ開拓遲延トシテ振ハサルハ本道拓殖上竝國家經濟上甚遺憾ナルヲ以テ速ニ同原野ヲ貫流スル西別、春別等諸川ノ沿岸ニ竝行シテ豫定線厚床、標津間鐵道ニ連絡スヘキ幾多ノ殖民軌道ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

石見益田驛ニ公衆電報取扱開始ノ件

島根縣美濃郡吉田村長中島卓矣外二名呈出

島根縣美濃郡吉田村平民商又賀善助呈出

右ノ請願ハ山口線鐵道石見益田驛ハ同鐵道ト萩線鐵道トノ樞要ナル分岐點ニ當リ近時旅客ノ昇降竝貨物ノ集散激增ヲ來シ通信上敏活ヲ要スル切ナルモノアルニ拘ラス電報取扱局ヲ距ルコト遠ク一般公衆ノ不便尠カラサルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ同驛ニ於テ公衆電報ノ取扱ヲ開始セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達
内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

廣島、濱田間鐵道敷設ノ件

島根縣那賀郡濱田町長野島忠孝呈出

右ノ請願ハ豫定線廣島、濱田間鐵道ハ山陽、山陰兩道ヲ連絡シ産業開發上竝運輸交通上貢獻スルトコロ至大ナルノミナラス近時濱田港、朝鮮慶尙北道浦項港間ニ定期航路ノ開始セラレテ以來貿易上及軍事上更ニ樞要トナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

渡良瀬川水源涵養ニ關スル件

群馬縣桐生市赤岩堰普通水利組合管理者吉永貫一呈出

右ノ請願ハ渡良瀬川ハ往古水量豊富ニシテ農工業ニ多大ノ利便ヲ與ヘタルニ拘ラス近來足尾銅山ノ煙毒ニ因リ其ノ上流地方ニ於ケル森林荒廢ニ歸シ爲ニ同川ノ水量著シク減シ次テ旱魃又ハ洪水ヲ誘致シ流域地方ノ被害甚大ナルハ遺憾ナルニ依リ速ニ其ノ水源涵養ニ關シ適切ナル施設ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

島根縣仁多郡溫泉村ニ郵便局設置ノ件

島根縣仁多郡溫泉村長島谷儀四郎呈出

右ノ請願ハ島根縣仁多郡溫泉村ハ近時其ノ發展著シク且同村ニ在ル古名ノ溫泉浴場ニハ浴客ノ來往多ク爲ニ郵便事務繁多ナルニ拘ラス八代郵便局ヲ距ルコト遠ク通信上不利不便尠カラサルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ同村ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

札幌、増毛間鐵道敷設ノ件

北海道厚田郡厚田村平民漁業佐藤常三郎外七十九名呈出

右ノ請願ハ豫定線札幌、増毛間鐵道ハ沿線地方ニ於ケル鑛産、畜産及海産等幾多ノ豊富ナル資源ヲ開發スルノミナラス宗谷本線鐵道經由ニ比シ札幌、稚内間ノ捷徑タル天鹽沿岸線路ノ一部ヲナシ運輸交通上亦裨益スルトコロ多キヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

帝國在郷軍人會國庫補助ノ件

東京市下谷區下車坂町平民商新居與作外九名呈出

右ノ請願ハ帝國在郷軍人會ハ社會的救護事業ニ奉仕スルト共ニ國民思想ノ善導ニ努力セルノミナラス未教育補充兵タル青年ノ指揮訓練ヲ爲ス等國家ニ貢獻スルトコロ多大ナルニ拘ラス財源寔ニ乏シク爲ニ十分ナル活動ヲ爲シ得サルハ甚遺憾ナルニ依リ國庫ヨリ相當ノ補助金ヲ交付セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

明治天皇ノ御偉業ヲ永久ニ紀念スヘキ祝日制定ノ件

東京市日本橋區蠣殼町平民田中巳之助外三名呈出

右ノ請願ハ明治天皇ノ御偉業ヲ永久ニ奉彰セムカ爲紀元節ト相竝ヘテ御在世中ノ天長節ニ該當スル十一月三日ヲ中興節又ハ明治節ト稱シ國家ノ祝日ニ加ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

福岡縣玄界島ニ燈臺建設ノ件

福岡縣福岡市博多商業會議所會頭太田清藏呈出

右ノ請願ハ福岡縣下玄界島附近ハ航海ノ要路ニシテ船舶ノ來往頻繁ナルニ拘ラス海波常ニ荒ク且數箇所ノ瀬アリテ夜間博多港ニ出入スル船舶ノ如キ

ハ轉針上危險多ク航海業者ノ不安甚シキハ遺憾ナルニ依リ速ニ同島ニ燈臺ヲ建設シ航路ノ安全ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

恩給法中改正ノ件

和歌山縣和歌山市豐原町平民奥修一郎外五名呈出

福井縣福井市老松上町士族田中松太郎呈出

右ノ請願ハ恩給法第八十五條第一項ノ規定アルカ爲同年數勤績シタルニ拘ラス其ノ在職年ノ中斷セラルル者ト通算セラルル者トニ因リ恩給額ニ甚シキ差等ヲ生スルノ矛盾アリ例ヘハ共ニ俸給四級俸退官ノ警部ニ於テ甲ハ巡查ト警部補十年警部五年勤績シテ約二百圓ノ恩給年金ノミ受クルノ不利ナルニ反シ乙ハ巡查ト警部補九年警部六年勤績シテ四百圓ノ恩給年金ヲ受クルノ有利トナリ權衡上甚遺憾ナルヲ以テ同規定ヲ削除シ適當ニ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

名張、松坂間鐵道速成ノ件

三重縣一志郡久居町長前川捨次郎外二名呈出

右ノ請願ハ工事未著手線名張松坂間鐵道ハ沿線地方ニ於ケル豊富ナル資源

ヲ開發スルノミナラス伊勢神宮ニ參拜スル旅客ニ利便ヲ與フル等産業振興上並運輸交通上重要ノ線路ナルヲ以テ速ニ工事ニ著手セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

羽幌、留萌間鐵道速成ノ件

北海道苫前郡羽幌町長小崎榮吉呈出

右ノ請願ハ羽幌留萌間鐵道ハ運輸交通上並本道拓殖上重要ノ線路ニシテ工事モ既ニ著手セラレタルニ拘ラス頃日財政緊縮ノ故ヲ以テ該工事ノ一部ヲ繰延ヘラルルヤニ仄間スルモ斯クテハ地方産業發展上打擊ヲ受クルモノ甚シキハ遺憾ナルニ依リ豫定ノ計劃ヲ遂行セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

羽幌漁港修築ノ件

北海道苫前郡羽幌町長小崎榮吉呈出

右ノ請願ハ北海道苫前郡羽幌港ハ天鹽沿岸ノ中央部ニ位シ其ノ沖合一帶ハ著名ノ大漁場ナルニ拘ラス同港ニハ未漁港ヲ修築セラレサル爲漁船ノ出入困難ヲ極メ從テ遠洋漁業ノ不振甚シキハ本道水産業進展上遺憾ナルヲ以テ

速ニ之ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達
内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

廣尾漁港修築ノ件

北海道廣尾郡茂寄村平民酒造業林寅太郎外五百七名呈出
右ノ請願ハ北海道廣尾郡廣尾港ヲ修築セハ本邦屈指ノ大漁場ノ稱アルト勝沖合ノ漁業ヲ發展セシムルノミナラス陸上ノ大富源ヲモ開發シ得ヘキニヨリ速ニ該港ヲ漁港トシテ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達
内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

壽都漁港修築ノ件

北海道壽都郡壽都町平民漁業矢作八十八外五百五十一名呈出
右ノ請願ハ北海道壽都郡外附近三郡ノ沿岸ハ漁業地トシテ古キ歴史ヲ有スルモ近時森林ノ濫伐潮流ノ變化ニ因リ魚族陸地ヲ遠サカリシ爲沖合ニ出漁セサルヘカラス然ルニ附近ニ安全ナル漁港ヲ有セサルハ漁業ノ發展上遺憾ナルヲ以テ天然の良港タル壽都港ヲ漁港トシテ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達
内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

北海道積丹郡余別村ニ漁港修築ノ件

北海道積丹郡余別村平民漁業村田喜三郎外五十六名呈出
右ノ請願ハ北海道積丹郡余別港ハ由來著名ノ鰯漁場ニシテ其ノ沖合亦魚族豐富ナルニ拘ラス同港ニハ未漁船避難ノ設備ナキヲ以テ漁民ハ危難ヲ慮リテ出漁ヲ逡巡シ爲ニ漁業不振ヲ極ムルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ同道拓殖費ヲ以テ同港ニ漁港ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達
内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

北海道色丹郡斜古丹村ニ衆議院議員並北海道會議員選舉施行ニ關スル件

北海道色丹郡斜古丹村平民農稻垣龍外六名呈出
右ノ請願ハ北海道色丹郡斜古丹村ハ千島列島ノ一ニシテ明治十七年戸長役場ノ設置以來移住者漸次増加シ大正十二年二級町村制ヲ施行セラルルニ至リタルニ拘ラス未衆議院議員選舉法並北海道會議員選舉令ノ施行セラレサルハ甚遺憾ナルニ依リ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

貴族院議長 公爵德川家達

意見書案

土功組合救済ニ關スル件

北海道河西郡芽室村平民農鈴木善太郎外四百六十九名呈出

右ノ請願ハ北海道十勝國各土功組合ハ曩ニ灌漑溝築設ニ際シ低利資金ノ融通額尠ク爲ニ北海道拓殖銀行ヨリ高利ノ資金ヲ借入レタル結果今ヤ同組合員ハ造田未全カラス收益僅少ナルニ拘ラス多額ノ組合費ヲ負擔スルノ窮境ニ沈淪シ延イテ開拓事業ヲ阻礙スルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ低利資金ノ融通、造田助成法ノ制定其ノ他請願人等所案ノ如キ救済策ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

福島縣安達郡新殿村ニ郵便局設置ノ件

福島縣安達郡新殿村平民沖森教永外百七十六名呈出

右ノ請願ハ福島縣安達郡新殿村ハ地域廣大ニシテ近時戸口増殖シ通信事務夥多ナルニ拘ラス管轄郵便局ニ至ル距離遠ク通信ノ敏活ヲ闕クノミナラス電信、爲替貯金及簡易生命保險等ノ取扱亦不便ナルヲ以テ速ニ同村ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

貴族院議長 公爵德川家達

意見書案

部落問題ノ國策確立ニ關スル件

東京市赤坂區青山南町華族全國融和聯盟常任委員同愛會會長有馬賴寧外八名呈出

右ノ請願ハ部落問題ノ解決ハ我國當面ノ緊要事ナルニ拘ラス當局ノ之ニ對スル何等積極の方策ヲ見ス爲ニ益其ノ紛糾ヲ擴大セムトスルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ一定ノ國策ヲ確立シ以テ國民融和運動ノ助長、因襲的差別觀念ノ根絶及年額三百萬圓以上ノ豫算ヲ計上シ少クトモ十箇年間ノ繼續支出トシテ教育並經濟施設ニ對スル獎勵助成等其ノ他請願人等所案ノ如キ各項ノ施設ヲ講シ國民諧和ノ實ヲ舉ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

常呂川河口修築ニ關スル件

北海道常呂郡常呂村平民農齊藤德藏外百四十七名呈出

右ノ請願ハ北海道常呂郡常呂港ハ世界三大漁場ノ稱アル「オヨック」海ニ面シ從テ其ノ沖合ニ漁船ノ來集スルモノ夥多ナルニ拘ラス同港ニ在ル常呂川河口一帯ハ岩礁多ク爲ニ一朝避難ニ際シ漁民ノ不安尠カラサルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ同河口ヲ改修シテ船入潤式漁船碇繫港ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

瀬棚港修築ノ件

北海道瀬棚郡瀬棚町長森野芳太郎外三名呈出

右ノ請願ハ北海道瀬棚郡瀬棚港ハ瀬棚、太櫓兩郡ニ於ケル貨物ノ集散地ニシテ船舶ノ出入夥シキノミナラス他日國縫、瀬棚間鐵道開通ノ曉ニハ海陸交通ノ連絡點ト爲リ且漁業ノ發展ニ資スル大ナルヲ以テ速ニ同港ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

幌泉漁港修築ノ件

北海道幌泉郡幌泉村平民漁業寺井重太郎外二百四十七名呈出

右ノ請願ハ北海道幌泉港ハ襟裳岬附近ノ大漁場ニ面シ近時沖合漁業ノ勃興ヲ見タルニ拘ラス同港ニハ漁船避難ノ設備未十分ナラサルヲ以テ一朝暴風ノ來襲ニ際會スルヤ漁船ノ被害尠カラス爲ニ斯業ノ發達遲延タルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ同港ニ漁港ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

三石漁港修築ノ件

北海道三石郡三石村平民公吏赤尾關泰藏外三十名呈出

右ノ請願ハ北海道三石郡三石港ハ函館日高間航路ノ要港ニシテ其ノ沖合ハ本道隨一ノ稱アル大漁場ナルニ拘ラス同港ニハ防波ノ設備ナキヲ以テ一朝暴風襲來スルヤ船舶ノ緊留困難ヲ極メ爲ニ當業者ノ不便甚シキノミナラス遠洋漁業ノ發達ヲ阻礙スルハ遺憾ナルニ依リ速ニ同港ニ漁港若ハ船入淵ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

米穀貯藏倉庫設置ノ件

北海道旭川市長岩田恆外一名呈出

右ノ請願ハ近時北海道内ニ一箇ノ米穀買上指定地ヲ設ケ米穀貯藏倉庫ヲ設置セムトノ說アルニ當リ旭川市ハ本道ノ中央ニ位シ米穀ノ生産並集散頗ル夥多ナルノミナラス交通ノ便亦備ハリ本道中最恰適ノ同倉庫建設地ナルヲ以テ其ノ實現ニ際シテハ同市ニ之ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達
内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

皇太神宮神苑内ニ在ル奉獻戰捷記念品移轉ニ關スル件

三重縣志摩郡鳥羽町眞珠養殖業御木本幸吉呈出

右ノ請願ハ皇太神宮ノ宮域ヲシテ常ニ怡怡タル平和ヲ象徵セシメ莊嚴雄美ノ瑞色ヲ保持セシムルハ眞ニ神慮ニ添ヒ奉ル所以ナルヲ以テ神苑内ニ在ル日清日露ノ戰捷記念品ハ之ヲ徵古館構内ニ移轉シ一面外國ノ誤解ヲ拂拭スルト共ニ他面敬神崇祖ノ風ヲ顯彰セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

女子中等教育ニ關スル件

東京府豊多摩郡戸塚町平民竹中みき外一名呈出

右ノ請願ハ高等女學校ハ女子教育ノ中樞機關タルニ拘ラス其ノ程度低ク一般就學者ニ對シ十分ナル教養ヲ與ヘ得サルノミナラス更ニ上級學校ニ入學セムトスルモノニ對シテモ其ノ不便亦尠カラサルハ女子教育普及上甚遺憾ナルニ依リ速ニ之ヲ中學校ト同等程度ニ高メラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

女子高等教育ニ關スル件

東京市神田區駿河臺南甲賀町平民教員後閑キクノ外千三百二十六名呈出

右ノ請願ハ教育ハ男女共ニ均シク向上發展ヲ期スヘキモノニテ現行大學令、專門學校令ハ何等性的區別ヲ認メサルニ拘ラス高等學校令、專門學校規則ニ於テ女子ノ入學ヲ拒否スルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ女子高等學校竝ニ各專門學校ヲ設立セラレタク若實現不可能トセハ現在ノ高等學校竝各專門學校ヲ女子ニモ開放シ男子ト同一ノ資格ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

旭橋改築ノ件

北海道旭川市長岩田恆呈出

右ノ請願ハ北海道旭川市ハ石狩川ノ貫流ニ依リ自ラ北部近文即師團所在地ト南部市街トニ分レ而シテ相互ノ交通激甚ナルニ拘ラス唯一ノ機關トシテ單ニ旭橋アルノミナルヲ以テ一般交通ノ混雜甚シク加之同橋ハ明治三十七年ノ架設ニ係リ今ヤ既ニ朽廢ニ近ツキ幅員狹リ勾配急ニシテ交通上不利不便尠カラサルハ遺憾ナルニ依リ速ニ幅員六十尺以上勾配四十五分ノ一以下ノ設計ヲ以テ同橋ヲ改築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

○議長(公爵德川家達君) 唯今議長ノ宣告イタシマシタ各請願ハ請願委員長ノ報告通りデ、御異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

「子爵立花種忠君發言ノ許可ヲ求ム」

○議長(公爵德川家達君) 少々御待チテ願ヒマス、日程第四十三竝ニ第七十三ノ請願ノ會議ニ移リマス、立花子爵

○子爵立花種忠君 日程ノ第四十三ト第七十三ノ兩請願ニ付キマシテ、請願委員長ニ御質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、此請願ニ付キマシテハ、委員會ニ於テ軍務當局ノ意見ヲ求メラレマシタカ如何ト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○公爵一條實孝君 御答ヲ致シマス、軍務當局ノ意見ハ聽イテ居リマセス

○子爵立花種忠君 唯今請願委員長ノ御答ニ依リマスルト、軍務當局ノ御説明ガナイト云フコトデアリマス、意見ヲ御聽キニナラスト云フコトニ承知イタシマス、然ラバ我ト致シマシテハ、此場合尙ホ考究ノ必要アリト認メマスルガ故ニ、本請願ニ付キマシテハ、此日程ヨリ取除カレムコトヲ望ミマス、此動議ヲ提出イタシマス

○子爵櫛笥隆督君 唯今ノ立花子爵ノ動議ニ賛成イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 立花子爵ノ兩請願ヲ日程ヨリ削除スベシト云フ動議ニ、櫛笥子爵ノ賛成ガゴザイマシタカラ、採決イタシマス、立花子爵ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 ……

○議長(公爵德川家達君) 暫ク御著席ヲ請ヒマス、立花子爵ノ動議ニ反對ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 賛成ノ方ガ多數ト認メマス、書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ回付セリ

大正十五年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

大正十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

本日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ本院ノ修正ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

大正十五年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

大正十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

本日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

民事訴訟費用法中改正法律案

民事訴訟用印紙法中改正法律案

商事非訟事件印紙法中改正法律案

非訟事件手續法中改正法律案

人事訴訟手續法中改正法律案

競賣法中改正法律案

民法中改正法律案

破產法中改正法律案

明治三十二年法律第五十號中改正法律案

刑事訴訟法中改正法律案

○議長(公爵德川家達君) 内閣總理大臣ヨリ通牒ニ接シマシタカラ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

大正十五年三月二十五日

内閣總理大臣

若槻禮次郎

貴族院議長公爵德川家達殿

通牒

本月二十六日貴族院ニ於テ帝國議會閉會式執行被仰出候

○議長(公爵徳川家達君) 是ニテ散會イタシマス

午後十時三分散會